

高 松 市
教育に関するアンケート調査結果

平成 2 7 年 2 月
高松市教育委員会

目 次

調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の内容	1
3. 調査の対象	1
4. 調査方法	2
5. 調査期間	2
6. 回収結果	2

調査結果

1. 小学生・中学生調査	3
2. 保護者調査	17
3. 教員調査	31
4. 一般市民調査	41
5. 前回調査との比較（児童生徒）	51
6. 前回調査との比較（保護者）	71
7. 前回調査との比較（教員）	90
8. 前回調査との比較（一般市民）	99
9. 対象者比較（児童生徒・保護者）	112
10. 対象者比較（児童生徒・保護者・教員・一般市民）	114
11. 対象者比較（保護者・教員・一般市民）	116

参考資料

小学生用調査票	122
中学2年生用調査票	124
小中保護者用調査票	126
幼稚園保護者用調査票	128
小中学校教員用調査票	130
幼稚園教員用調査票	132
一般市民用調査票	134

調査の概要

1 調査の目的

児童生徒の学習意欲、勤労観、家庭や地域における教育力などの現状把握、
前回の調査との経年比較を行うことで、次期教育振興基本計画策定に係る参考資料とする。

2 調査の内容

- 子どもの学力、勤労観、将来に対する意識について
- 子どもの道徳心について
- 子どもの教育に対する保護者や地域の関わりについて
- 教員に対する意識について
- 家庭での教育について
- 放課後や学校の休みの過ごし方について 等

3 調査の対象

調査種別	調査対象及び調査方法	
小学生調査	○対象校 ○対象者	高松市立小学校のうち26校（前回未実施校） 第3学年から1クラス又は2クラスを選出 第5学年から1クラス又は2クラスを選出
中学生調査	○対象校 ○対象者	高松市立中学校のうち11校（前回未実施校） 第2学年から1クラスを選出
保護者調査	○対象校・園 ○対象者	小・中学生調査の対象校及び高松市立幼稚園のうち10園 対象校・園の保護者 小学校：第3学年から1クラス又は2クラスを選出 第5学年から1クラス又は2クラスを選出 中学校：第2学年から1クラスを選出 幼稚園：年長（5歳児）クラスから1クラスを選出 ※小・中学校は、原則として、児童生徒のアンケートを実施した学級の保護者 ※特別支援学級の対象学年の保護者も対象とする ※こども園においては、幼稚園籍の幼児の保護者とする
教員調査	○対象校 ○対象者	小・中学生調査の対象校及び高松市立幼稚園のうち10園 小学校：校長、副校長、教頭、3年団・5年団の教員 中学校：校長、副校長、教頭、2年団の教員 幼稚園：園長（囑託園長含む）、 保護者調査の対象クラスの教員
一般市民調査	○対象者	無作為抽出した市内在住の20歳以上の男女

4 調査方法

- 小・中学生、保護者、教員調査

調査票を学校・園に送付し、学校・園を通じて調査対象の児童生徒、保護者、教員に調査票を配布し、学校・園で調査票を回収した。

- 一般市民調査

調査票を郵送し、記入後、同封の返信用封筒で回収した。

5 調査期間

平成26年11月28日～12月15日

6 回収結果

調査種別		実施校数	配布数	回収数	回収率
小学生調査		26校	1551	1543	99.5%
中学生調査		11校	374	361	96.5%
保護者調査	幼稚園児保護者	10園	172	165	95.9%
	小学生保護者	26校	1550	1477	95.3%
	中学生保護者	11校	371	325	87.6%
教員調査	幼稚園	10園	20	20	100.0%
	小学校	26校	198	195	98.5%
	中学校	11校	104	102	98.1%
一般市民調査			1000	477	47.7%

<報告書を読む際の注意>

- (1) 百分比(%)は回収数を基礎(n)として算出し、小数第2位を四捨五入して表示した。
四捨五入の結果、各々の項目の数値の和と合計を示す数値とが一致しない場合がある。
- (2) 複数回答の設問では、回答率の合計が100%を超える場合がある。
- (3) 前回調査とは、平成21年2月に実施した「高松市教育に関するアンケート調査」を指す。

小学生・中学生調査

質問項目別調査結果

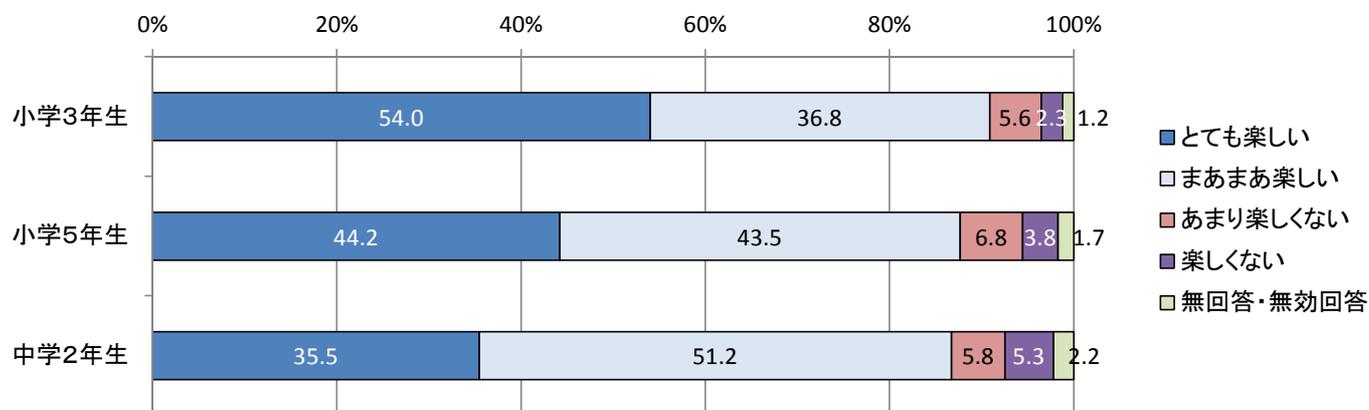
児童生徒調査

問1 あなたは、学校が楽しいですか。

「とても楽しい」が小学3年生で過半数を超えている。同項目は学年が上がるにつれて減っていくが、「まあまあ楽しい」と合わせた数字は全学年で85%を超えている。

「楽しくない」は小学校3年生で2.3%、小学5年生で3.8%、中学2年生では5.3%となっている。

学年が上がるにつれて、学校生活で困難・苦痛と考える事柄ができてくると思われる。

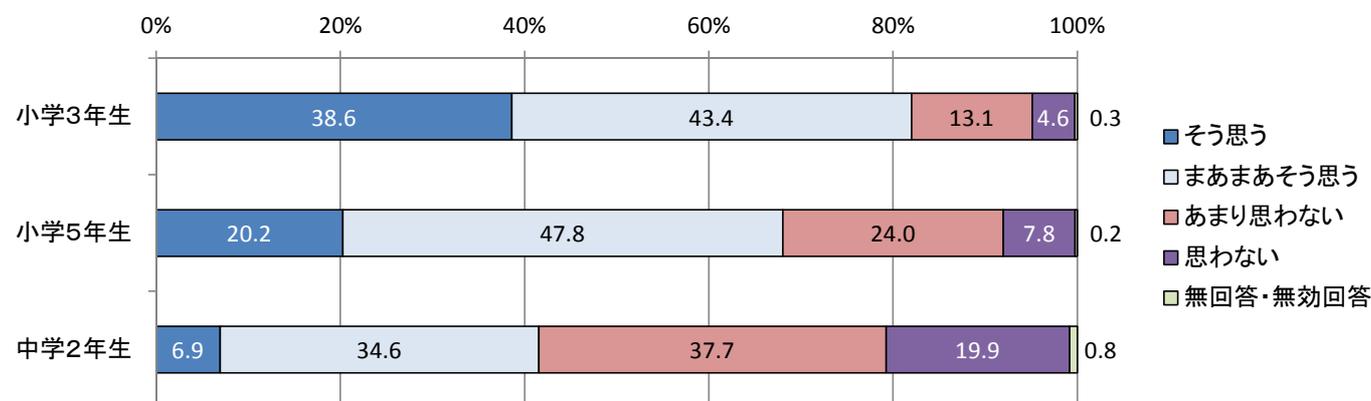


問2 あなたは、学校生活についてどのように感じていますか。

1. 勉強がおもしろい

「そう思う」は小学3年生で38.6%、小学5年生で20.2%、中学2年生で6.9%、と減少して中学2年生では小学5年生の5分の1となる。「まあまあそう思う」と合わせた数字もそれぞれ、小学3年生が82.0%、小学5年生が68.0%、中学2年生が41.5%、と学年が上がるにつれて減り、中学2年生の割合は小学3年生のその半分である。

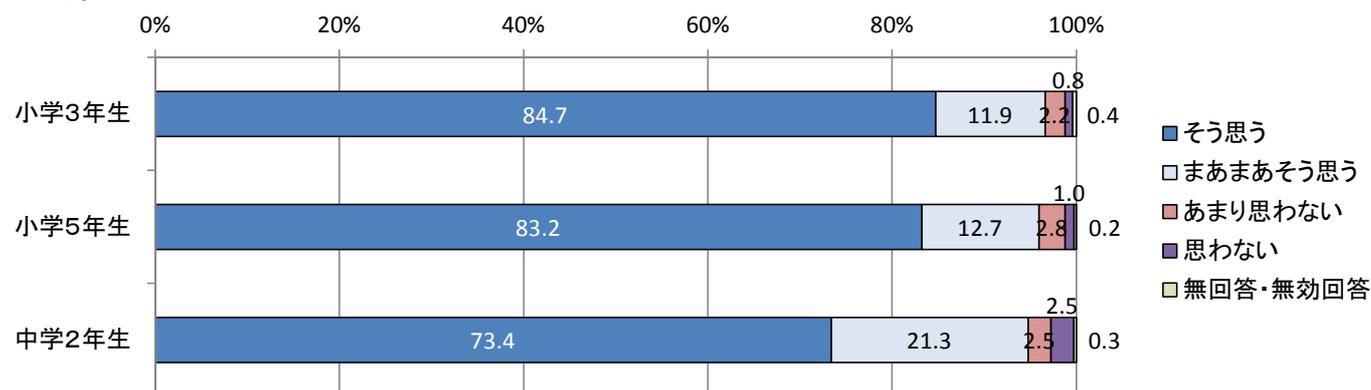
学年が上がるほど学習内容が難しくなり、学習成績の個人差がはっきり出てくるからと思われる。



2. 友達と遊ぶのが楽しい

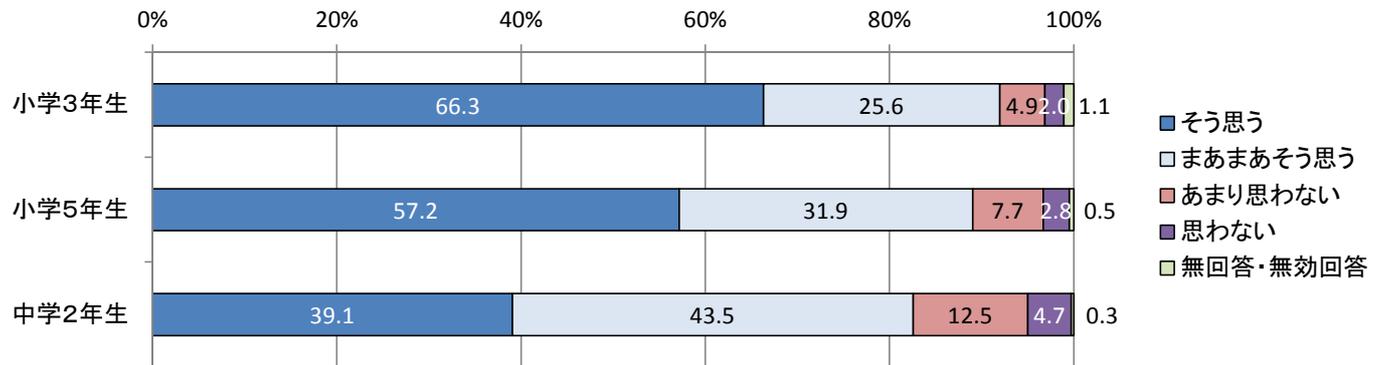
「そう思う」と答える児童生徒は「勉強がおもしろい」「良い先生がいる」「部活動が楽しい」と比べて高く、学校生活のモチベーションとして重要な要素である。

学年が進むにつれて「そう思う」と答える児童生徒は減少しているが「まあまあそう思う」を合わせると減少傾向はわずかである。



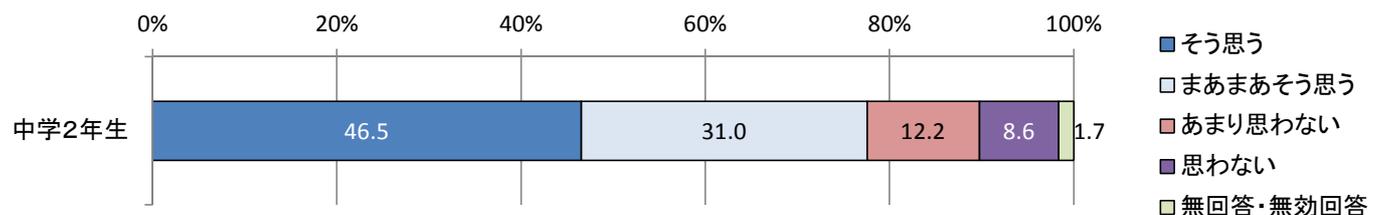
3. 良い先生がいる

「そう思う」は小学3年生で66.3%、小学5年生で57.2%、中学2年生で39.1%、と減少している。「まあまあそう思う」と合わせた数字はそれぞれ、小学3年生が91.9%、小学5年生が89.1%、中学2年生が82.6%、と学年が上がるにつれて減少するもののいずれも80%を超えている。学年が進むにつれて減少するのは児童生徒の自立心の芽生えの裏返しであり、子どもたちの周囲に信頼される教師が多いことがわかる。



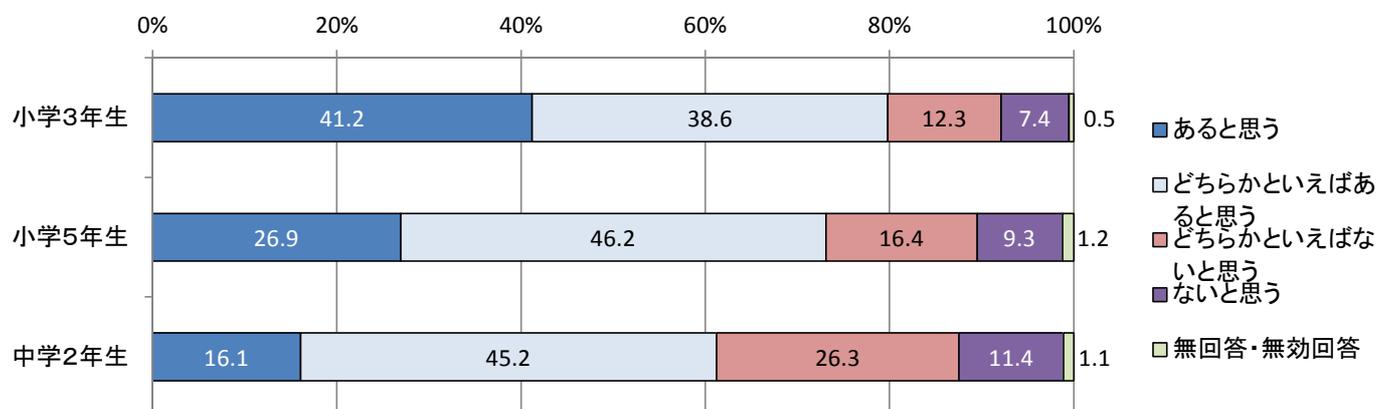
4. 部活動が楽しい

部活動のある中学2年生のみが対象となっている。「そう思う」が約半数を占め、「まあまあそう思う」を合わせて77.5%とおおむね良好な環境で部活動に励んでいるようである。



問3 あなたは、自分に良いところがあると思いますか。

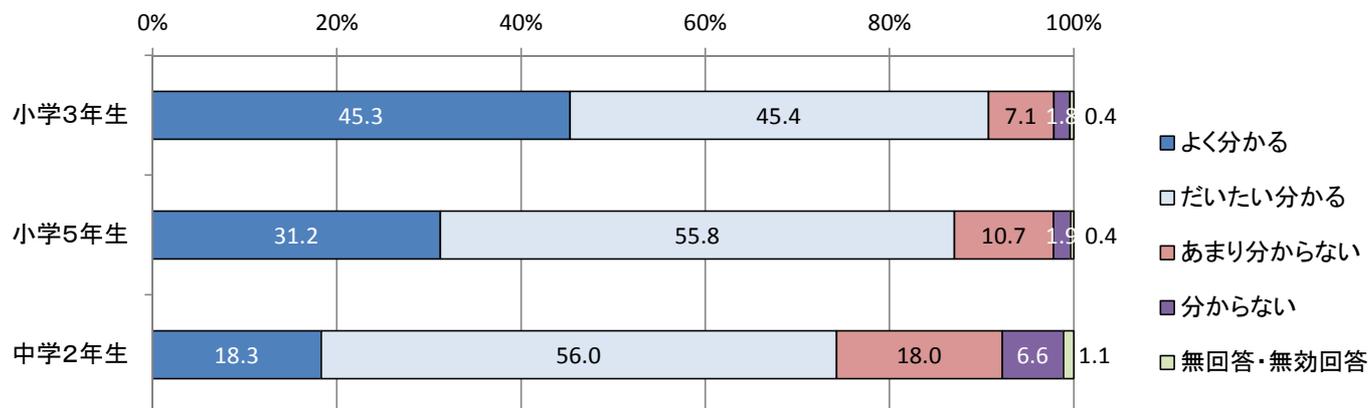
「あると思う」は小学3年生で41.2%、小学5年生で26.9%、中学2年生で16.1%。「どちらかと言えばあると思う」を合わせると小学3年生で79.8%、小学5年生で73.1%、中学2年生で61.3%である。中学2年生になると、理想と現実の違い、自己否定の感情などが現れることも要因と思われる。



問4 あなたは、次の科目の授業(活動)は分かりますか。

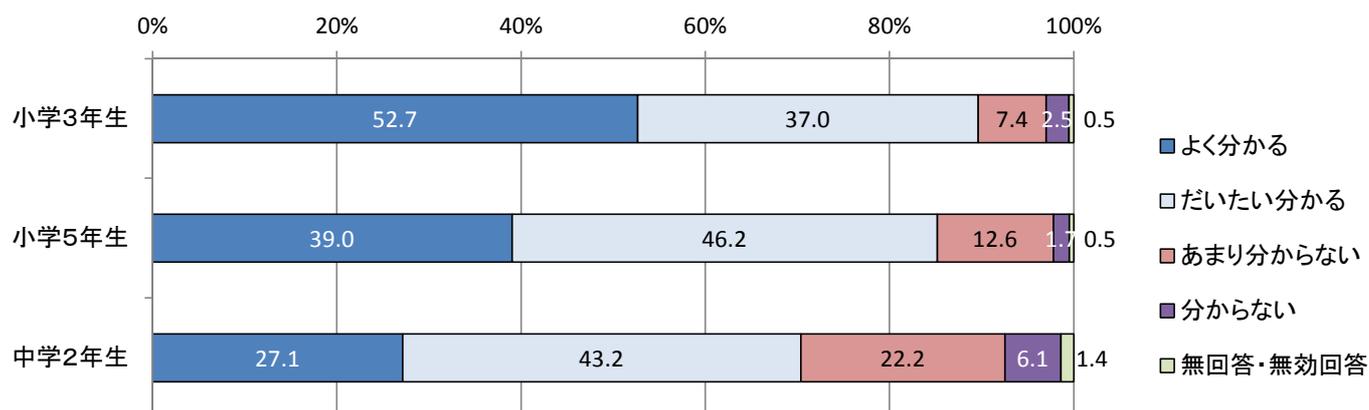
1. 国語

全学年で他の教科との違いが目立っている。「よく分かる」と答えた割合が全教科のなかで最も少ない反面、「だいたい分かる」との計では小学3年生の社会を除く全教科の中で最も割合が高い。
自己評価が最もあいまいで定まりにくい教科である。



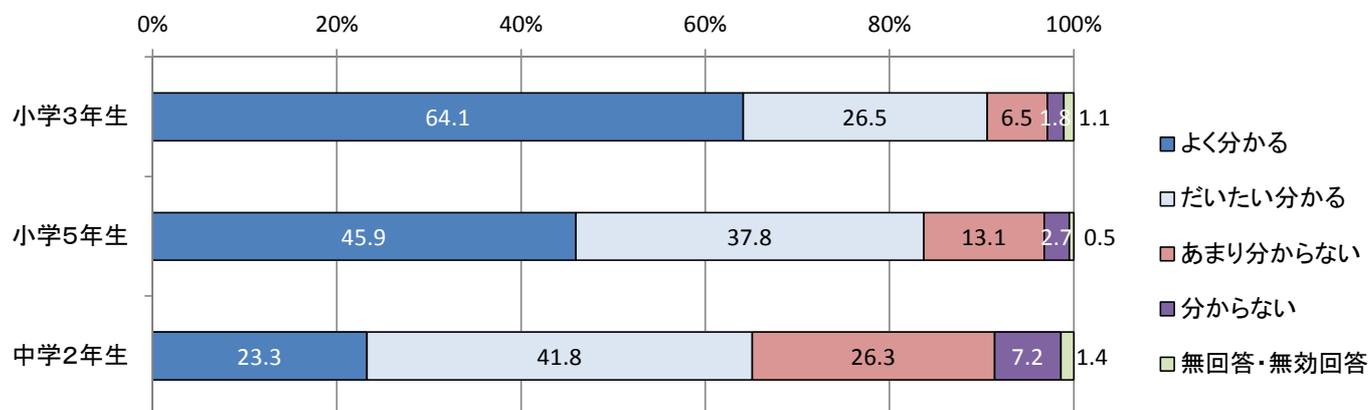
2. 社会

「よく分かる」が学年が上がるごとに減っていることは他の教科と同様だが、理科と同じく「分からない」の回答が小学5年生より小学3年生で多くなっている教科である。
習う単位によって児童生徒の得意・不得意が分かれる教科である。



3. 算数(中学生は数学)

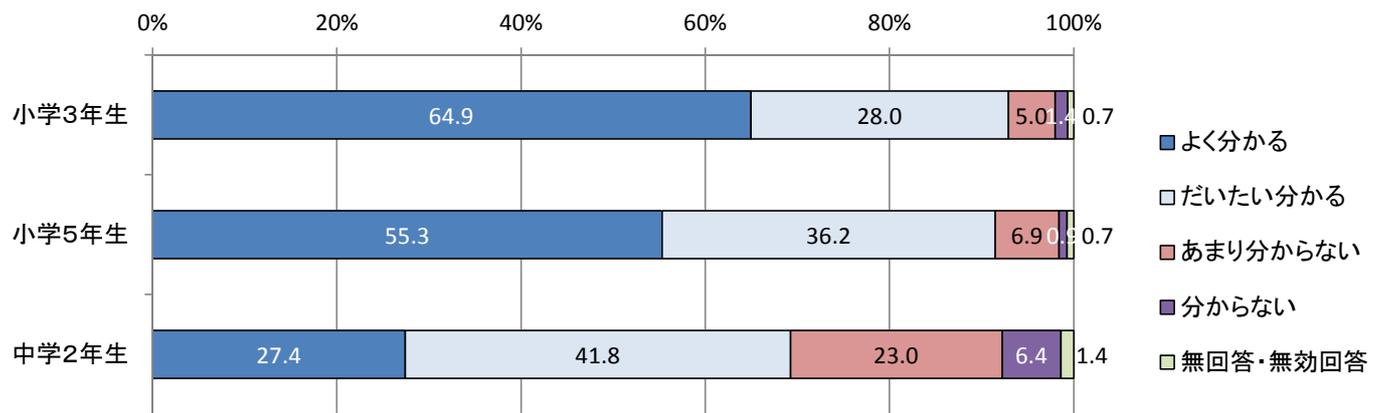
全教科のなかで、最も小学3年生と中学2年生の間で「よく分かる」が減少している教科である。
これは算数・数学が積み重ねの重要な教科であり、ひとつのつまづきを取戻しにくいという特徴を表している。
家庭・教師のきめ細かいフォローが大切な教科であると思う。



4. 理科

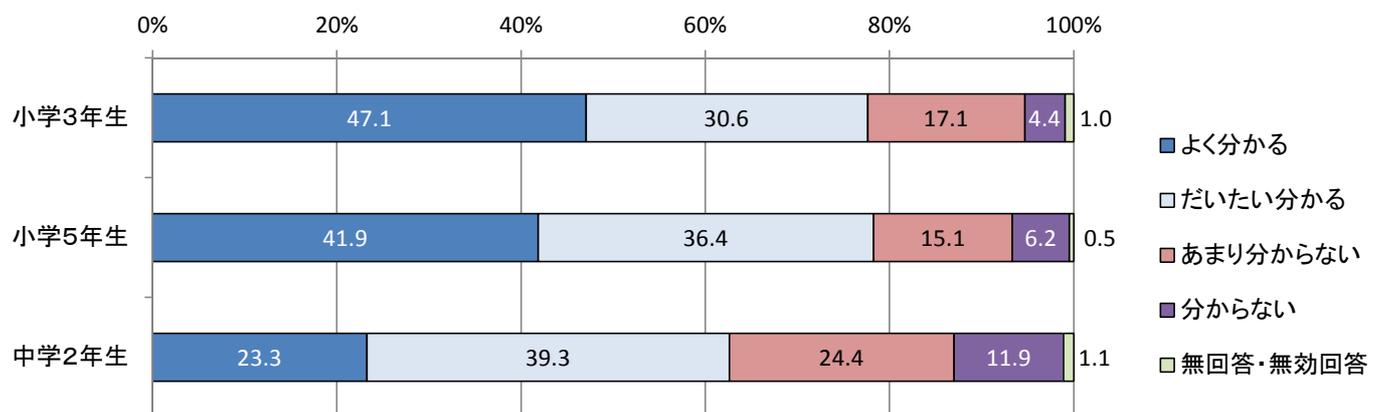
社会と同じく「よく分かる」が学年が上がるごとに減っていることは他の教科と同様だが、「分からない」の回答が小学5年生より小学3年生で多くなっている教科である。

小学5年生から中学2年生にかけて「よく分かる」と「だいたい分かる」の計が急に減少している。



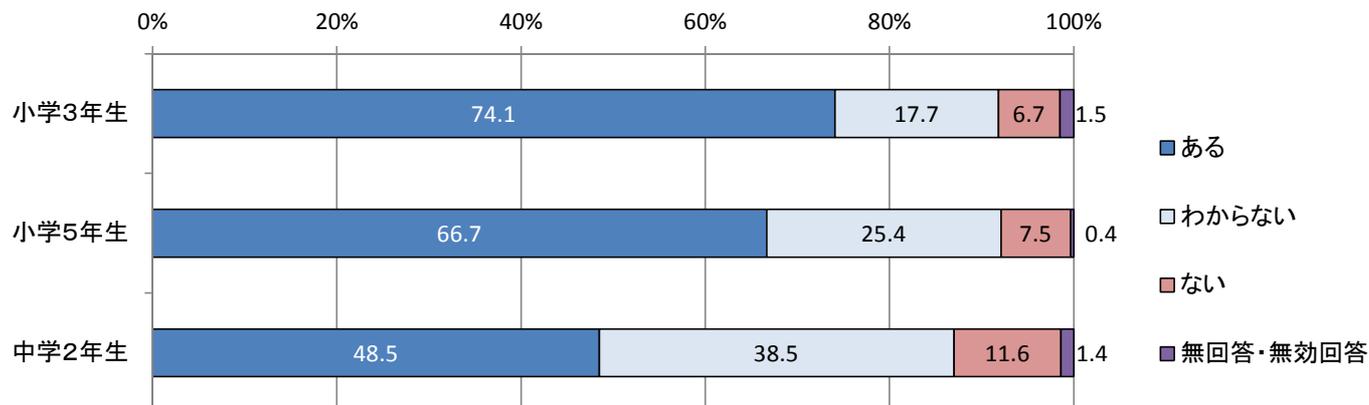
5. 英語(小学生は英語活動)

小学3年生から小学5年生で「よく分かる」「だいたい分かる」の合計が増えている。全教科の中で「分からない」と答えた率が中学2年生で最も高い。



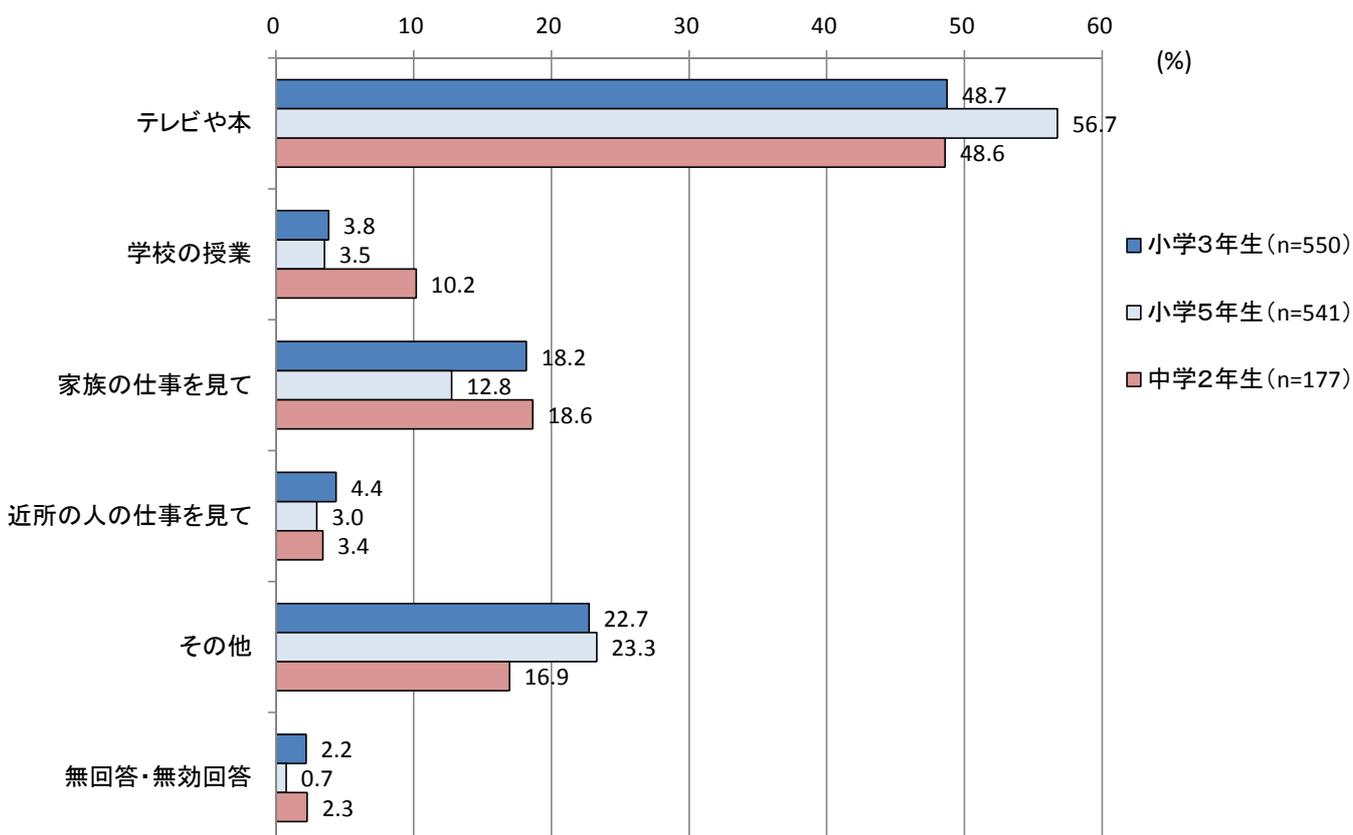
問5 あなたは、将来したいと思っている仕事がありますか。

「ある」と答えた児童生徒は小学3年生で74.1%、小学5年生で66.7%、中学2年生で48.5%、と減少している。長ずるに及んで得られる社会の情報が多くなり、単純なあこがれから、より具体的な展望へと変わっているものと思われる。



問5-1 「1. ある」を選んだ人にお聞きします。その仕事のことは、どこで知りましたか。

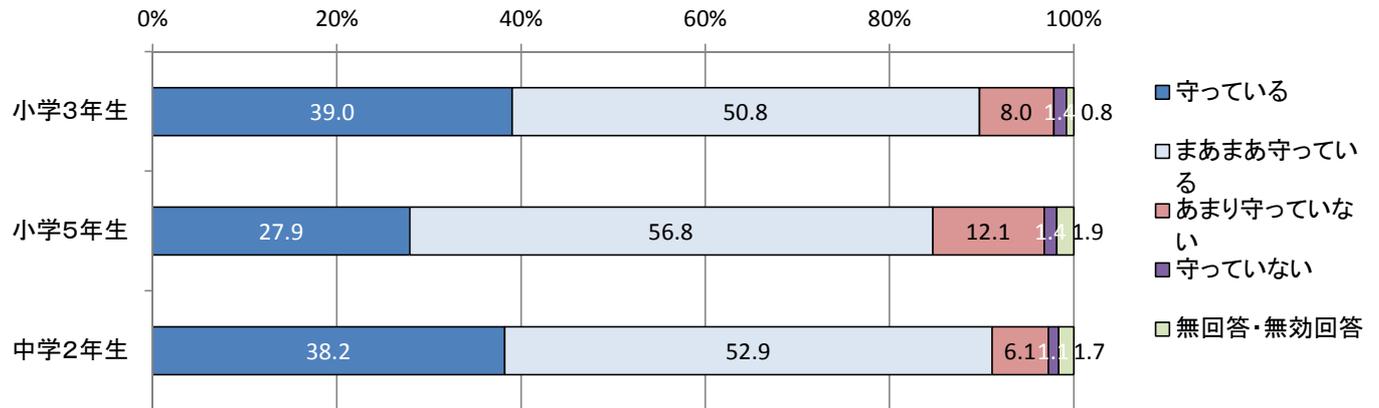
小学5年生で「テレビや本」が多くなり、「家族の仕事を見て」「近所の人の仕事を見て」が少ない。中学2年生で「学校の授業」が増えている。中学で職業への意識を促した結果が表れている。



その他の中には「店で実際に見て」「その場所について」などの直接に見聞きした情報、「母のすすめ」「祖父母の話」などの家族・親戚の影響、「習い事」など自分の現在の習い事の延長、「幼稚園の先生を見て」といった教師の影響、などの回答が多く、また中学生では「職場体験」という回答も多かった。

問6 あなたは、学校の規則(きまり)や先生に言われたことを守っていますか。

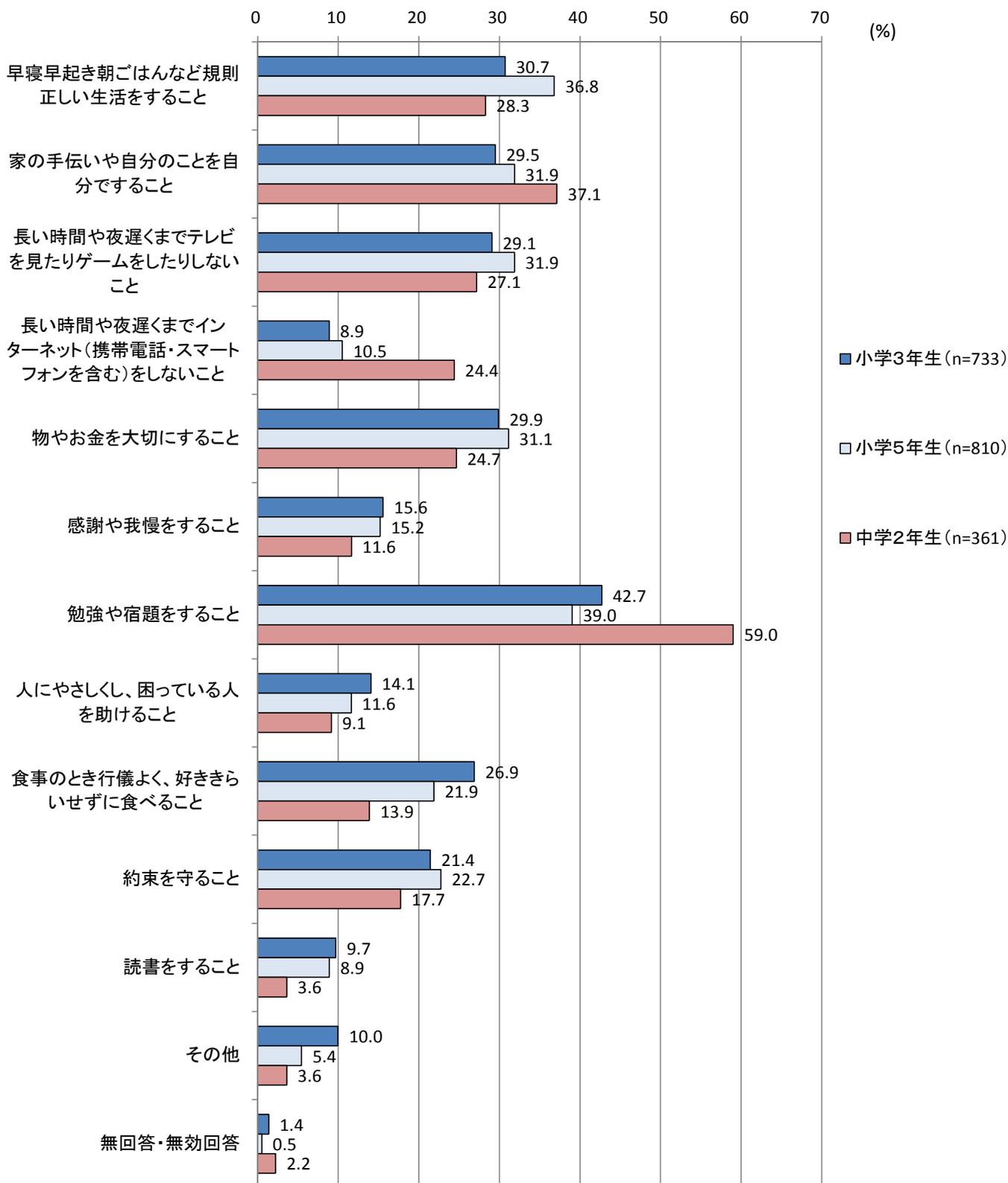
小学3年生と中学2年生が同じような回答傾向を示しているのに対して、小学5年生で「守っている」が27.9%と少ない。「あまり守っていない」「守っていない」の計も小学5年生が多い。



問7 あなたが、最近、おうちの人によく言われることは何ですか。(複数回答3つまで)

「勉強や宿題をすること」が中学2年生で59.0%と突出している。「物やお金を大切に」「感謝や我慢をすること」「約束を守る」などの、道徳的な項目は小学生では多いが中学生では減少する。

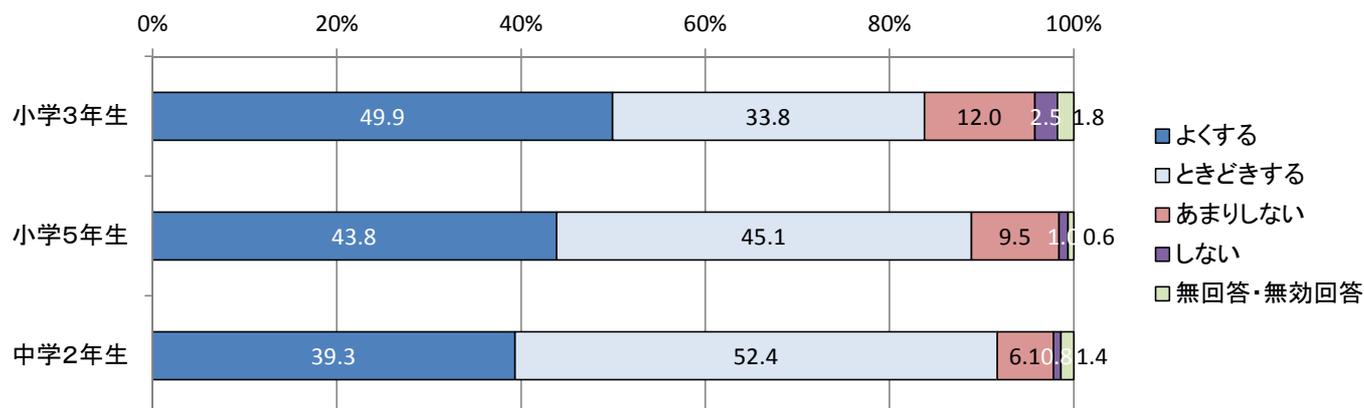
「早寝早起き」「家の手伝い、自分のことは自分で」「テレビ・ゲームの制限」などの生活習慣に関することは全学年にわたって回答率が高い。中学2年生では「インターネットの制限」が24.4%と高く、PC・スマホの普及が中学生に及んでいる。



その他としては、「けんかをしない」、「弟妹の面倒をみる」など、「あいさつをする」・「言葉づかいを良くする」などの礼儀のこと、「うそをいわない」などの道徳のこと、「ピアノの練習をする」などの習い事について、「手洗いうがいをする」などの生活習慣について、「問題をよく読む」・「テストで良い点をとる」など学習に関する注意、などがあつた。

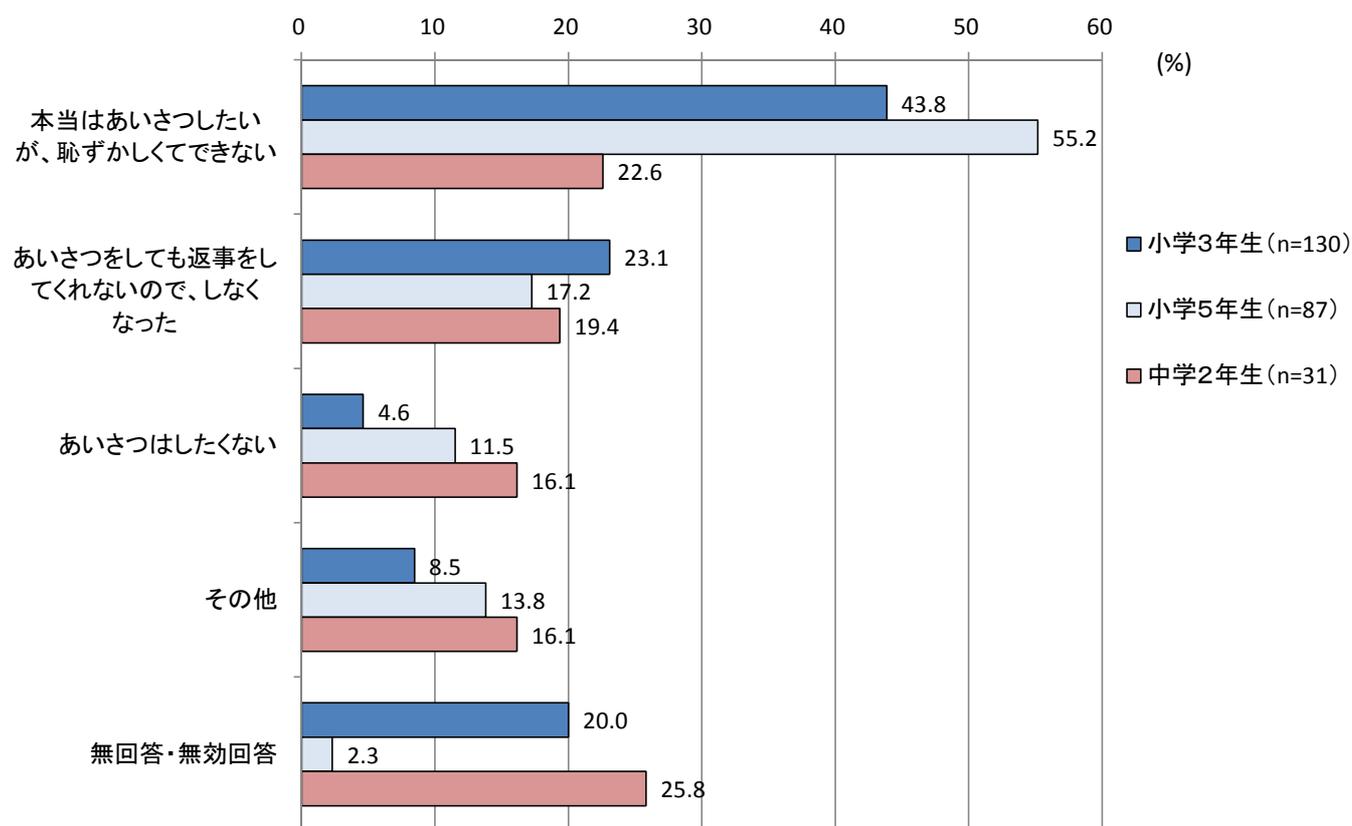
問8 あなたは、大人にあいさつをしますか。

「よくする」が小学3年生で49.9%、小学5年生で43.8%、中学2年生で39.3%と減少している。「あまりしない」と「しない」の合計は小学3年生で14.5%、小学5年生で10.5%、中学2年生で6.9%と減少している。



問8-1 「3. あまりしない」「4. しない」を選んだ人にお聞きします。あいさつをしない理由は何ですか。

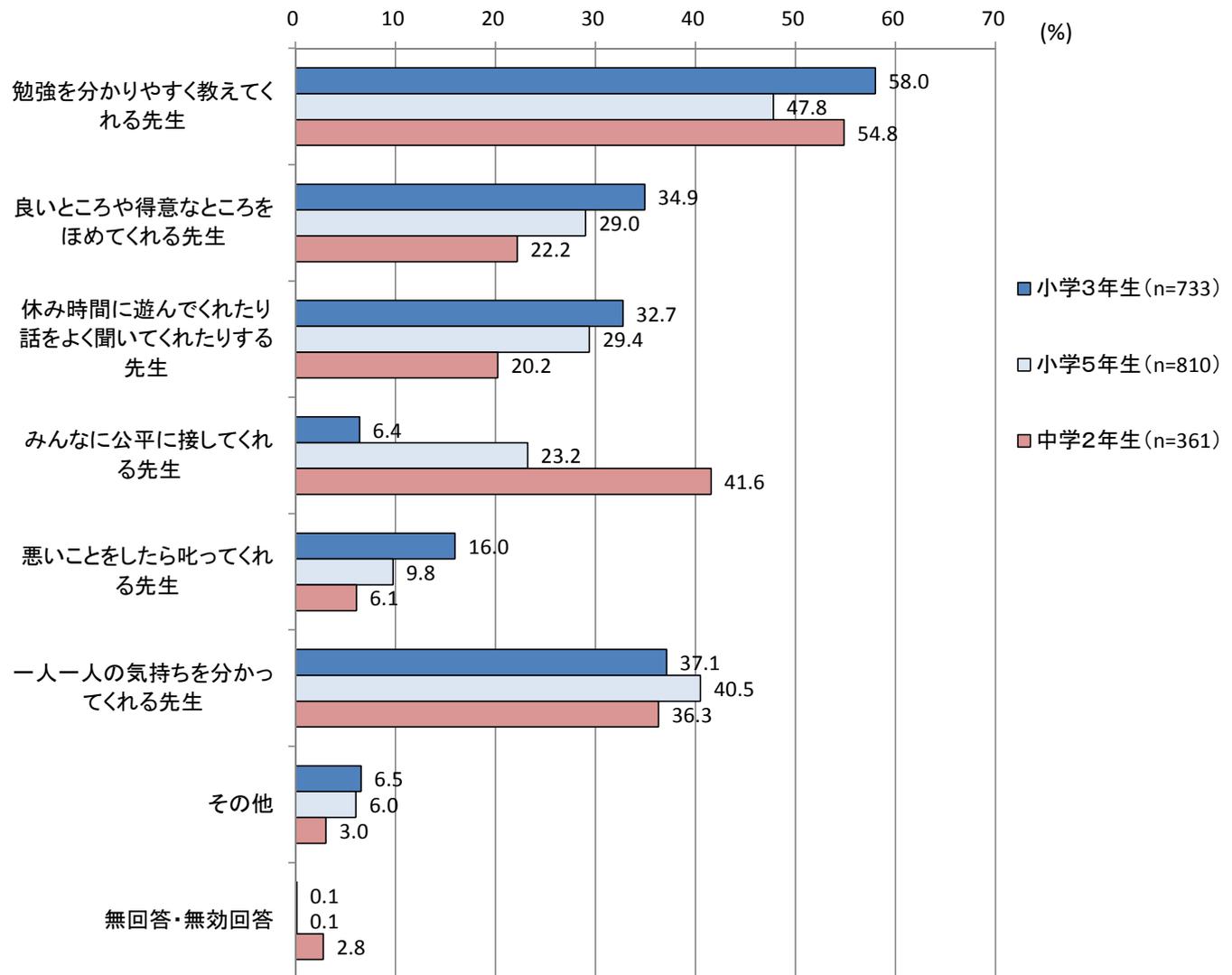
「本当はあいさつしたいが、恥ずかしくてできない」が小学3年生で43.8%、小学5年生で55.2%、中学2年生で22.6%と学年によって大きな差がある。「あいさつはしたくない」が小学3年生が4.6%、小学5年生で11.5%、中学2年生で16.1%と学年が上がるにつれて回答率が高くなっている。成長するにつれて、大人との関わりを避けたいと思う気持ちも強くなるようである。



その他には「めんどくさい」という回答、「あいさつしてもにらんでくる」などの大人不信となる経験の回答があった。

問9 あなたは、どんな先生が好きですか。(複数回答2つまで)

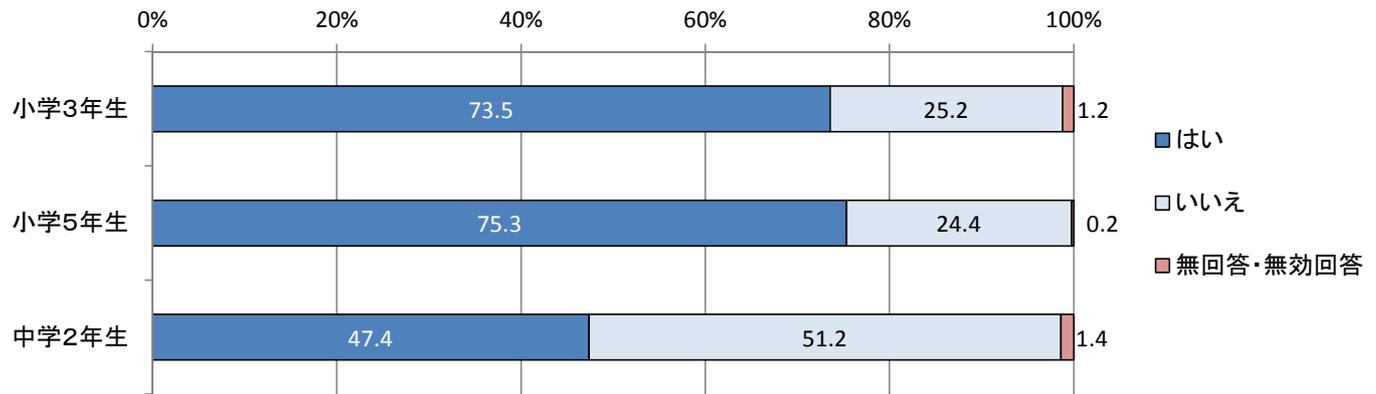
「勉強を分かりやすく教えてくれる先生」「一人一人の気持ちを分かってくれる先生」は全学年で回答率が高い。
 「良いところや得意なことをほめてくれる先生」「休み時間に遊んでくれたり話をよくきいてくれる先生」「悪いことをしたら叱ってくれる先生」は低学年ほど高く、「みんなに公平に接してくれる先生」は高学年ほど高くなっている。



その他では「宿題のすくない先生」、「やさしい先生」、「おもしろい先生」という回答が多かった。「叱る前に理由を聞いてくれる先生」「きれいな先生イケメンな先生」「どんな先生もきらい」という回答もあった。

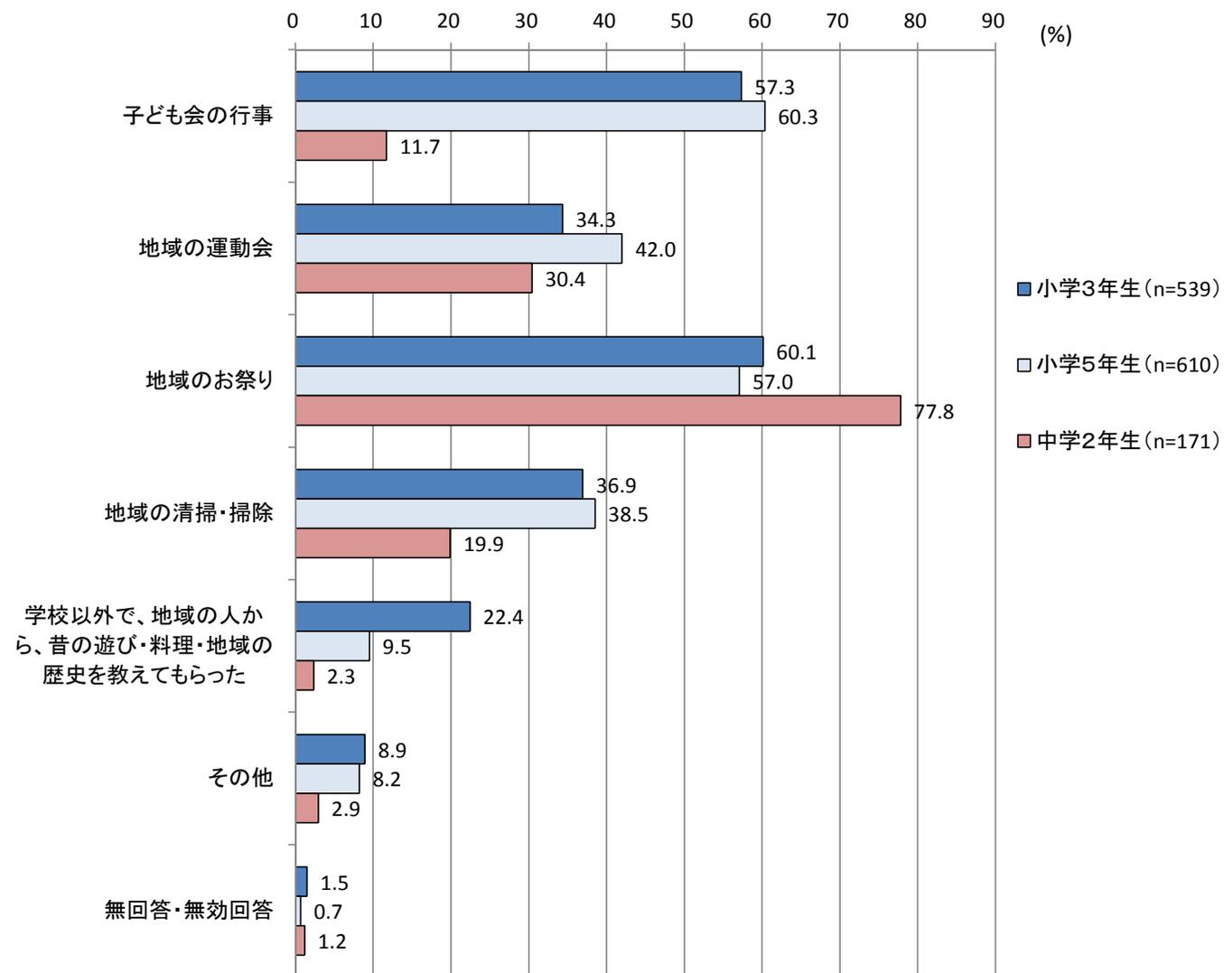
問10 あなたは、今の学年になって、地域の行事に参加したことがありますか。

「はい」と答えた児童生徒は小学3年生73.5%、小学5年生75.3%と多いが、中学2年生では47.4%と減少している。中学生になると部活動が始まり参加しにくい状況や、大人との交流を避ける傾向があるから、と思われる。



問10-1 「1. はい」を選んだ人にお聞きします。どんなことがありましたか。(複数回答制限なし)

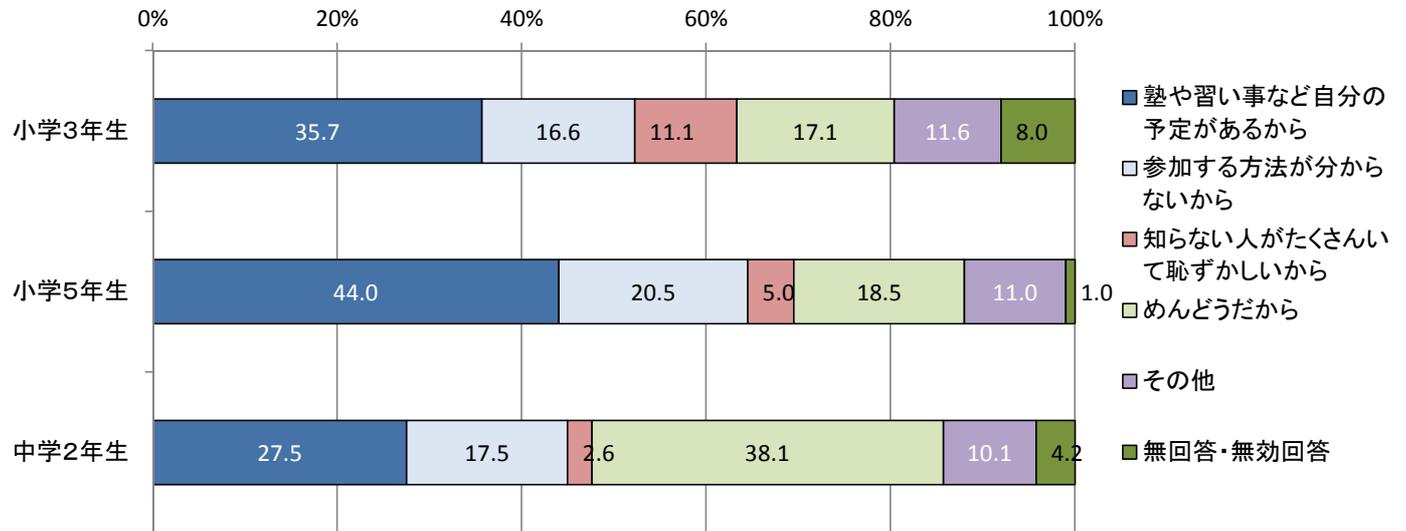
中学2年生の回答の中では「地域のお祭り」が77.8%と多い。中学生は体力的にも大人であり地域の祭りの担い手になっているようである。反面、他の行事(運動会・清掃)への参加は小学生に比べて少ない。



その他の回答では「地域の文化祭」、「防災訓練」、「コミュニティセンタの行事」、「土器フェス」などが多く、「敬老会」、「体操フェスティバル」、「ウォーキング大会」、「神社のしめ縄を作ったり工作した」などの回答もあった。

問10-2 「2. いいえ」を選んだ人にお聞きします。地域の行事に参加しないのはなぜですか。

小学3年生と小学5年生では「塾や習い事など自分の予定があるから」が最も多い理由となっている。中学2年生では「めんどうだから」が最も多い理由である。地域行事については何か参加へのモチベーションを喚起する仕組みを考慮してもよいと思う。



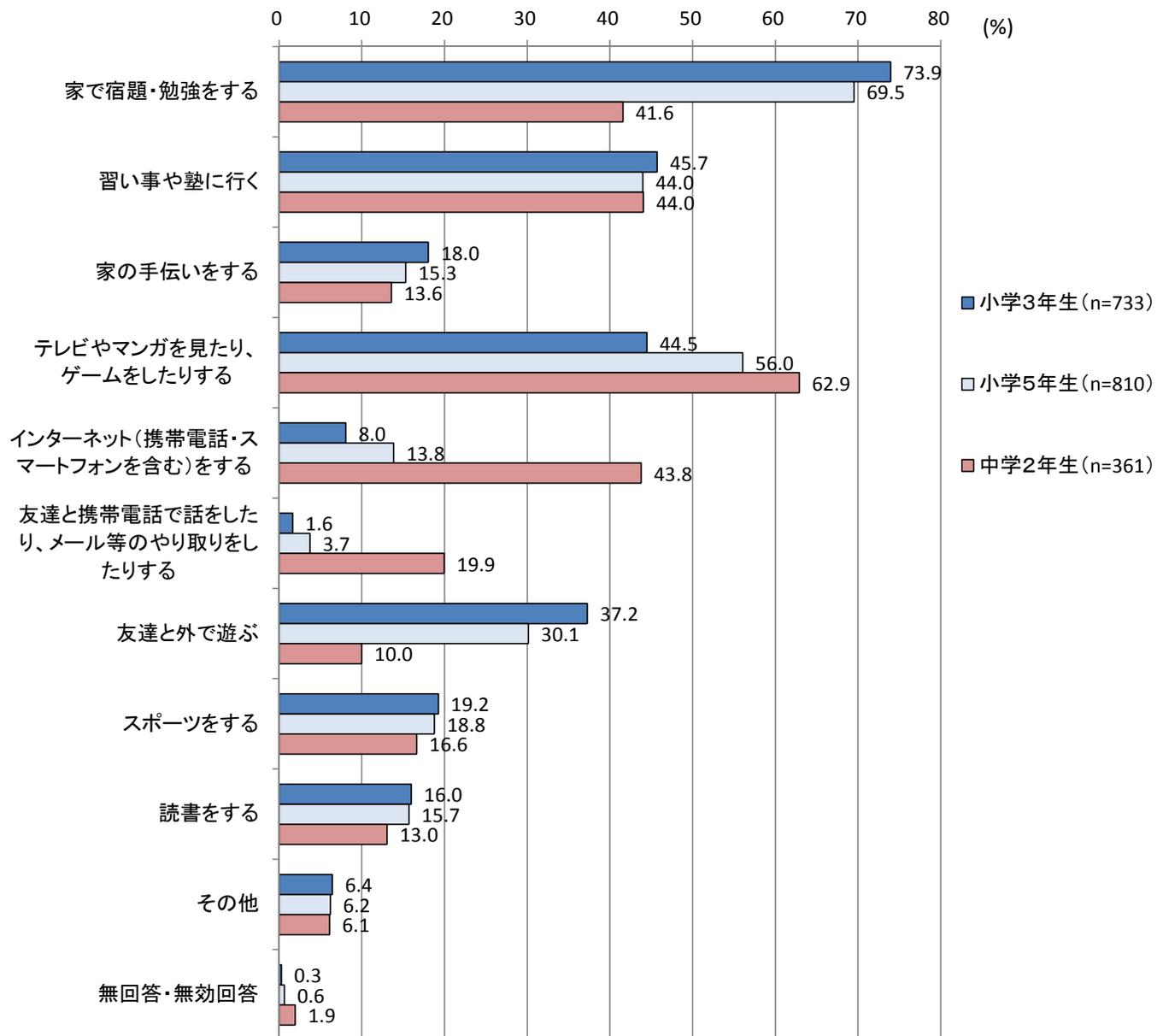
その他の回答としては「お母さんの仕事があったから。」「行きたいけど、行かせてくれない」などの家族の都合、「やっているのが分からないから」という情報発信不足が多い。

ほかには「地域の行事に参加するのは、楽しくないし、苦手だから。」「参加する必要があるから」という回答もあった。

問11 あなたは、学校から帰ったら、どういうことに使う時間が多いですか。(複数回答3つまで)

小学3年生と小学5年生では「家で宿題・勉強をする」がそれぞれ73.9%、69.5%と最も多い。中学2年生では「テレビやマンガをみたりゲームをしたりする」が62.9%と最も多い。

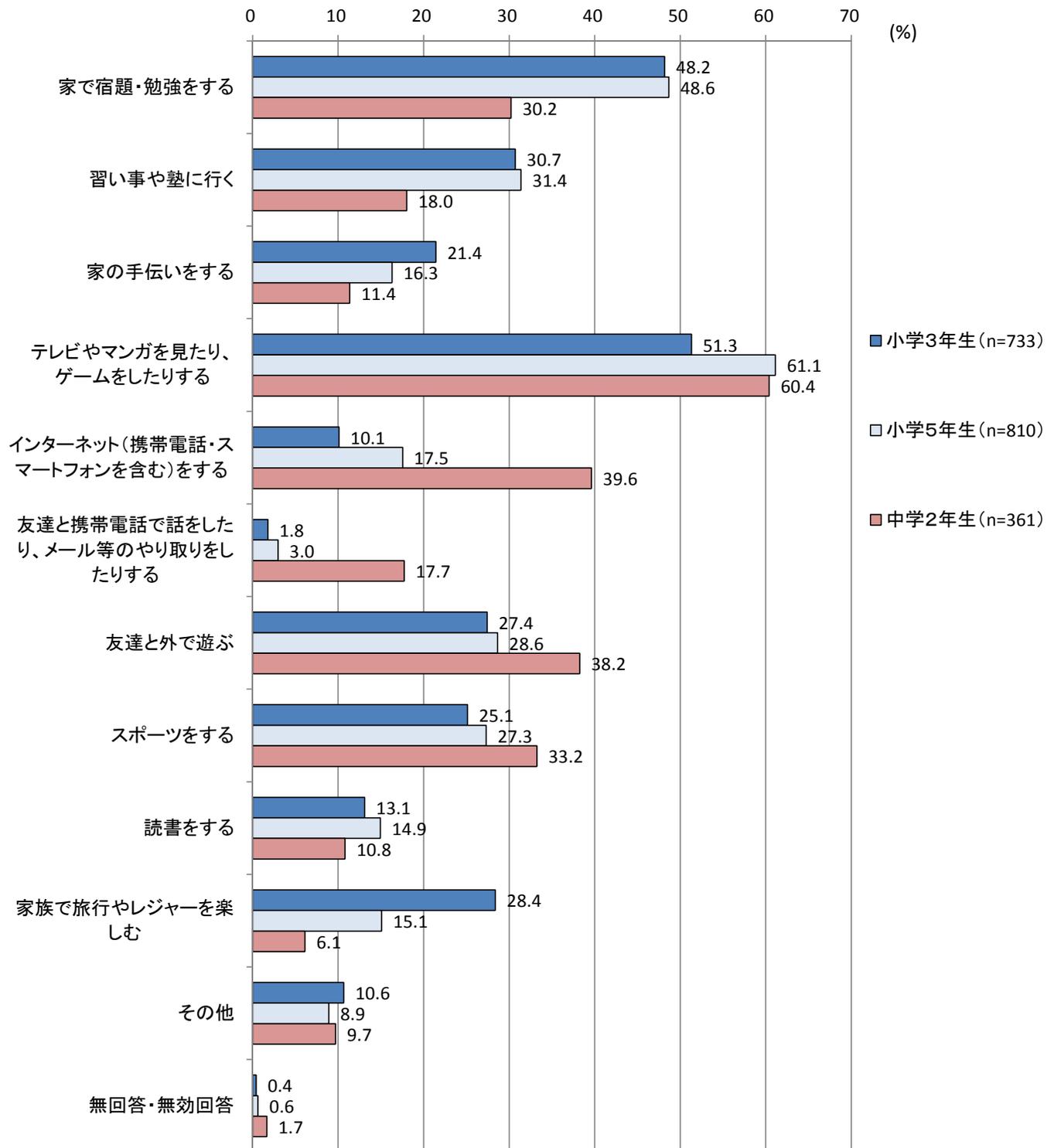
「友達と外で遊ぶ」は小学生に、「インターネットをする」は中学生において、回答率が高い。



その他の回答には「ペットと遊ぶ」などペットとのふれあい、「ピアノ」などの習い事、「家族との会話」、「兄弟と遊ぶ」など家族で過ごすこと、「絵をかく」などの趣味、「友達と宿題をする」など友人と過ごすこと、「寝る」など休養をとることが多かった。

**問12 あなたは、土曜日や日曜日など学校の休みの日には、どういことに使う時間が多いですか。
(複数回答3つまで)**

全学年とも「テレビやマンガを見たりゲームをする」が最も多い。2番目に小学生では「家で宿題・勉強をする」が、中学2年生では「インターネットをする」が続いている。問11(平日の過ごし方)とかわって、中学2年生で「友達と外で遊ぶ」「スポーツをする」が多く回答を集めている。「家族とレジャーや旅行を楽しむ」では低学年ほど多く、中学2年生では回答が少なく、親と行動をともにしなくなるようだ。

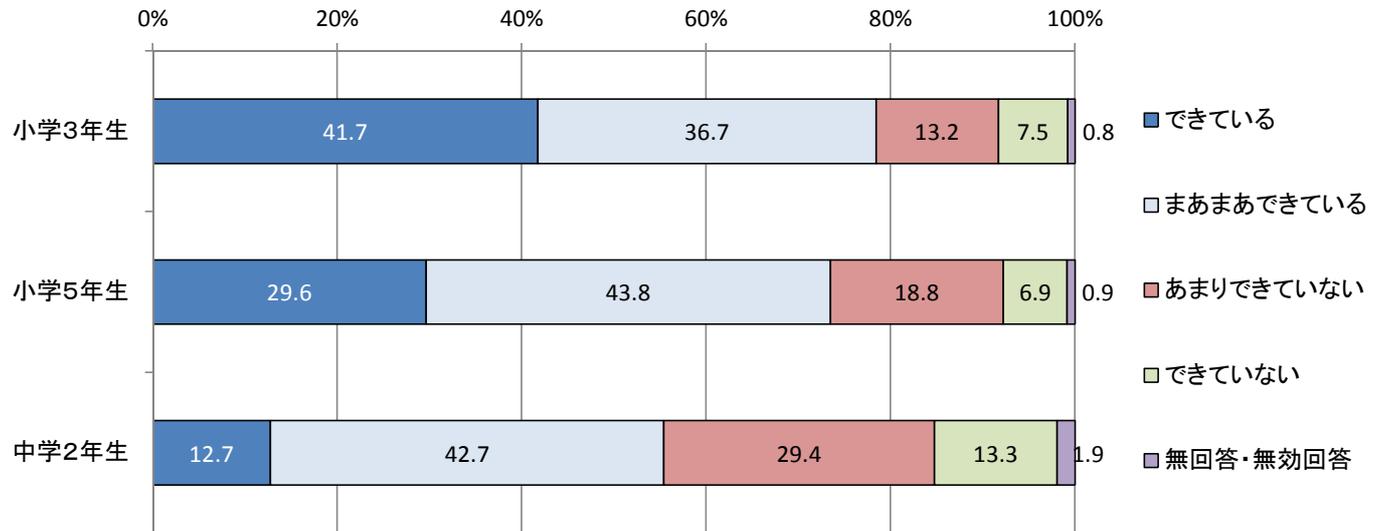


その他の回答は「おじいちゃんの家、おばあちゃんの家」などの祖父母との交流、「弟といっしょに遊ぶ。」などの兄弟の世話、「買い物をしたりする」など外出する、「習い事」、「絵をかく」などの趣味の時間、「寝る」などの休養、があった。

問13 あなたは、夏休みなどの長期休業期間中は、計画を立てて過ごすことができますか。

「できている」という回答が小学3年生で41.7%、小学5年生で29.6%、中学2年生で12.7%と減少し、「あまりできてない」と「できていない」の合計もそれぞれ20.7%、25.7%、42.7%、と増加している。

学年が上がるにつれ、計画と現実のギャップが大きくなっている様子が見えてくる。



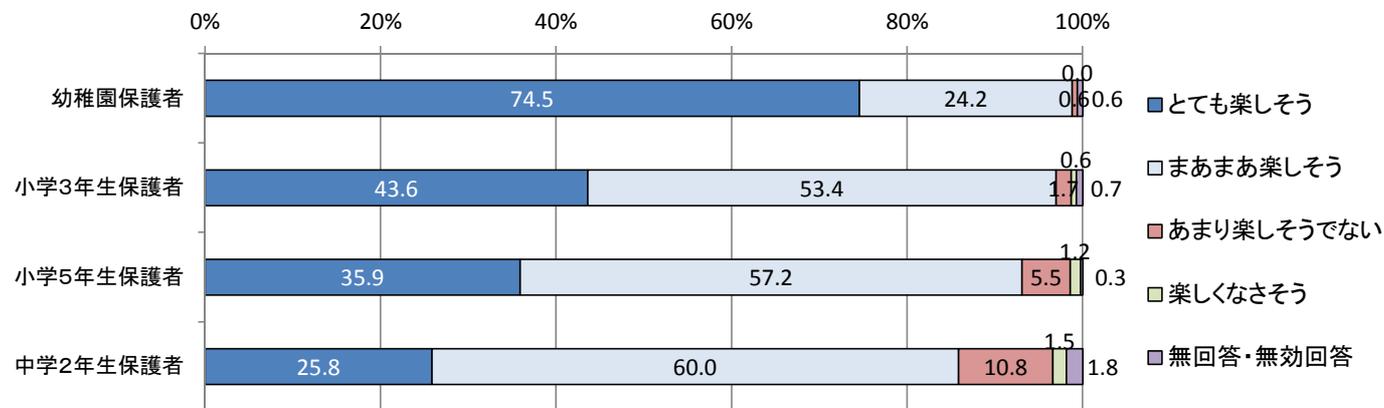
保護者調査

質問項目別調査結果

保護者調査

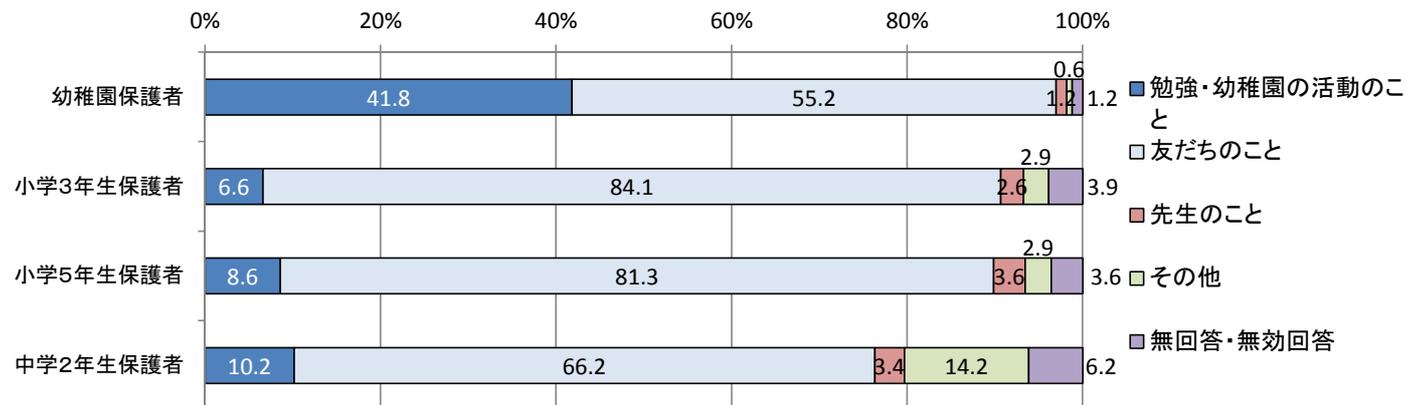
問1 あなたのお子さんは、学校に楽しく通っていますか。

「とても楽しそう」は幼稚園保護者で74.5%を占めるが学年が進むにつれて減少し、中学2年生保護者では25.8%となる。「まあまあ楽しそう」を合わせた数では幼稚園保護者 98.7%、小学3年生保護者 97.0%、小学5年生保護者 93.1%、中学2年生保護者 85.8%であり小学校までは9割を超える保護者が楽しそうに通っていると考えている。学年に進むにつれて様々な悩みが現れてくると思われる。



問1-1 その理由は、何だと思いますか。

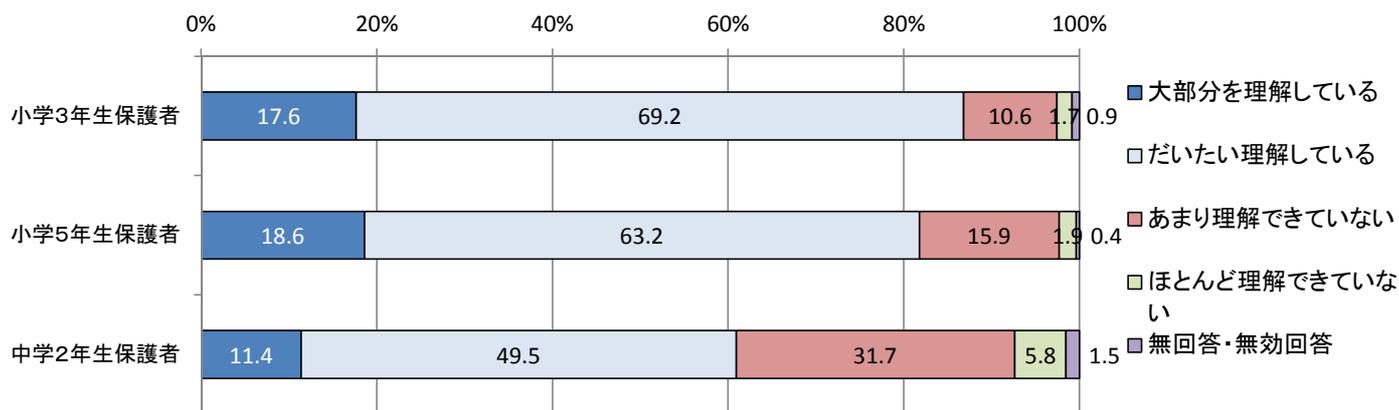
幼稚園保護者の41.8%が「幼稚園の活動」と回答している。幼稚園では活動自体を園児が楽しみにしている。「勉強」と答えた保護者は小学3年生保護者で6.6%、小学5年生保護者で8.6%、中学2年生保護者で10.2%と増えており、問1での「あまり楽しそうでない」「楽しそうでない」と答える保護者の増加と軌を一にしている。小学校、中学校の児童生徒は「友だちのこと」と答える保護者が多い。中学校で増える「その他」は部活動を指している保護者が多い。



その他の内容は「部活動」が最も多い。ほかには「クラスの雰囲気」などの風紀のこと、「給食を食べられない、食べるのが遅い」といった給食のことが見られた。「飼育動物が好き」、「委員会活動」などもあった。

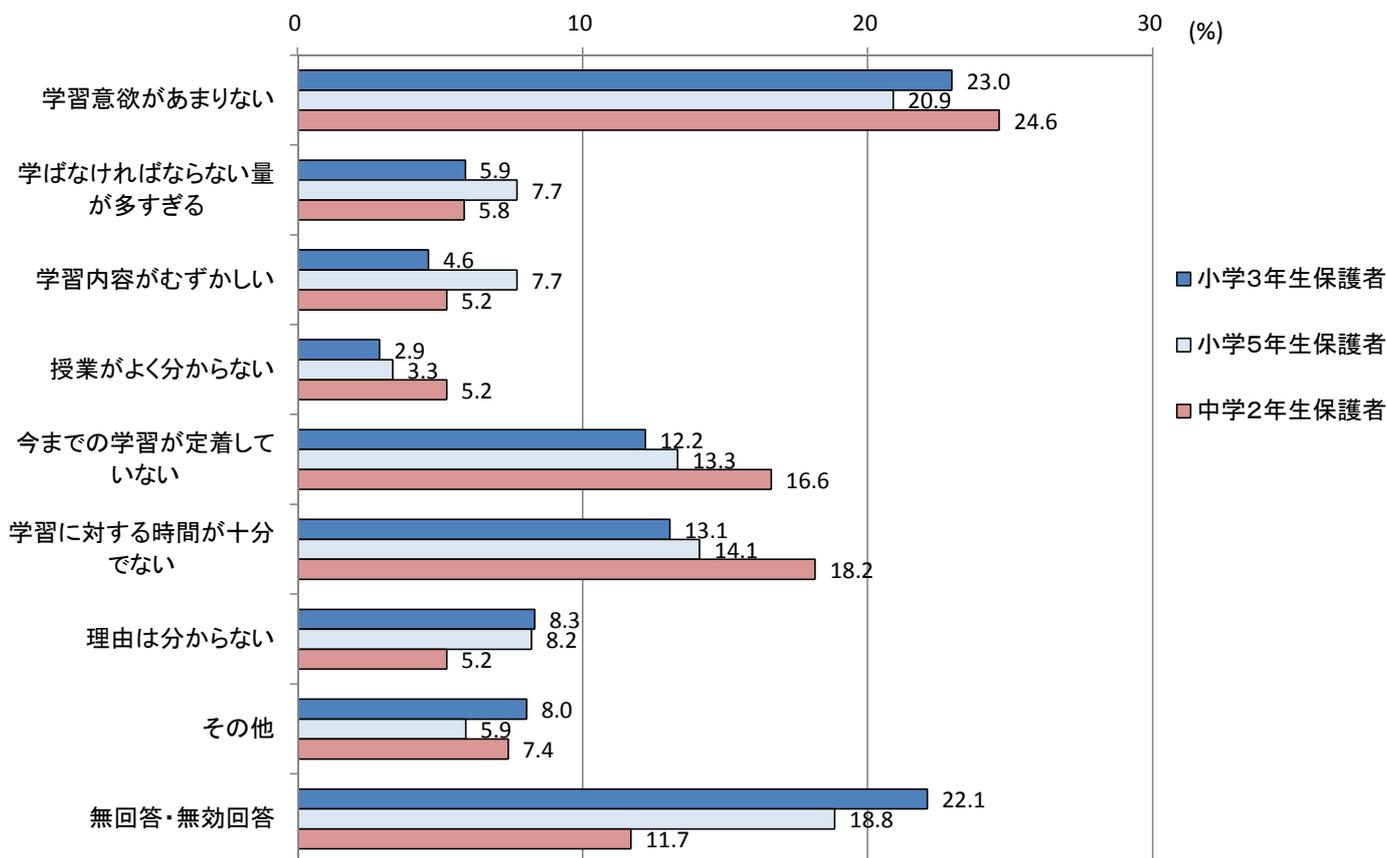
問2 あなたのお子さんは、学習内容をどのくらい理解していると思いますか。

「大部分を理解している」と「だいたい理解している」を合わせた率は小学3年生保護者で86.8%、小学5年生保護者で81.8%、中学2年生保護者で60.9%と減少している。学年が上がるにつれて子どもが理解できていると感じる保護者の割合が減ってきている。



問2-1 理解が十分でない理由は何だと思えますか。

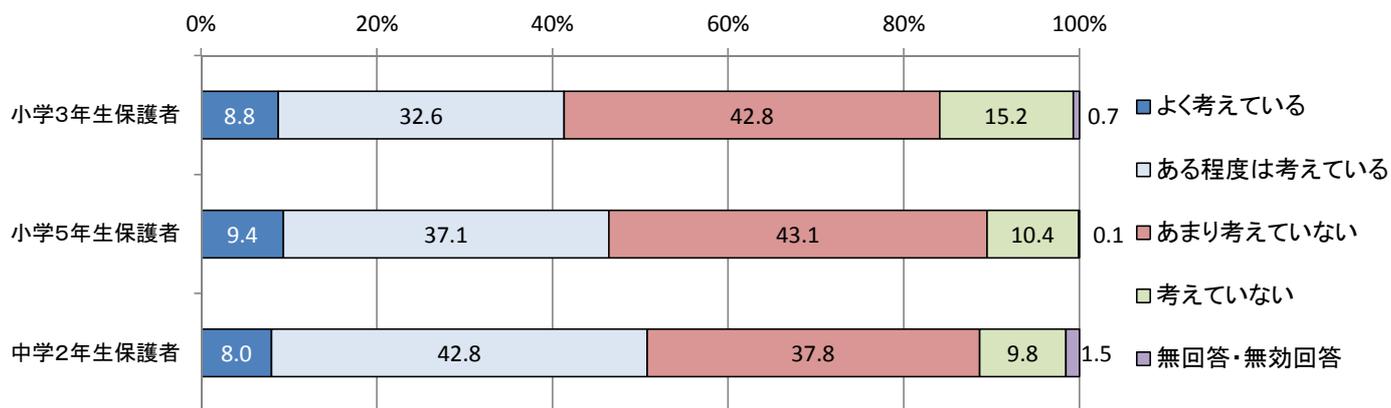
小学5年生の保護者に、「学ばなければならない量が多すぎる」「学習内容が難しい」と答える率が高い。「学習に対する時間が十分でない」と答える保護者が中学2年生で多いのは、部活動などで子どもが忙しいと感じているからと思われる。



その他の回答として、「真剣さや集中力が十分でない」など集中力に、「先生の説明が少ないらしい」など教員に、「授業中、周りの私語がうるさい」など環境に、「記憶力・理解力が少ない」など本人の能力に、「先生と合わない」と嫌いになる」など先生との相性に、「親が子どもの勉強をあまりみてあげられない」など親に原因があると感じている。

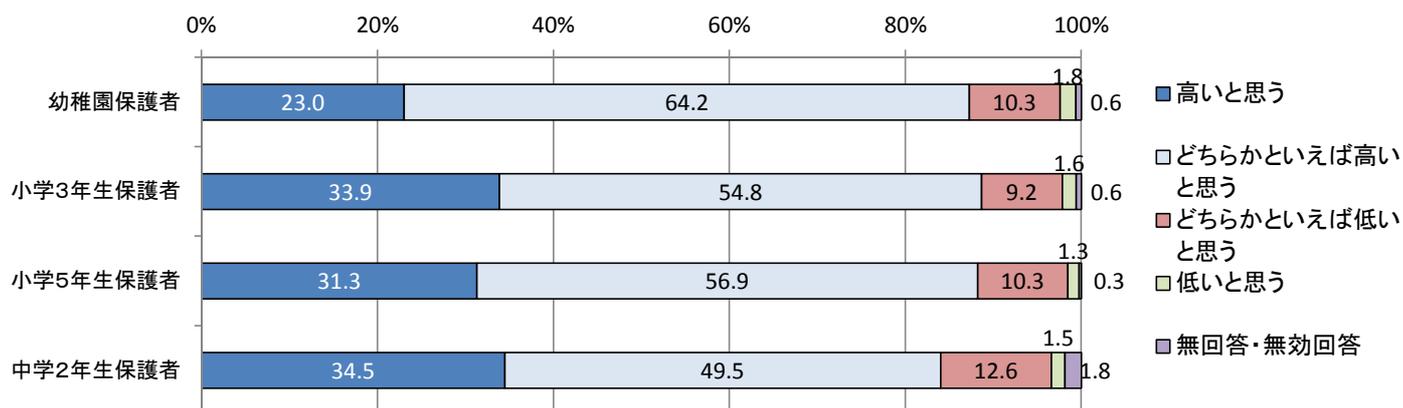
問3 あなたは、お子さんが、将来の職業について考えていると思いますか。

「よく考えている」と「ある程度は考えている」を合わせた率が、小学3年生保護者で41.4%、小学5年生保護者で46.5%、中学2年生保護者で50.8% となっている。学年が進むに従い、将来の職業について意識する様子が見られる。



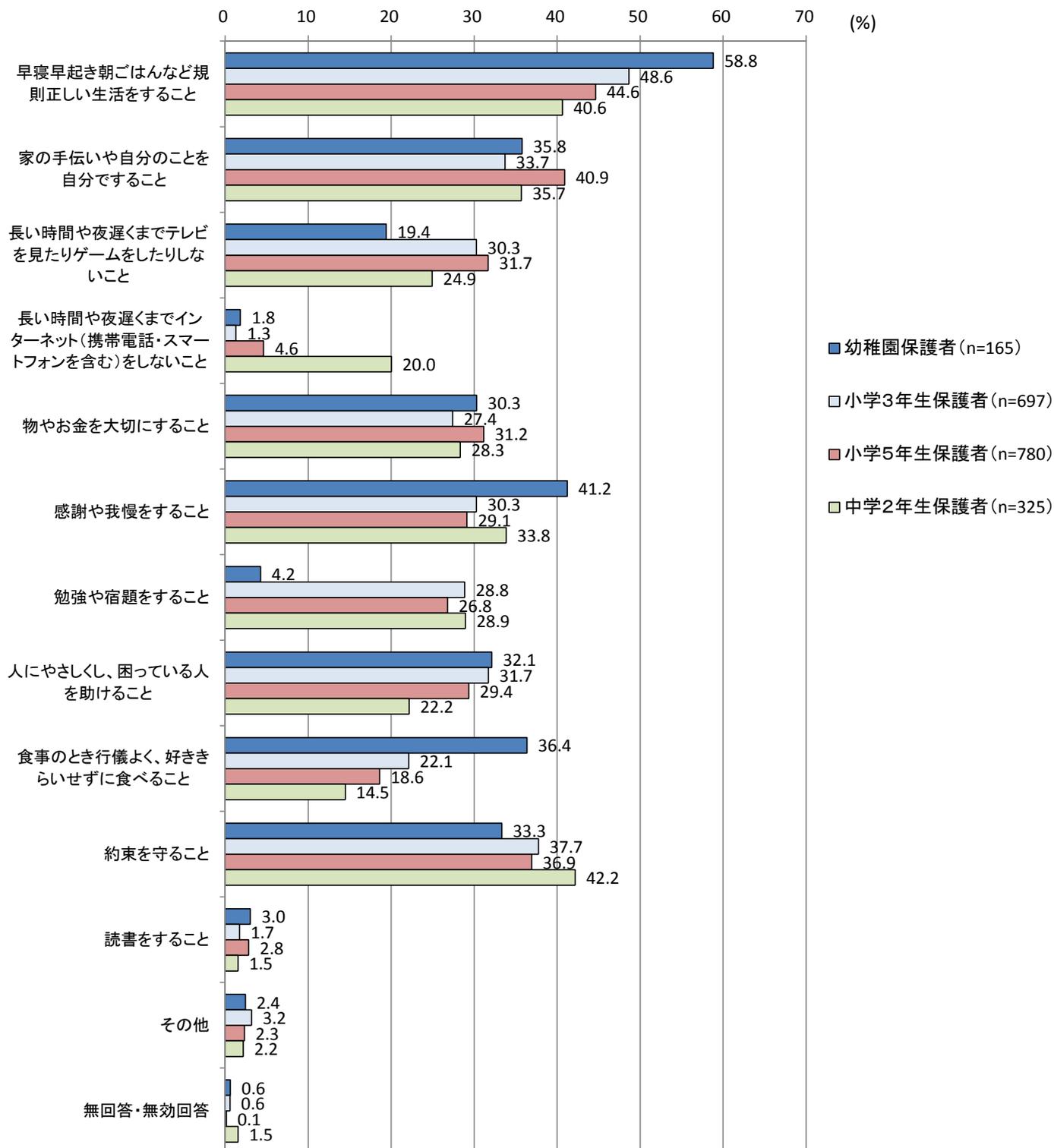
問4 あなたのお子さんは、規範意識(学校のきまりを守る、モラルを持つなど)が高いと思いますか。

幼稚園では「高いと思う」が23%と少ないが、「どちらかといえば高いと思う」を合わせた率はすべての学年で80%を超えている。



問5 あなたが、家庭でお子さんによく指導することは何ですか。(複数回答3つまで)

幼稚園保護者は「早寝早起き朝ごはんなど規則正しい生活をする」、「感謝や我慢をする」、「食事のときに行儀よく」などの生活習慣・礼儀・道徳をよく指導している。中学2年生保護者では「長時間インターネットをしない」が20%と、スマホ・PC利用が進んでいることをうかがわせる。「家の手伝い・自分の事は自分でする」、「物やお金を大切にすること」、「約束を守る」などは全学年で指導されている。



その他の回答として、「あいさつをすること」、「うそをつかないこと」、「人に迷惑をかけない」、「自分が人にされて嫌なことは、人にしない。」などが多かった。

「姿勢をよくすること」、「スポーツをしているので、努力をすること。」などの回答もあった

問6 あなたは、お子さんと家庭であいさつをしますか。

「よくする」と「ときどきする」の計が全学年で90%を超えている。「あまりしない」「しない」の計は、幼稚園保護者で1.2%、小学3年生保護者で2.3%、小学5年生保護者で4.5%、中学2年生保護者で6.1%と若干ではあるが増加している。

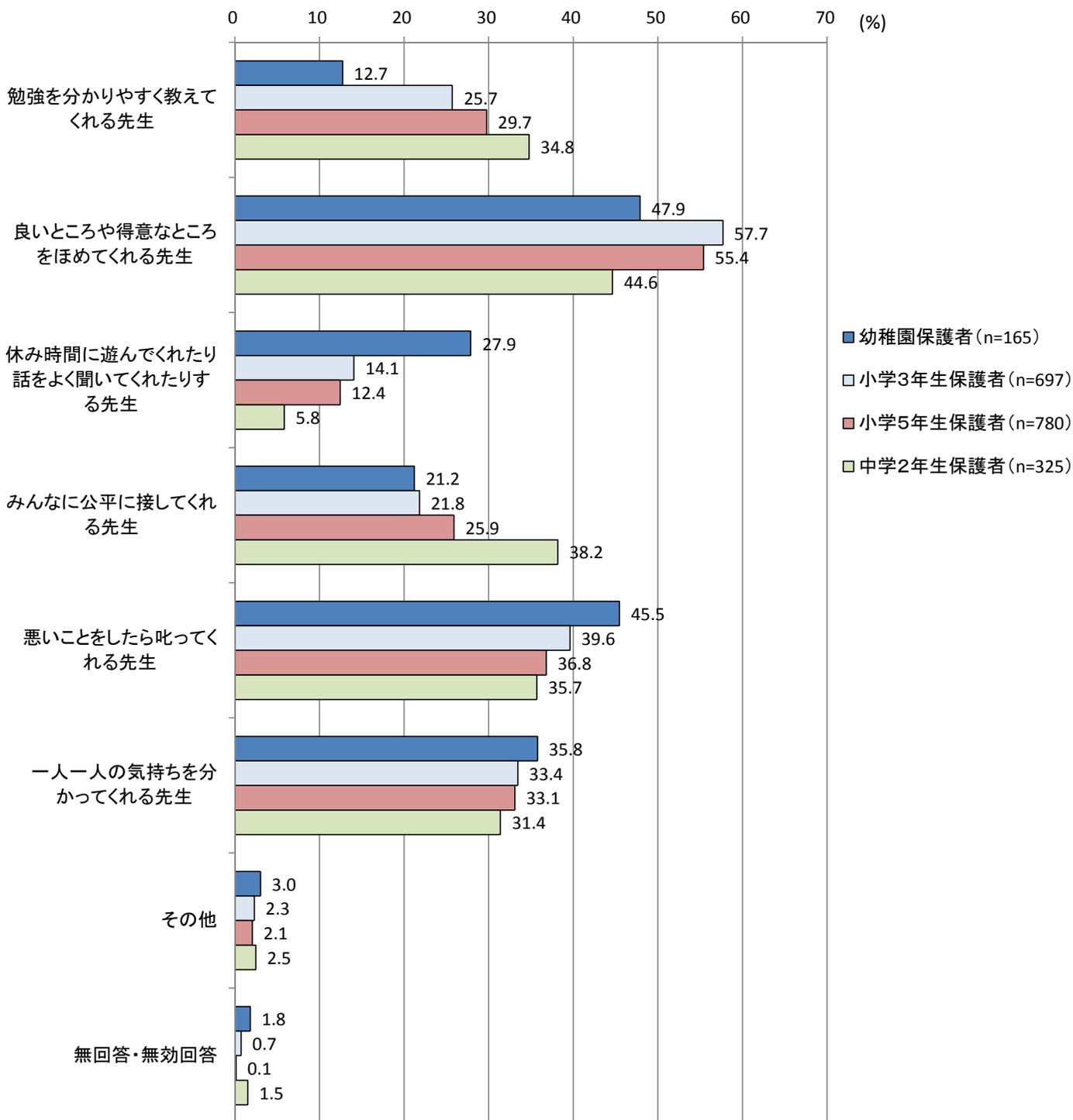
子どもの成長に伴い、あいさつすることに消極的な保護者も増えている。



問7 あなたは、どのような先生が望ましいと思いますか。(複数回答2つまで)

全学年で「良いところや得意なところをほめてくれる先生」が最も選択された回答である。「休み時間に遊んでくれる先生」、「悪いことをしたら叱ってくれる先生」、「一人一人の気持ちを分かってくれる先生」が学年が上がるにつれて減少し、「勉強を分かりやすく教えてくれる先生」「みんなに公平に接してくれる先生」は学年が上がるにつれて増加している。

保護者の教員への期待が「子どもと寄り添う事柄」から「子どもを律する事柄」に、成長段階によって変わっていくようだ。



その他の回答として「子どもの長所を見つけて、伸ばしてくれる」など子どもへの理解のある先生、「人として尊敬できる先生」、「授業、学校行事など子どもに対する気持ちがいつも熱心な先生」、「厳しさの中に愛情のある先生」など、尊敬で熱心に愛情のある教育ができる先生が望まれている。ほかに「学校や教育委員会等大人の都合を押しつけない先生」、「道徳を教えてくれる先生」、「見捨てない先生」など。

問8 あなたは、あなたのお子さんが今の学年になって、学校の行事などに参加したことがありますか。

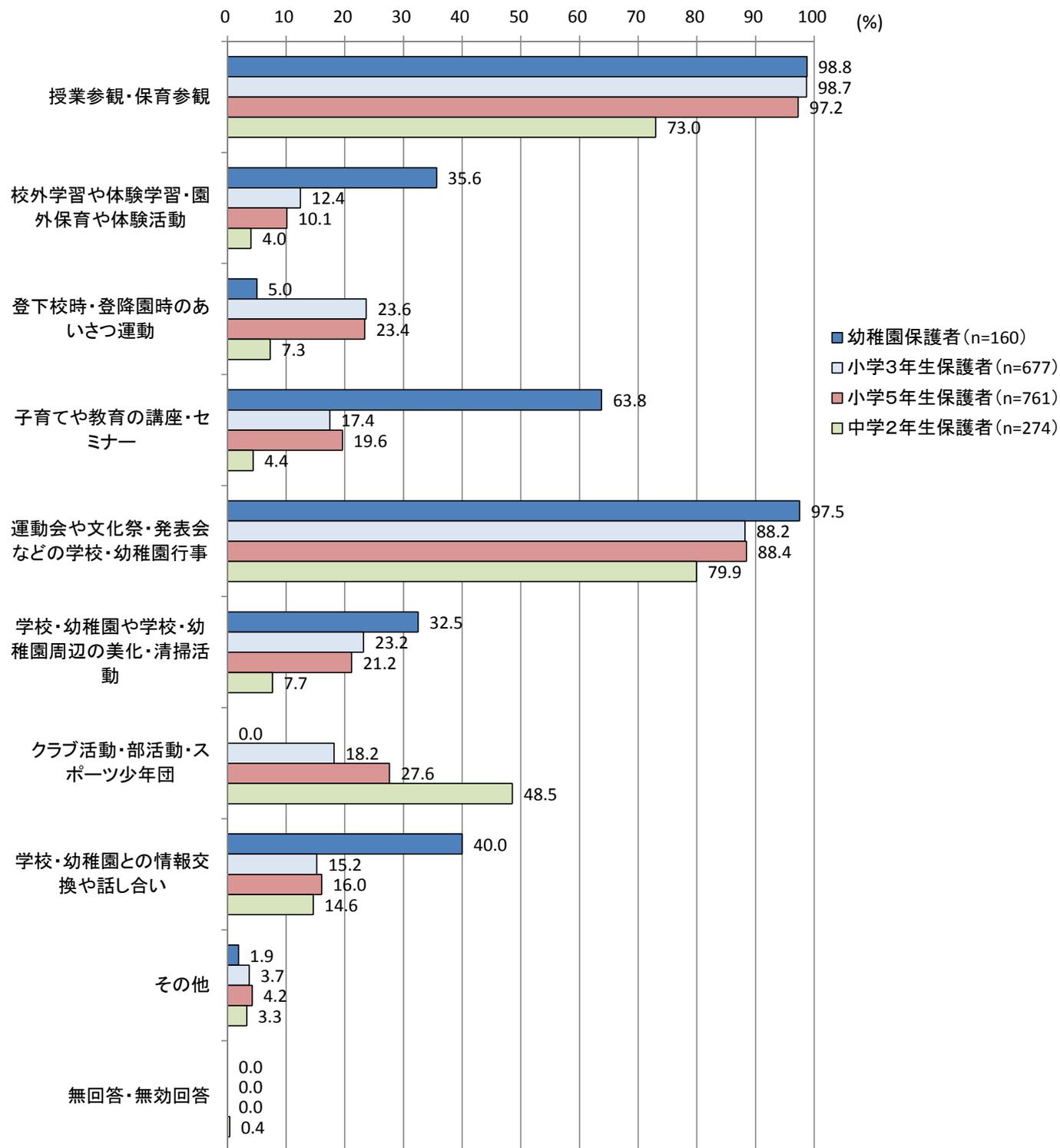
幼稚園、小学3年生、小学5年生までの保護者は「ある」が97%を超えている。中学2年生の保護者は84.3%と減っている。

中学生になると学校行事への参加しない保護者も出てくる。



問8-1 「1.ある」を選んだ人にお聞きします。それはどんなことですか。(複数回答制限なし)

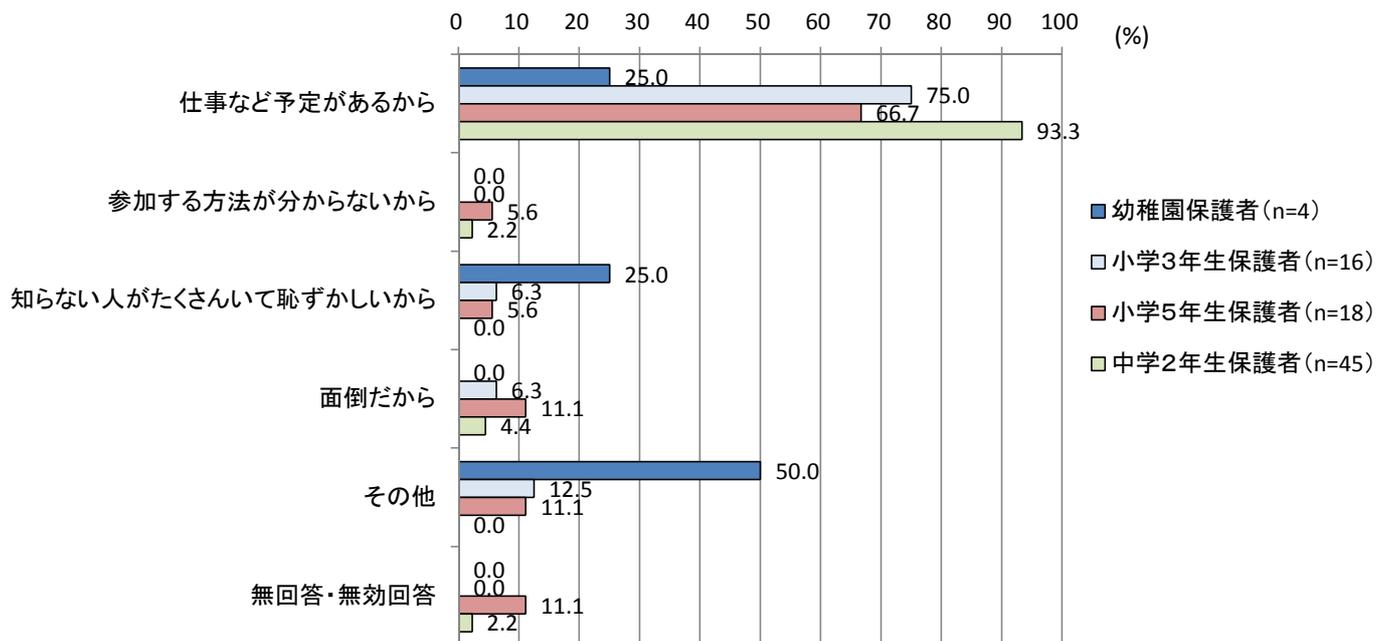
全学年ごとに回答全体を合計したところ、幼稚園保護者が375%、小学3年生保護者が300.6%、小学5年生保護者が307.8%、中学2年生保護者が243.1%、と幼稚園保護者は各行事への参加が多く、中学2年生保護者は参加経験が少ない。各項目を見れば「クラブ活動・部活動・スポーツ少年団」で中学2年生保護者が最多の率(48.5%)、「登下校(園)時のあいさつ運動」が小学校3年生保護者で最多であるのを除いて、他の項目はすべて幼稚園保護者の参加率が最多となっている。



その他の回答として「PTA活動」、「旗当番(交通安全)」、「学校内のボランティア活動」、などが多く、「音楽会・コーラス会」「祭り」などの回答もあった。

問8-2 「2.ない」を選んだ人にお聞きします。理由は何ですか。

幼稚園保護者を除いて、各学年とも「仕事など予定があるから」が最も多い理由となっている。

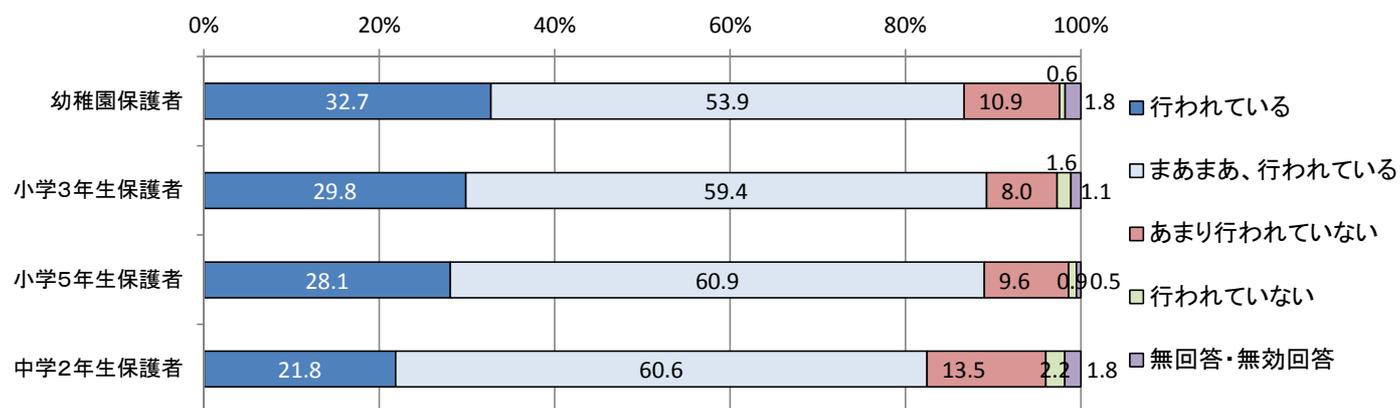


その他の回答は「下の子がいるから」「引っ越してきたばかりで」「余裕がない」「体調不良のため」などがあつた。

問9 あなたは、学校・園の運営方針などの情報提供が、積極的に行われていると思いますか。

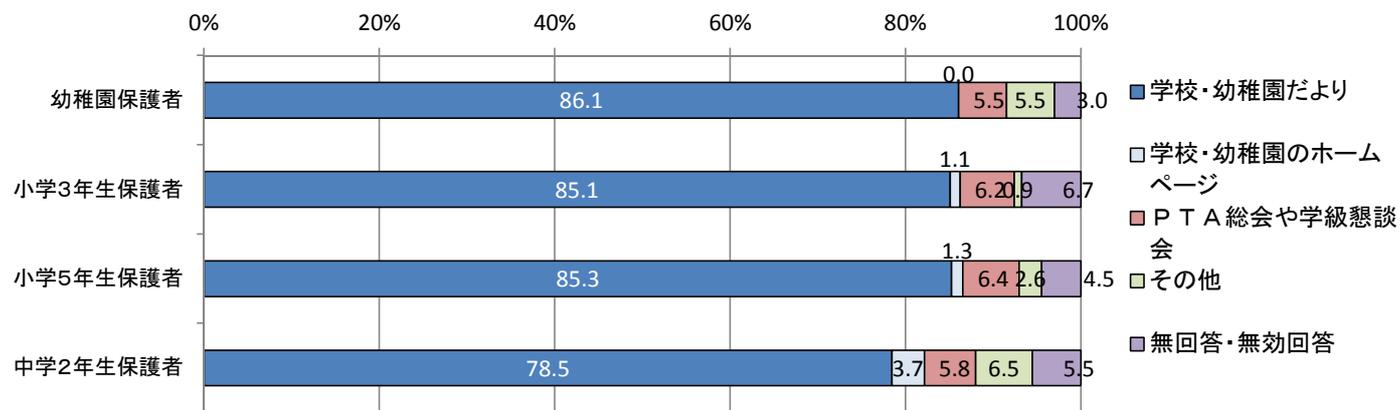
「行われている」と「まあまあ、行われている」の合計は各学年保護者で80%を超えている。

「行われている」が、幼稚園保護者で32.7%、小学3年生保護者で29.8%、小学5年生保護者で28.1%、中学2年生保護者で21.8%、と高学年保護者になるほど減少している。



問10 あなたは、学校・幼稚園からの情報を、主にどのような方法で得ていますか。

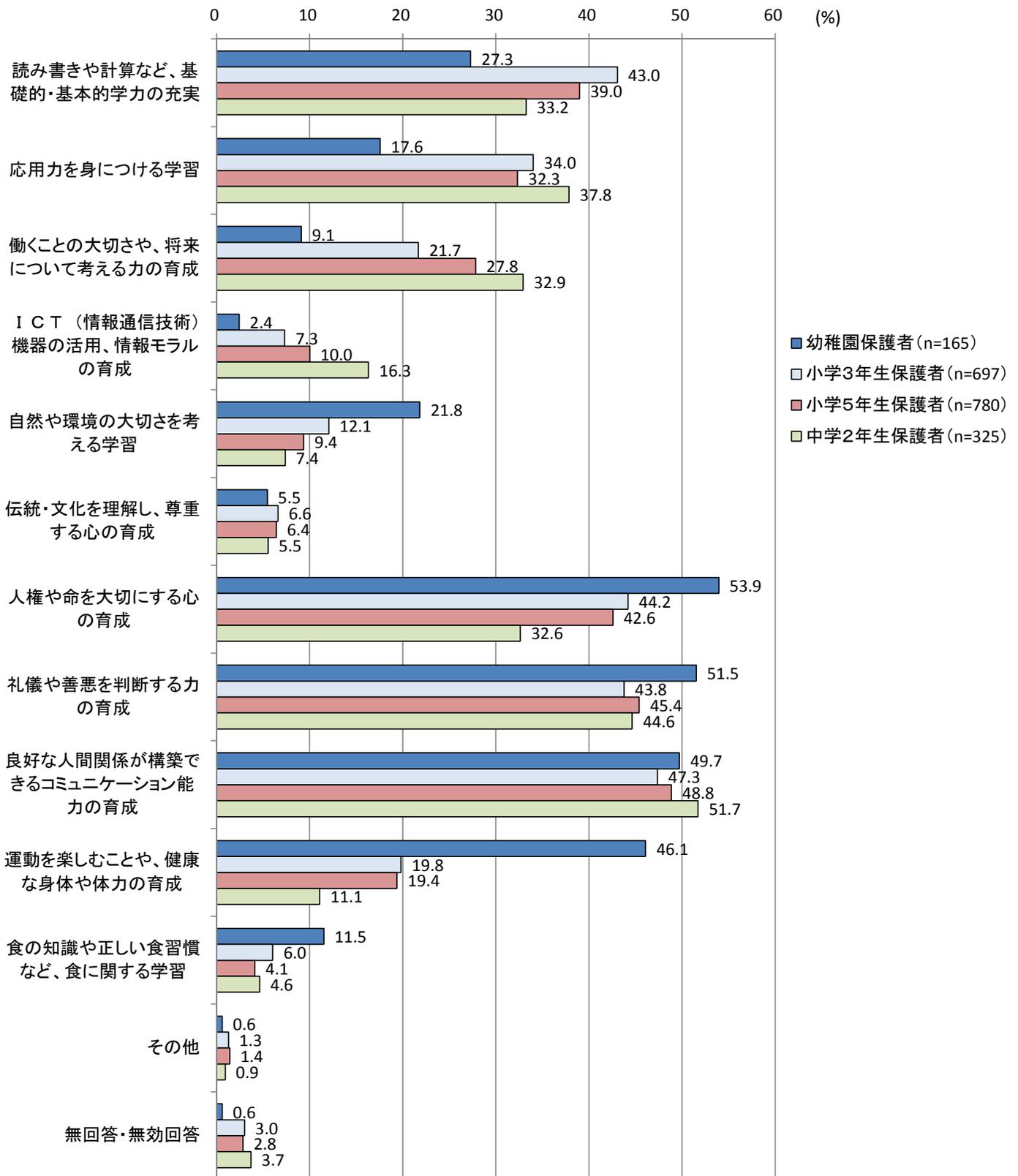
「学校・幼稚園だより」が幼稚園保護者で86.1%、小学3年生保護者で85.1%、小学5年生保護者で85.3%、中学2年生保護者で78.5%と大多数を占める。数は少ないが中学2年生保護者では「学校のホームページ」と答えている(3.7%)



その他の回答には「同級生の親から」、「友人」、「メール」、が多く「PTA活動」、「教師」などもあった。

問11 あなたは、今後、どのような教育活動に力を入れる必要があると思いますか。(複数回答3つまで)

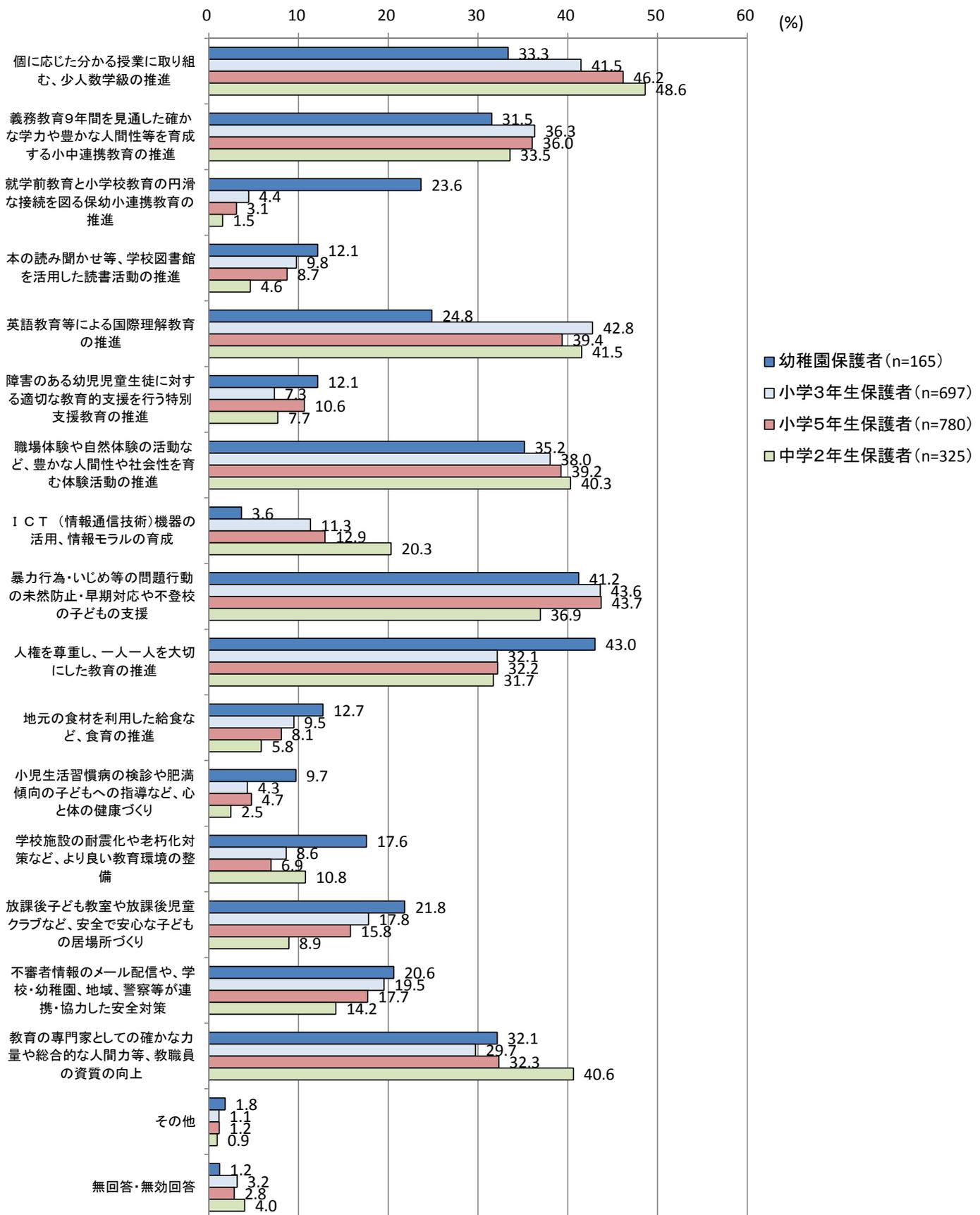
幼稚園保護者では「基礎的学力」「応用力」といった学習活動、「働くことの大切さ等を考える力」などは少なく、「自然等の大切さを考える学習」「人権等を大切に作る心」「礼儀や善悪を判断する力」「コミュニケーション能力の育成」などが多い。特に「運動を楽しむことや体力の育成」「食に関する学習」には小中学校保護者の倍以上の関心を寄せている。中学2年生保護者では「ICT機器の活用」、「働くことの大切さ等を考える力」が他の学年に比べて多くなっている。この2項目は学年が上がるにつれて回答率も増えている。小学生保護者については「応用力」より「基礎的学力」が高く、中学生保護者と逆である。



その他の回答については「国際交流、英語(英会話)」、「長所を伸ばす」、「正しい歴史教育」、「誇りを持てる教育」、「自分の意見をまとめる力をつける」、「強く生きる力をつける」、「子どもがみずから考えて動く力をつける」、「自分の考えを述べる能力を伸ばす」、「自主性を育てる」、「あいさつ」などがあつた

問12 教育に関する主な施策のうち、あなたが特に期待するものはどれですか。(複数回答4つまで)

「少人数学級」「小中連携」「英語教育・国際理解教育」「職場体験等の体験活動」、「暴力行為・いじめ・不登校対策」「人権を尊重し一人一人を大切にした教育」「教職員の資質向上」が高率で選択されている。その中でも「少人数学級」「職場体験等の体験活動」は学年が上がれば率も増加している。さらに「教職員の資質向上」は中学2年生保護者で率が高い。一方、「人権を尊重し一人一人を大切にした教育」は幼稚園保護者で特に高率になっている。「小中連携」は小学校保護者が、「保幼小連携」では幼稚園保護者の選択が多い。



その他の回答としては「想像力、創造力を培う活動の推進」「道徳教育」「土曜日授業の実施」「補習クラス」「放課後の校庭開放」「とびぬけてできる子をもっと伸ばせるような環境」などがあつた。

問13

最後に、日ごろ学校・幼稚園教育や家庭・地域の教育力等について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

保護者の回答者1967名のうち471名の方から御意見をいただいた。一人の方から複数の意見をいただくこともあり、件数は471を超えている。回答の傾向ごとに集計して一覧に作成した。

意見内容		回答件数
小・中学校	授業・教育内容への要望に関する事	36
	土曜教育・補習に関する事	20
	学習指導に関する事	17
	小・中学校への要望に関する事	15
	少人数教育に関する事	14
	行事に関する事	14
	PTAに関する事	14
	施設の要望に関する事	10
	教育環境に関する事	9
	いじめの問題に関する事	7
	子どものトラブルに関する事	7
	情報公開に関する事	6
	学校の負担に関する事	5
	給食に関する事	5
	児童クラブに関する事	5
	教員と児童の交流に関する事	4
	部活動に関する事	3
	体罰に関する事	2
小中連携に関する事	2	
学校地域連携に関する事	2	
幼稚園	園での教育に対する要望・意見に関する事	10
	体制に関する事	6
	園への評価に関する事	4
	コミュニケーションに関する事	4
	施設に関する事	2
	園と地域の連携に関する事	2
	行事に関する事	1
	幼児のトラブルに関する事	1
教員	教員への評価に関する事	37
	教員の教育に対する姿勢に関する事	24
	資質向上に関する事	21
	負担に関する事	14
	教員の個人差に関する事	9
	生徒指導に関する事	6
	授業に関する事	4
	子どもへの評価に関する事	2
	休み時間に関する事	2
	教員連携に関する事	2

意見内容		回答件数
子ども	行動・モラルに関すること	8
	あいさつ・身なりに関すること	6
	学習への不安に関すること	6
	子どもへの希望に関すること	6
	負担に関すること	4
	遊びに関すること	4
	スマートフォンに関すること	2
家庭	保護者に問題に関すること	10
	教育・指導に関すること	8
	保護者の負担に関すること	7
	家庭のコミュニケーションに関すること	2
地域	地域の見守りへの評価に関すること	16
	地域の大人・環境に問題に関すること	12
	地域の連携への評価に関すること	9
	地域との連携に関すること	9
	登下校の安全に関すること	6
行政	幼稚園・保育所に関すること	10
	校区に関すること	9
	施策への要望に関すること	8
	教員 採用・配置に関すること	6
	教育資源・教科書・教材に関すること	6
	登下校・不審者対策に関すること	6
	その他、行政に関すること	5
	給食に関すること	4
	制服に関すること	3
	教育行政への評価に関すること	2
社会	風潮に関すること	6
	学校家庭地域に関すること	5
	学校家庭連携に関すること	3
	教育に関すること	3
その他	その他に関すること	22

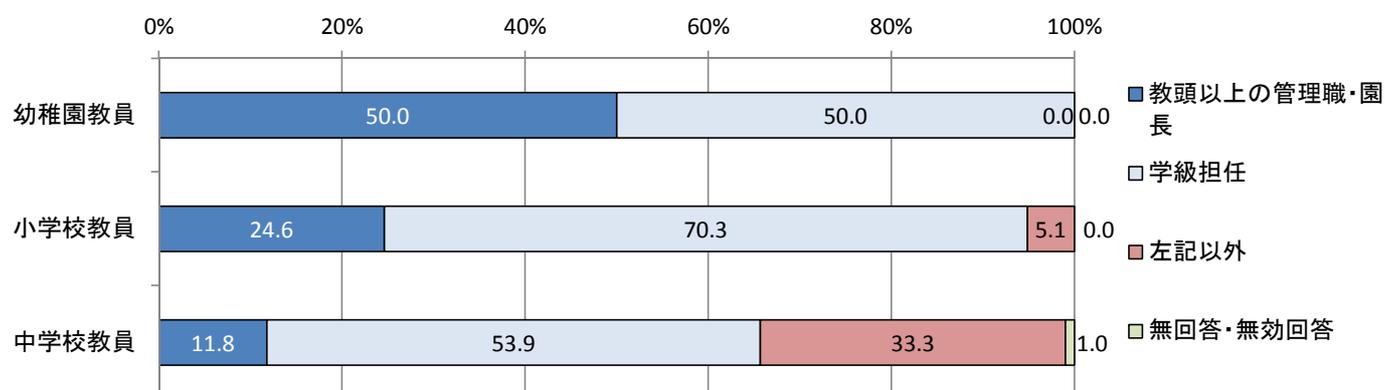
教員調査

質問項目別調査結果

教員調査

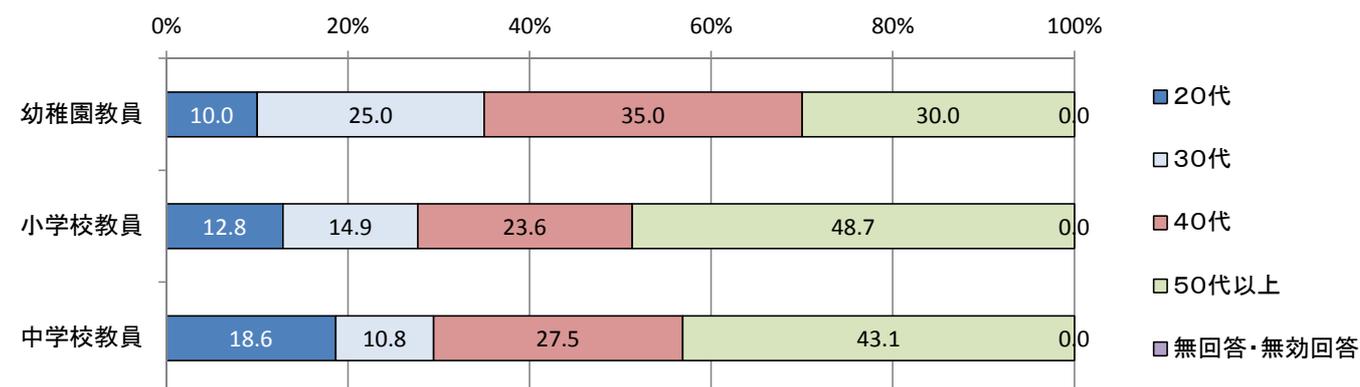
あなたの学校・園での立場を教えてください。

幼稚園教員は「管理職」「学級担任」が半数ずつ。小学校教員は「管理職」が24.6%、「学級担任」が53.9%、「左記以外」が33.3%となっている。



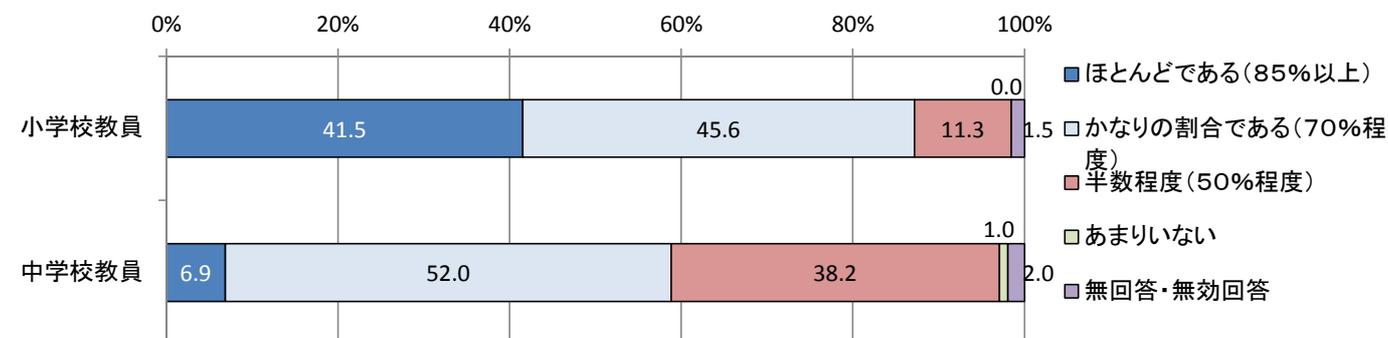
あなたの年齢を教えてください。

「20代」は中学校教員が18.6%多い。小学校教員は50代以上が半数近くを占めている。



問1 あなたの学校を、「楽しい」と感じている児童生徒の割合はどの程度だと思いますか。

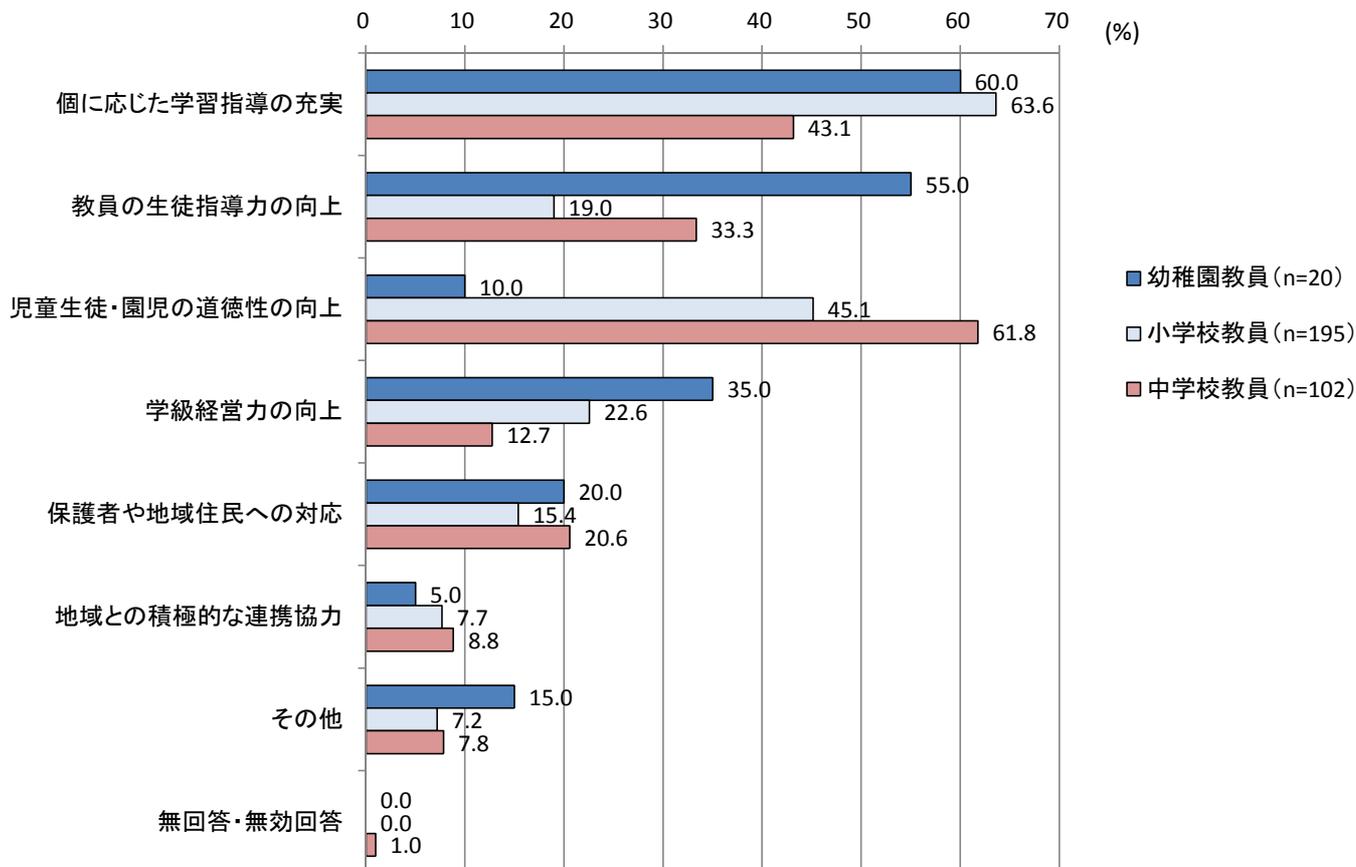
幼稚園教員はアンケート対象外。小学校教員では「ほとんど」は41.5%で「かなりの割合」との合計が87.1%と多く、「あまりいない」は0%であった。中学校教員では「ほとんど」は6.9%と少ない。「あまりいない」も1.0%見られた。



問2 あなたが、あなたの学校・幼稚園の課題と感ずることは何ですか。(複数回答2つまで)

幼稚園教員は「個に応じた学習指導の充実」が60.0%、「教員の生徒指導力の向上」が55.0%、「学級経営力の向上」が35.0%と高い。特に後者2つは小・中学校教員と比べて特に高い。「道徳性の向上」は10%と、小・中学校教員と比べて少ない。

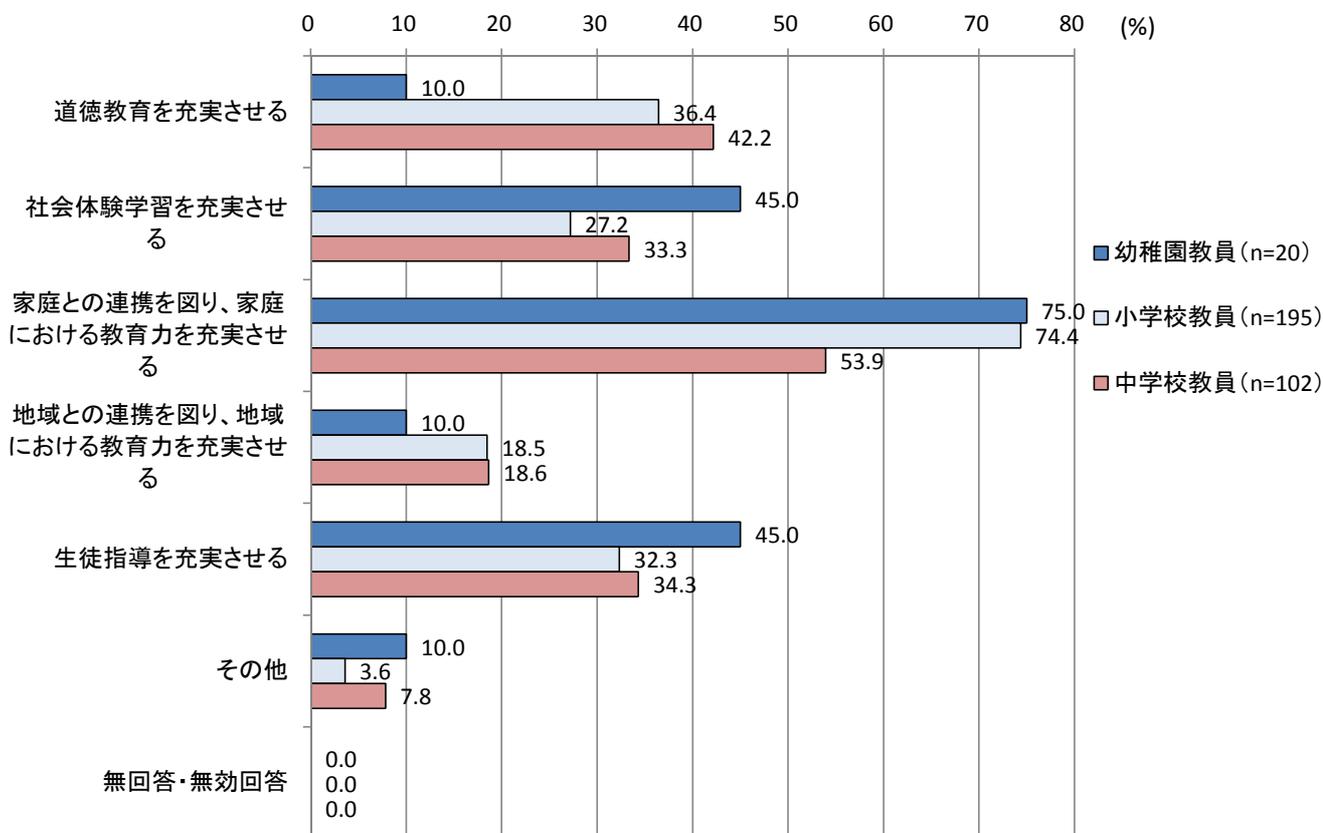
小・中学校教員は「個に応じた学習指導の充実」「児童生徒の道徳性の向上」が高く、前者は小学校教員で、後者は中学校教員で高い。



その他の回答として、「教員が多忙である」「地域・家庭の教育力向上」「保護者の道徳性の向上」「管理職の指導力」「教員間の連携」などに複数の回答があった。ほかに「へき地校としての困難さ」「校内の風紀の悪さ」など。

**問3 あなたは、児童生徒・園児のモラルや規範意識を高めるにはどうしたら良いと思いますか。
(複数回答2つまで)**

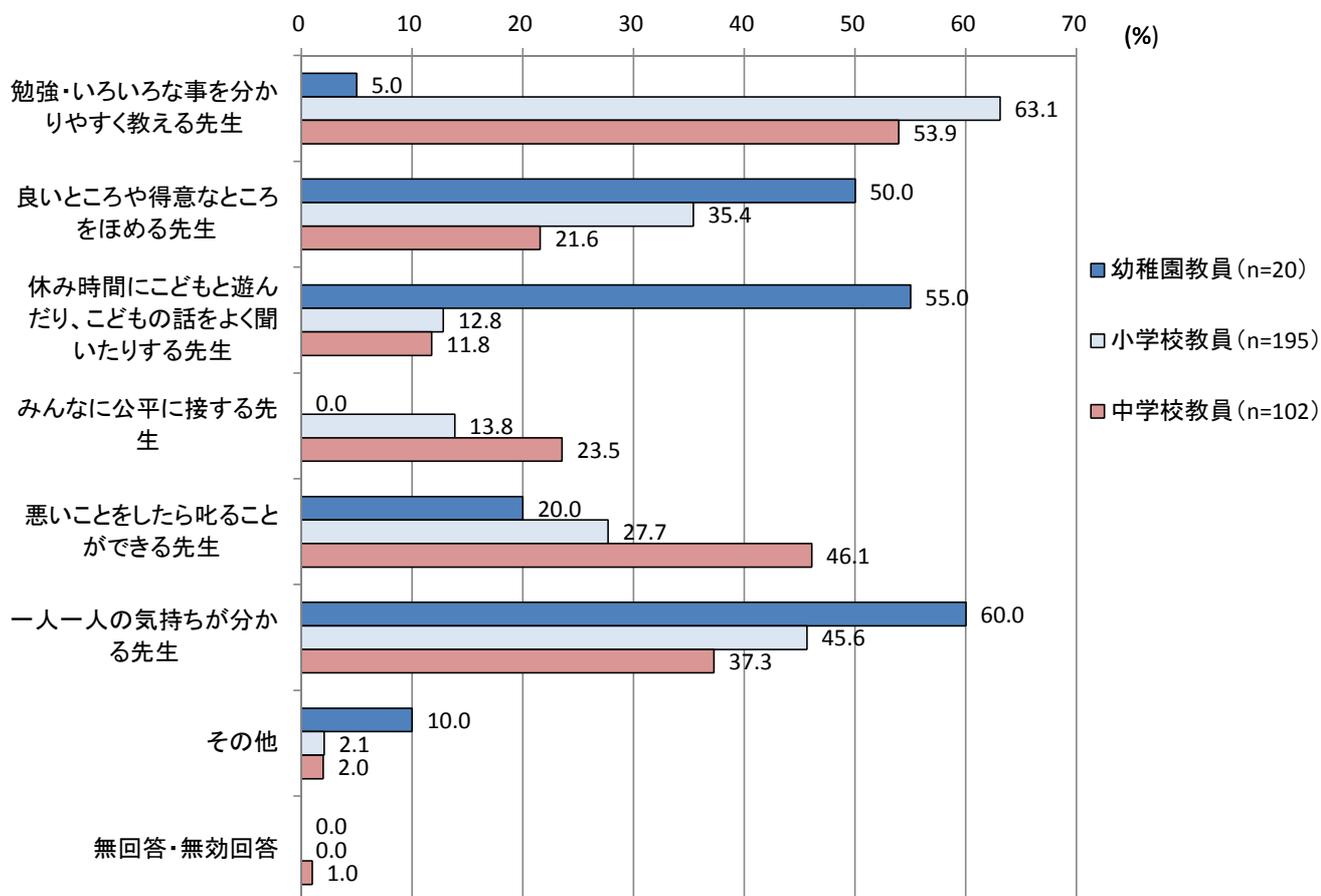
幼稚園・小・中学校教員とも「家庭との連携を図り、家庭における教育力を充実させる。」が最も多い。それに「道徳教育を充実させる」「社会体験学習を充実させる」「生徒指導を充実させる」が続いている。幼稚園教員では「道徳教育」は少ない。小学校教員では「社会体験」が若干少なく、中学校教員では幼稚園・小学校教員に比べて「家庭における教育力を充実」が少ない。子どもの発達段階に応じて有効な処置が、それぞれ違うことから、と思われる。



その他の回答として「自尊感情を高める」、「教員が手本に」、「マスメディアが取り扱う内容を見直す」、「政治、行政が確かな国家観をもつ」、「家庭で、モラルや規範意識を向上させる」、「ゆとりを持った学校経営ができるように」、「親の接し方で大部分が決まる、学校ではいたしかたない」など。

問4 あなたは、どのような先生が求められていると思いますか。(複数回答2つまで)

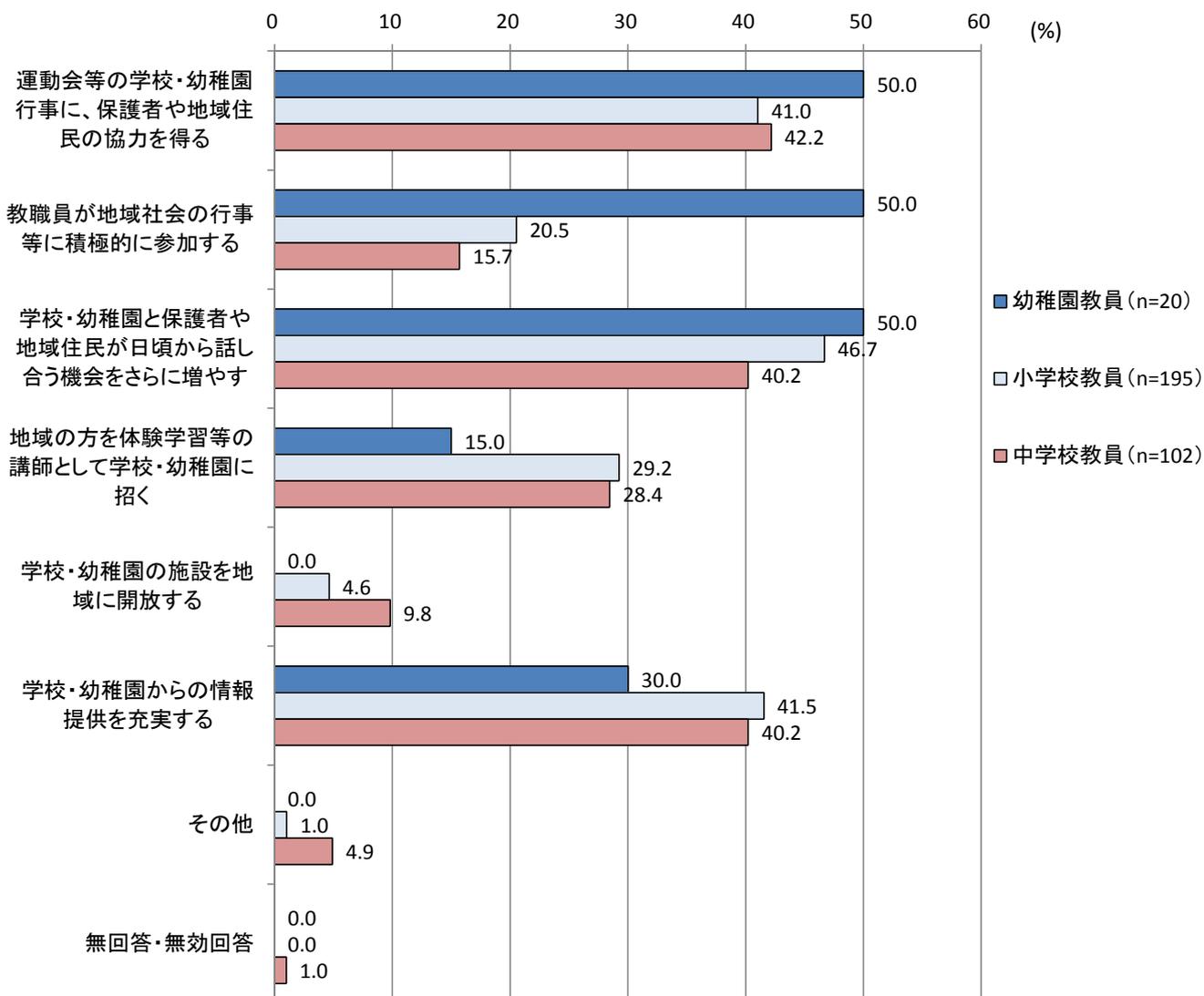
「勉強を分かりやすく教える先生」が小・中学校教員で最も多く、幼稚園教員では「一人一人の気持ちが分かる先生」が最も多い。幼稚園教員が「良いところや得意なところをほめる先生」「休み時間に子どもと遊んだり、話をよく聞いたりする先生」が続いて多数を占めているが、この2項目は小・中学校教員においては回答が少ない。中学校教員では「みんなに公平に接する先生」「悪いことをしたら叱ることができる先生」の回答が多い。



その他の回答として「子どものことをよく理解してくれている先生」、「子どもに必要な力をつける先生」、「楽しい授業ができる先生」、「親との対応力」、「人間力の高い教師、教養のある教師」、「人として大事なことを教えてくれる先生」、「子ども一人一人の良さを伸ばすことのできる先生」などがあつた。

**問5 あなたは、学校・幼稚園と家庭、地域社会が連携協力するのに必要なことは何だと思いますか。
(複数回答2つまで)**

「学校・幼稚園と保護者や地域住民が日頃から話し合う機会をさらに増やす」、「運動会等の学校・幼稚園行事に保護者や地域住民の協力を得る」、「学校・幼稚園からの情報提供を充実する」の3項目が小・中学校教員で多い。幼稚園教員では「運動会等の学校・幼稚園行事に保護者や地域住民の協力を得る」、「教職員が地域社会の行事等に積極的に参加する」、「学校・幼稚園と保護者や地域住民が日頃から話し合う機会をさらに増やす」の3項目が多い。



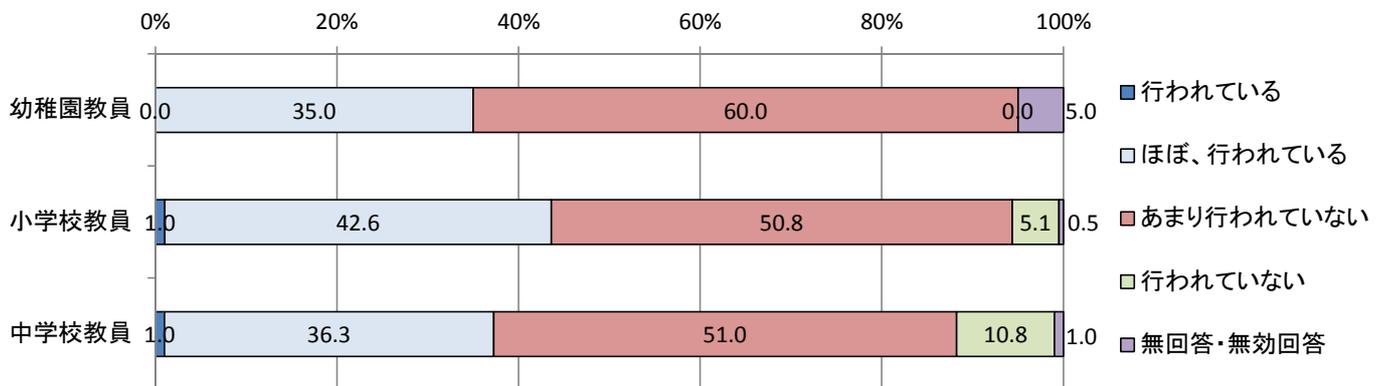
その他の回答には「保護者が学校や地域の活動に関心をもつ」、「根本的な価値観の共有」、「警察の常駐」、「学校の現況を理解してもらう」、「連携する目的を両者が理解する」、「生徒との信頼関係を深める」、「家庭の経済状況の向上」などがあった。

問6 あなたは、生活習慣や礼儀などについて、家庭において期待される教育が行われていると思いますか。

「行われている」は幼稚園教員で0.0%、小・中学校教員で1.0%とわずかである。「ほぼ、行われている」と合わせても幼稚園・中学校教員で40%に達していない。

「行われていない」が小学校教員で5.1%、中学校教員で10.8%である。

教員は家庭での教育について、満足のいくものとは感じていない様子である。

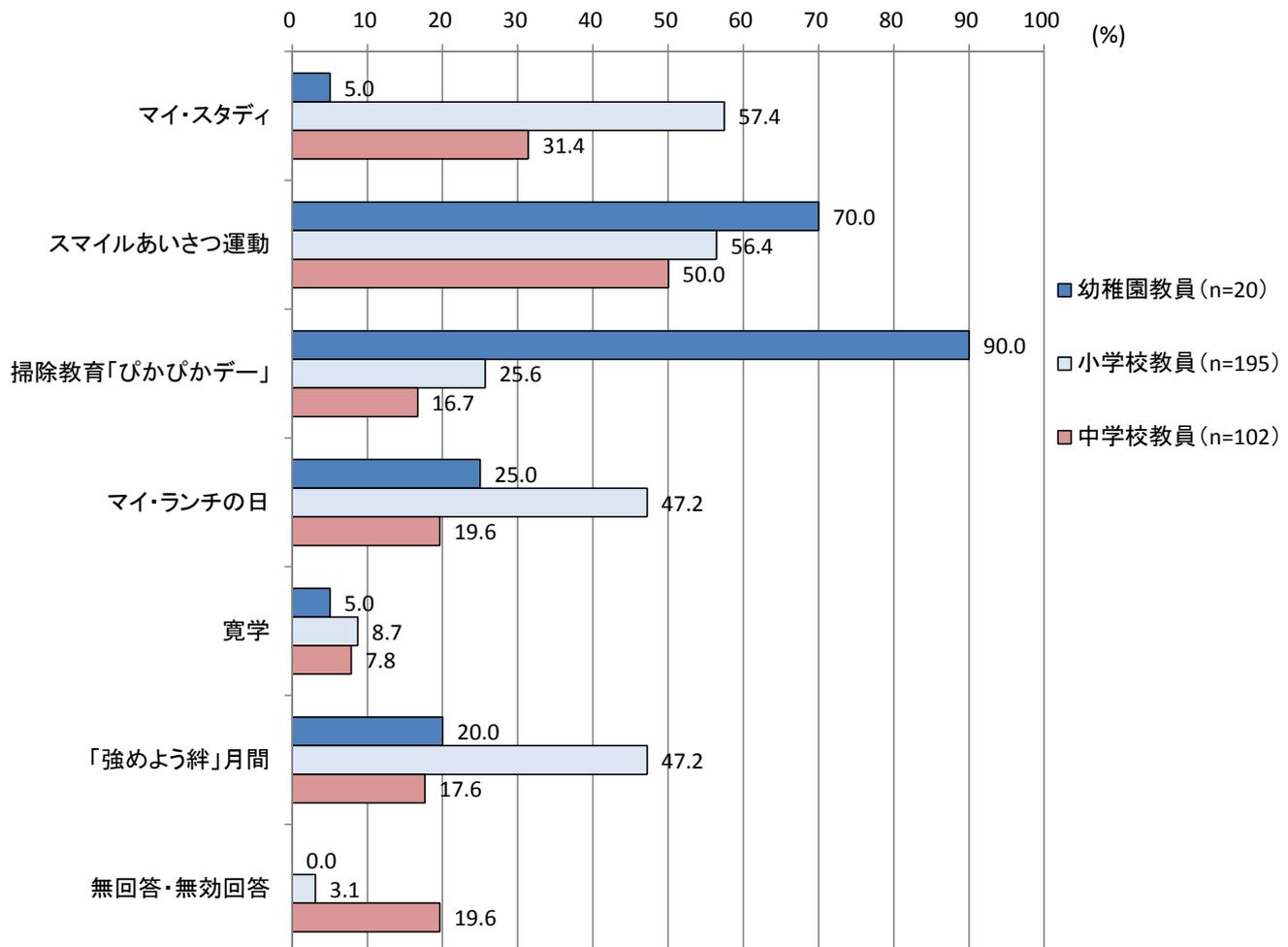


問7 教育指針に掲げている「子どもの成長を願う6つの活動」のうち、教育的効果を上げていると思うものはどれですか。(複数回答制限なし)

全項目の合計は、幼稚園教員が215.0%、小学校教員が245.6%、中学校教員が162.7%となっている。

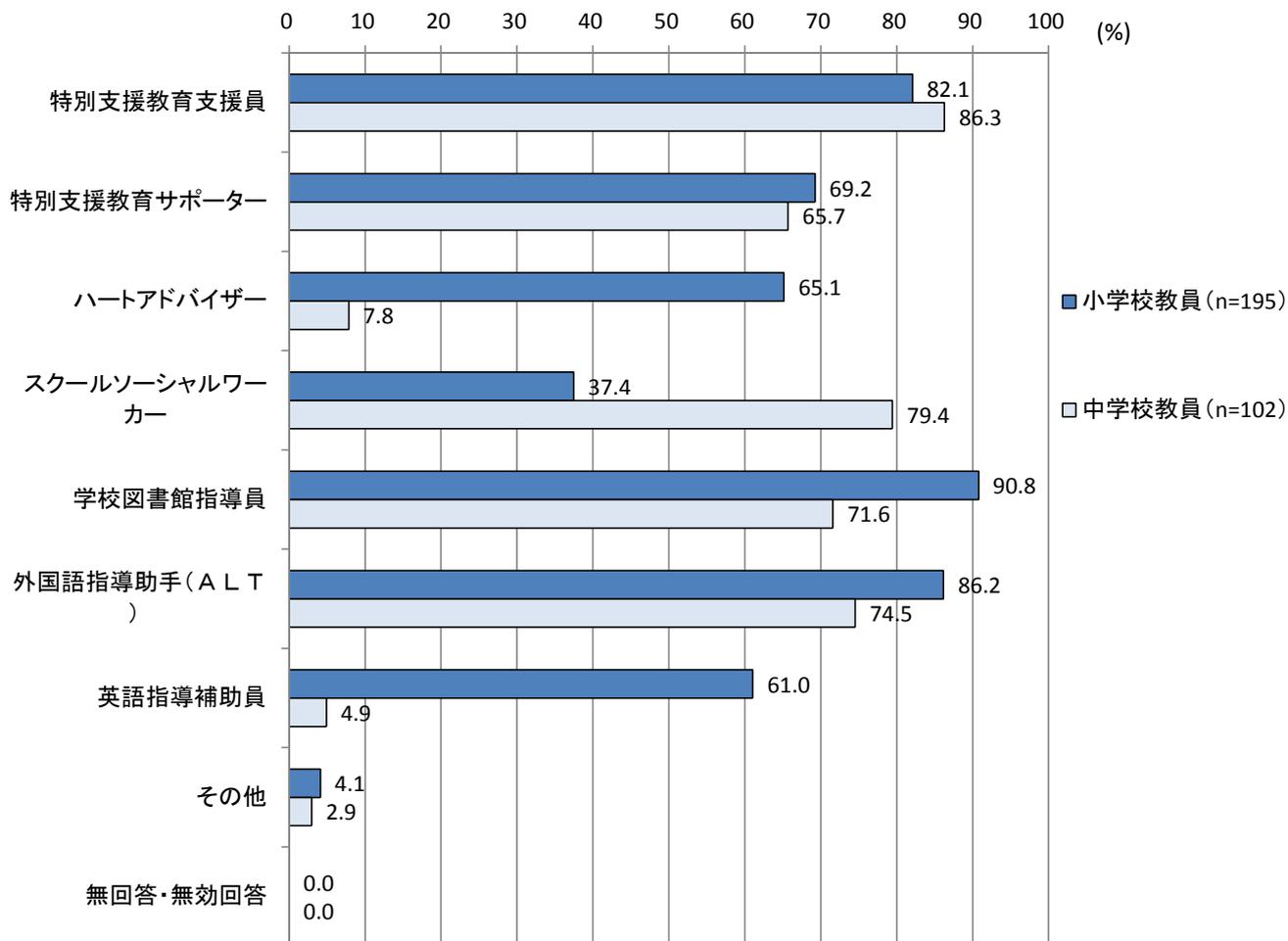
幼稚園教員では「掃除教育ぴかぴかデー」、「スマイルあいさつ運動」が高い。小学校教員では「マイ・スタディ」、「スマイルあいさつ運動」、「マイ・ランチの日」、「強めよう絆月間」が高い。中学校教員では「スマイルあいさつ運動」が高い。

幼稚園・小学校教員には6つの活動に効果があると感じられているのに比べ、中学校教員には効果は薄いと感じられていることうかがえる。



**問8 学校に配置している市費人材のうち、教育的効果を上げていると思うものはどれですか。
(複数回答制限なし)**

「ハートアドバイザー」と「英語指導補助員」は、中学校には配置されておらず、「スクールソーシャルワーカー」は原則、小学校には配置されていない。それらを除くと、すべての項目で60%を超えている。

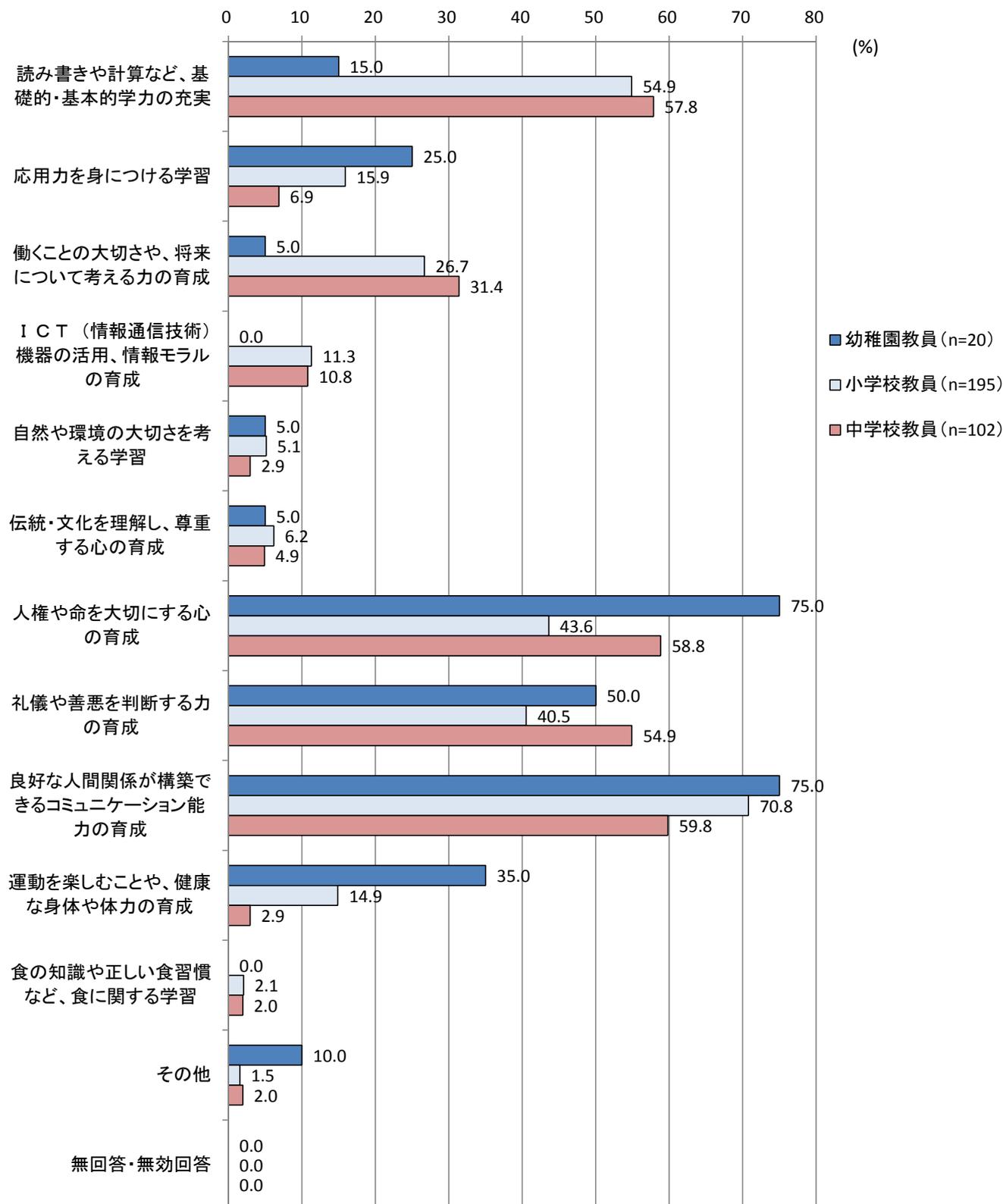


その他の回答として、「スクールカウンセラー」、「理科指導員」、「用務、調理の技能職員」、「中一スタートサポーター」などがあった。

問9 あなたは、今後、どのような教育活動に力を入れる必要があると思いますか。(複数回答3つまで)

「人権等を大切にすること」、「礼儀や善悪を判断する力」、「コミュニケーション能力の育成」が幼稚園・小・中学校教員にわたって回答率が高い。

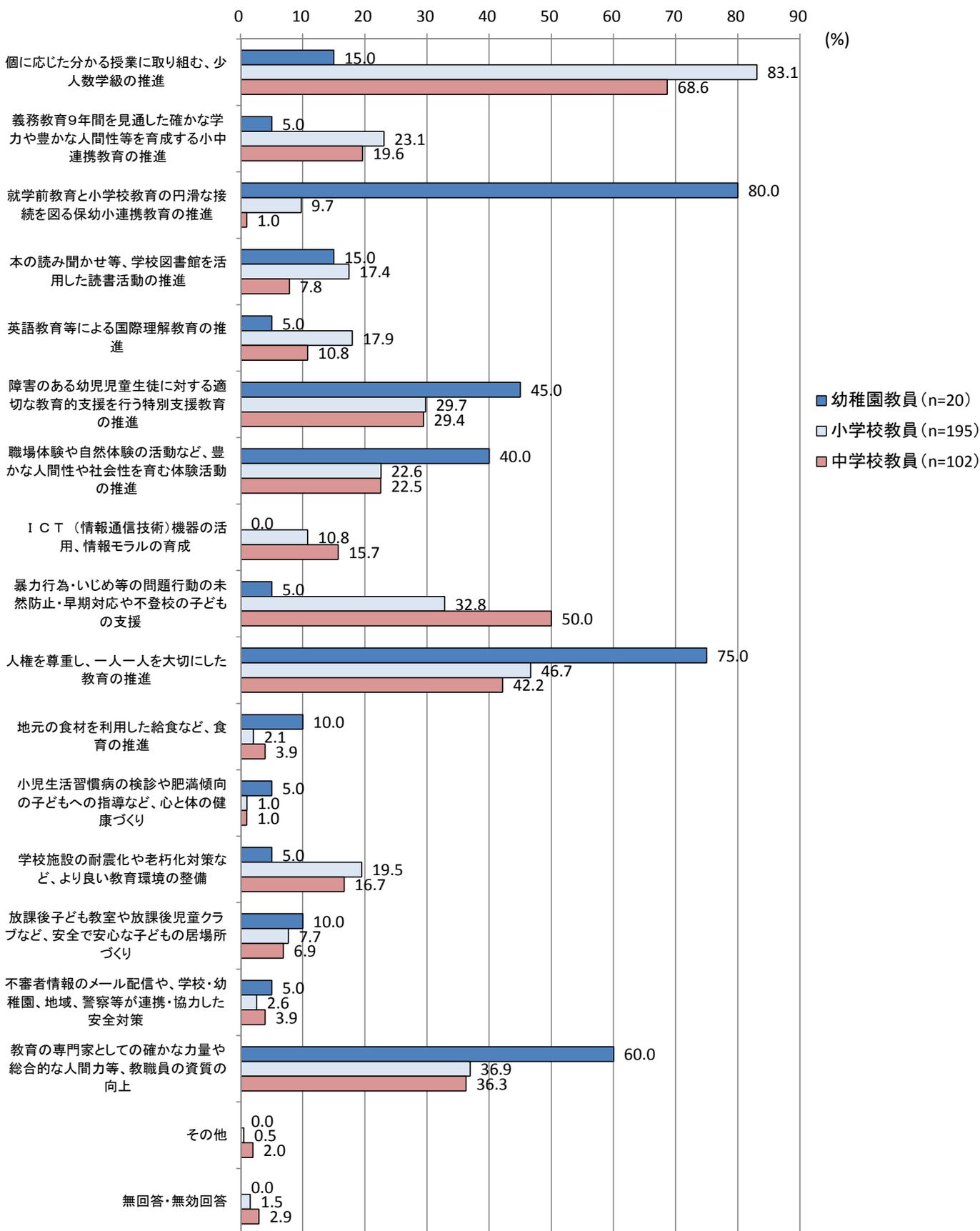
上記3つ以外の項目では小・中学校教員で「基礎的学力」、「働くことの大切さ等を考える力」が高い。幼稚園教員では「運動を楽しむことや体力の育成」が高い。



その他の回答は「躰」、「学ぶことの大切さが分かる授業」、「学び合いの学習を重視し、支え合う子どもたちを創る」、「清掃活動」、「教員の余裕」、「新聞を活用したNIE活動」、「いろいろな活動に意欲的に取り組もうとする心(態度)の育成」、「根気強さ、粘り強さ、こつこつ努力する力をつける」などがあつた。

問10 教育に関する主な施策のうち、あなたが特に期待するものはどれですか。(複数回答4つまで)

幼稚園教員では「保幼小連携」、「人権を尊重し一人一人を大切にした教育」、「教職員の資質向上」に回答が多かった。小学校教員では「少人数学級」、「人権を尊重し一人一人を大切にした教育」、「教職員の資質向上」が多く、中学校教員では「少人数学級」、「暴力行為・いじめ・不登校対策」、「人権を尊重し一人一人を大切にした教育」が多い。



その他の回答には「教員の時間確保」、「言葉づかいや礼儀、マナー教育」、「学校の統廃合」などがあつた。

問11

最後に、日ごろ学校・幼稚園教育や家庭・地域の教育力等について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

教員回答者(幼稚園・小・中学校317名)のうち120名の方から御意見をいただいた。一人の方から複数の意見をいただくこともあり、件数は120を超えている。回答の傾向ごとに集計して一覧に作成した。

意見内容		回答件数
小・中学校	少人数教育に関すること	8
	負担に関すること	6
	行事・日程に関すること	4
	施設に関すること	4
	子どもへの評価に関すること	3
	方針に関すること	3
	その他学校に関すること	3
幼稚園	幼稚園に関すること	3
教員	負担に関すること	23
	資質に関すること	9
	人員不足に関すること	7
	配置に関すること	5
	保護者との連携に関すること	5
	待遇に関すること	4
	その他教員に関すること	3
子ども	子どもに関すること	10
家庭	しつけ、教育に関すること	10
	教育力低下に関すること	9
	保護者に関すること	8
	学校が行う家庭への協力に関すること	3
地域	学校への協力に関すること	5
	地域との関わりに関すること	2
	地域の特性に関すること	1
行政	教育施策に関すること	8
	教育行政に関すること	4
	6つの活動に関すること	4
社会	学校への援助・支援に関すること	9
	学校・家庭・地域の連携に関すること	9
	教育全般に関すること	7
その他	その他	4

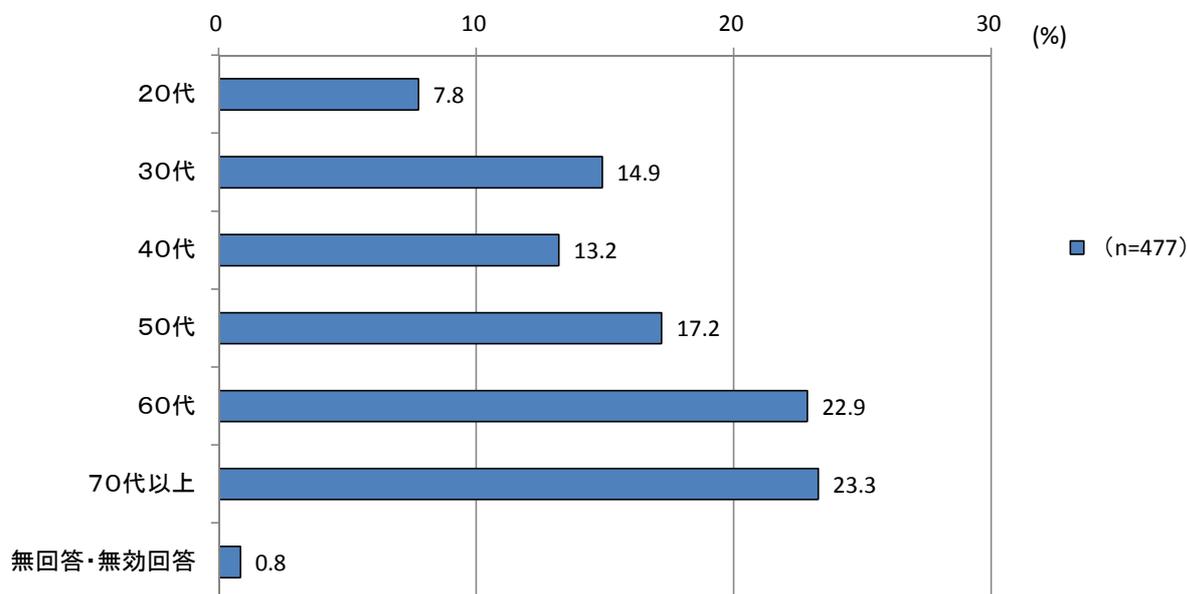
一般市民調査

質問項目別調査結果

一般市民調査

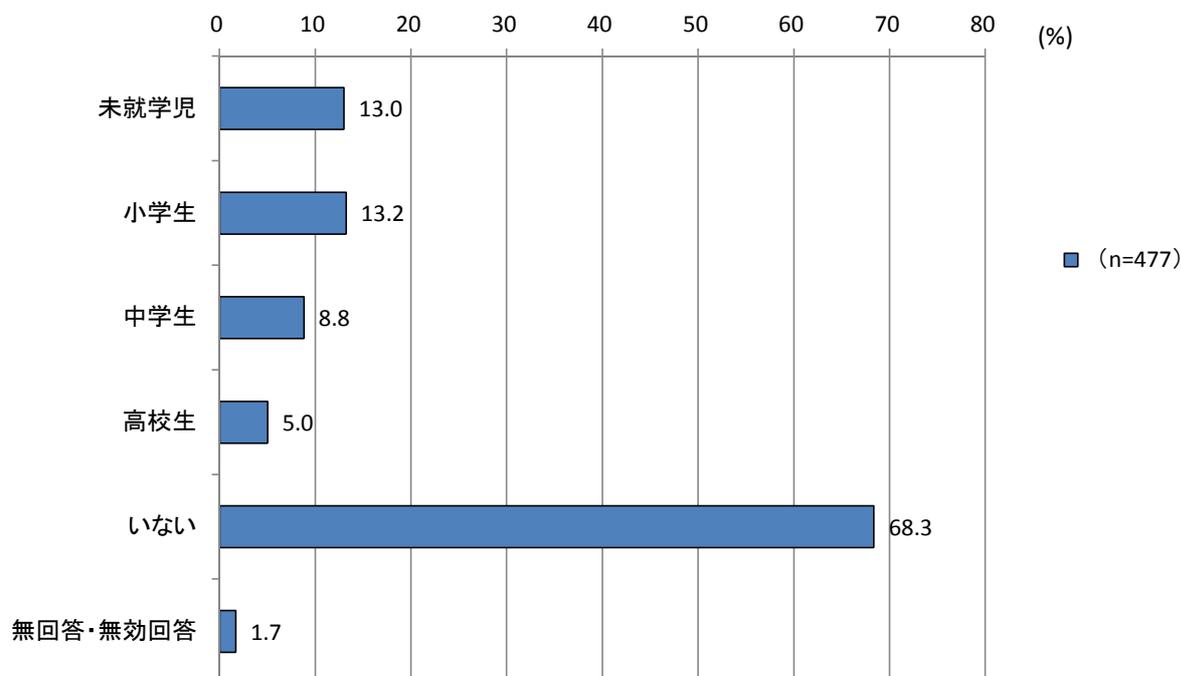
あなたの年齢を教えてください。

70代以上、60代が多く、20代は最も少ない。



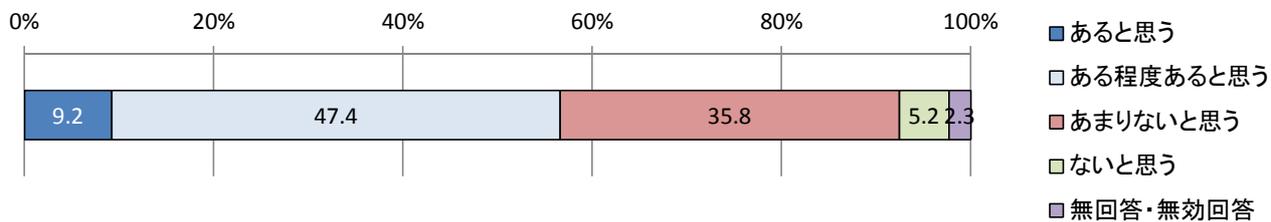
あなたは、同居家族に高校生以下のお子さんはいらっしゃいますか。(複数回答制限なし)

「いない」が68.3%と高い。次いで小学生、未就学児、中学生、高校生の順である。



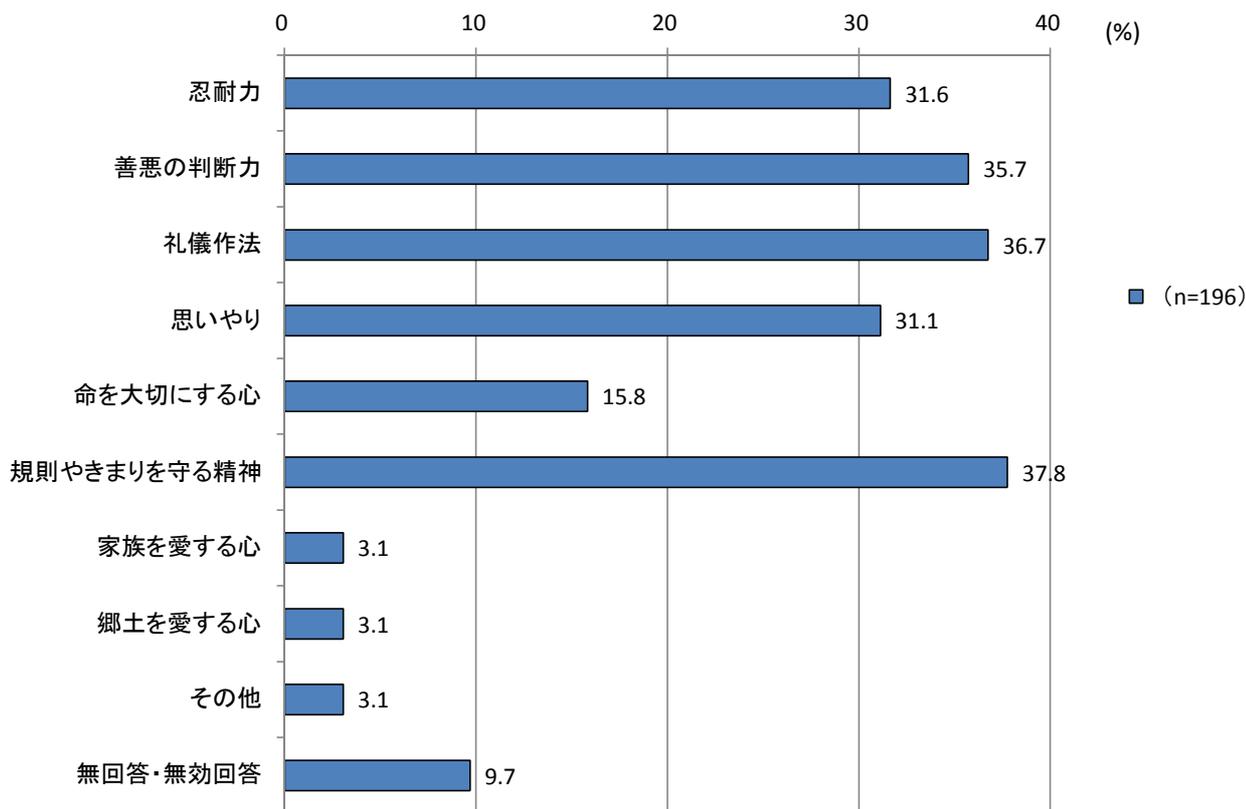
問1 あなたは、今の子どもは道徳心があると思いますか。

「あると思う」が9.2%、「ある程度あると思う」を合わせて56.6%と、過半数を超える。「ないと思う」は5.2%と少ない。



問1-1 問1で「3. あまりないと思う」「4. ないと思う」を選んだ人にお聞きします。具体的にどんなところがないと思いますか。(複数回答2つまで)

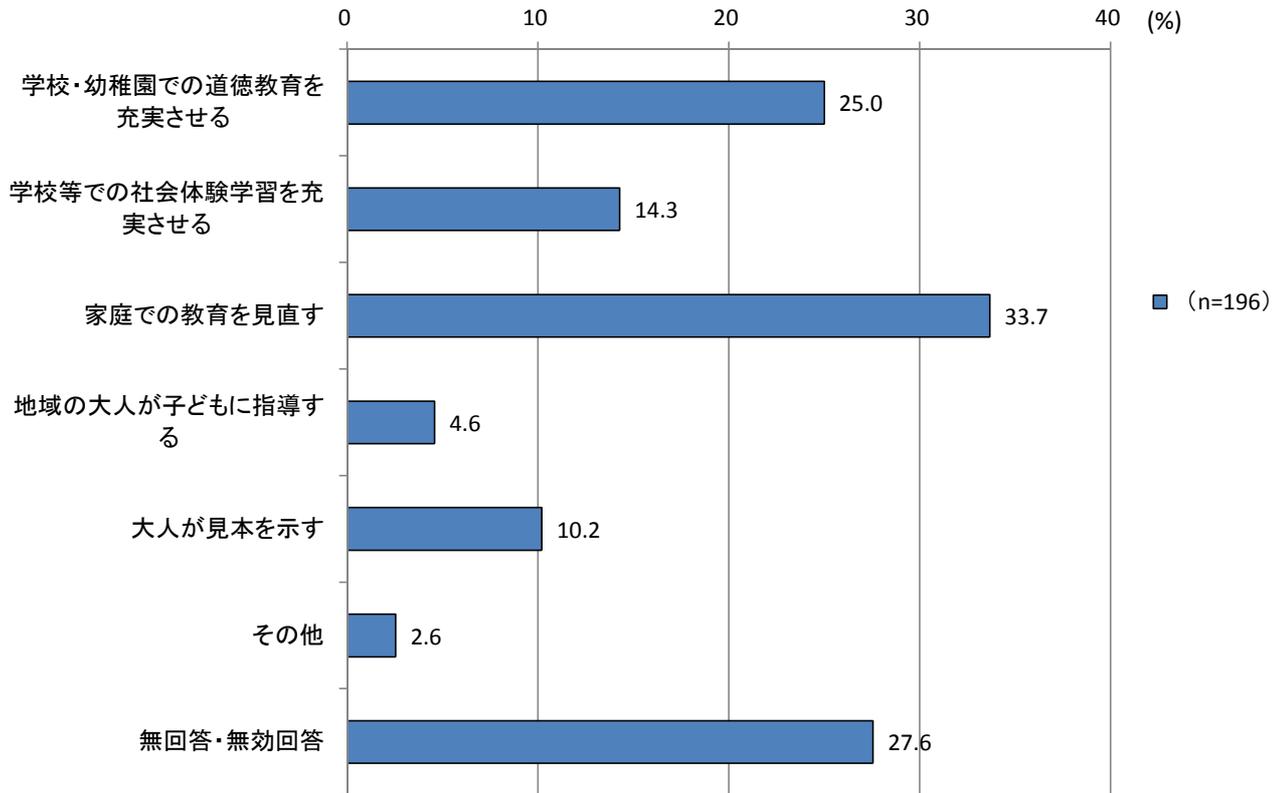
「規則やきまりを守る精神」、「礼儀作法」、「善悪の判断力」、「忍耐力」、「思いやり」が30%を超えている。



その他の回答には「言葉使い」、「親のしつけの程度によってかわると思う」、「死に対する恐怖」、「未就学児のためまだ意識をしていない」、「常識」があった。

問1-2 それを高めるにはどうしたら良いと思いますか。

「家庭での教育を見直す」、「学校・幼稚園での道德教育を充実させる」がそれぞれ33.7%、25.0%と率が高い。若干であるが、家庭での教育が重要と考える人が多いようである。

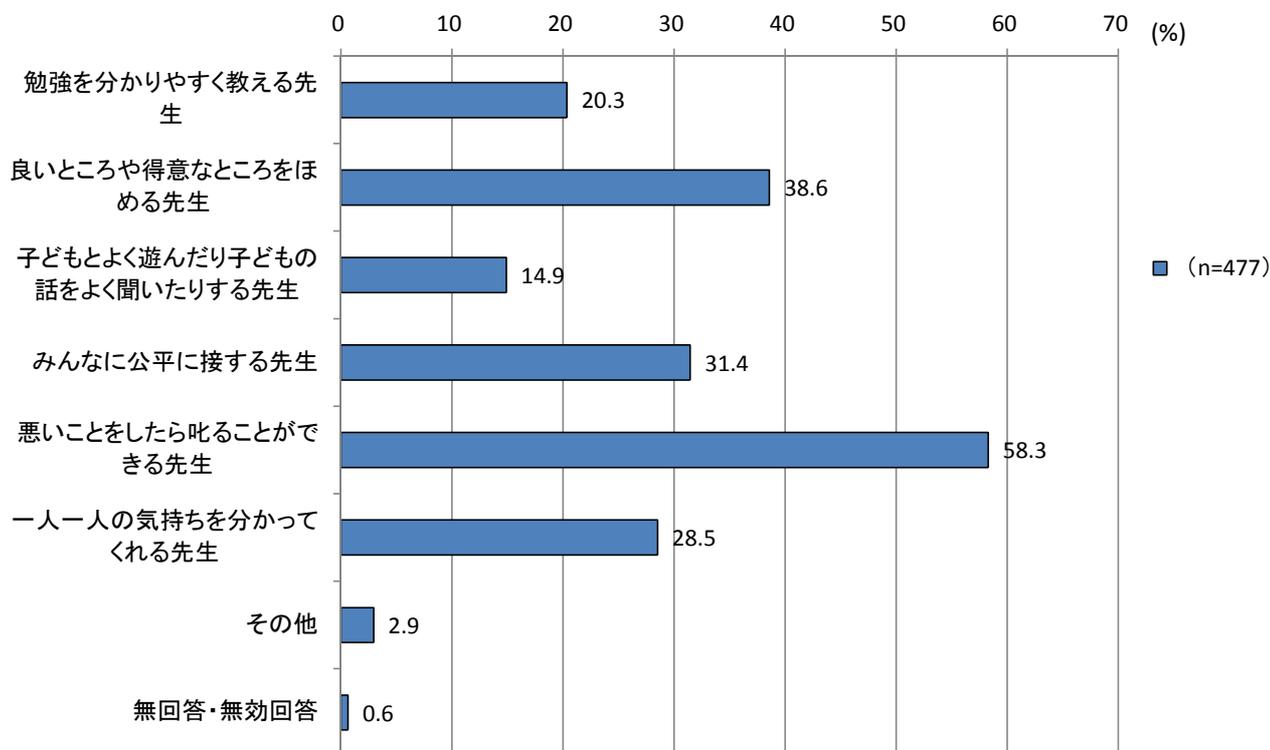


その他の回答として、「正しい歴史教育」、「親の道德教育を見直す」「映画、舞台の鑑賞などで感動を与える」「少年法の改正」などがあつた。

問2 あなたは、どのような先生が求められていると思いますか。(複数回答2つまで)

「悪いことをしたら叱ることができる先生」が最も多く58.3%であった。続いて「良いところや得意なところをほめる先生」、「みんなに公平に接する先生」、「一人一人の気持ちが分かる先生」となっており、「勉強を分かりやすく教える先生」は20.3%とそう高くない。

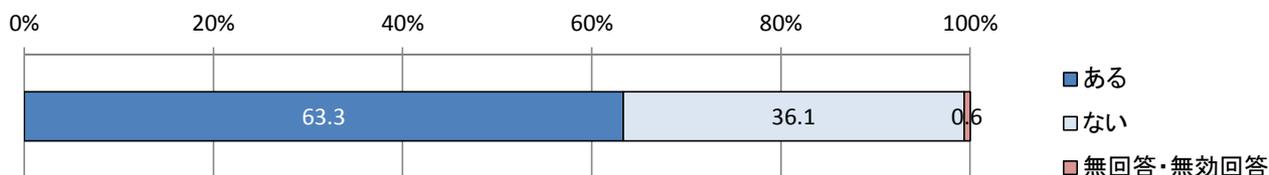
現在、学校の抱える問題は学力よりも、道徳・礼儀などのことにある、と考えられている。



その他の回答には「生徒に尊敬される先生」、「おとなな人」、「人に対するやさしさを教えてくれる様な教師」、「子どもの未来像をしっかりと持っている人」、「恥を教える先生」、「気分にムラがない先生」、「教育者としての信念を持っている先生」などがあつた。

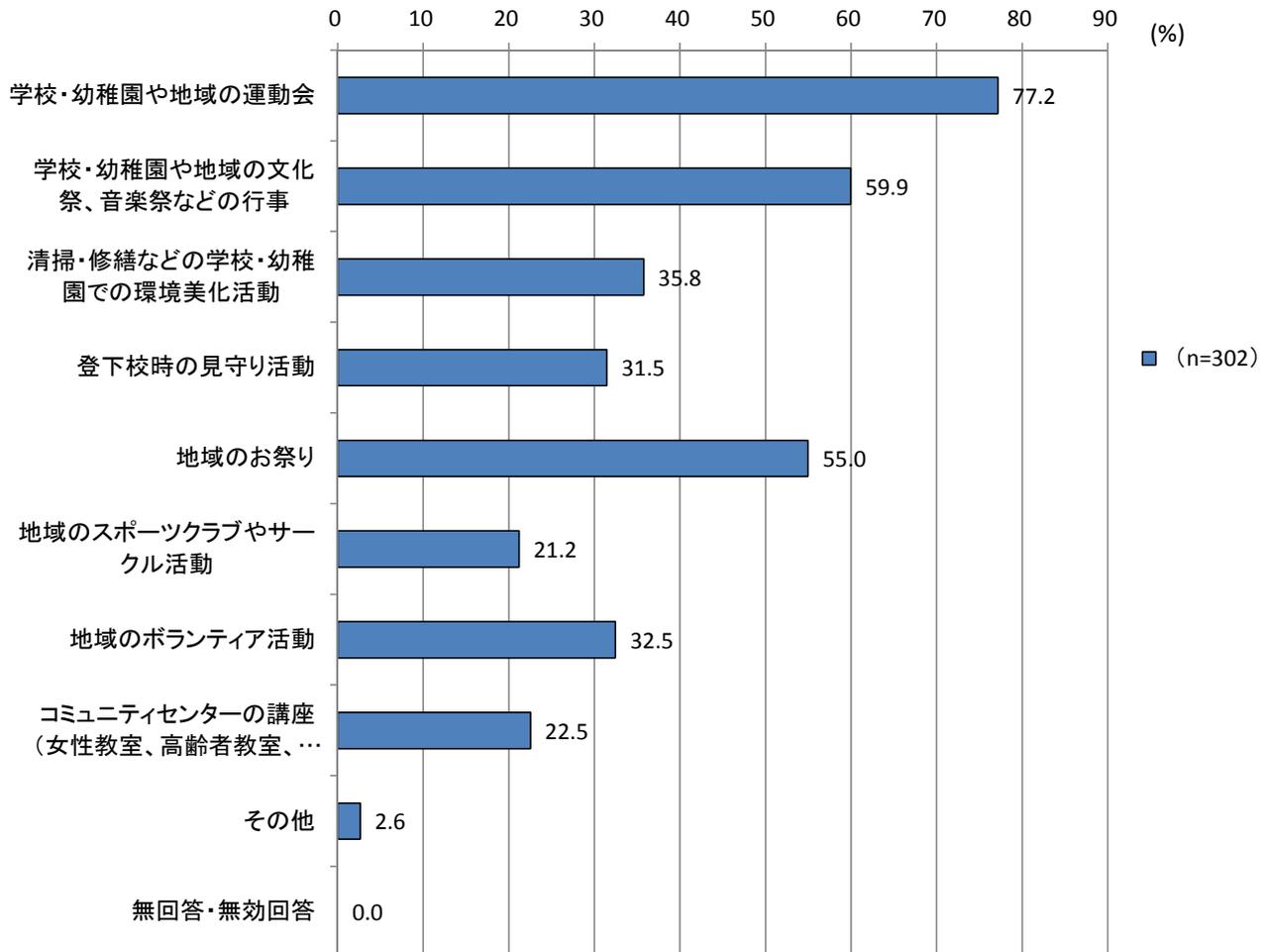
問3 あなたは、学校・幼稚園・地域などの活動に参加したことがありますか。

「ある」と答えた人が63.3% と3分の2弱を占めている。



問3-1 問3で「1. ある」を選んだ人にお聞きします。参加した活動は何ですか。(複数回答制限なし)

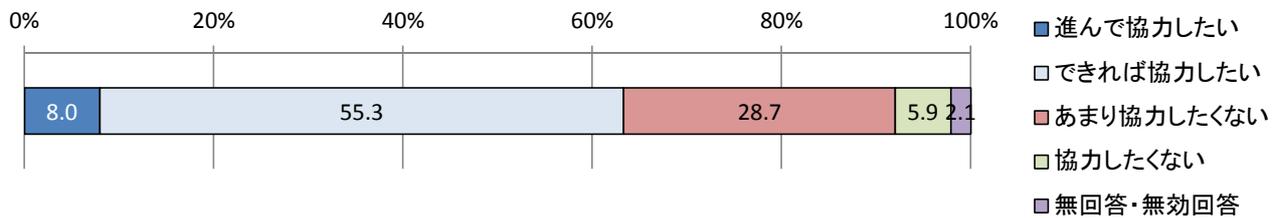
「学校・幼稚園や地域の運動会」が77.2%、「学校・幼稚園や地域の文化祭、音楽祭などの行事」が59.9%、「地域のお祭り」が55.0%と高い。運動会、文化祭などの行事が地域と学校をつなぐ役割を果たしていることがうかがえる。



その他の回答には「大学の公開講座、生涯学習教育」、「子どもSOS登録」、「学校のクラス役員」、「交通安全指導等」などがあつた。

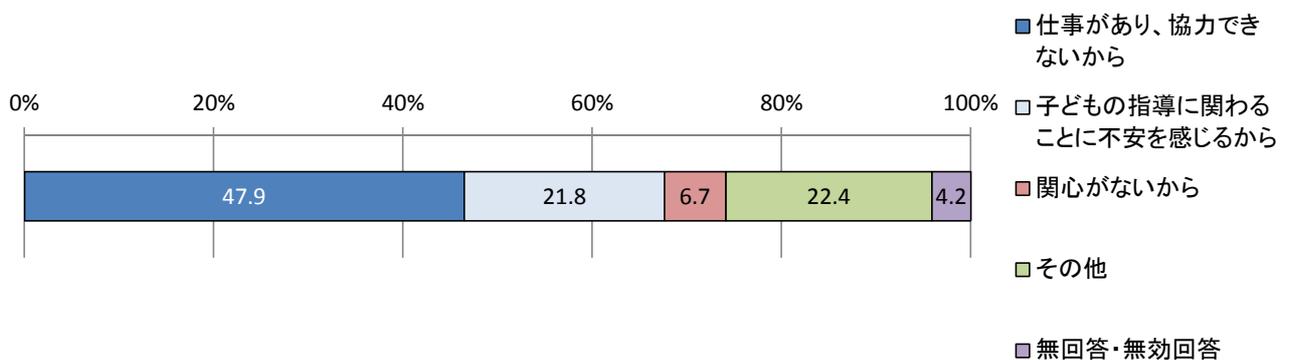
問4 あなたは、学校・幼稚園における清掃・修繕等の環境美化や体験活動のお手伝い、図書の読み聞かせなどボランティアの参加依頼があったらどうしますか。

「進んで協力したい」は8.0%と少ない。「できれば協力した」と合わせて63.3%となる。若干(5.9%)の人が「協力したくない」と回答している。



問4-1 問4で「3. あまり協力したくない」「4. 協力したくない」を選んだ人にお聞きします。その大きな理由は何ですか。

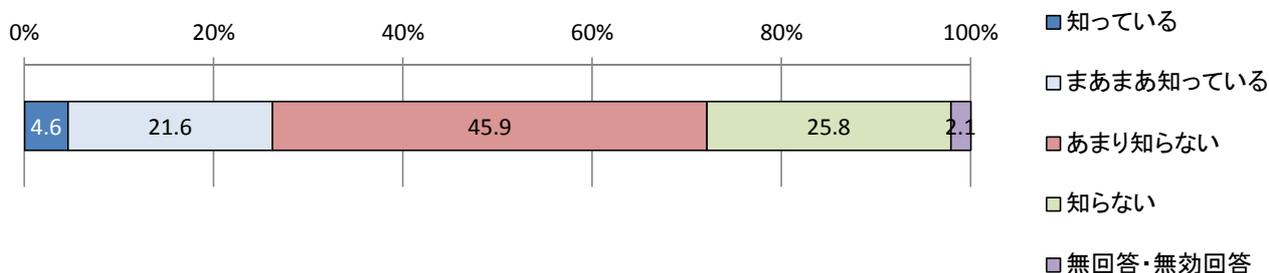
「仕事があり、協力できないから」が47.9%とほぼ半数を占める。「子どもの指導に関わることに不安を感じるから」が21.8%、その他が22.4%と高い



その他の回答には「高齢の為」などの年齢的な問題、「体調不良」、「子供の子育てで忙しい」、「他のボランティアをしているから」、「見本・手本にならないから」、「考えが違うと思う」などがあつた。

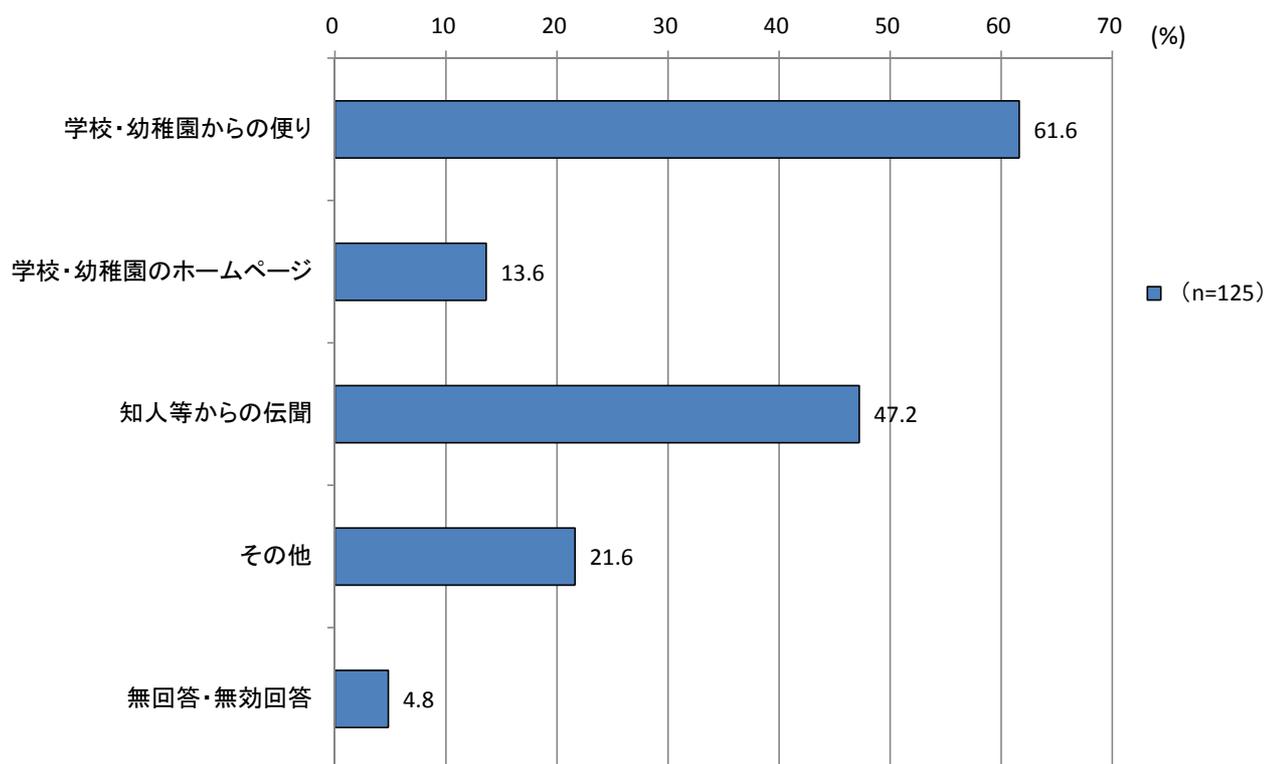
問5 地域の学校・幼稚園の様子を十分知っていますか。

「知っている」と「まあまあ知っている」を合わせて26.2%と少ない。「あまり知らない」、「知らない」はそれぞれ45.9%、25.8%である。



問5-1 「1. 知っている」「2. まあまあ知っている」を選んだ人にお聞きします。具体的にどのような方法で知ることができていますか。(複数回答制限なし)

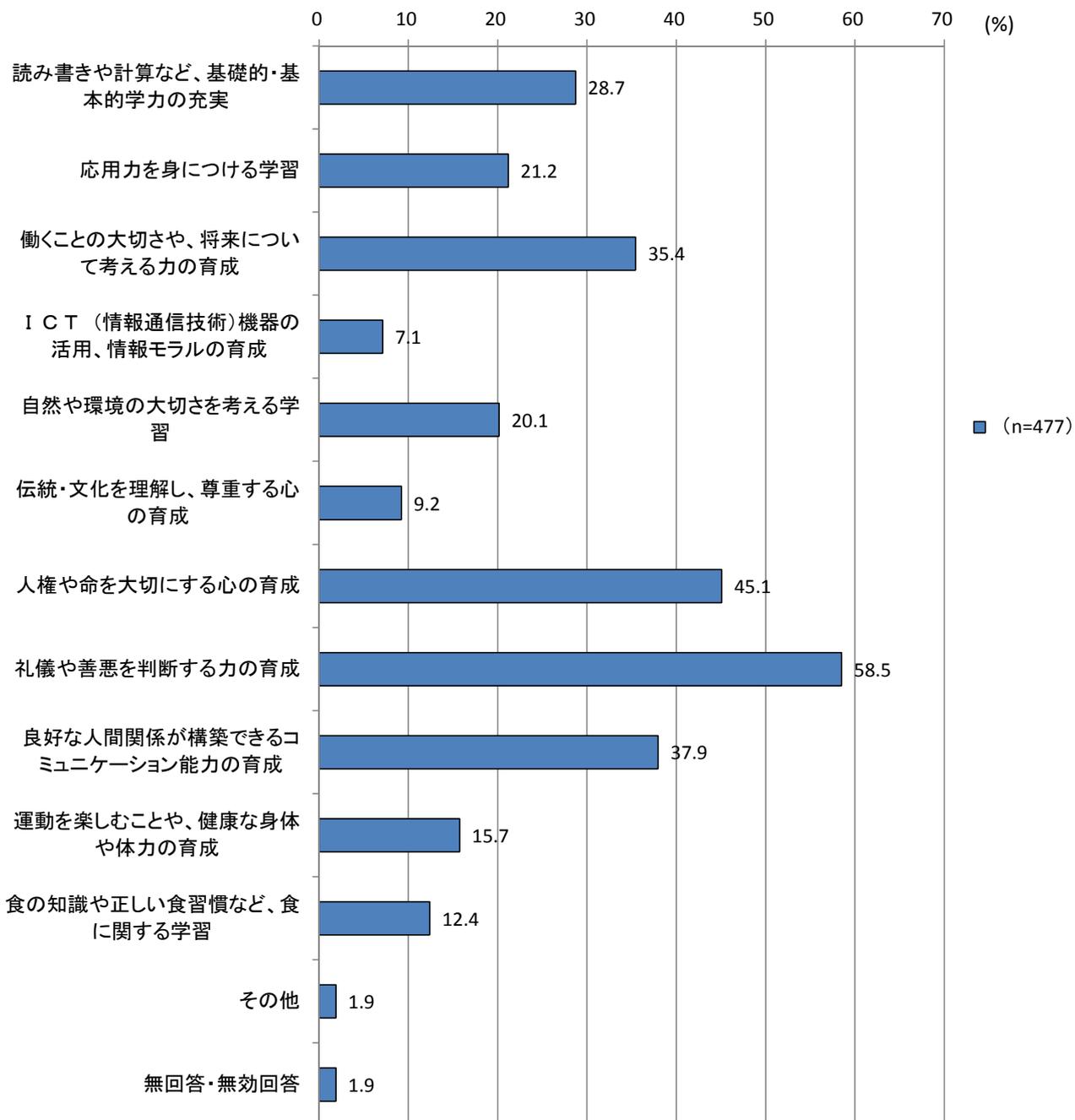
「学校・幼稚園からの便り」が61.6%、「知人等からの伝聞」が47.2%である。「学校・幼稚園のホームページ」は13.6%と低い。問5で「知っている」・「まあまあ知っている」と答えたのは、家庭内に学校に通う子どもがいる、身近に子どもがいる人が主であると考えられる。



その他の回答は「地区内の広報紙」、「家庭内での会話」、「保育園の発表会、運動会」、「自治会、老人会など」、「コミュニティセンター」、「近くの幼稚園・学校から」、「PTA役員、体育協会役員をしている」、「先生との会話」などがあつた。

問6 あなたは、今後、どのような教育活動に力を入れる必要があると思いますか。(複数回答3つまで)

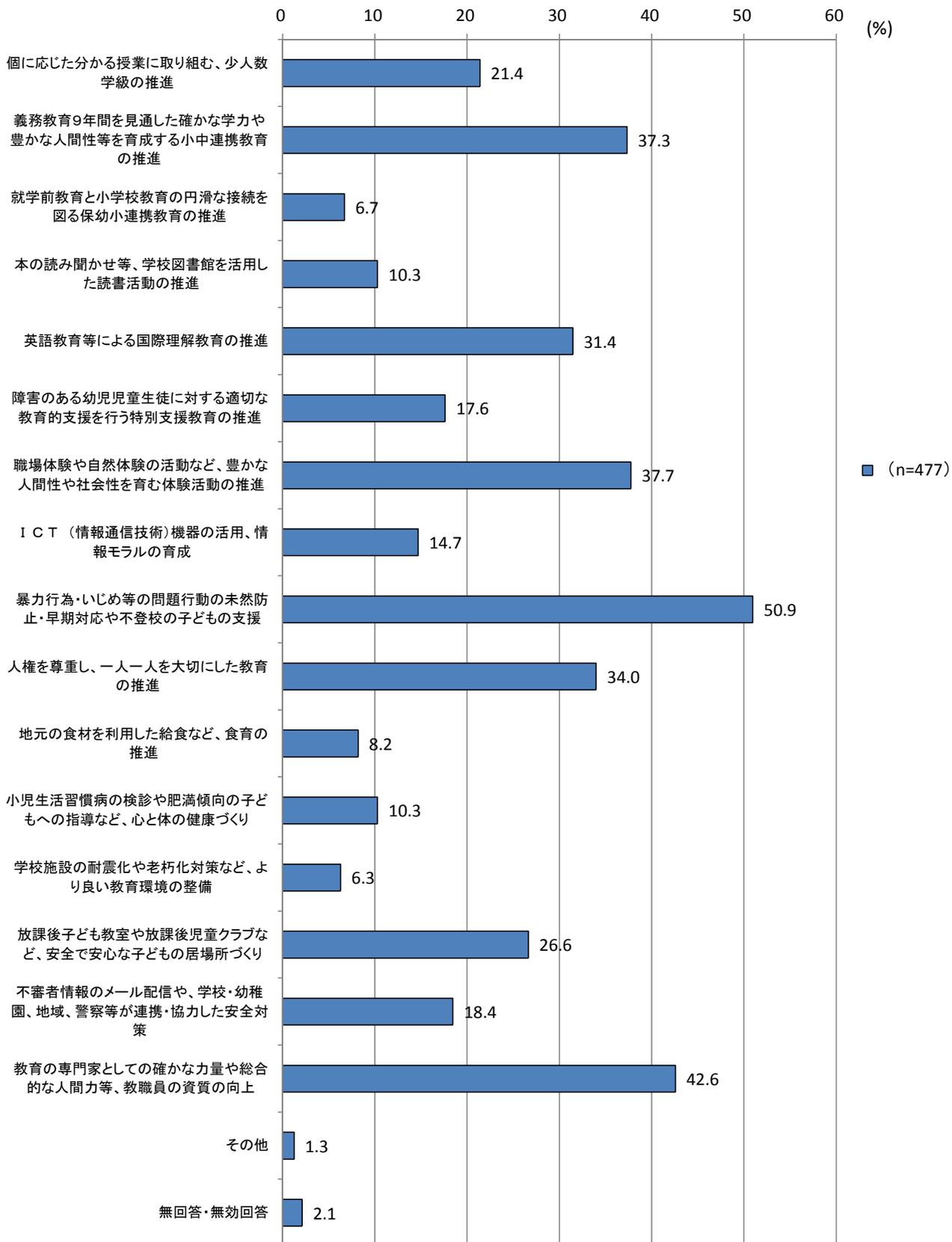
「礼儀や善悪を判断する力」が58.5%、「人権等を大切にする心」が45.1%、「コミュニケーション能力の育成」が37.9%、「働くことの大切さ等を考える力」が35.4%と多い。「基礎的学力」、「応用力」の学習に関する項目はそれぞれ28.7%、21.2%。「運動を楽しむことや体力の育成」は15.7%、「食に関する学習」は12.4%であった。



その他の回答には「親(保護者)の育成」、「道徳」、「近代の日本史」、「物事への理解力を向上させる教育」、「喫煙の危険や夜間の暴走行為の禁止」、「遵法精神の育成」などがあつた。

問7 教育に関する主な施策のうち、あなたが特に期待するものはどれですか。(複数回答4つまで)

「暴力行為・いじめ・不登校対策」が50.9%と最も多くの回答を得ている。続いて「教職員の資質向上」、「職場体験等の体験活動」、「小中連携」などになっている。教育の問題として「いじめ・不登校」などが緊急の課題として、とらえられている。



その他の回答には「地域全体で子供を見守る環境づくり」、「基礎学力の向上とともに人間性ゆたかに育てる教育」、「家庭でのしつけ」、「自分の足もとを現点に戻して考える」があった。

問8

最後に、日ごろ学校・幼稚園教育や家庭・地域の教育力等について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

一般市民回答者477名のうち167名の方から御意見をいただいた。一人の方から複数の意見をいただくこともあり、件数は167を超えている。回答の傾向ごとに集計して一覧に作成した。

意見内容		回答件数
小・中学校	授業に関すること	5
	PTAに関すること	3
	少人数教育に関すること	2
	いじめに関すること	2
	制服・ルールに関すること	2
	施設に関すること	1
	情報提供に関すること	1
	宿題に関すること	1
幼稚園	教育内容に関すること	2
	幼稚園・保育所の情報提供に関すること	1
教員	教育に対する姿勢に関すること	12
	資質に関すること	8
	負担に関すること	8
	親の交流・連携に関すること	4
	挨拶に関すること	1
子ども	挨拶に関すること	6
	マナーに関すること	6
	家庭学習に関すること	2
	言葉づかいに関すること	2
	塾に関すること	2
	遊びに関すること	2
	道徳心に関すること	1
	職場体験に関すること	1
家庭	しつけ・教育に関すること	15
	保護者に関すること	12
	保護者と子どものコミュニケーションに関すること	6
	挨拶に関すること	1
地域	教育参加に関すること	11
	大人に関すること	6
	地域・学校の連携に関すること	4
	通学路に関すること	2
	大人と子どものコミュニケーションに関すること	1
行政	保護者への支援に関すること	5
	校区に関すること	2
	生徒増の対応に関すること	2
	教育計画に関すること	1
教育に望む ことから	校外学習など自然に関すること	2
	職業・将来に関すること	1
	英語・コミュニケーションに関すること	1
	歴史に関すること	1
その他	身体づくりに関すること	1
	その他	9

前回調査との比較（児童生徒）

児童生徒 前回比較

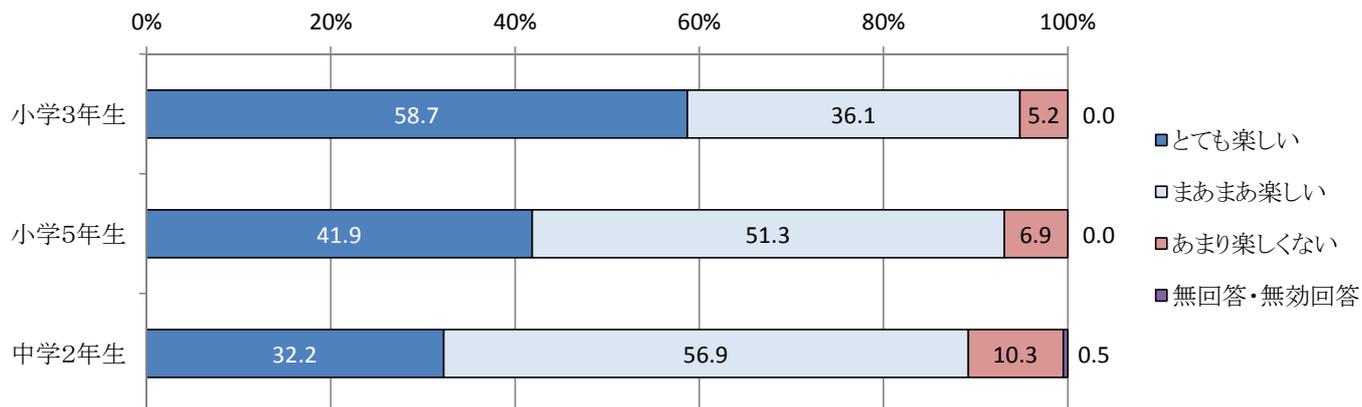
※前回と今回で問の文言を変更しているものは、前回の文言は明朝体で、今回の文言はゴシック体で表示しています。
 前回と今回が同じ場合は文言をゴシック体で表示しています。
 ※今回、追加した選択肢は**実線枠**で、修正した選択肢は**点線枠**で示しています。

問1 あなたは、学校が楽しいですか。

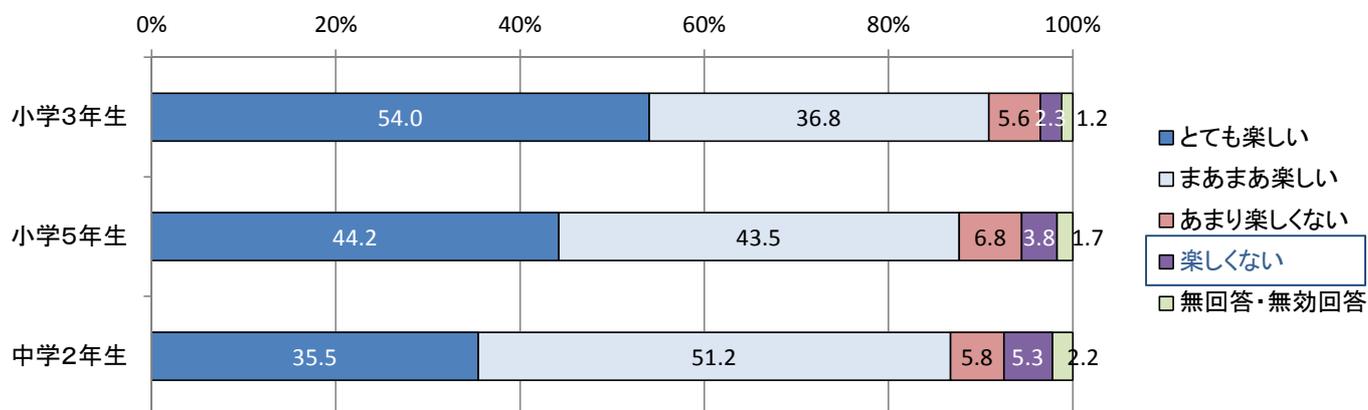
前回と選択肢を変えていることもあるが、「あまり楽しくない」「楽しくない」という否定的な意見が各学年で若干増えている。

「とても楽しい」については、小学3年生が前回の58.7%から54%に減少している反面、小学5年生と中学2年生はそれぞれ、41.9%から44.2%、32.2%から35.5%と増えている。

前回



今回

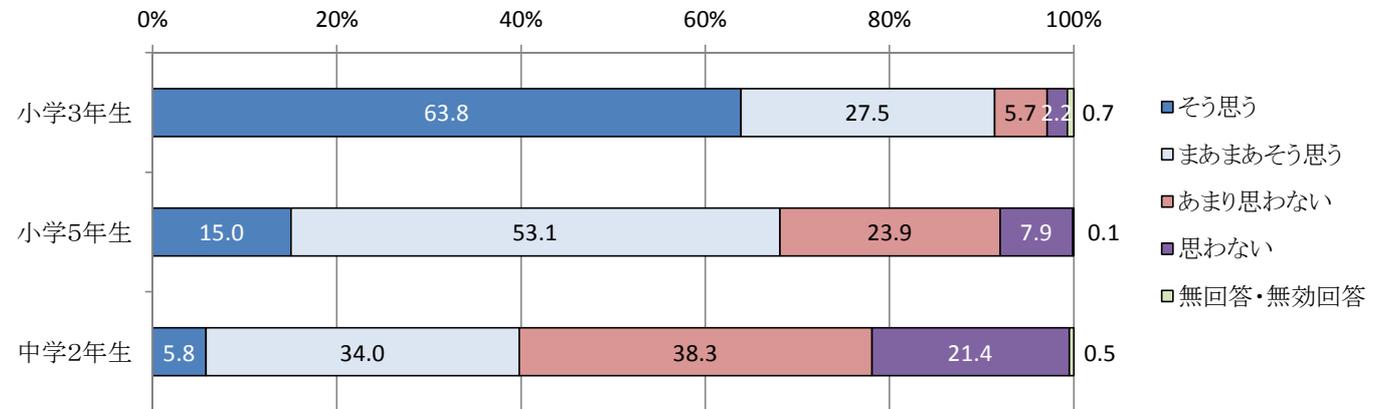


問2 あなたは、学校生活についてどのように感じていますか。

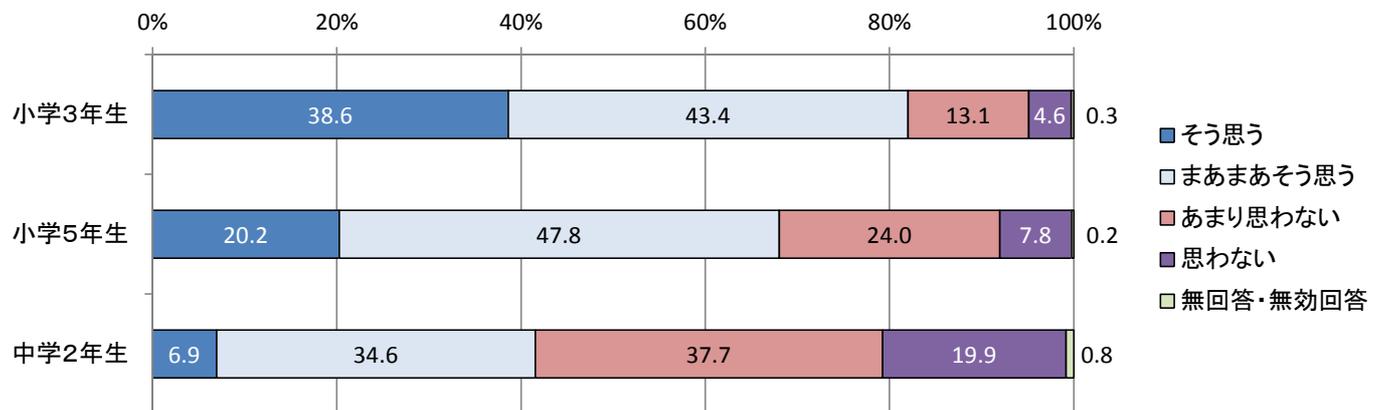
勉強が面白い

小学5年生と中学2年生の全体的な傾向は、ほぼ前回から変わっていない。
 小学3年生の「そう思う」は63.8%から38.6%に減少しており「まあまあそう思う」と合わせた比率でも、前回の91.3%から82%に減少している。

前回



今回



友達と遊ぶのが楽しい

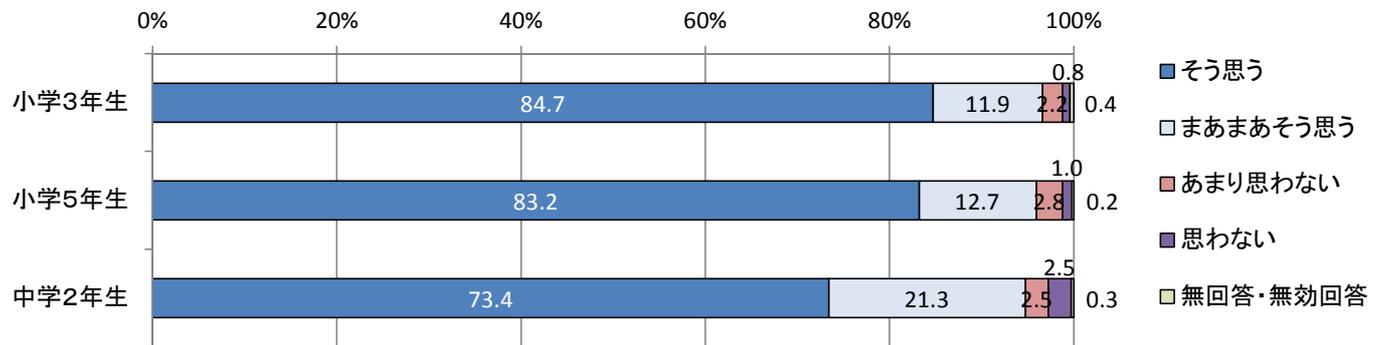
小学生で「あまり思わない」「思わない」の合計が若干増えている。(小学3年生で2.1%から3.0% 小学5年生で3.4%から3.8%)

中学生では「そう思う」が増加して(70.8%から73.4%)、「あまり思わない」「思わない」の合計が減少している(6.1%から

前回



今回

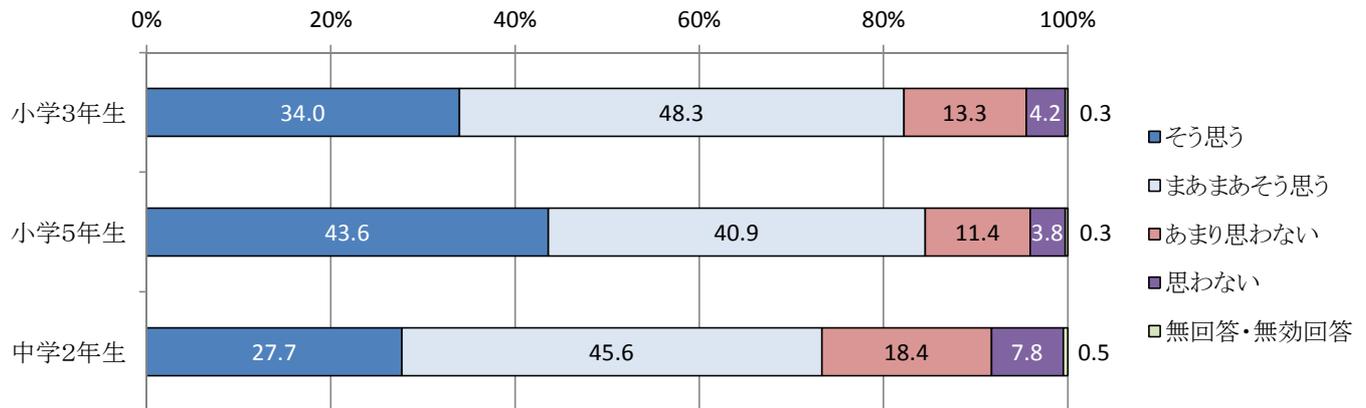


良い先生がいる

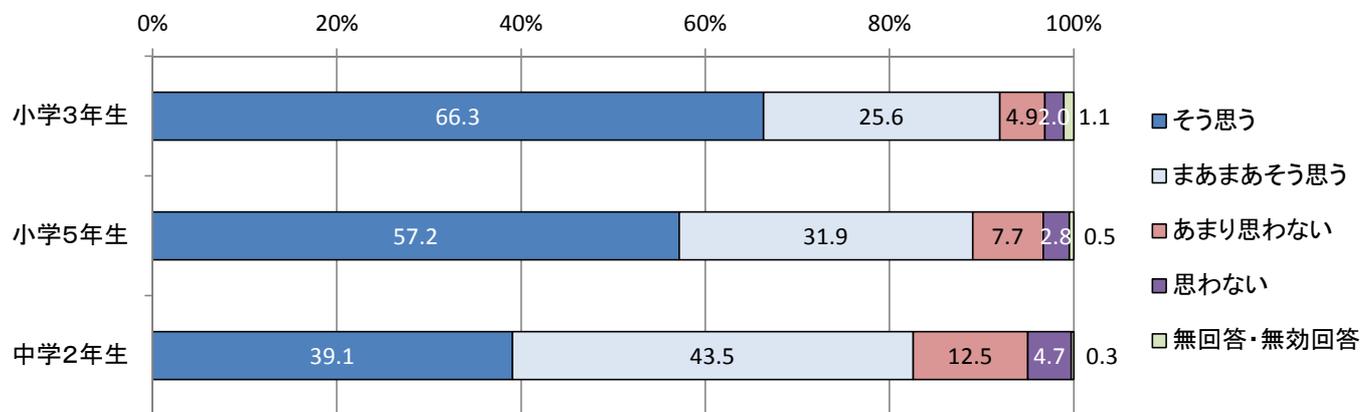
「そう思う」と答えた児童生徒が全学年で大幅に増加している。それに伴い「あまり思わない」「思わない」の否定的な意見が全学年で著しく減少している。

特に小学3年生ではその傾向が顕著であり、教員と児童が良い関係で向き合えていることがうかがえる。

前回



今回



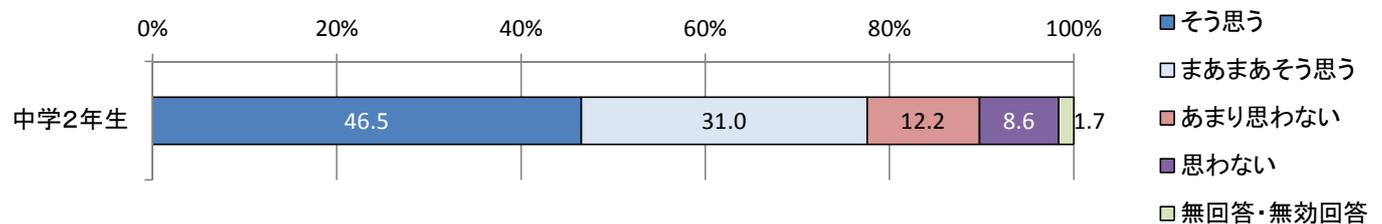
部活動が楽しい

前回との比較で大きな差は認められない。

前回



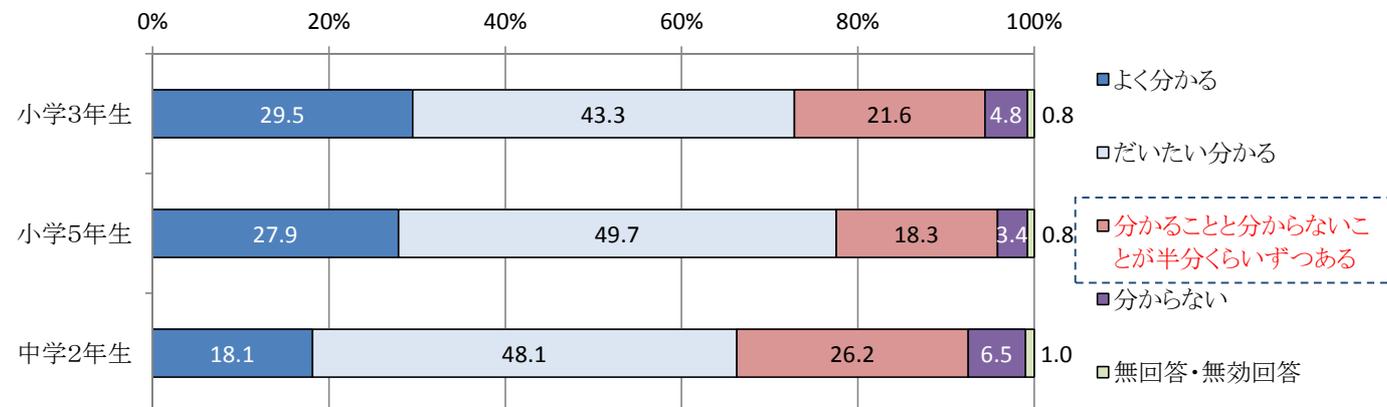
今回



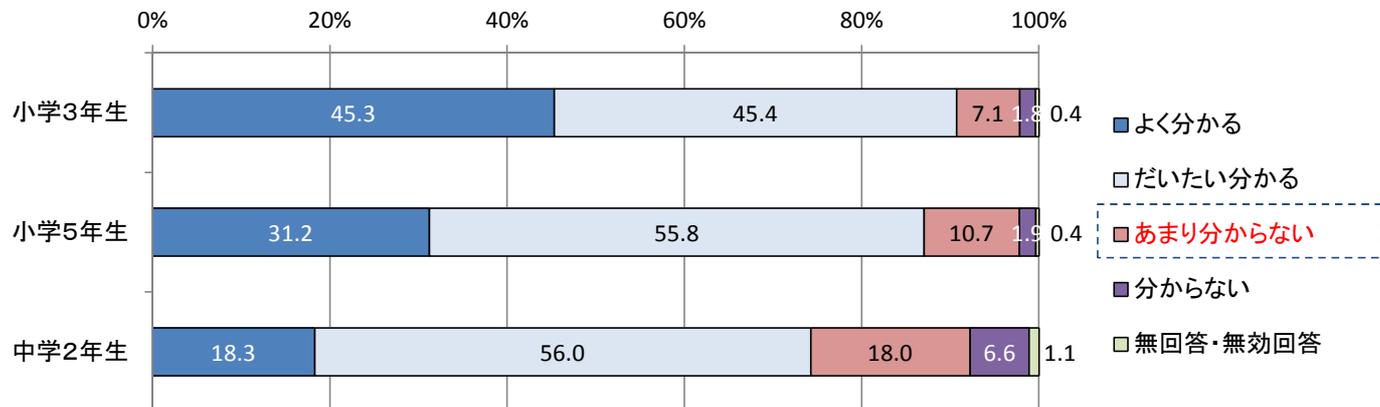
問3 あなたは、次の科目の授業(活動)は分かりますか。
国語

小学3年生、5年生で「よく分かる」「だいたい分かる」が増加している。
 中学2年生でも「だいたい分かる」が増えており、全学年で「よく分かる」「だいたい分かる」の合計が増加している(小学3年生で72.8%から90.7% 小学5年生で77.6%から87.0% 中学2年生で66.2%から74.3%)。

前回



今回

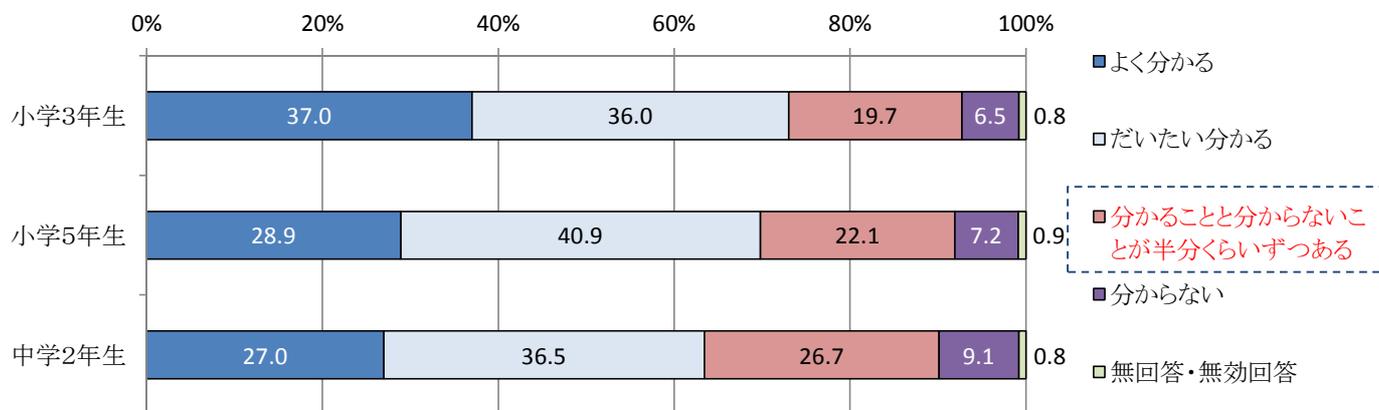


社会

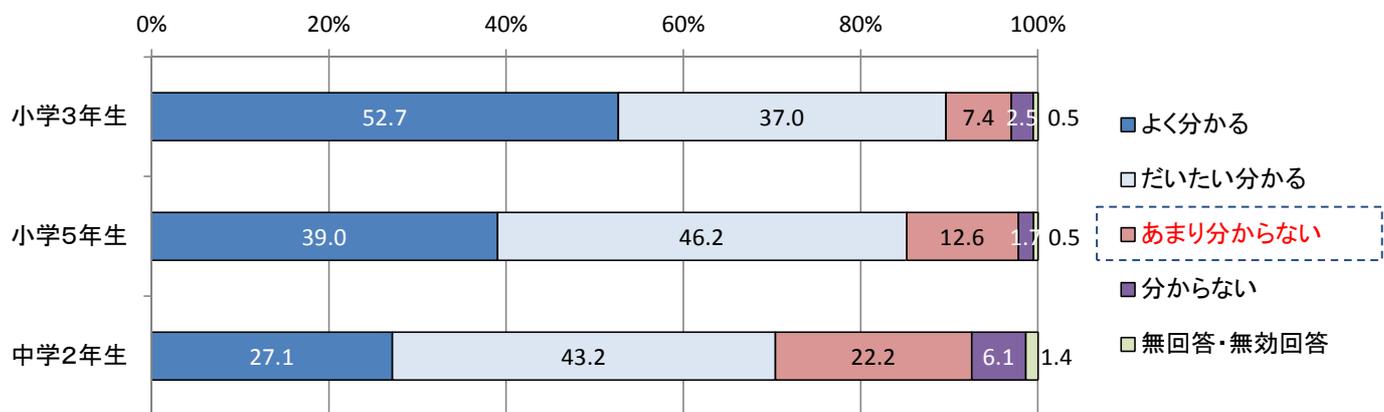
全学年で「よく分かる」「だいたい分かる」が増加している。
 「よく分かる」「だいたい分かる」の合計は小学3年生で73.0%から89.7% 小学5年生で69.8%から85.2% 中学2年生で63.5%から70.3%となっている。

授業の充実・教材の向上などの要因が考えられる。

前回



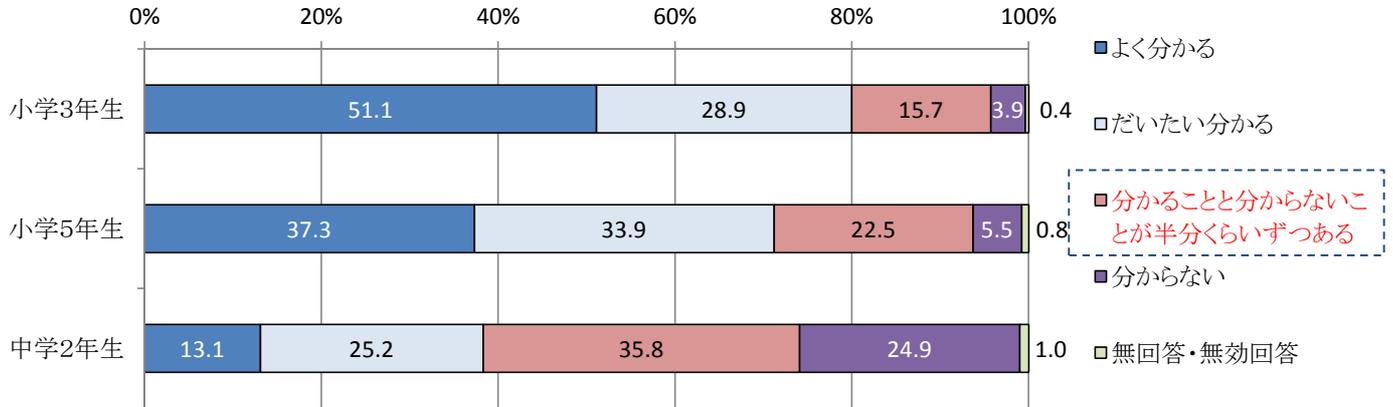
今回



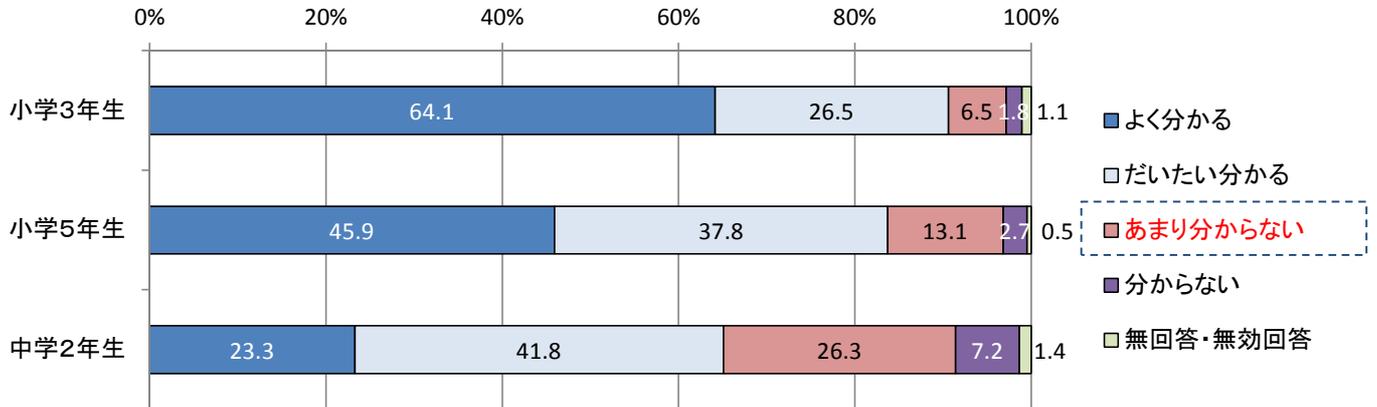
算数(中学生は数学)

全学年で「よく分かる」「だいたい分かる」が増加している。(小学3年生で80.0%から90.6% 小学5年生で71.2%から83.7% 中学2年生で38.3%から65.1%) 特に中学2年生で「よく分かる」が13.1%から23.3%に増えている。
これは児童生徒の習熟度にあわせてきめ細かい学習指導ができてきているから、と考えられる。

前回



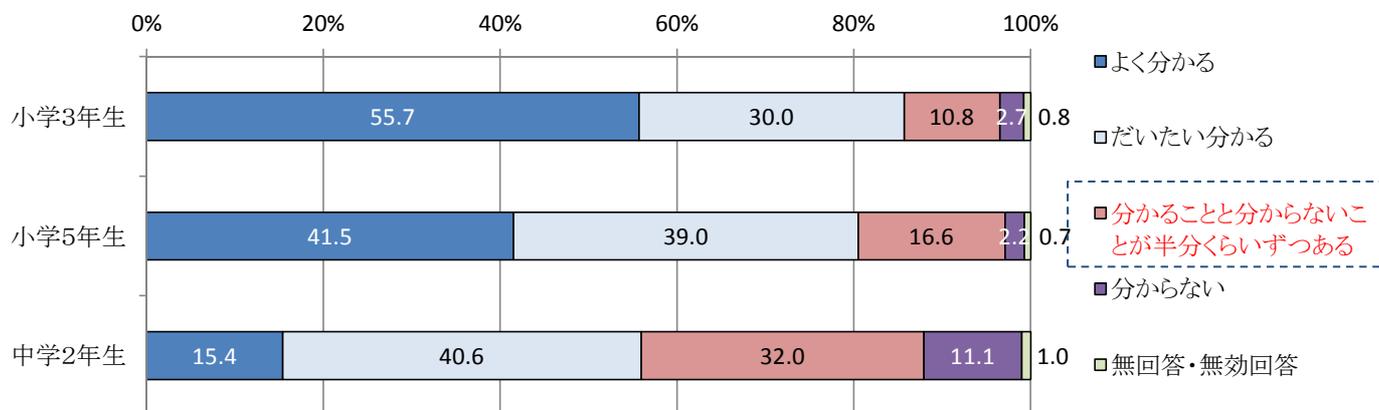
今回



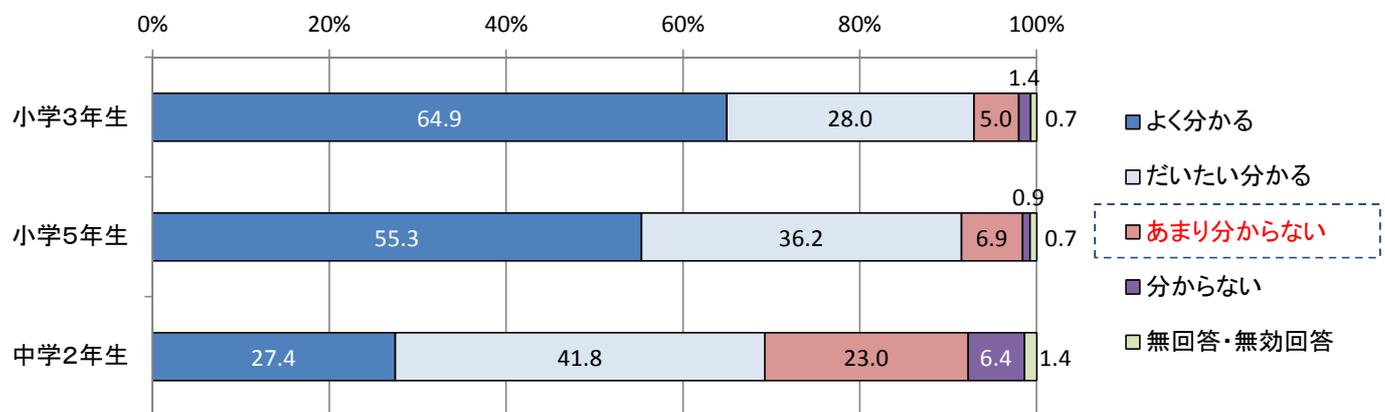
理科

全学年で「よく分かる」の増加が顕著。(小学3年生で55.7%から64.9% 小学5年生で41.5%から55.3% 中学2年生で15.4%から27.4%)
 「あまり分からない」「分からない」の合計も全学年で減少している。

前回



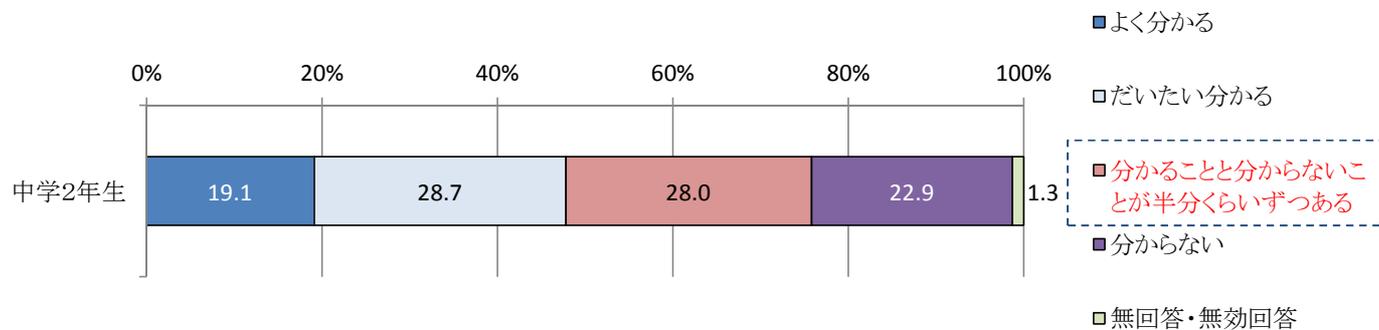
今回



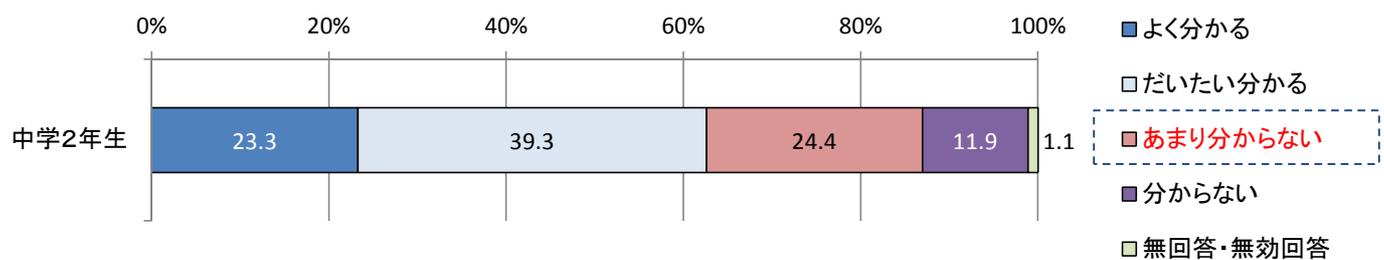
英語

中学2年生の回答では他の教科と同様に「よく分かる」「だいたい分かる」の比率が前回より増加しており、合わせて62.6%と前回の47.8%を上回っている。

前回



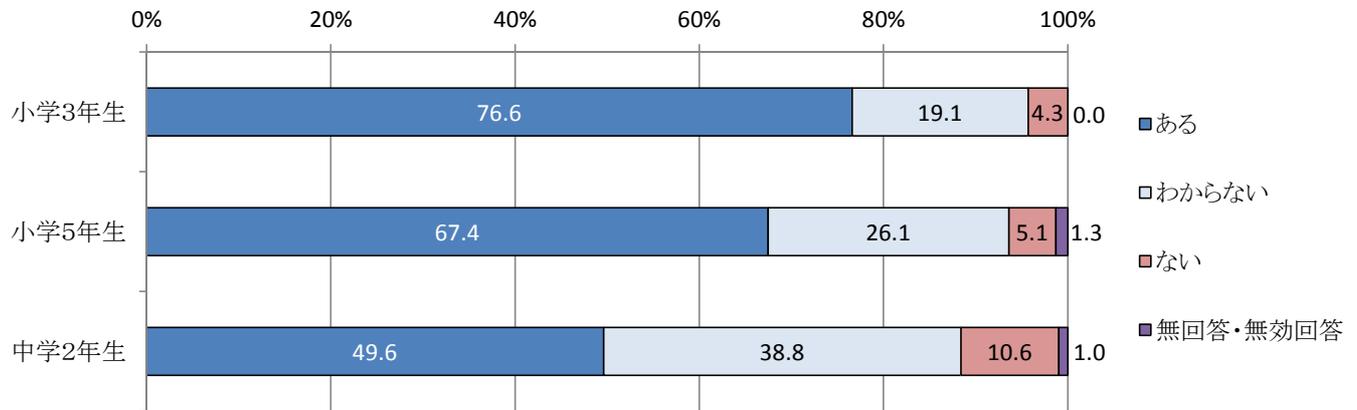
今回



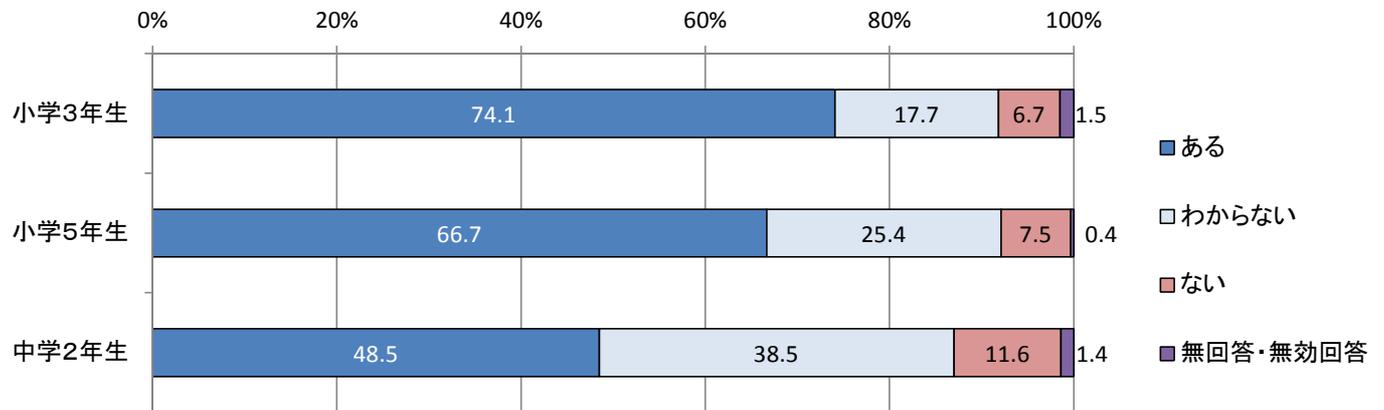
問4 あなたは、将来したいと思っている仕事がありますか。

小学5年生、中学2年生の全体的な傾向はほとんど変化していない。
小学3年生の「ない」が若干増えている(4.3%から6.7%)。

前回



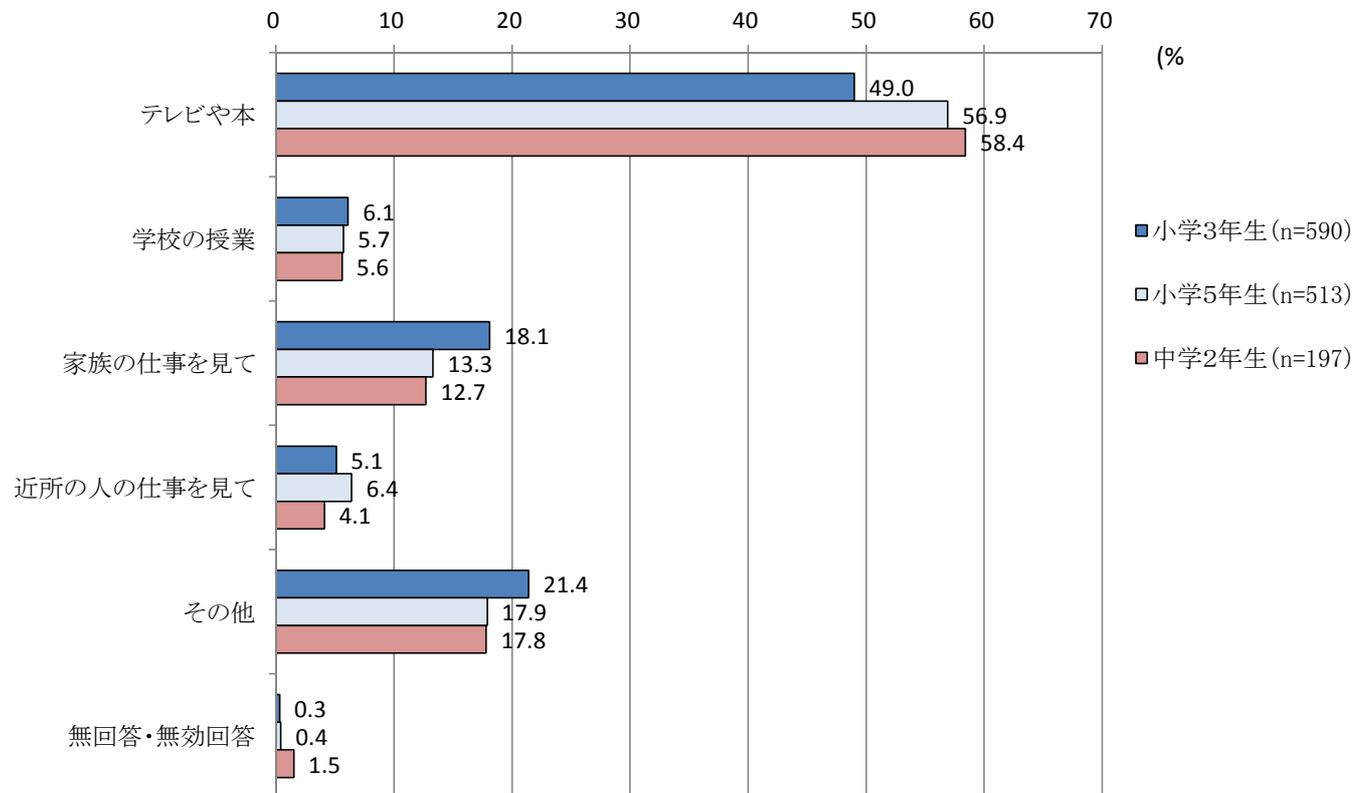
今回



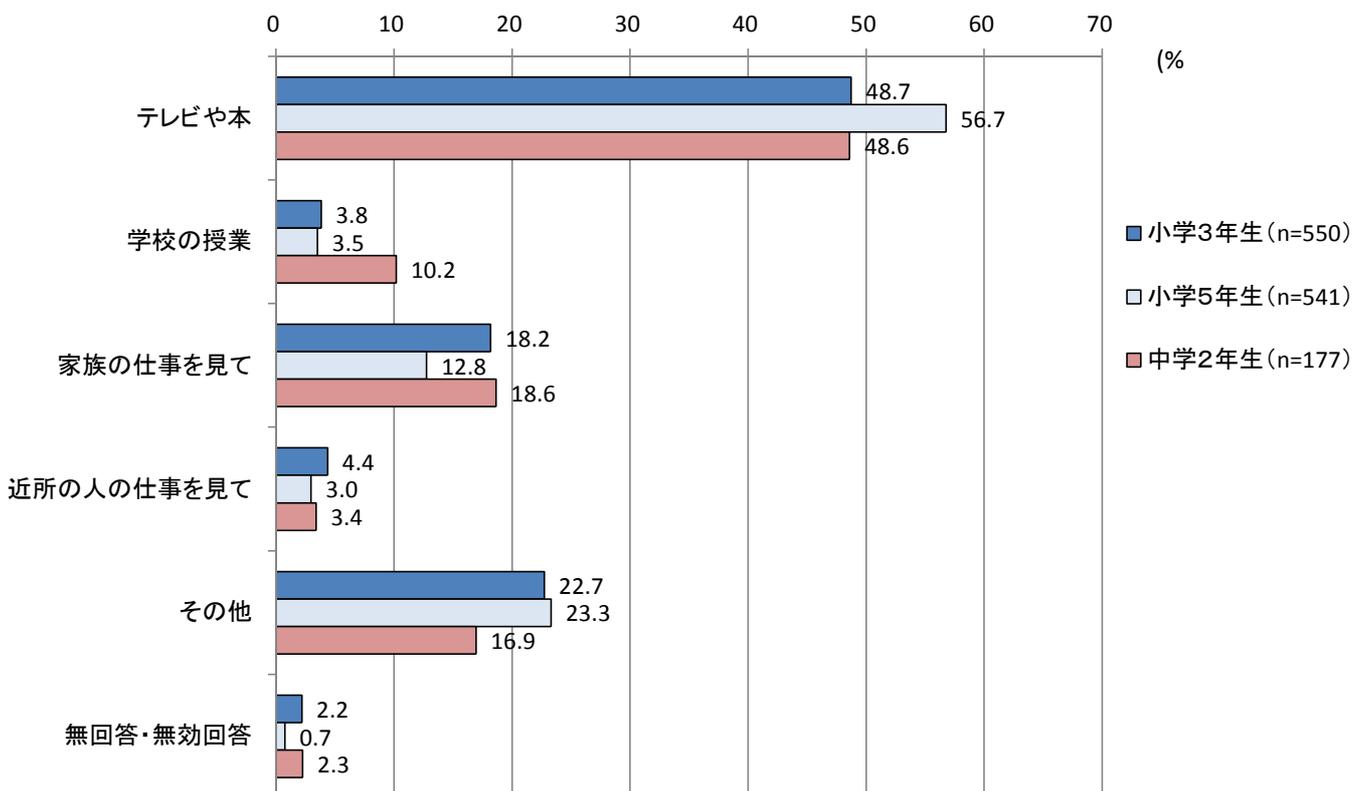
問4-1 「1. ある」を選んだ人にお聞きします。その仕事のことは、どこで知りましたか。

小学生の回答については、前回から顕著な変化は見られない。
 中学2年生の回答について「テレビや本」は 58.4%から48.6% と減少し、かわって「学校の授業」、「家族の仕事」がそれぞれ 5.6%から10.2%、12.7%から18.6% と増加している。
 中学校におけるキャリア教育の充実などで、より地に足のついた具体的な将来像を考えていることがうかがえる。

前回



今回

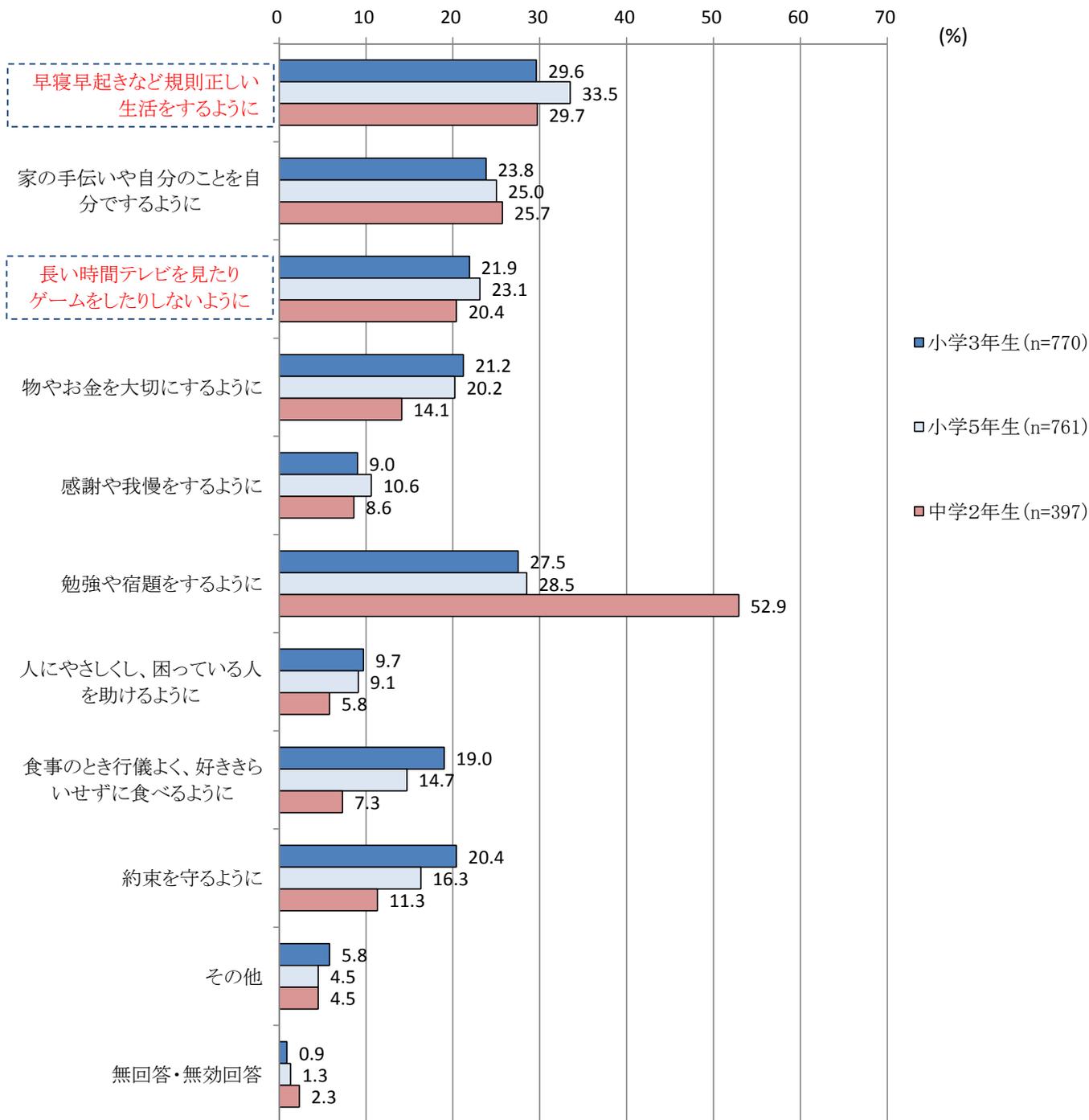


問5 あなたが、最近、おうちの人によく言われることは何ですか。(複数回答2つまで)
あなたが、最近、おうちの人によく言われることは何ですか。(複数回答3つまで)

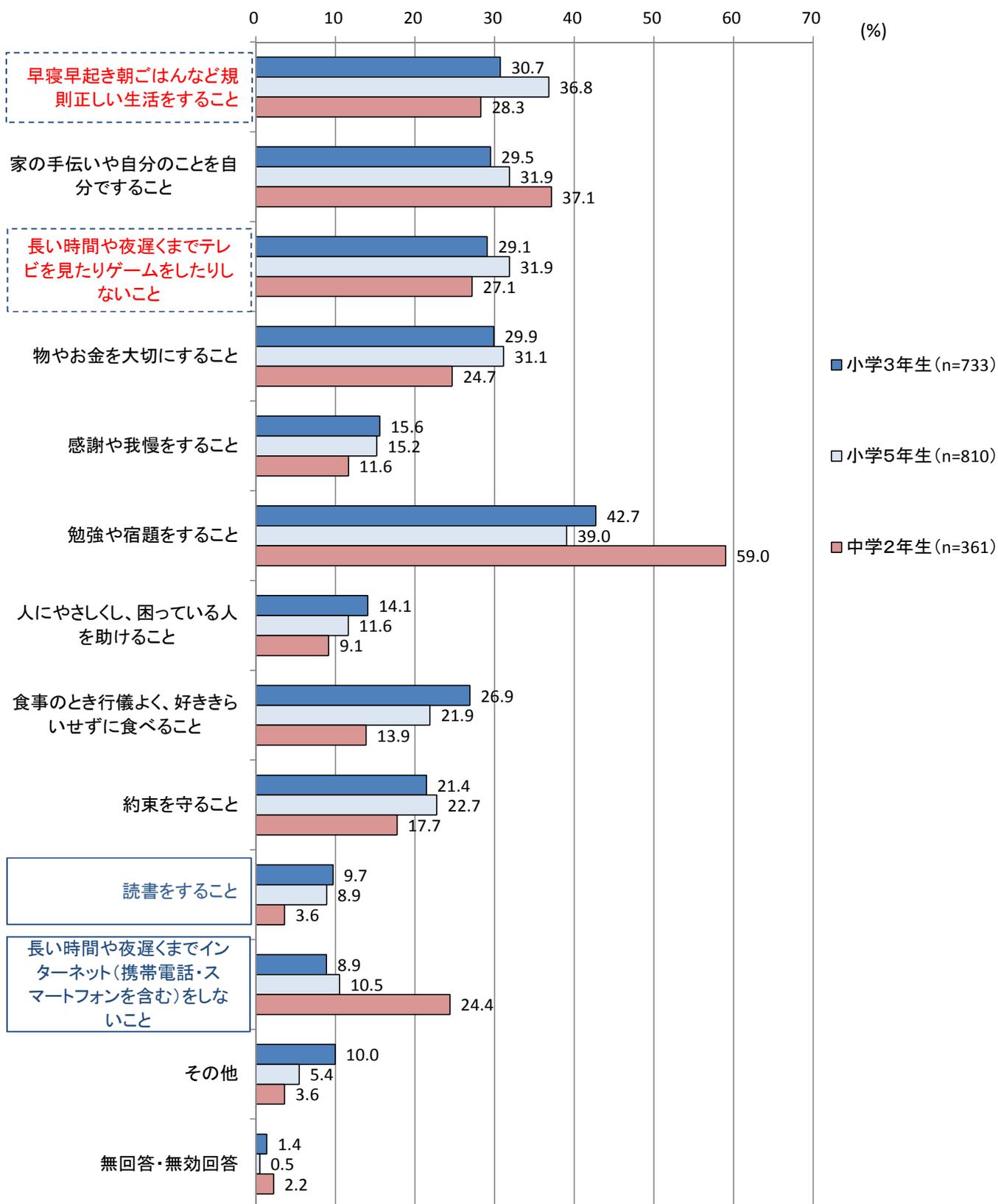
今回新たに2つの選択肢を設け(長い時間や夜遅くまでインターネット(携帯電話・スマートフォンを含む)をしないこと、読書をする事)しており、合わせて回答数の上限を2から3に増やしている。

全体的に数字が増えてきているが、全体的な傾向としてはほぼ変化がない。そのなかで小学3年生の「勉強や宿題をするように」の回答が増えてきている。新規選択肢のインターネットの制限について中学2年生で20%を超えており、スマホの普及が中学生に及んでいることが分かる。

前回



今回



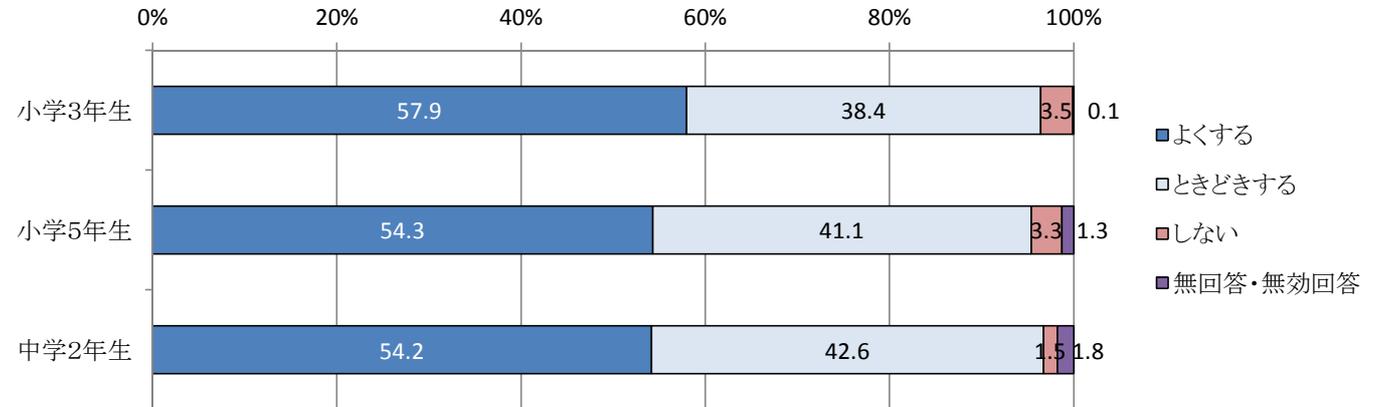
問6 あなたは、大人にあいさつをしますか。

選択肢として「あまりしない」を追加した。

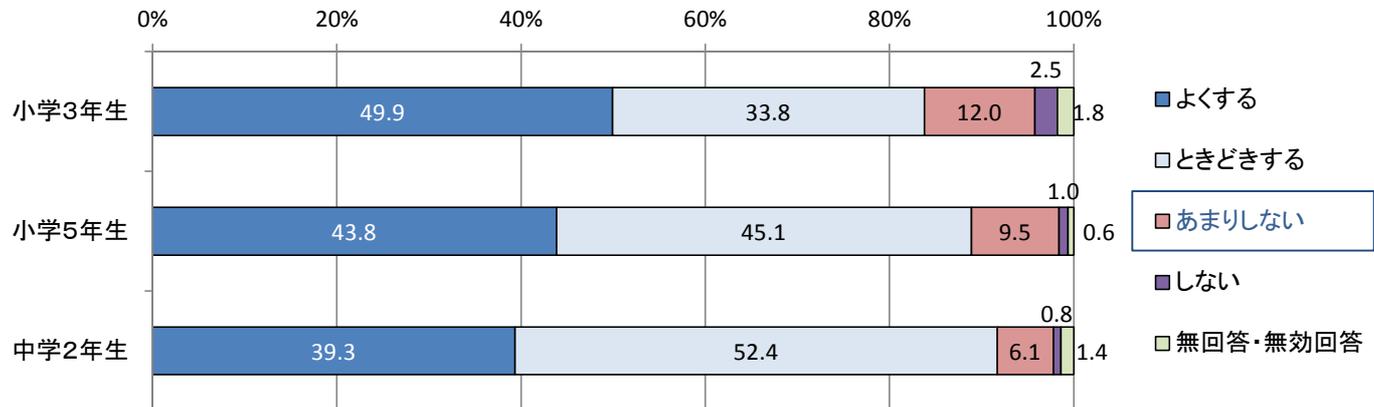
全学年で「よくする」が減少している(小学3年生で57.9%から49.9% 小学5年生で54.3%から43.8% 中学2年生で54.2%から39.3%)

地域における大人と児童生徒との人間関係が年々希薄になっていることが原因として考えられる。

前回



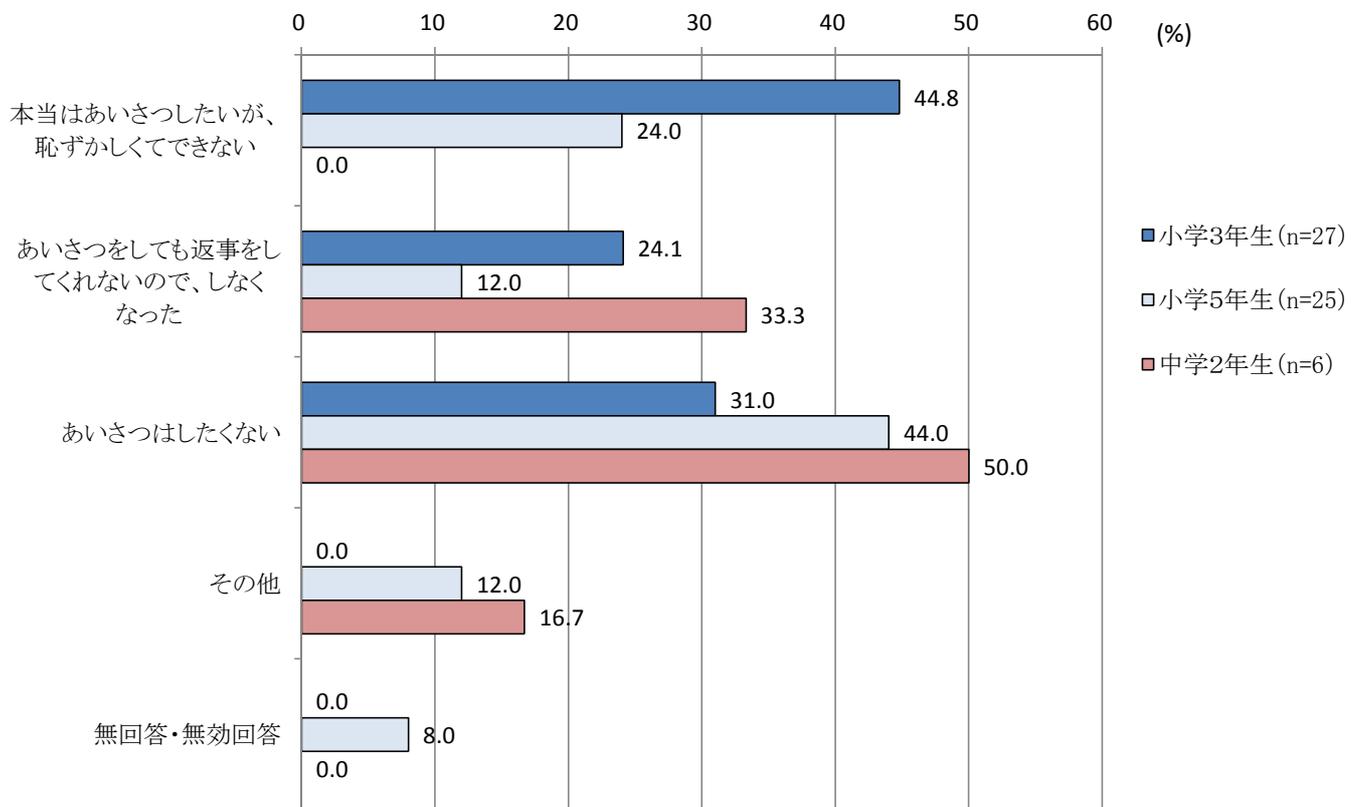
今回



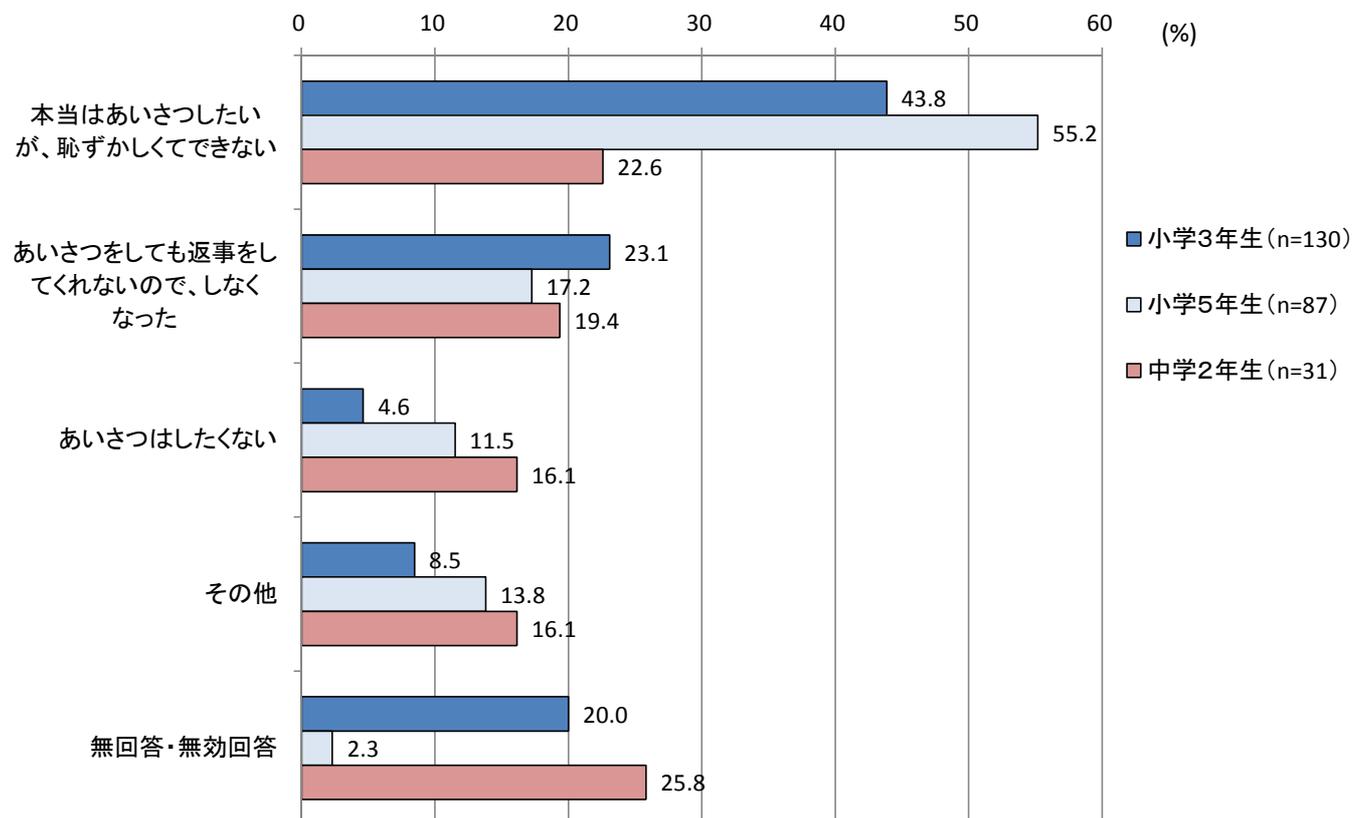
問6-1 「3. あまりしない」「4. しない」を選んだ人にお聞きします。あいさつをしない理由は何ですか

前回よりも回答者数が増加している(前回 58人から今回 249人)。前回と比較して「本当はあいさつしたいが恥ずかしくてできない」が小学5年生と中学2年生で増えている。反面、「あいさつはしたくない」は全学年で減少している。

前回



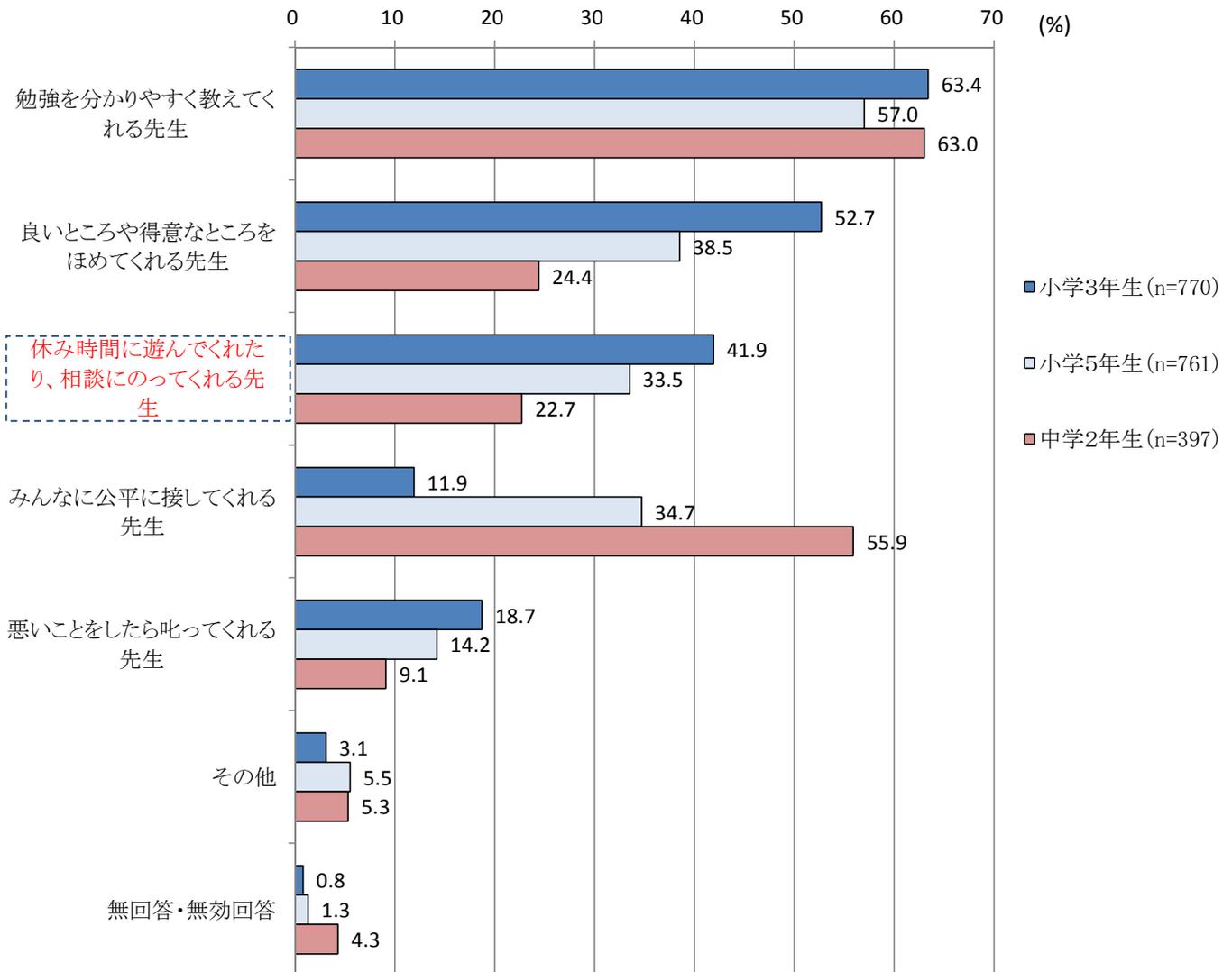
今回



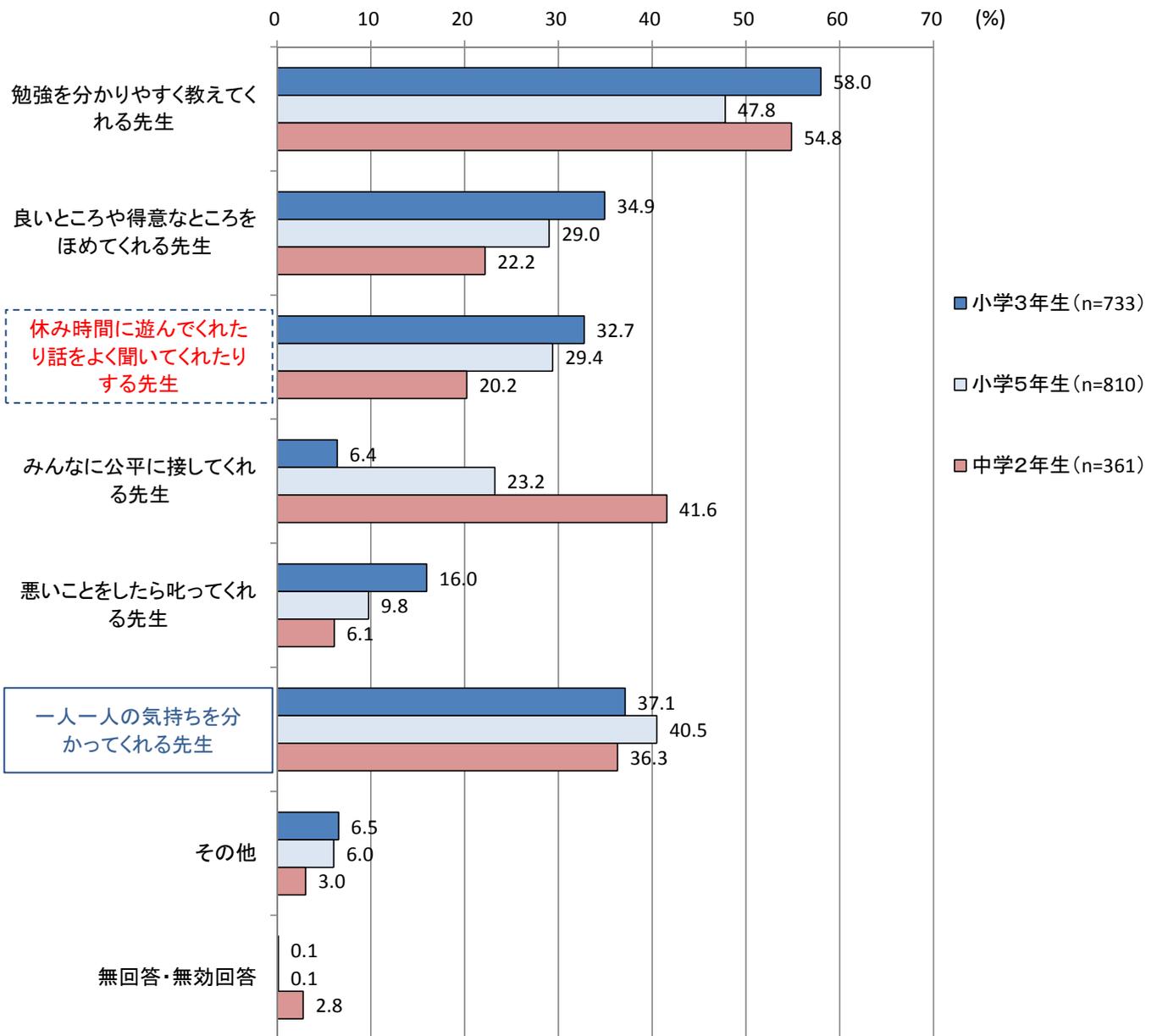
問7 あなたは、どんな先生が好きですか。(複数回答2つまで)

新たに選択肢として「一人一人の気持ちを分かってくれる先生」を追加した。この選択肢を選んだ児童生徒は40%前後と多く、その分、他の項目が少しずつ減少している。

前回



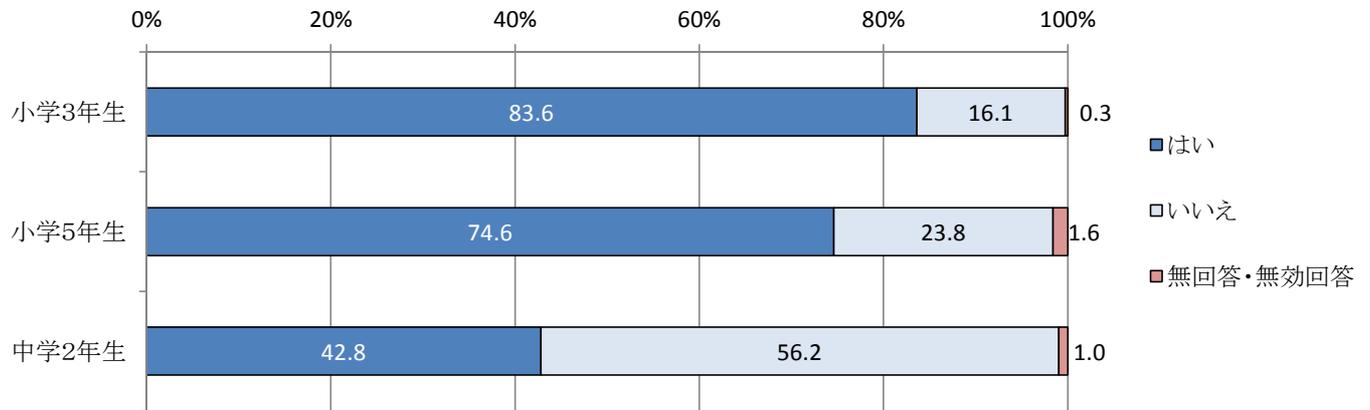
今回



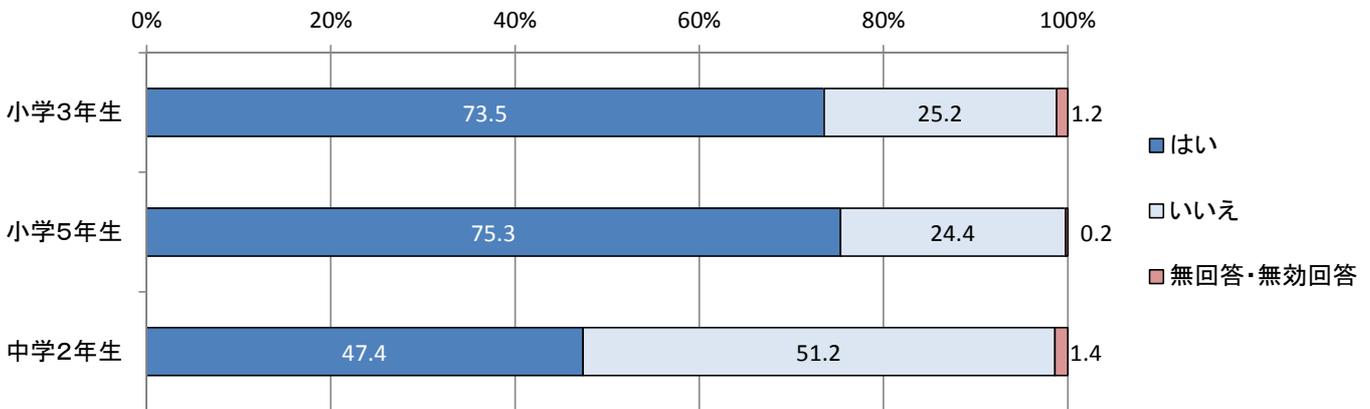
問8 あなたは、今の学年になって、地域の行事に参加したことがありますか。

「はい」と答えたものが小学3年生で減少(83.6%から73.5%)しており、小学5年生・中学2年生で増加(それぞれ74.6%から75.3%、42.8%から47.4%)している。

前回



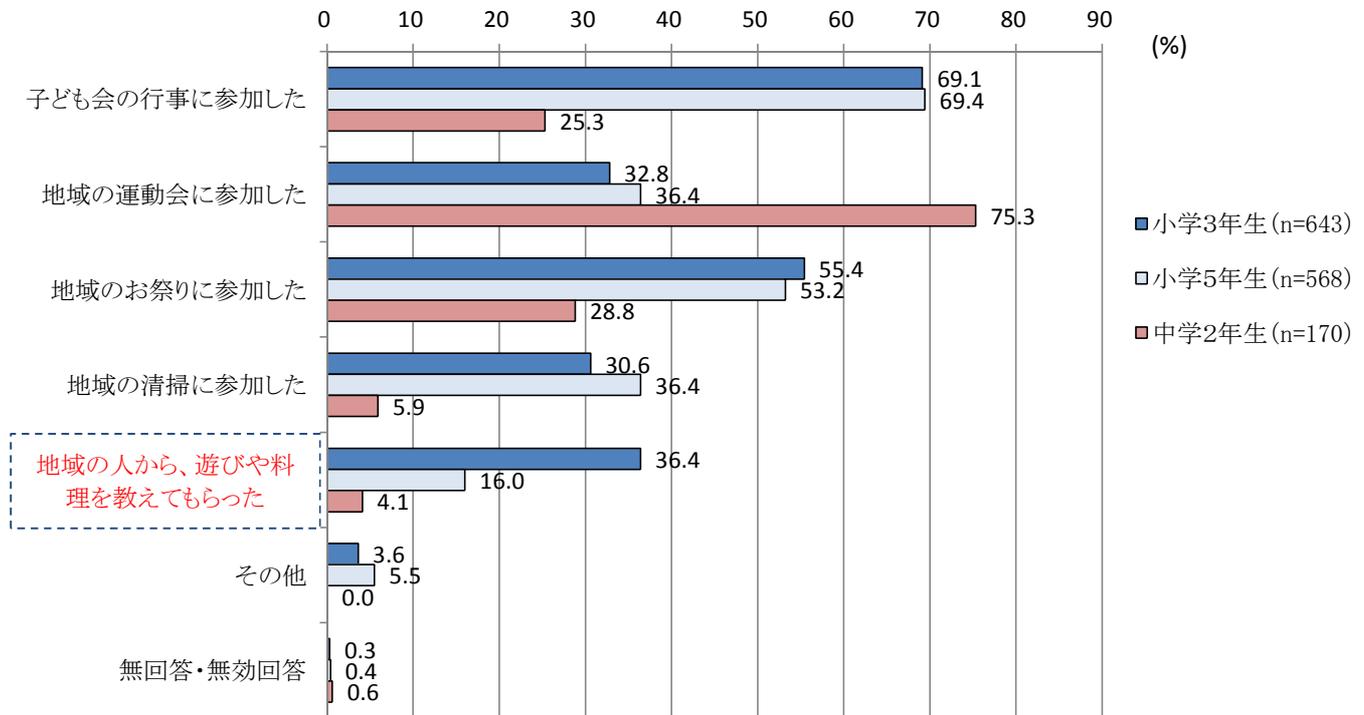
今回



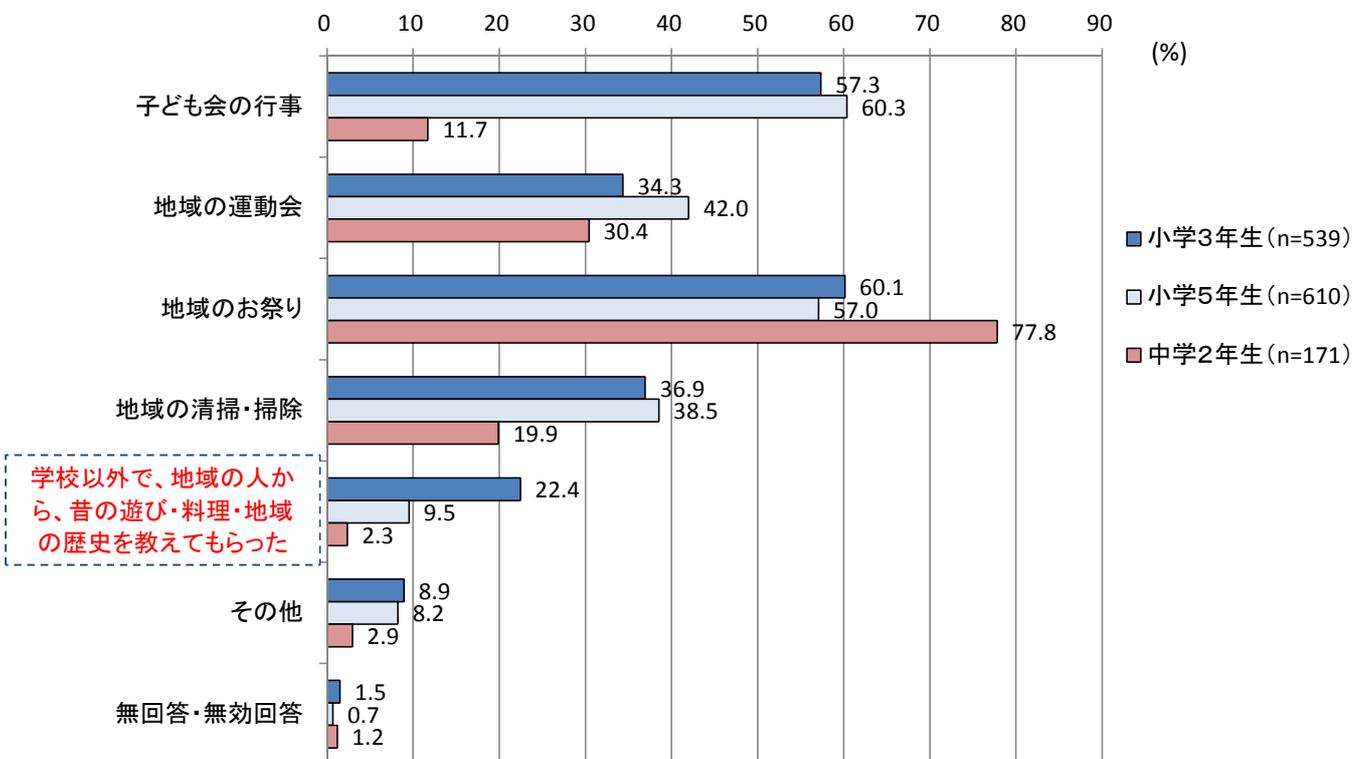
問8-1 「1. はい」を選んだ人にお聞きします。どんなことがありましたか。(複数回答制限なし)

「子ども会の行事に参加」が全学年で減少している。中学2年生は「地域の運動会に参加」が減少し、全学年で「地域のお祭り」「地域の清掃」が増加している。

前回



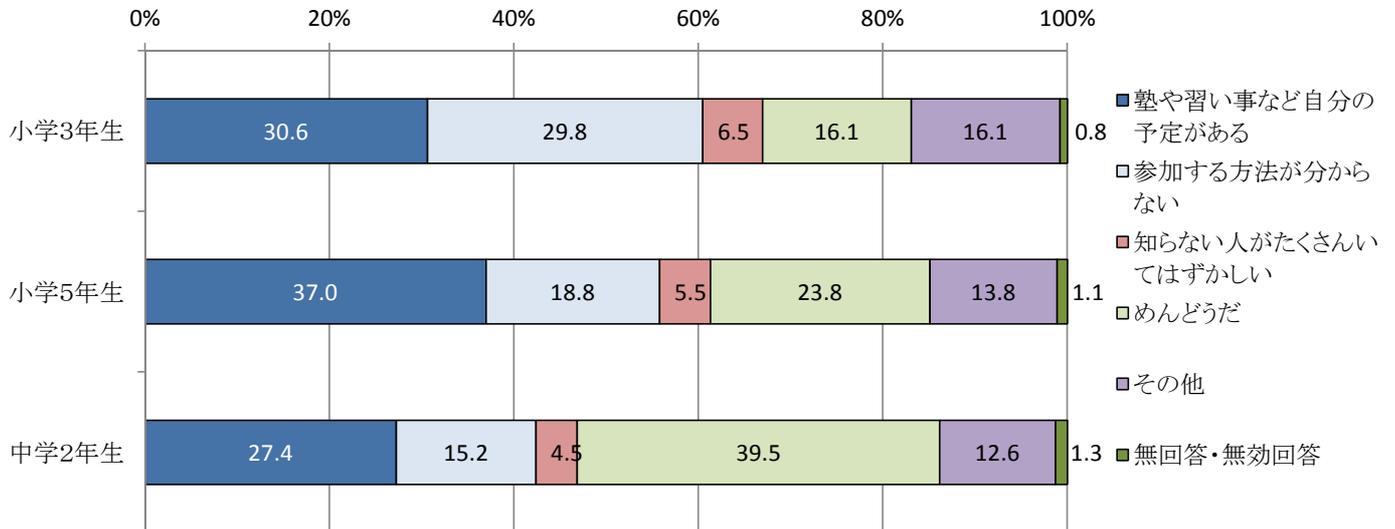
今回



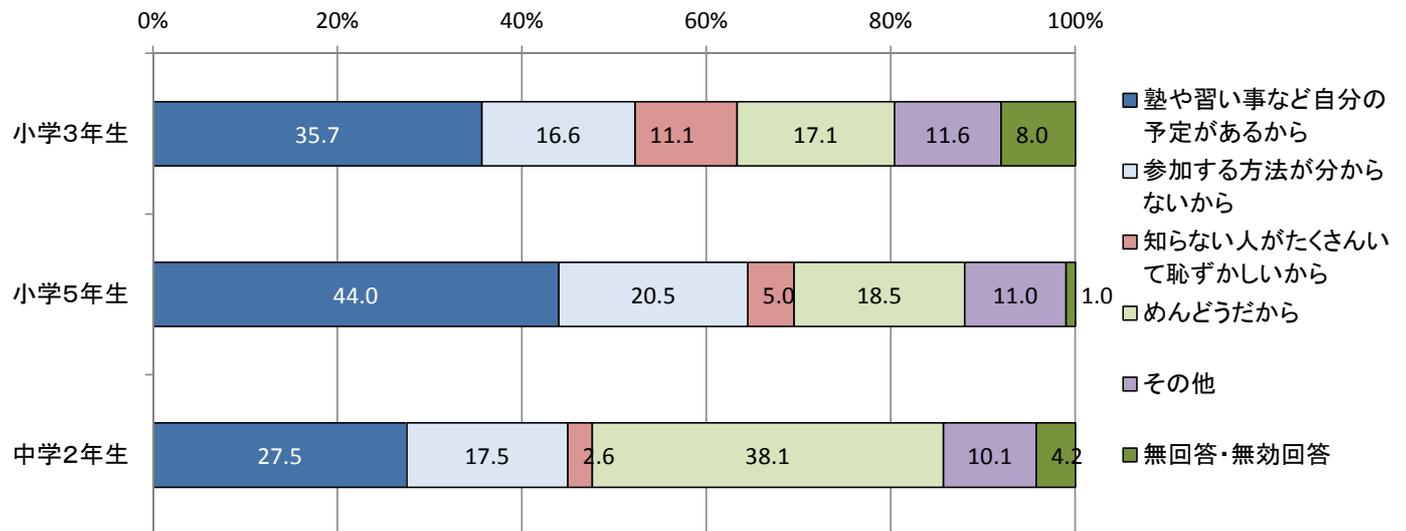
問8-2「2. いいえ」を選んだ人にお聞きします。地域の行事に参加しないのはなぜですか。

小学5年生と中学2年生の回答については前回から、目立った変化は無い。小学3年生の「参加する方法が分からない」が減少して「塾や習い事など自分の予定があるから」、「知らない人がたくさんいて恥ずかしいから」が増えている。参加する方法、開催されることは知りつつも、しり込みしているようである。

前回



今回



前回調査との比較（保護者）

保護者 前回比較

※前回と今回で問の文言を変更しているものは、前回の文言は明朝体で、今回の文言はゴシック体で表示しています。

前回と今回が同じ場合は文言をゴシック体で表示しています。

※今回、追加した選択肢は**実線枠**で、修正した選択肢は**点線枠**で示しています。
 (ただし問13はすべて修正されています)。

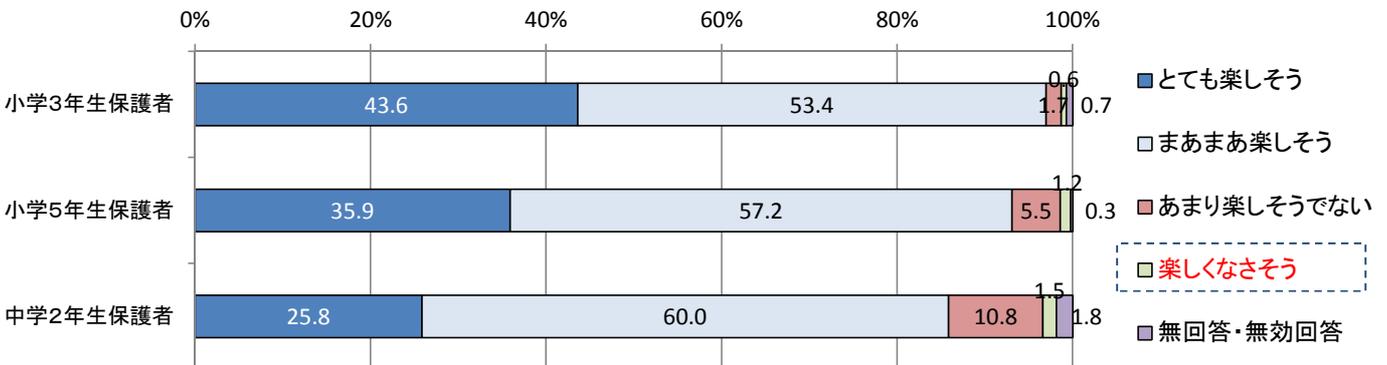
問1 あなたのお子さんは、学校に楽しく通っていますか。

前回と比較して目立った変化は認められない。若干ではあるが小学3年生保護者の「とても楽しそう」が46.6%から43.6%に減少し、中学2年生保護者の「とても楽しそう」が19.8%から25.8%に増加している。
 中学校の環境が生徒にとって好転しているようである。

前回



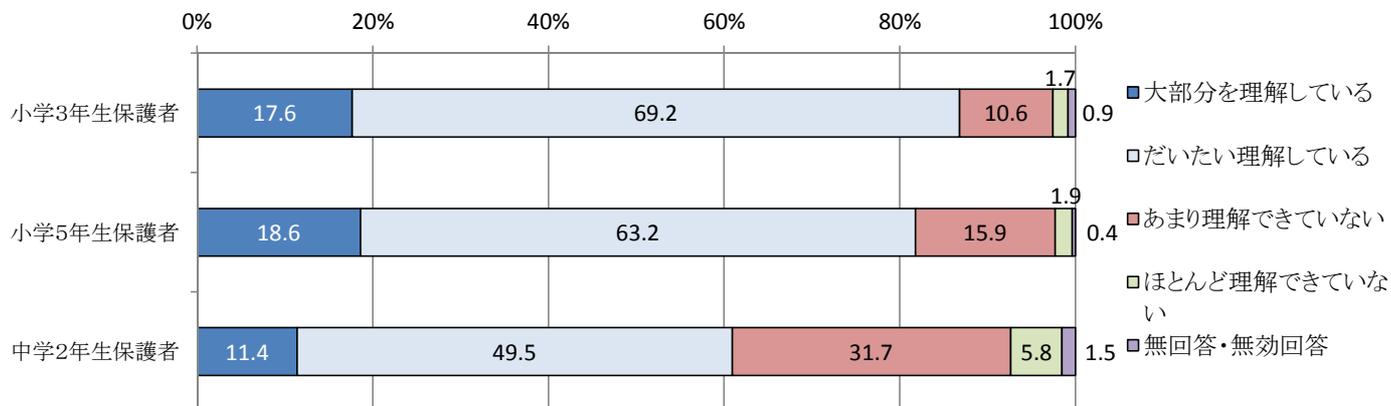
今回



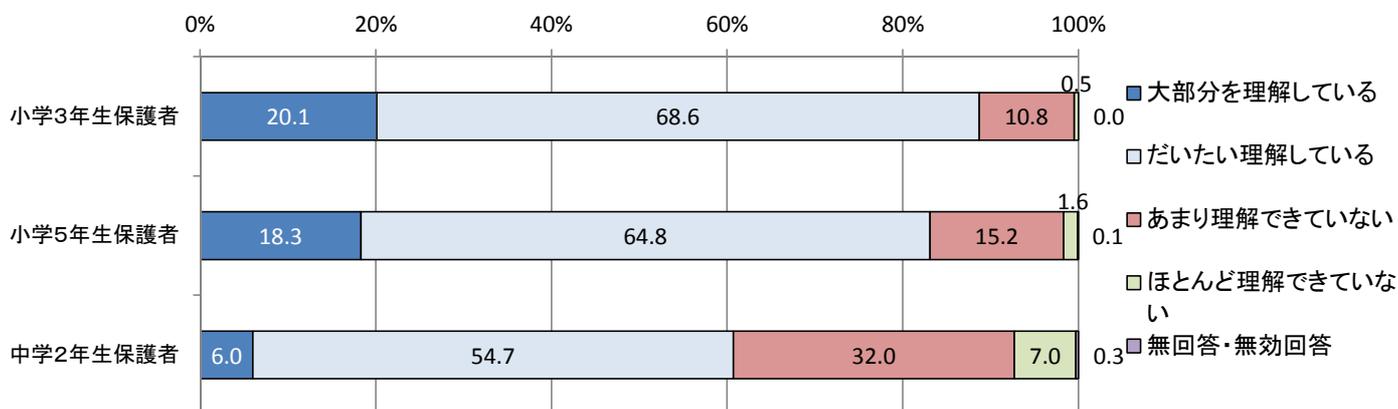
問2 あなたのお子さんは、学習内容をどのくらい理解していると思いますか。

ほぼ前回と同様な傾向であるが、「大部分を理解している」の回答に若干の変化(小学3年生で増加 17.6%から20.1% 中学2年生で減少 11.4%から 6.0%)が見られる。

前回



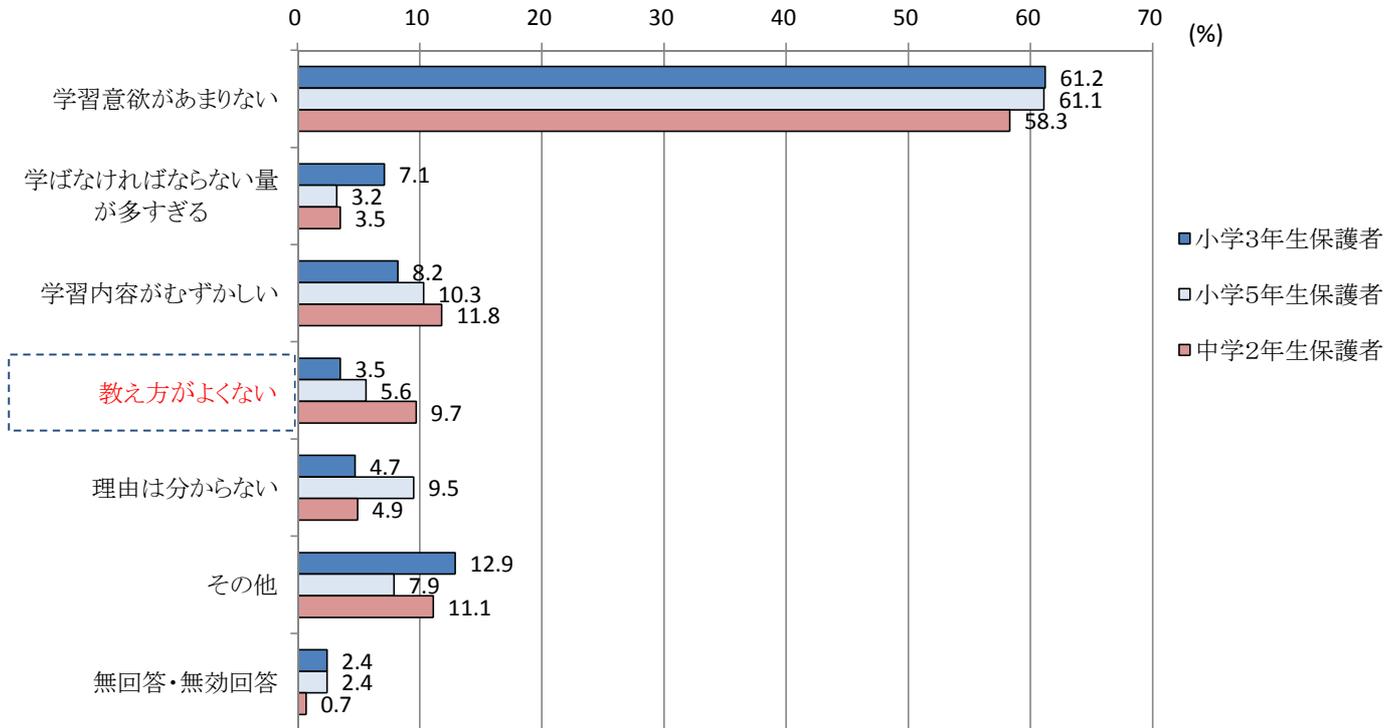
今回



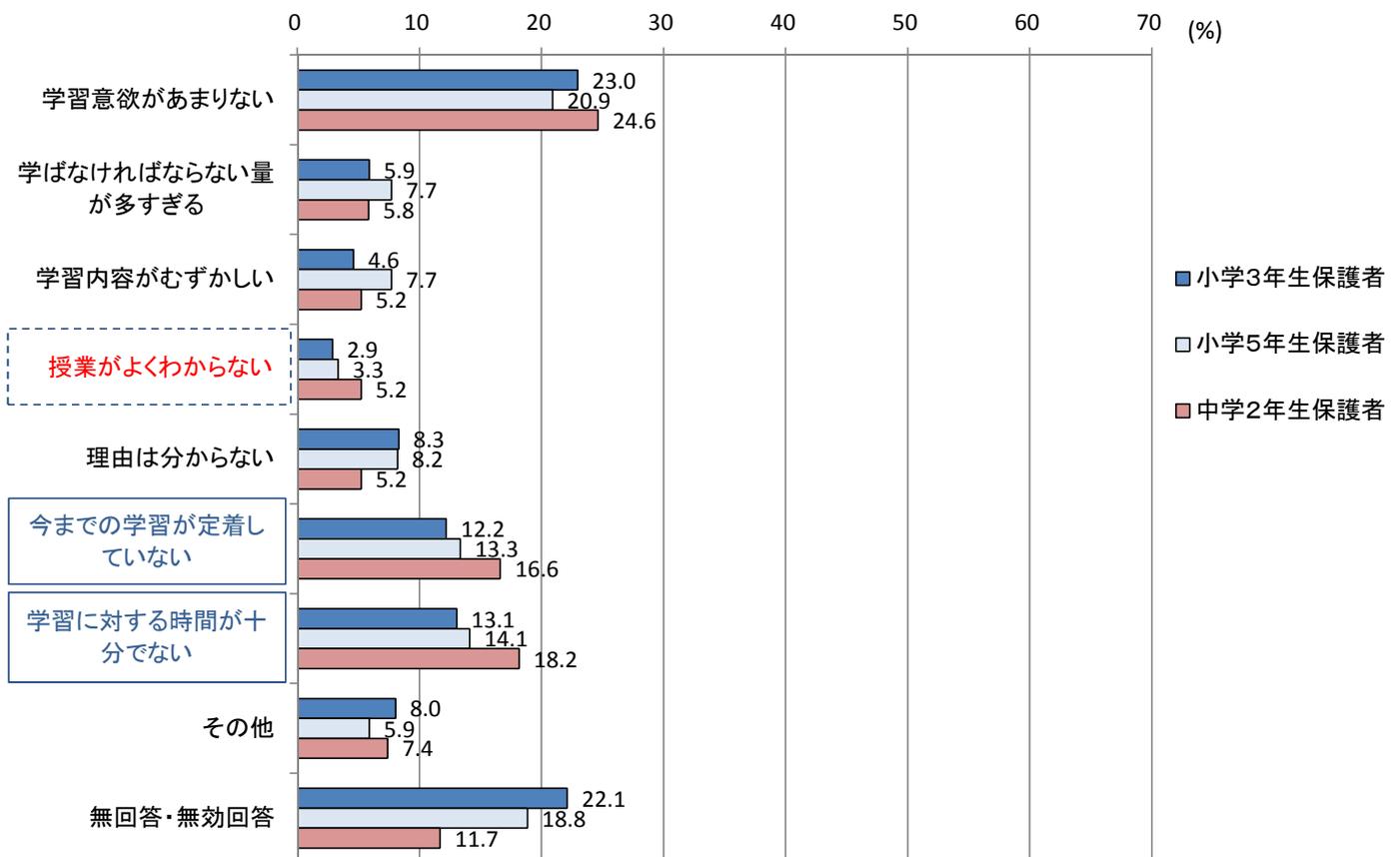
**問2-1 理解できていないところについて、その理由は何だと思いますか。
理解が十分でない理由は何だと思いますか。**

質問文と選択肢に変更を加えており、単純に比較はできないが「学習意欲があまりない」が前回と比べ、おおよそ3分の1に減っている。その分が、追加した「今までの学習が定着していない」、「学習に対する時間が十分でない」に流れ、より実情を反映する選択肢であると思われる。

前回



今回

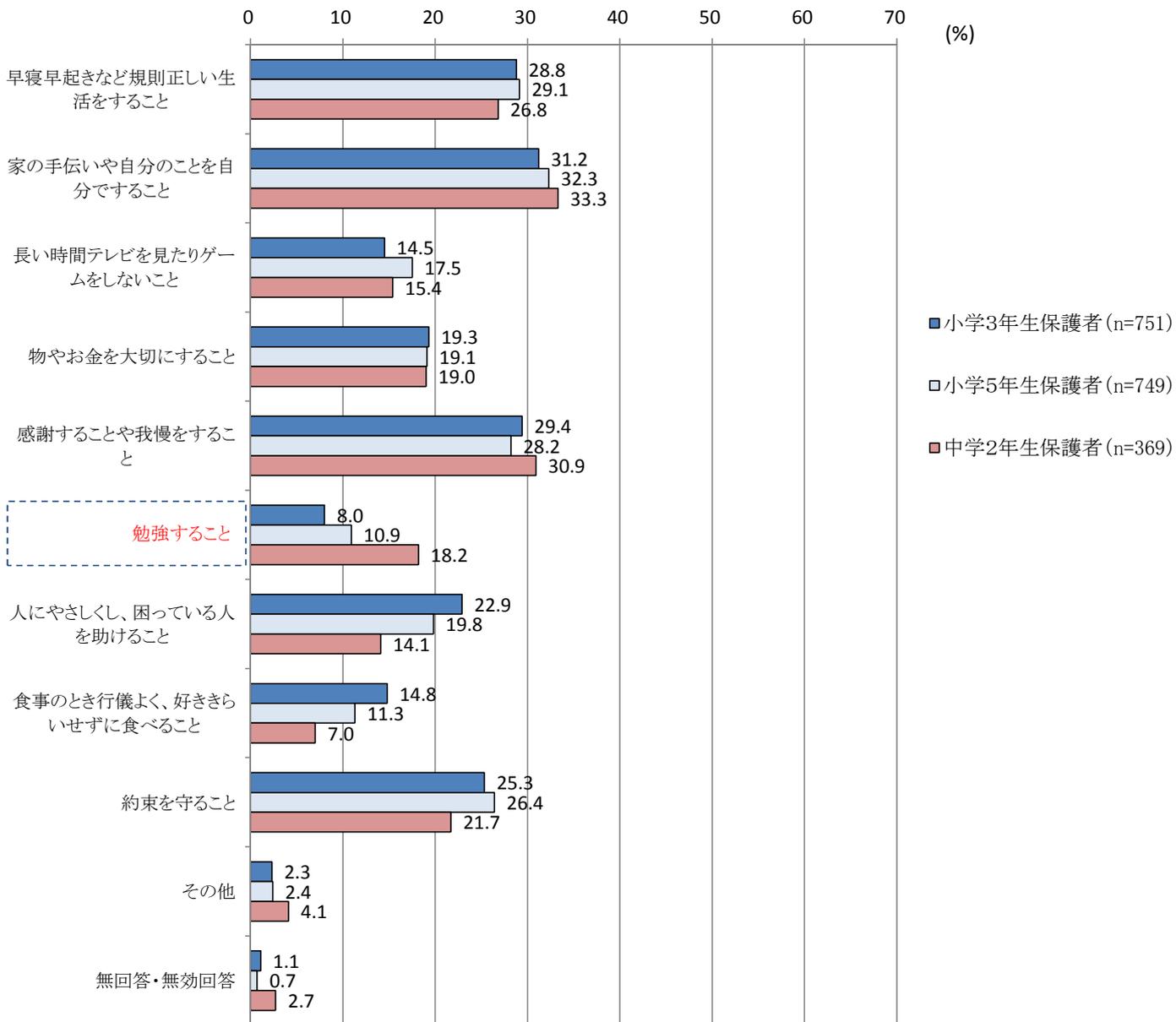


問3 あなたが、家庭でお子さんによく指導することは何ですか。(複数回答2つまで)
あなたが、家庭でお子さんによく指導することは何ですか。(複数回答3つまで)

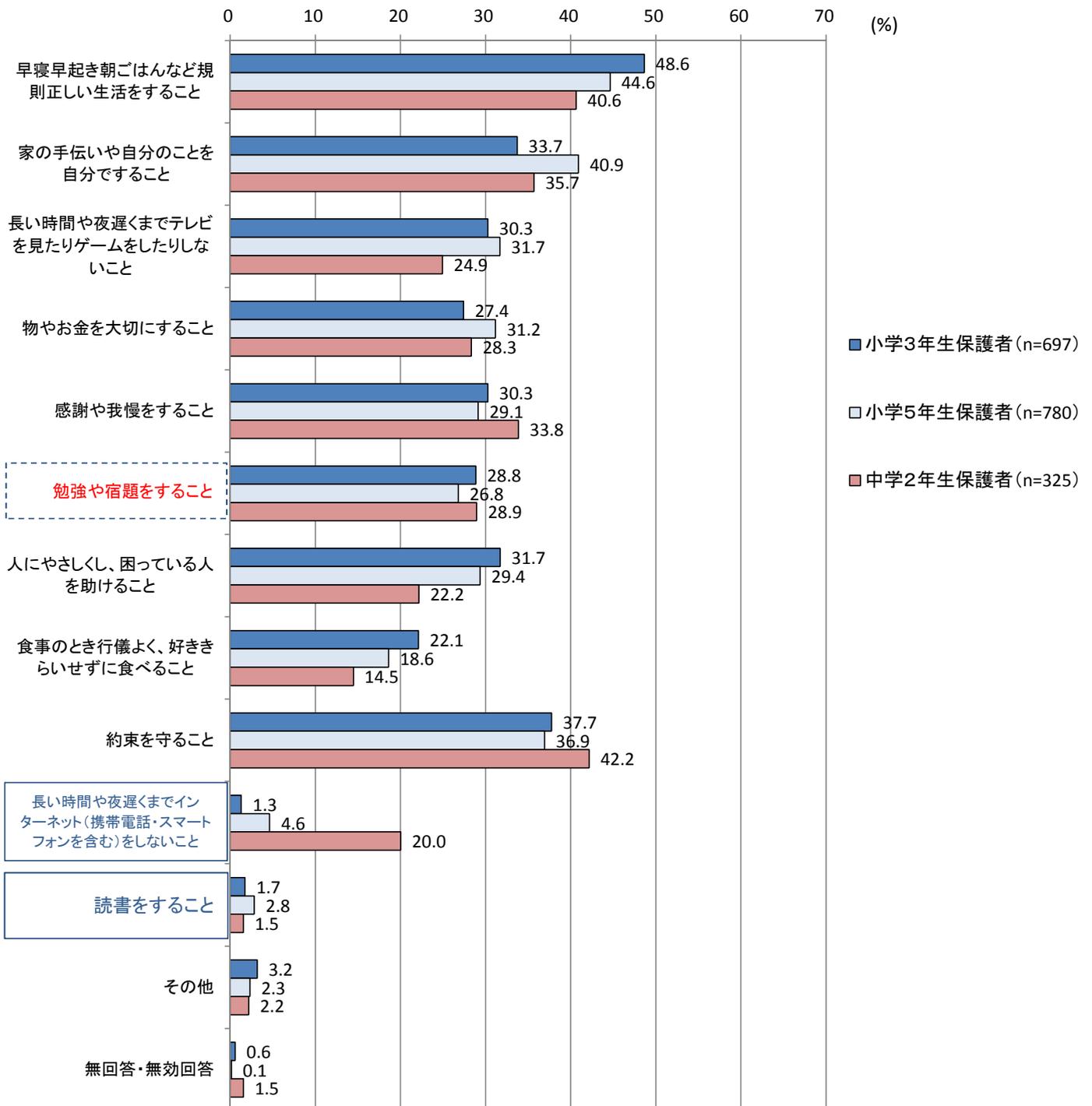
今回、選択肢を増やし、回答数の上限も2から3に増やしている。その中で比較的增加したものとしては、「早寝早起きなど規則正しい生活をする事」、「長い時間テレビを見たりゲームをしないこと」などである。

また、「勉強すること」は「勉強や宿題をする事」となって回答数が増えている。新規に選択肢となった「長い時間や夜遅くまでインターネットをしないこと」については中学2年生で20%にのぼっている。中学生に携帯端末が普及していると思われる。

前回



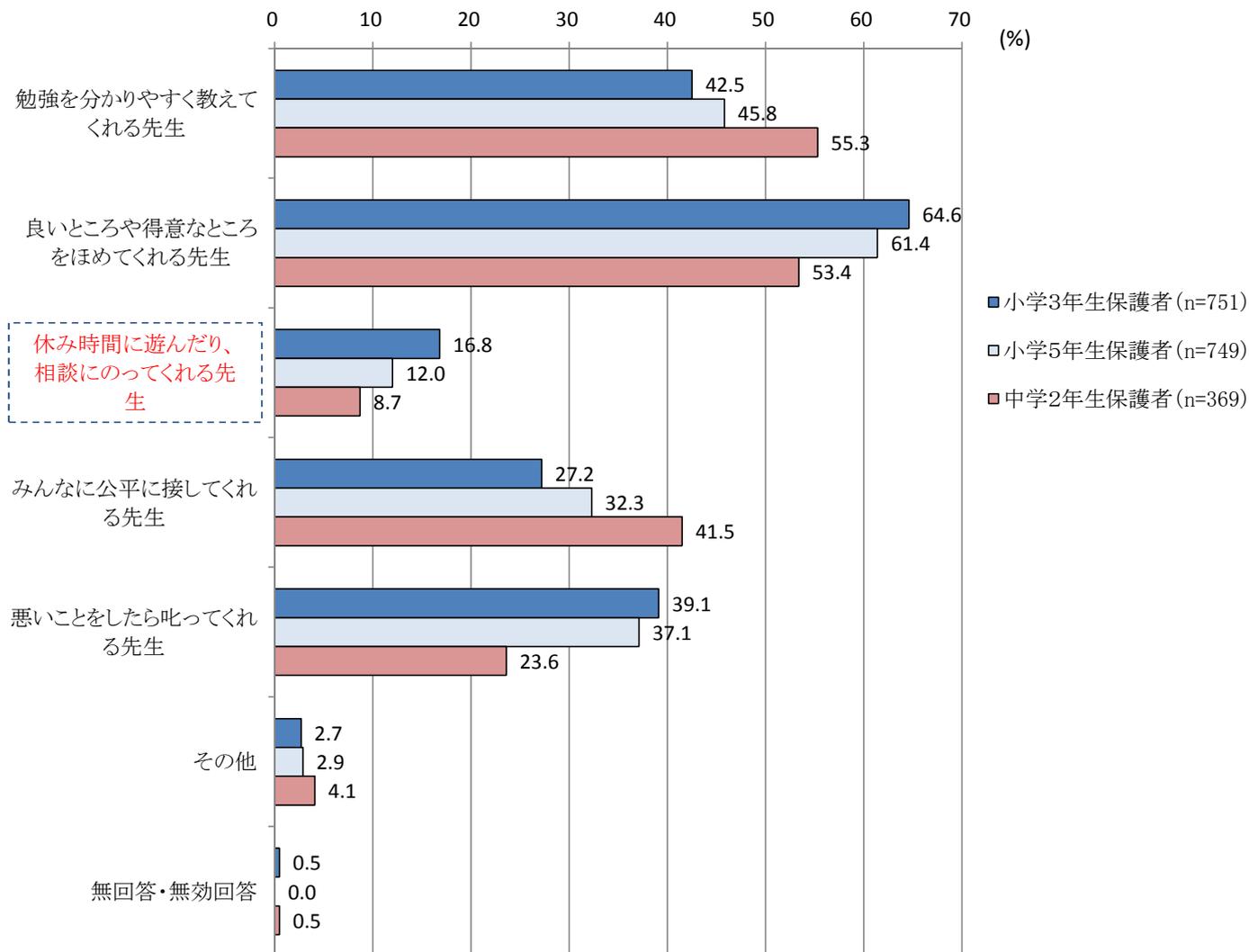
今回



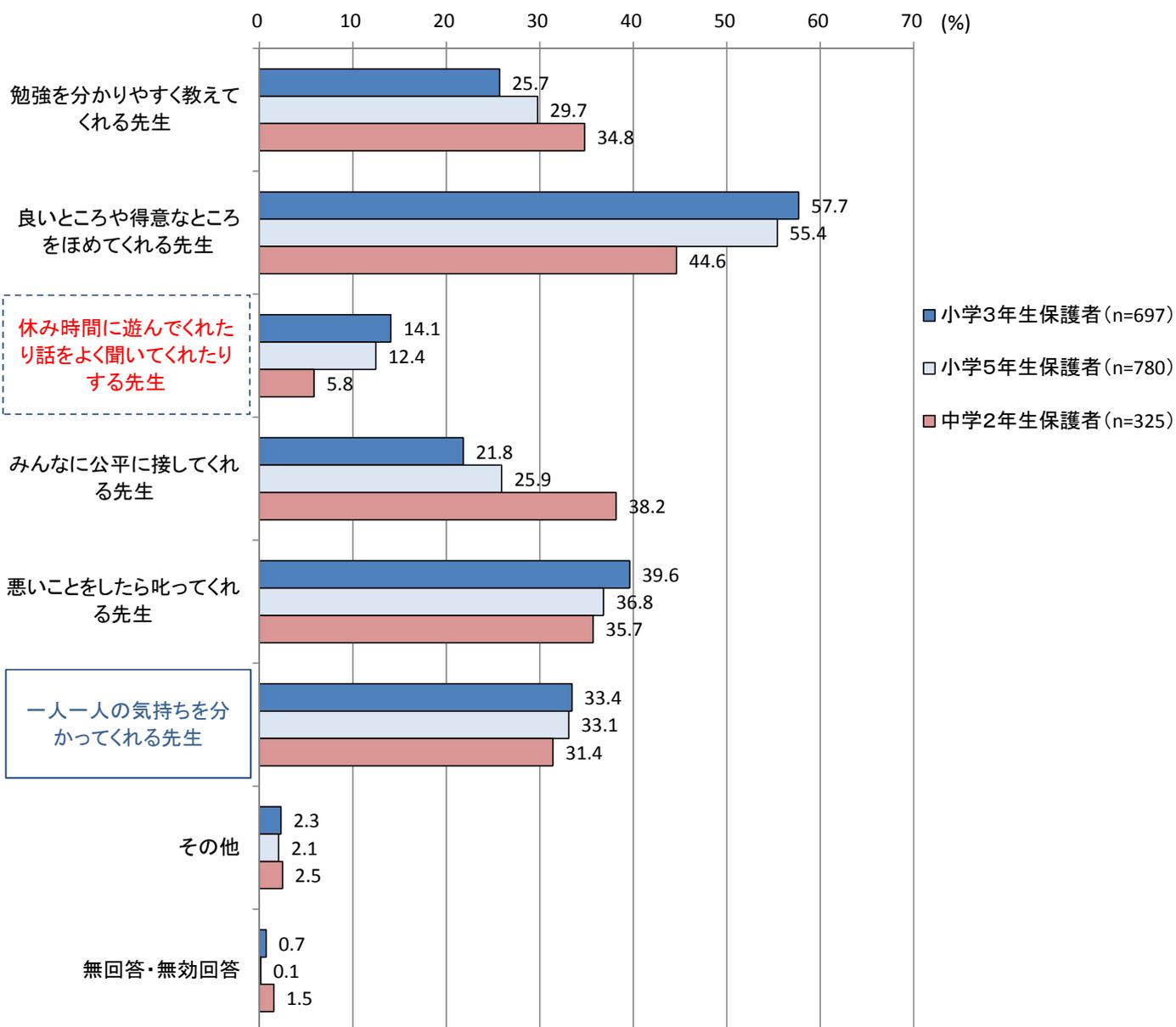
問4 あなたは、どのような先生が望ましいと思いますか。(複数回答2つまで)

新たに、選択肢として「一人一人の気持ちを分かってくれる先生」を追加している。この選択肢を選んだ保護者は30%台と多い。その分、「勉強を分かりやすく教えてくれる先生」が減少している。保護者が教師に、授業以外の役割をも求めていることがうかがえる。

前回



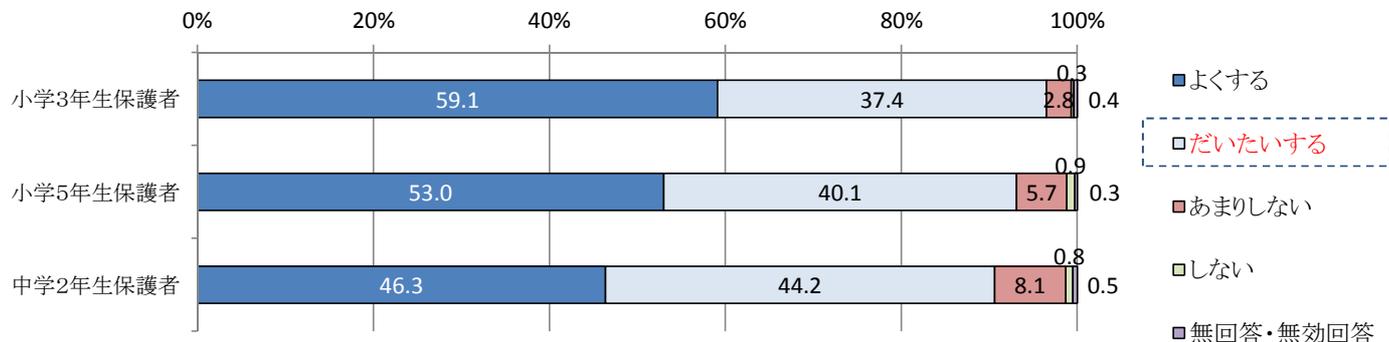
今回



問5 あなたは、お子さんと家庭であいさつをしますか。

2つめの選択肢を変更したせいもあるが、「よくする」が全学年で増加している。
家庭において保護者が子どもに対して働きかけをよく行っている。

前回



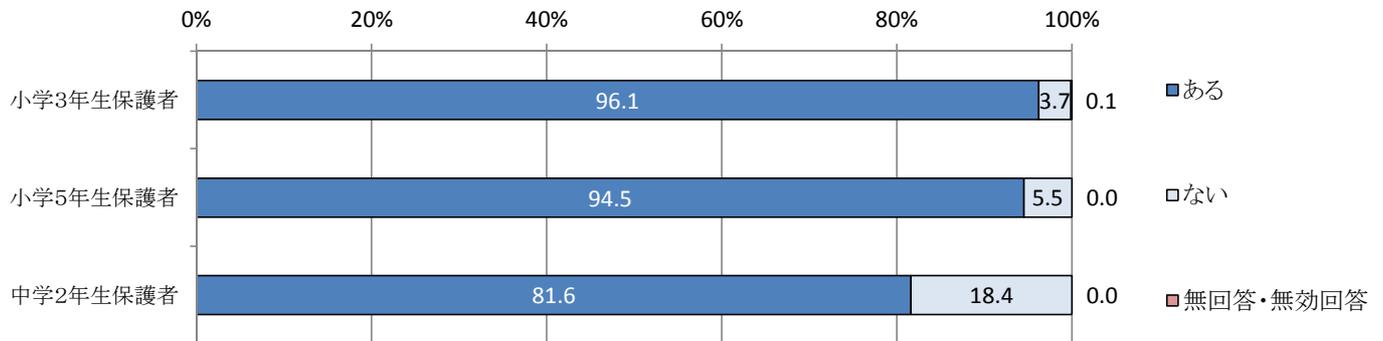
今回



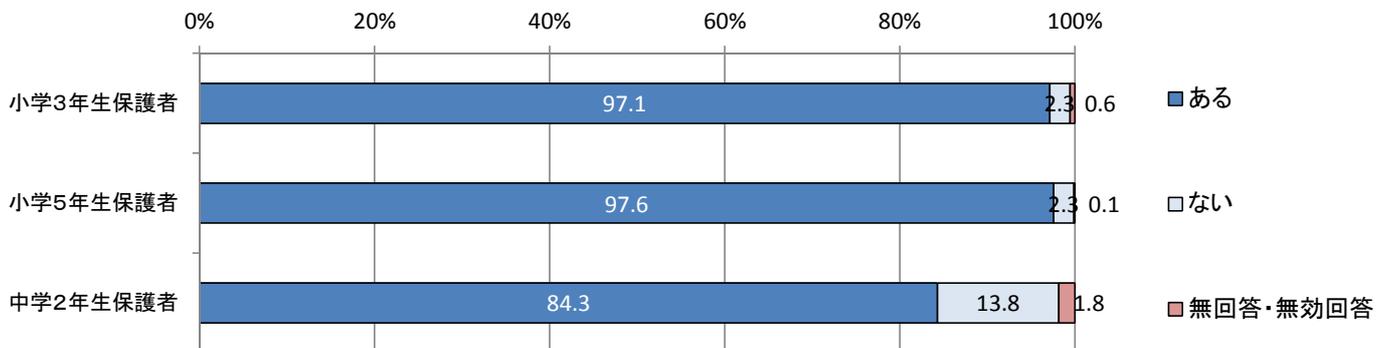
問6 あなたは、あなたのお子さんが今の学年になって、学校の行事などに参加したことがありますか。

「ある」と答えた保護者が、わずかずつであるが増加している(小学3年生保護者が96.1%から97.1% 小学5年生保護者が94.5%から97.6% 中学2年生保護者が81.6%から84.3%)。
子どもの教育に関わろうという、親の意識に変化が見られる。

前回



今回

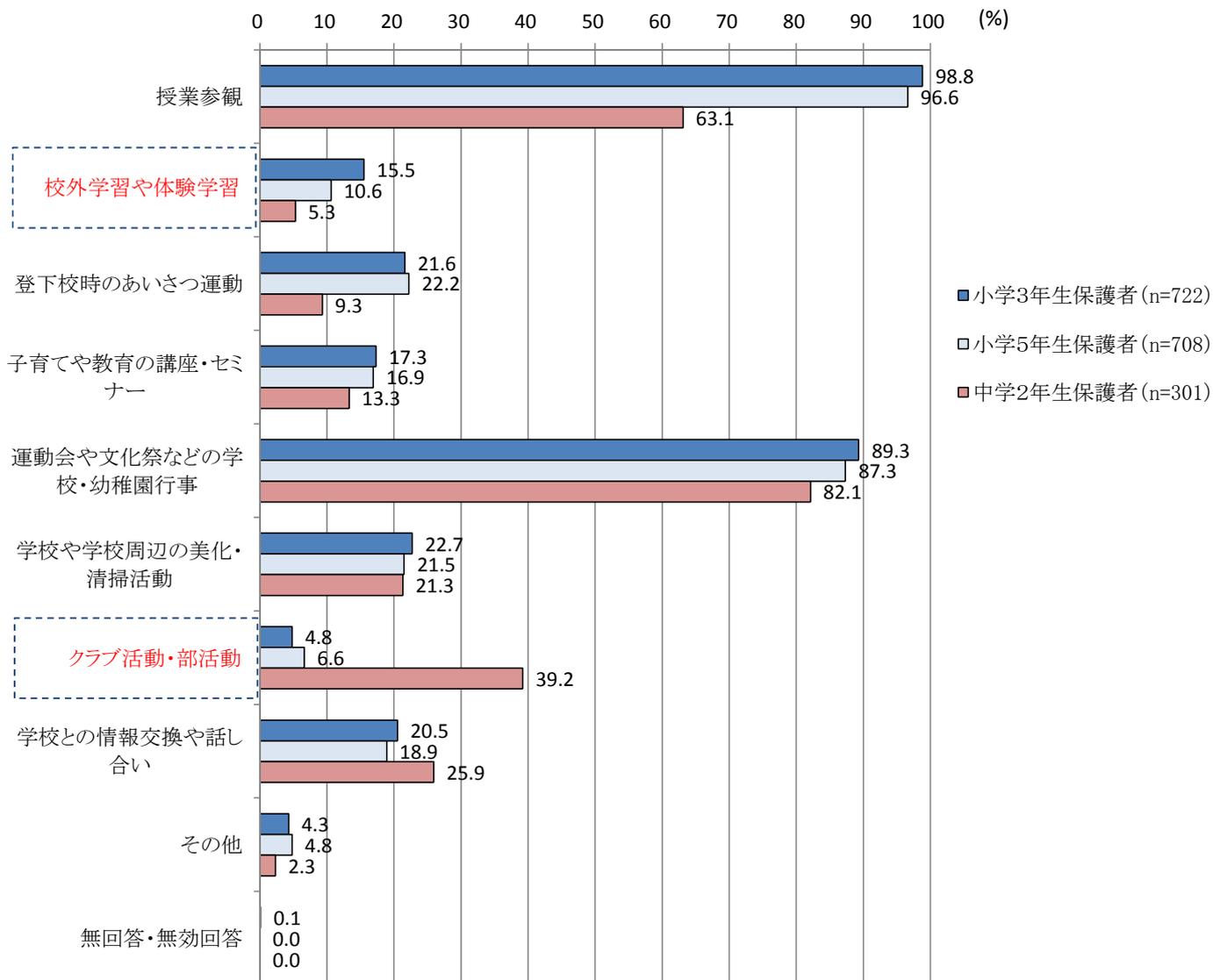


問6-1 「1.ある」を選んだ人にお聞きします。それはどんなことですか。(複数回答制限なし)

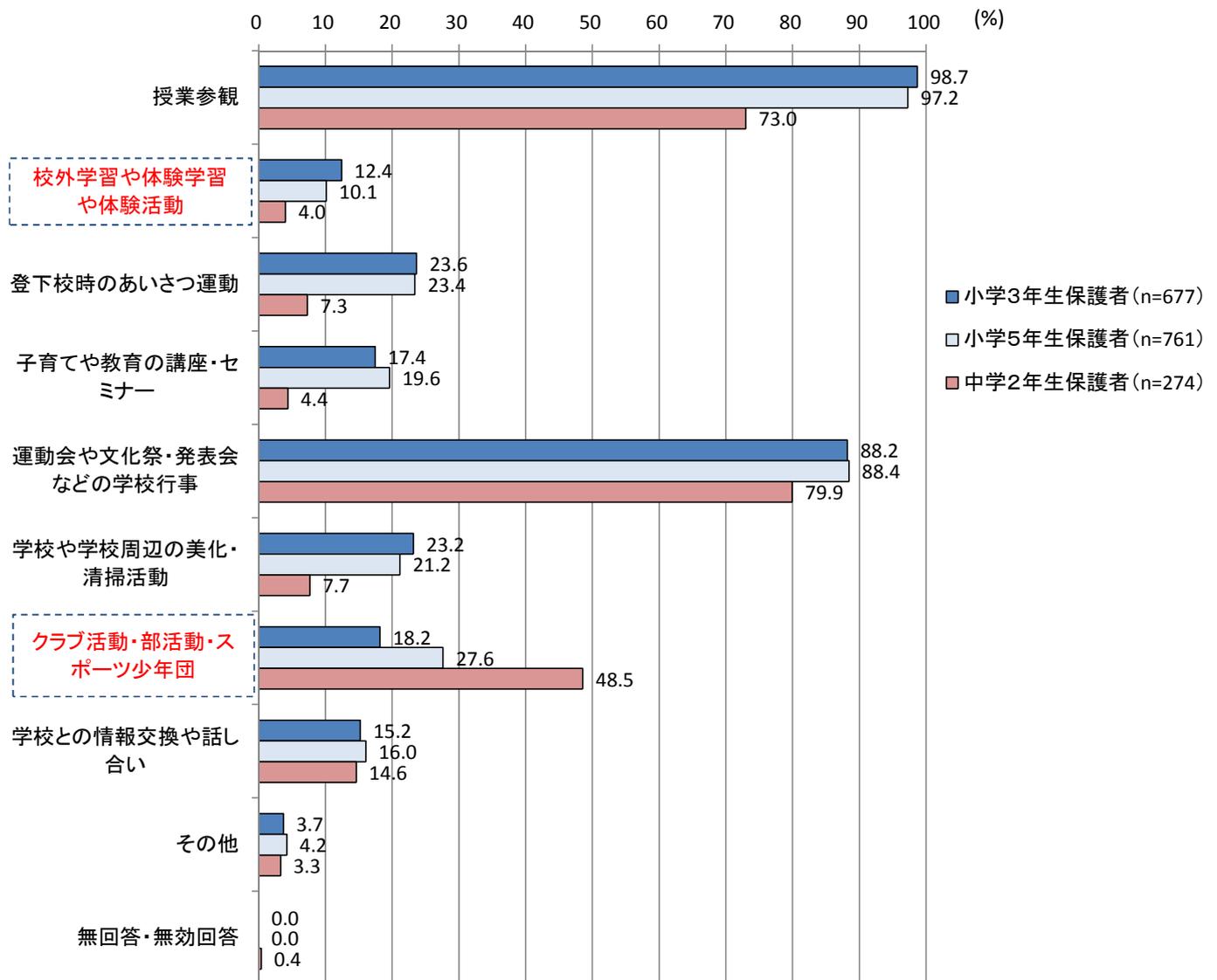
全体的な傾向は前回と変化はない。「クラブ活動・部活動・スポーツ少年団」と選択肢にスポーツ少年団を追加したことで小学生の保護者が増えている。

中学生の保護者の「授業参観」が増加(63.1%から73.0%)している。中学生の保護者に学校への関心が増えている。

前回



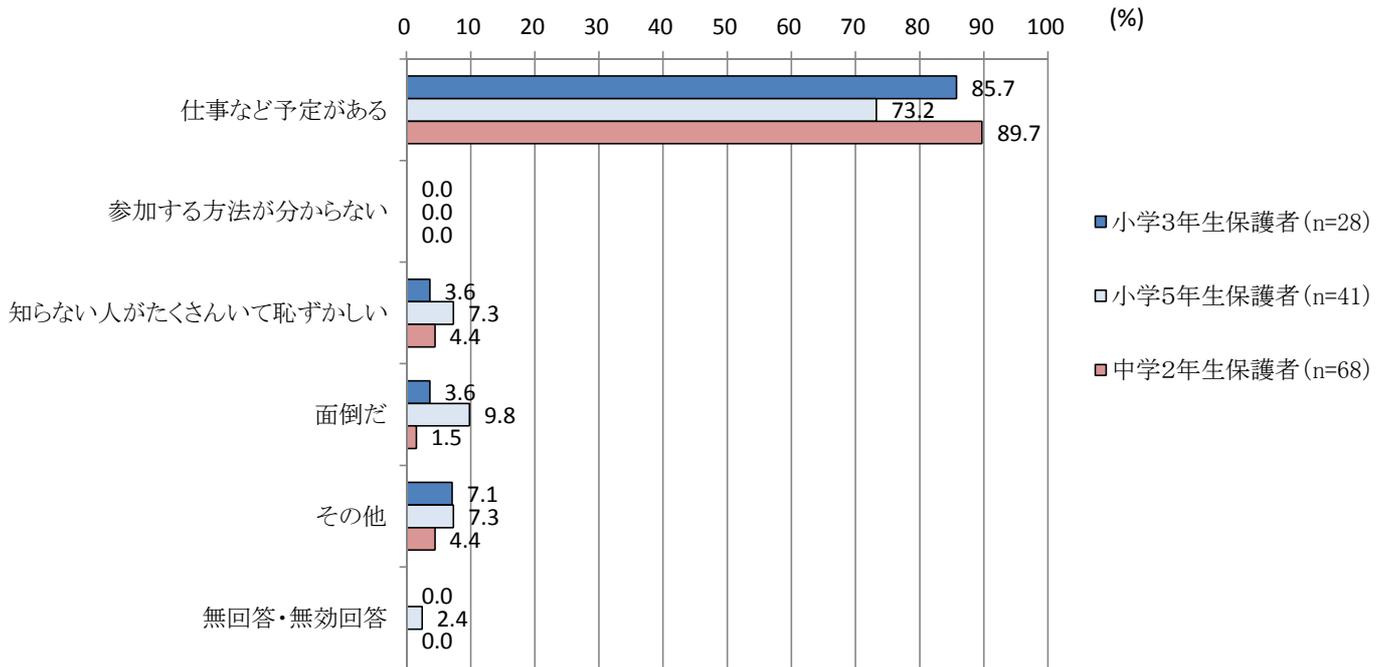
今回



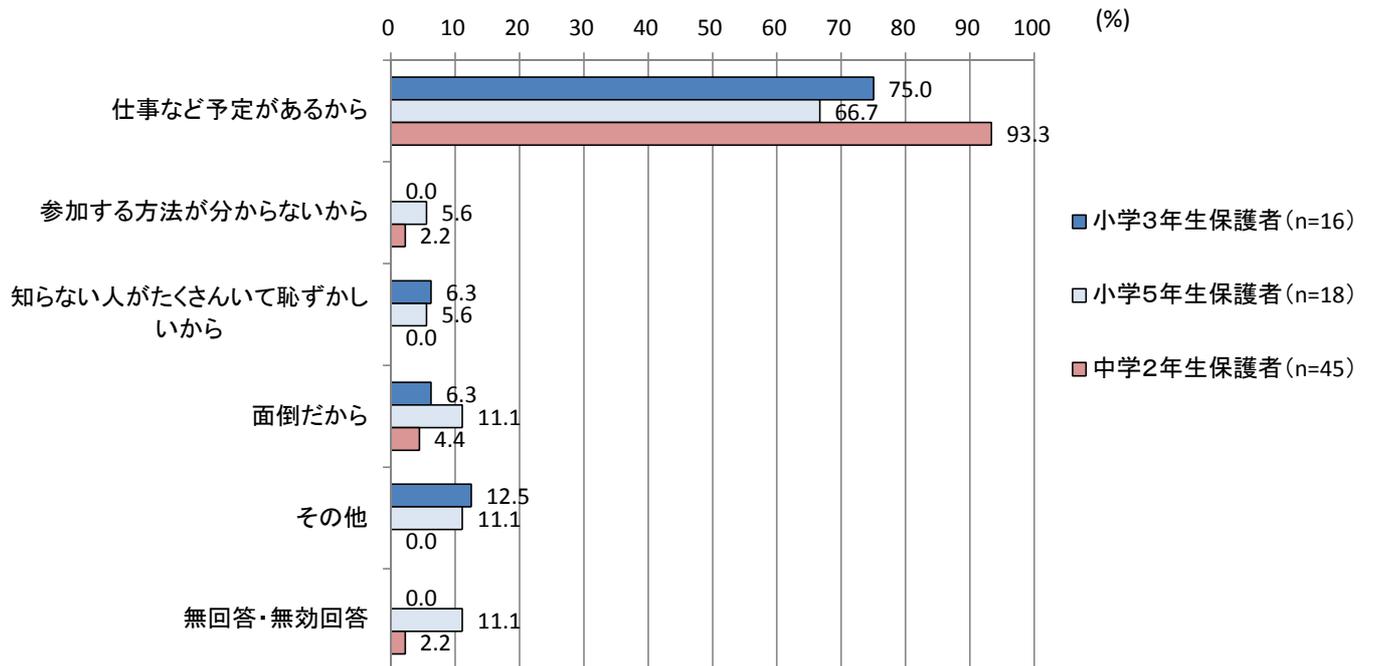
問6-2 「2.ない」を選んだ人にお聞きします。理由は何ですか。

前回よりも「ない」を選んだ保護者が減少している。全体的な傾向としては前回とほぼ同様である。

前回



今回

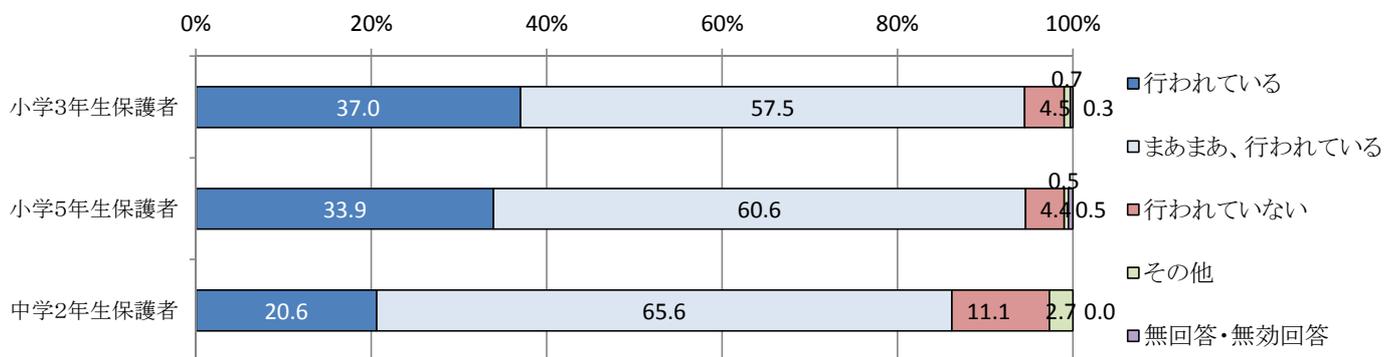


問7 あなたは、学校・幼稚園の運営方針などの情報提供が、積極的に行われていると思いますか。

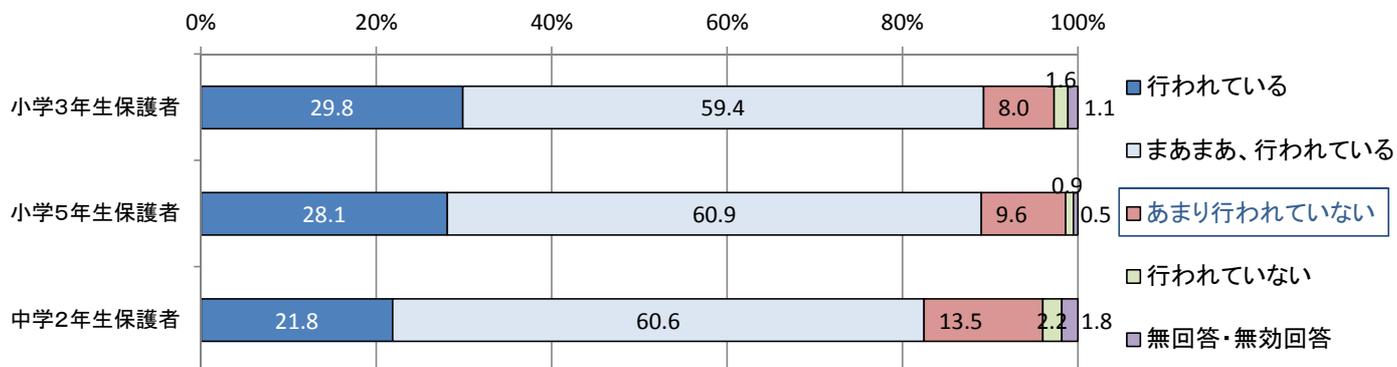
前回から「あまり行われていない」という選択肢を追加した。今回「行われている」、「まあまあ、行われている」と回答した保護者は前回の回答より若干減少し(小学3年生保護者が94.5%から89.2% 小学5年生保護者が94.5%から 89.0% 中学2年生保護者が86.2%から 82.4%)、「あまり行われていない」を含め「行われていない」が増加している。

保護者の学校に対する関心が大きくなっている中で、高学年ほどその傾向が表れている。

前回



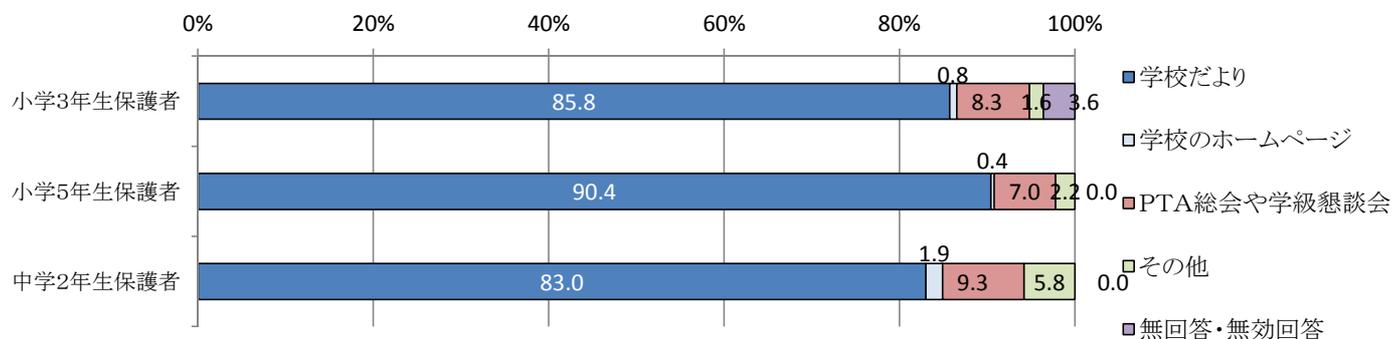
今回



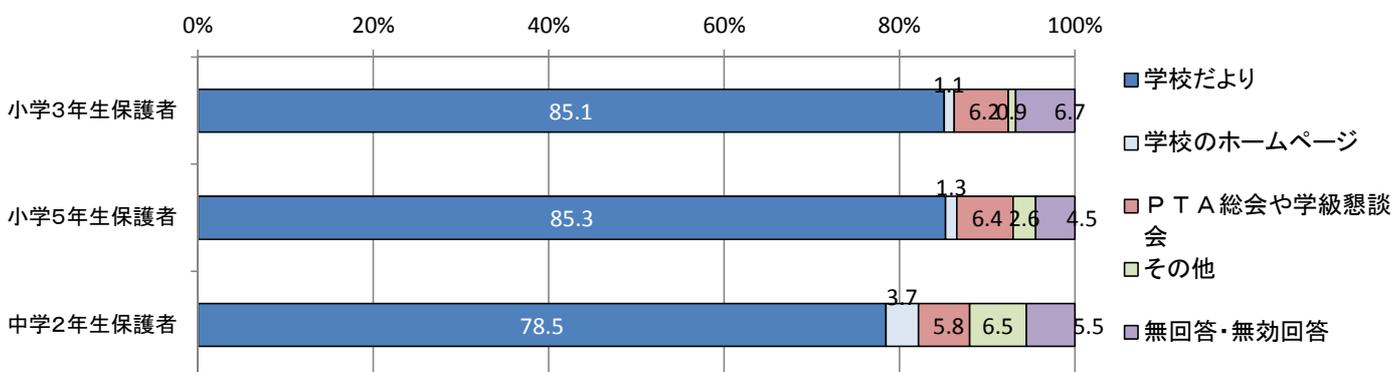
問8 あなたは、学校・幼稚園からの情報を、主にどのような方法で得ていますか。

前回から傾向としては変わらないが、全学年の保護者で無回答が増加している。

前回



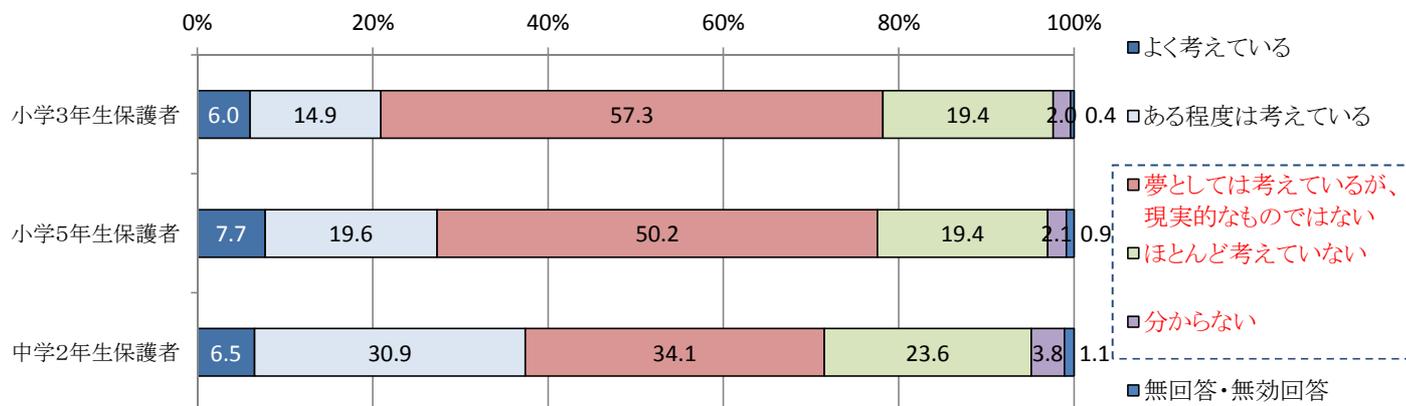
今回



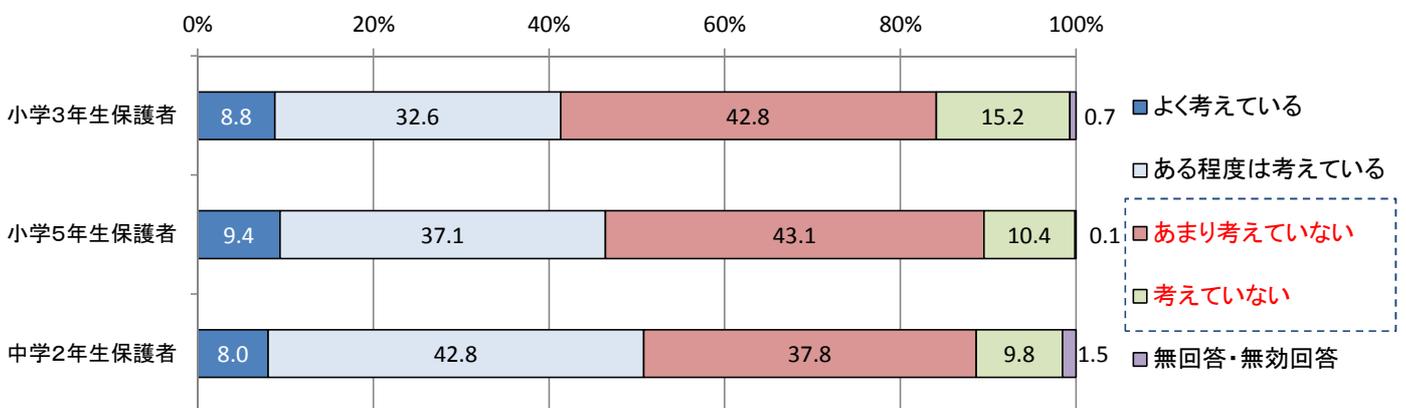
問9 あなたは、お子さんが、将来の職業について考えていると思いますか。

選択肢に変化はあるものの「よく考えている」、「ある程度は考えている」が全学年について増加している。
 2つの回答の合計は(小学3年生保護者 20.9%から41.4% 小学5年生保護者 27.3%から 46.5% 中学2年生保護者 37.4%から 50.8%)と増加しており、学校・家庭における教育、仕事について考える機会が増加しているようである。

前回



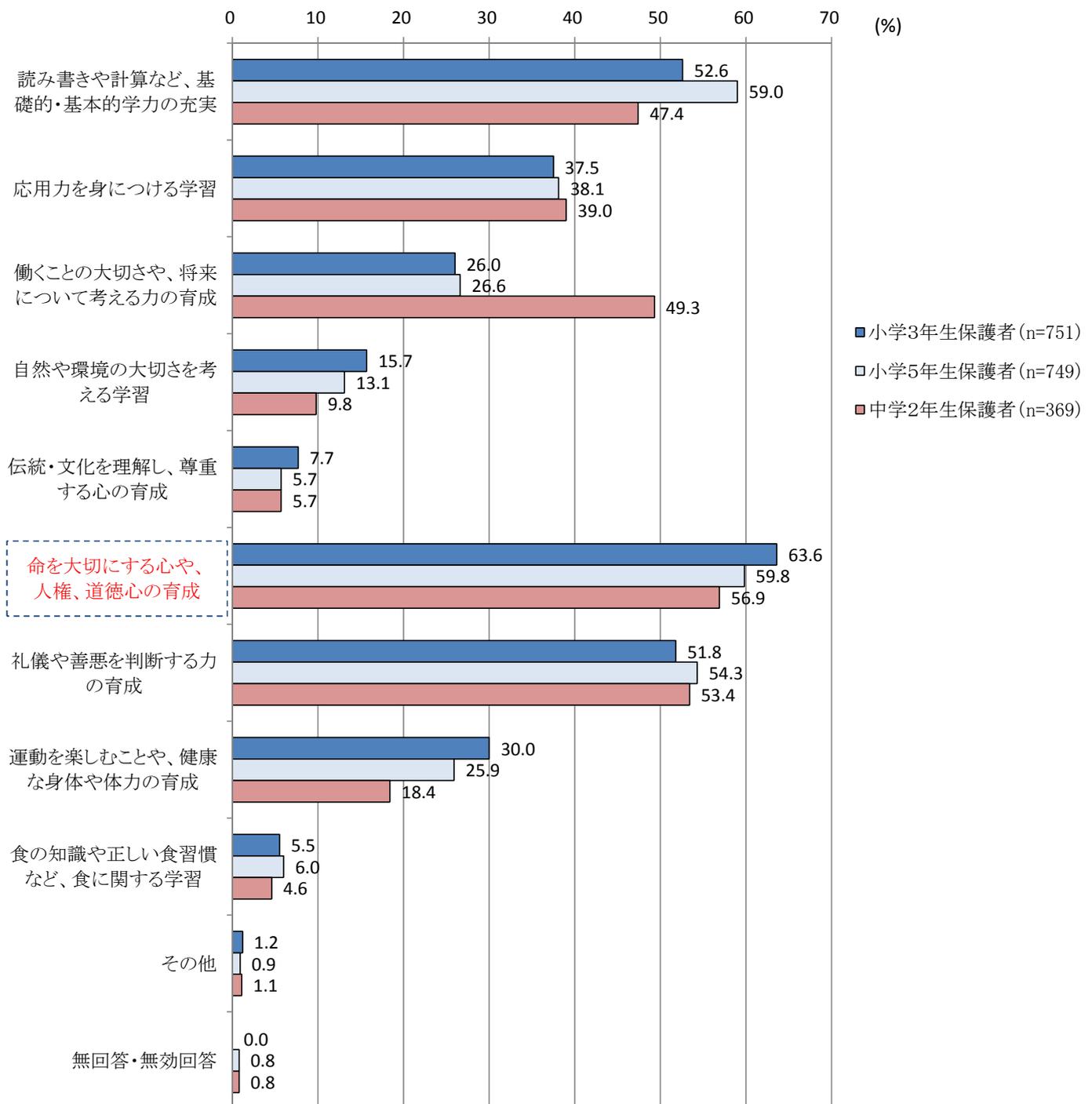
今回



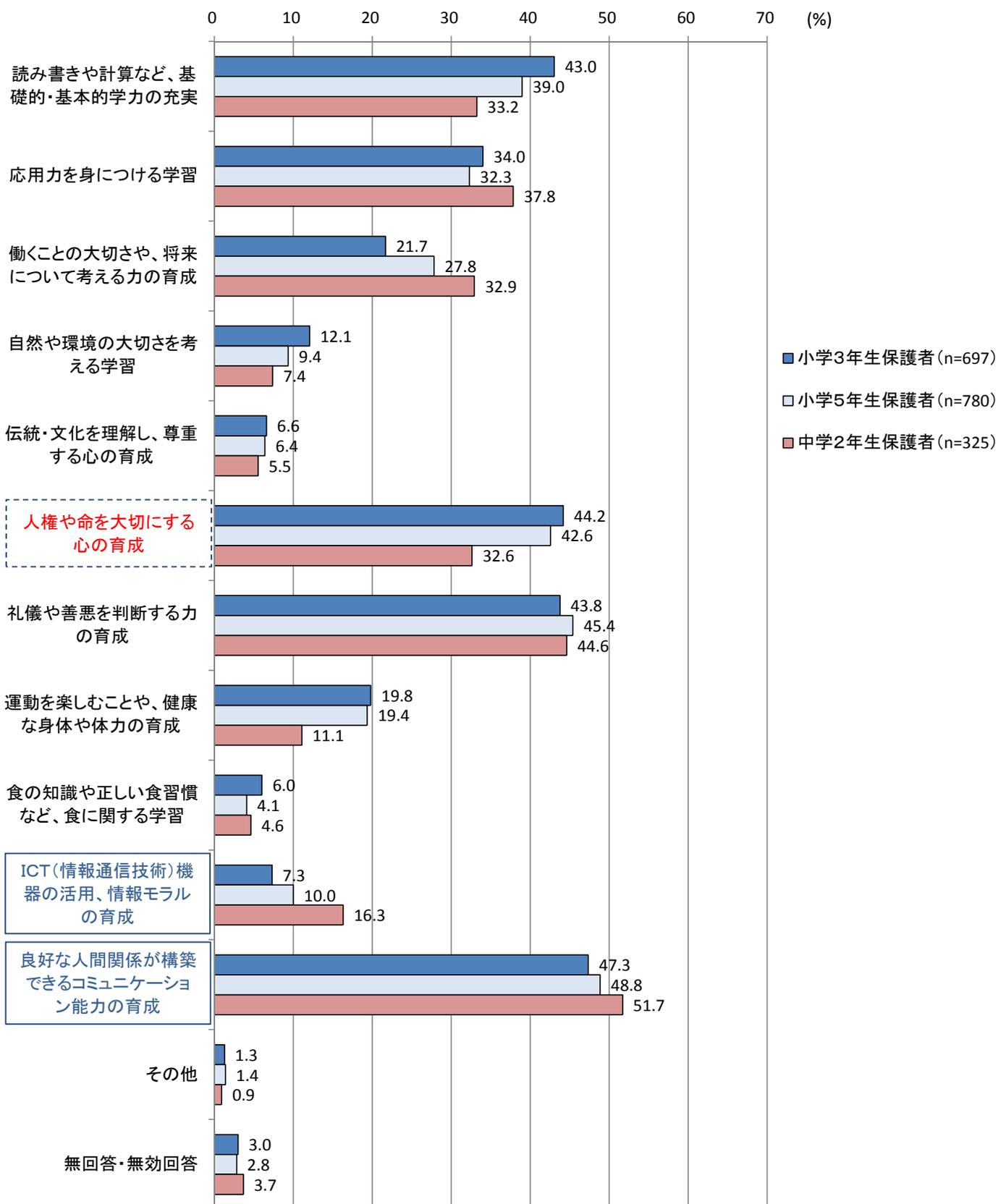
問10 あなたは、今後、どのような教育活動に力を入れる必要があると思いますか。(複数回答3つまで)

新たな選択肢を2つ設け(ICT機器の活用、コミュニケーション能力の育成)しており、「コミュニケーション能力の育成」を選択する保護者が最も多かった。また、「基礎的学力」と「応用力」を比較すると、今回の中学2年生保護者では「応用力」を選んだ保護者のほうが「基礎的学力」を選択した保護者を上回っている。人間関係が希薄になる中で「コミュニケーション能力の育成」の重要性が保護者にも認識されており、知識をいかに活用するかも重要視されている。

前回

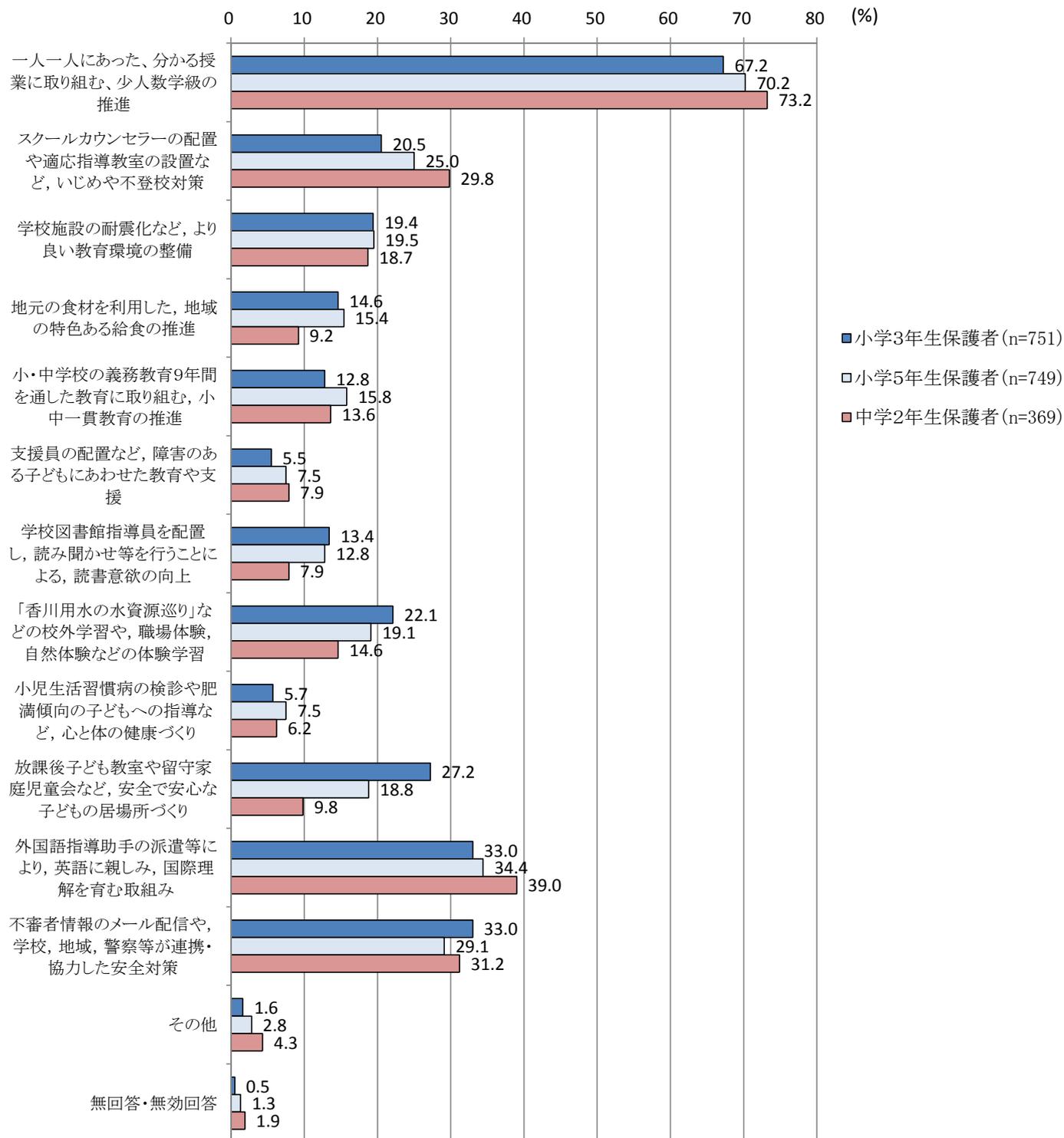


今回



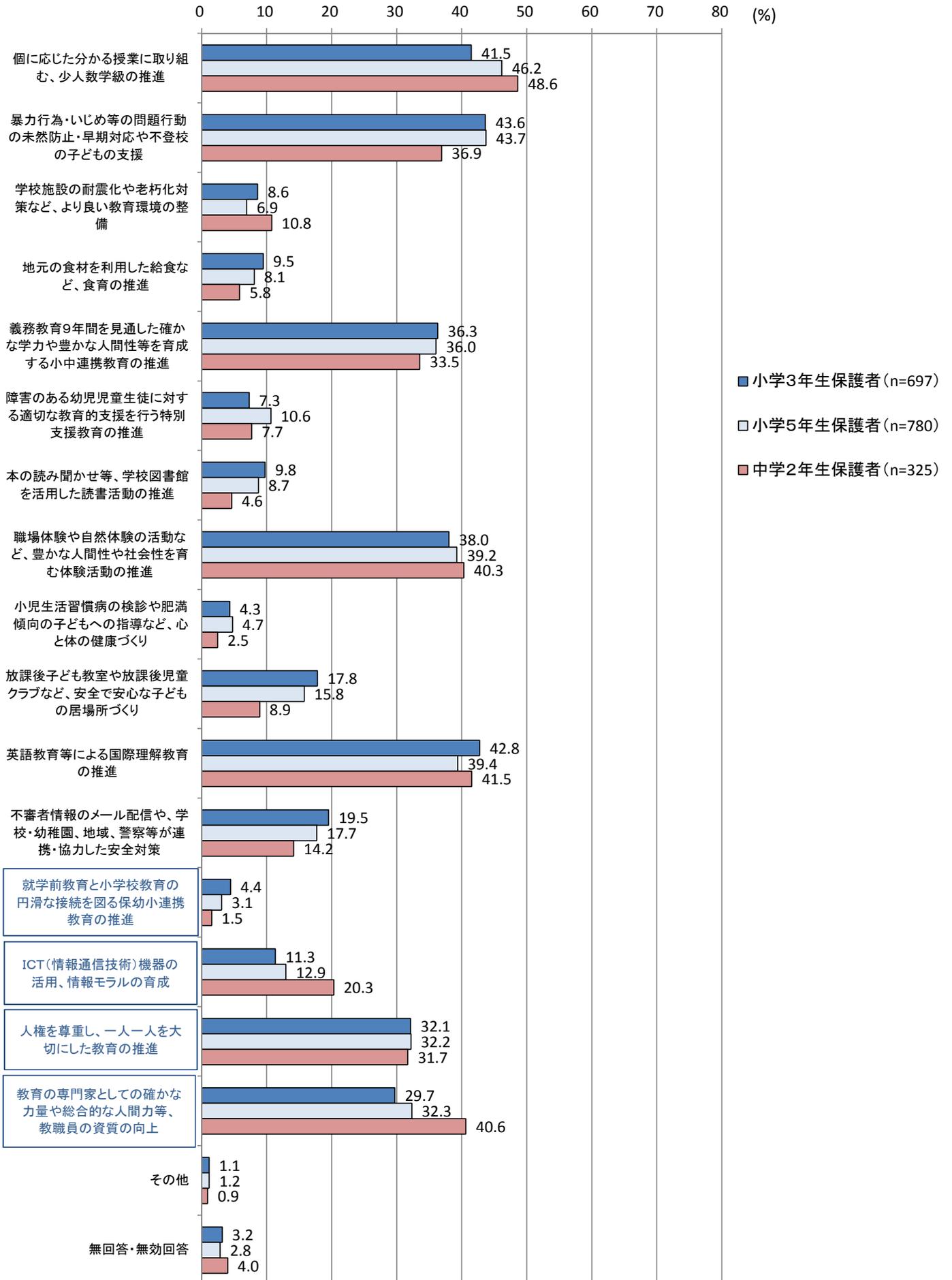
問11 教育に関する主な施策のうち、あなたが特に期待するものはどれですか。(複数回答3つまで)
教育に関する主な施策のうち、あなたが特に期待するものはどれですか。(複数回答4つまで)

前回



前回から選択肢を4つ増やし、合わせて回答数の上限を1つ増やしている。特に「暴力行為・いじめ・不登校対策」「英語教育・国際理解教育」「職場体験等の体験活動」の割合が前回より増えている。追加した項目では「人権を尊重し一人一人を大切にした教育」と「教職員の資質向上」を選択した保護者が多い。また「少人数学級」が依然として割合は高いものの、前回と比べると減少しており、「小中連携」が増加している。学習以外の子どもの幅広い成長への関心が保護者の間に増えてきている。

今回



前回調査との比較（教員）

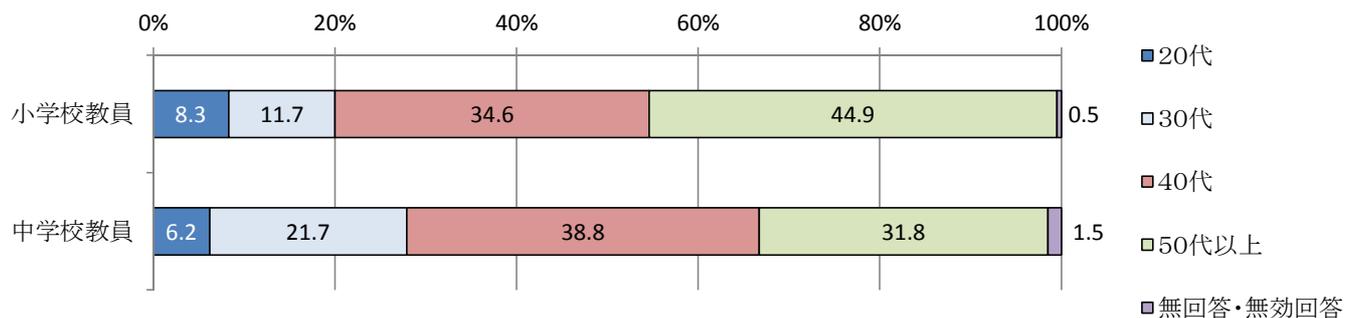
教員調査 前回比較

※前回と今回で問の文言を変更しているものは、前回の文言は明朝体で、今回の文言はゴシック体で表示しています。
前回と今回が同じ場合は文言をゴシック体で表示しています。
※今回、追加した選択肢は**実線枠**で、修正した選択肢は**点線枠**で示しています。
(ただし問6はすべて修正されています)。

あなたの年齢を教えてください。

前回より20代教員の回答が増えている。

前回



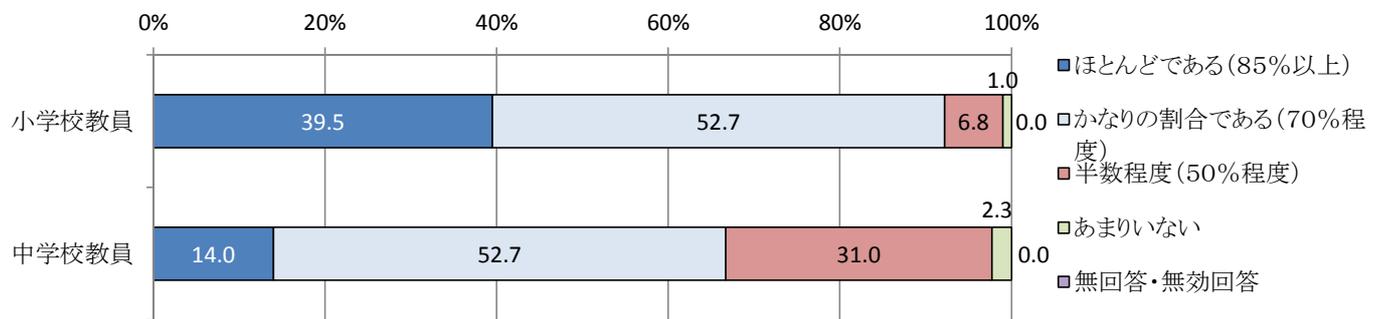
今回



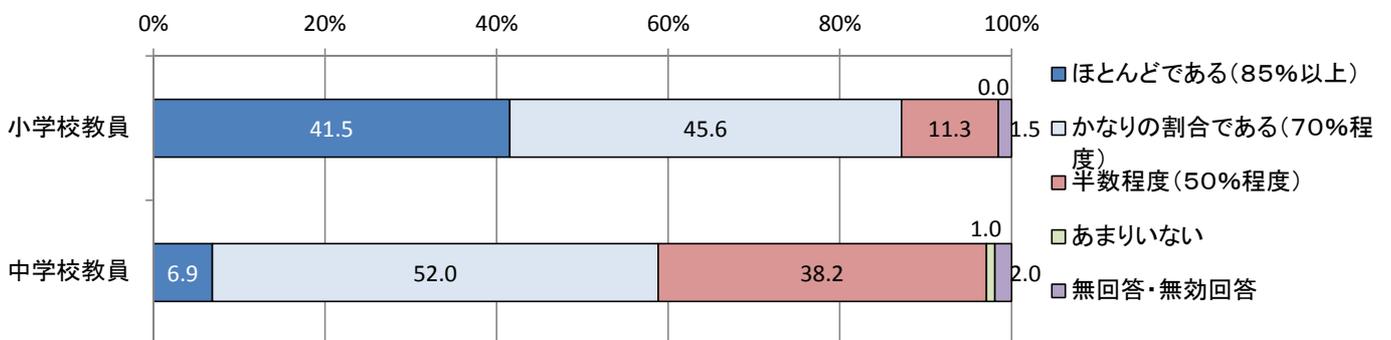
問1 あなたの学校を、「楽しい」と感じている児童生徒の割合はどの程度だと思いますか。

小学校教員では「半数程度」が 6.8%から 11.3% と増加している。中学校教員では「ほとんどである」が 14.0% から 6.9% と減少しており、教育環境の困難さが増しているのではと思われる。

前回



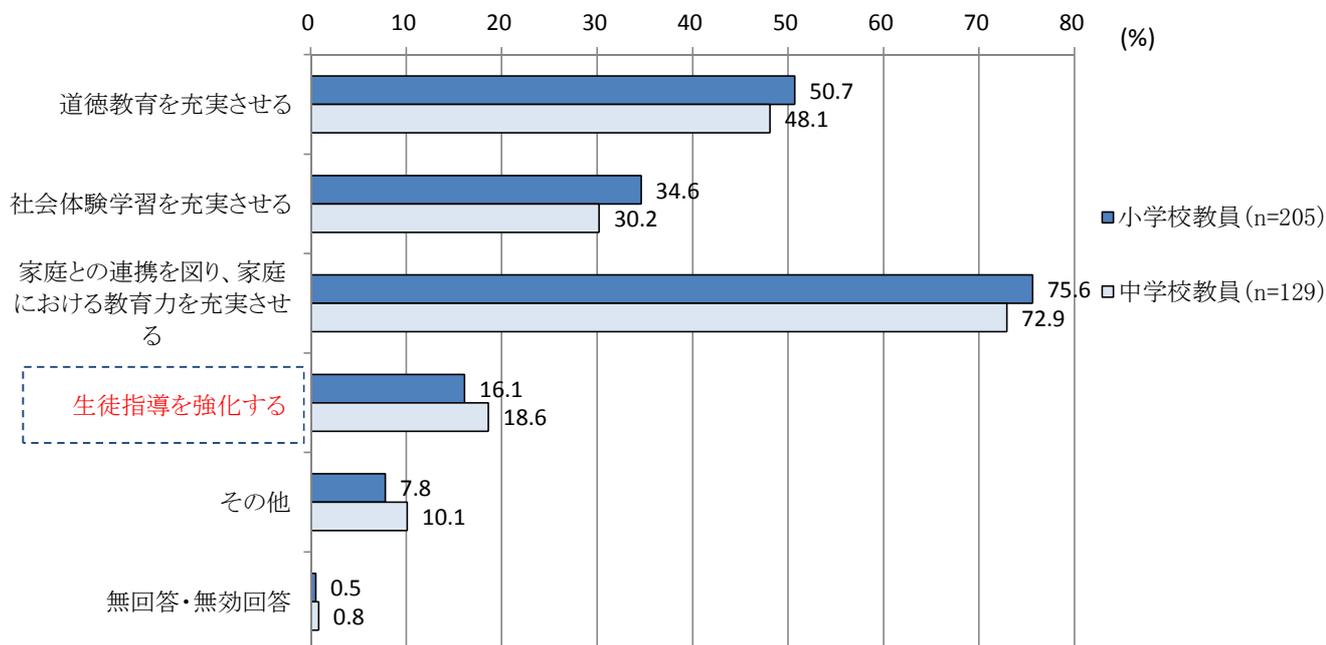
今回



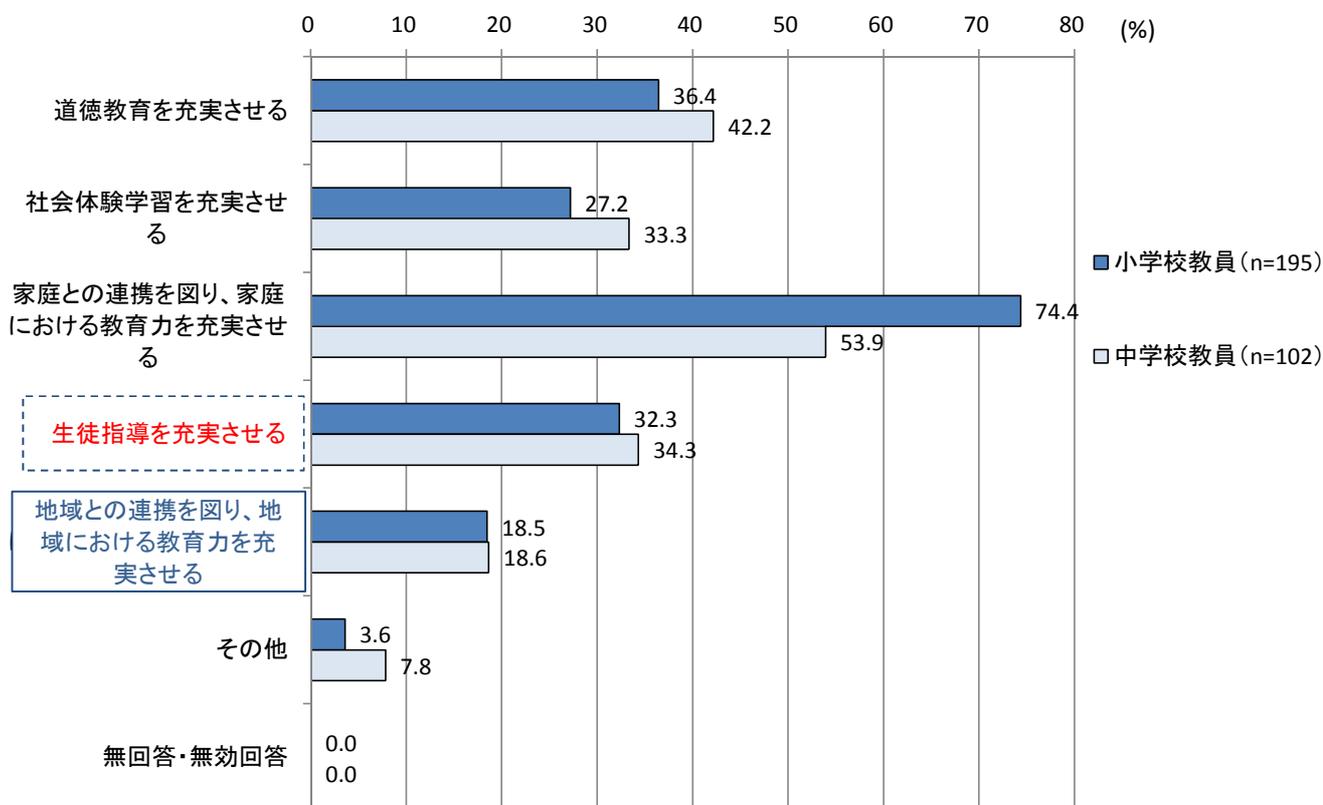
問2 あなたは、児童生徒・園児のモラルや規範意識を高めるにはどうしたら良いと思いますか。(複数回答2つまで)

前回より選択肢として「地域との連携をはかり地域における教育力を充実させる」を追加しており小学校教員で18.5%中学校教員で18.6%選択されている。「生徒指導を充実させる」が文言を変更したこともあり、前回から倍増している。道徳教育は学校・家庭だけの問題ではなく地域社会もともに取り組むべき課題であるとの認識である。

前回



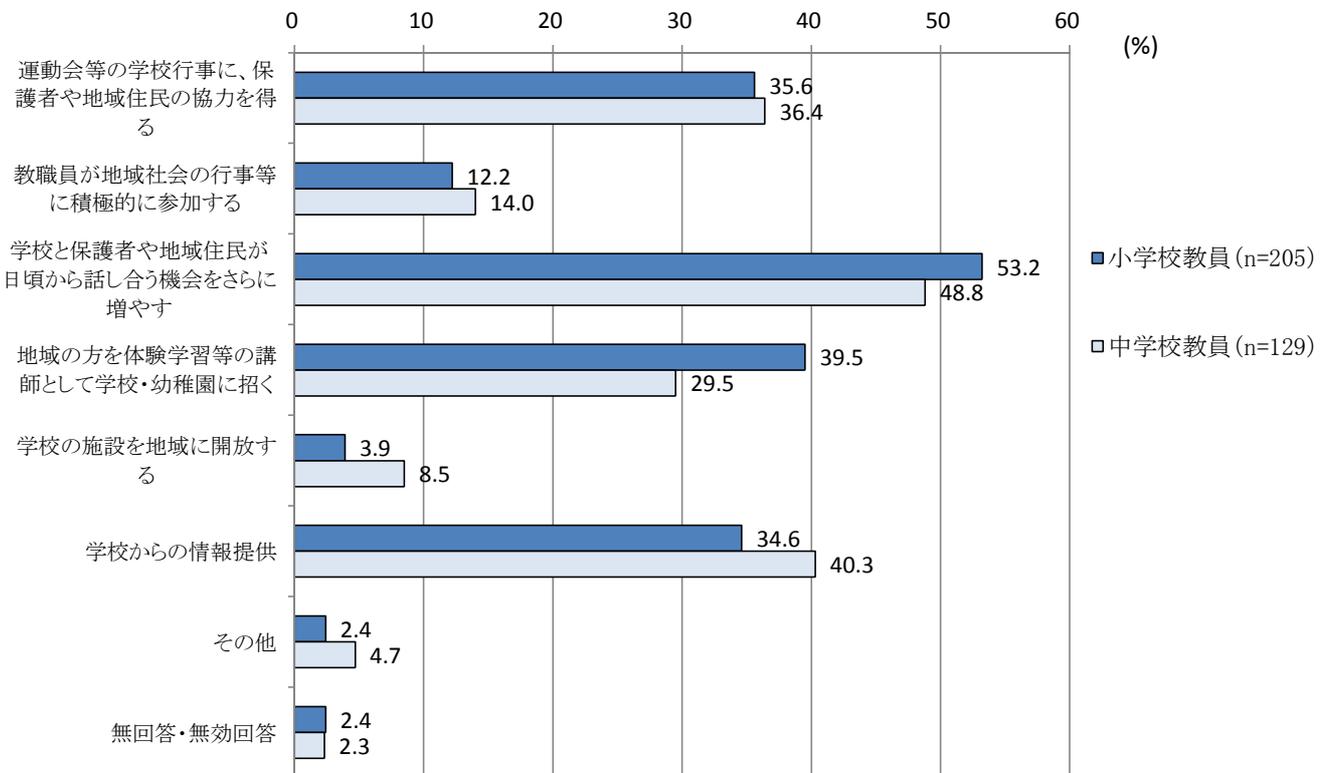
今回



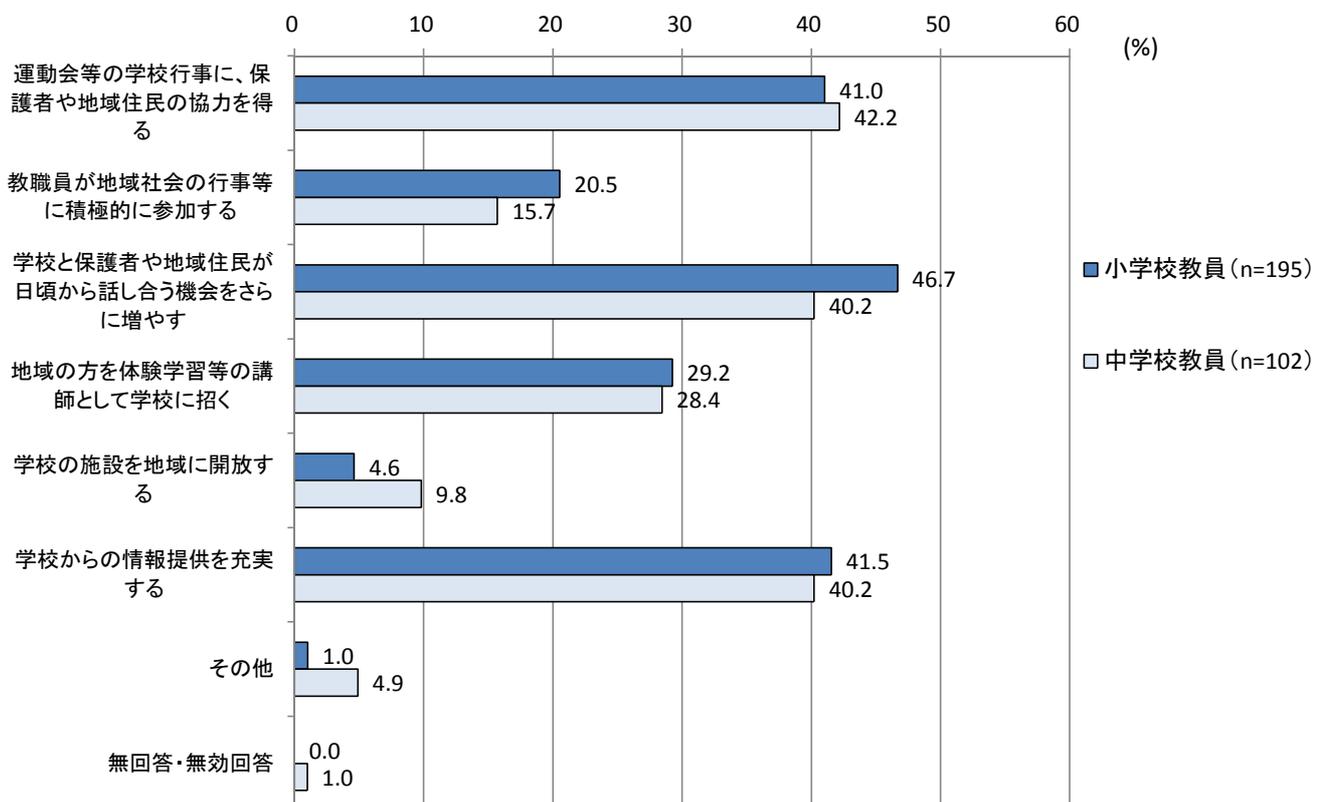
問3 あなたは、学校・幼稚園と家庭、地域社会が連携協力するのに必要なことは何だと思いますか。

「運動会等の学校行事に保護者・地域住民の協力」が若干増えている。小学校教員の「教職員の地域行事への参加」が12.2%から20.5%と増加し、かわって「地域の方を講師として学校に招く」が39.5%から29.2%と減少している。授業形式よりも、運動会等の行事の形の方が協力・参加しやすく効果も高いと考えているようである。

前回



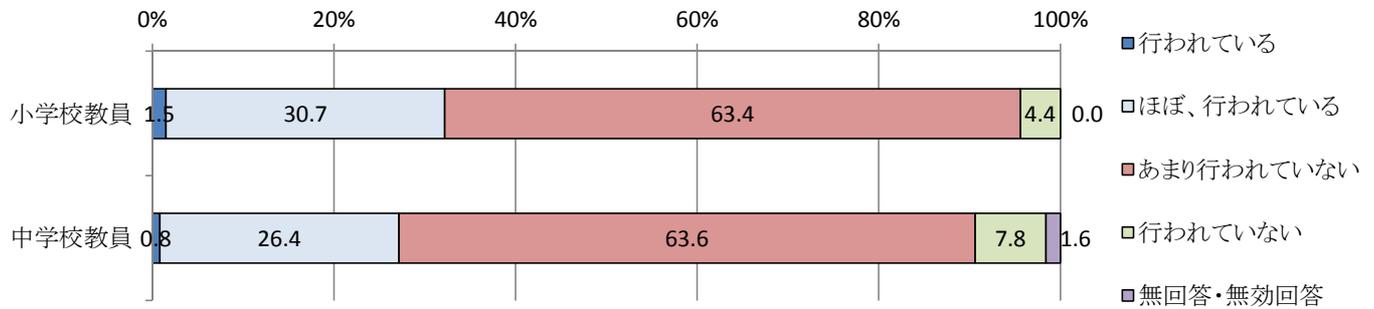
今回



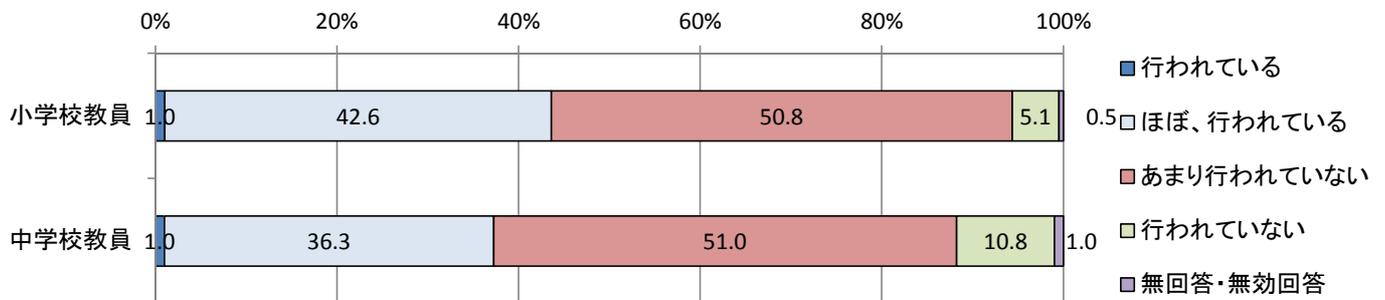
問4 あなたは、生活習慣や礼儀などについて、家庭において期待される教育が行われていると思いますか。

前回と比べて「ほぼ、行われている」が小学校教員(30.7%から42.6%)、中学校教員(26.4%から36.3%)とも増加し「あまり行われていない」が減少している(小学校教員63.4%から50.8%、中学校教員63.6%から51.0%)。各家庭での教育・しつけが行われるようになっている、良い傾向が学校の教員に伝わりつつある。

前回



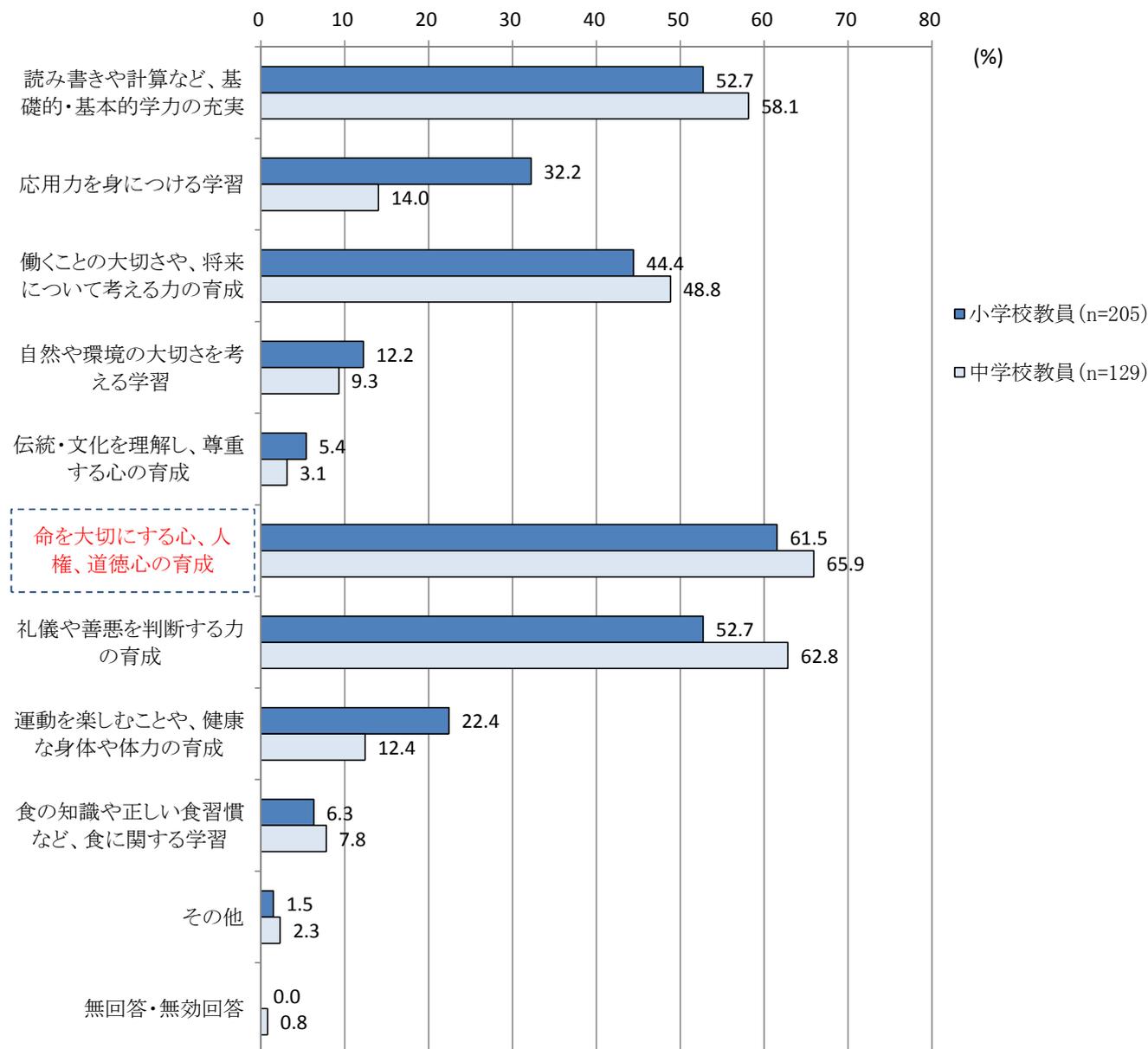
今回



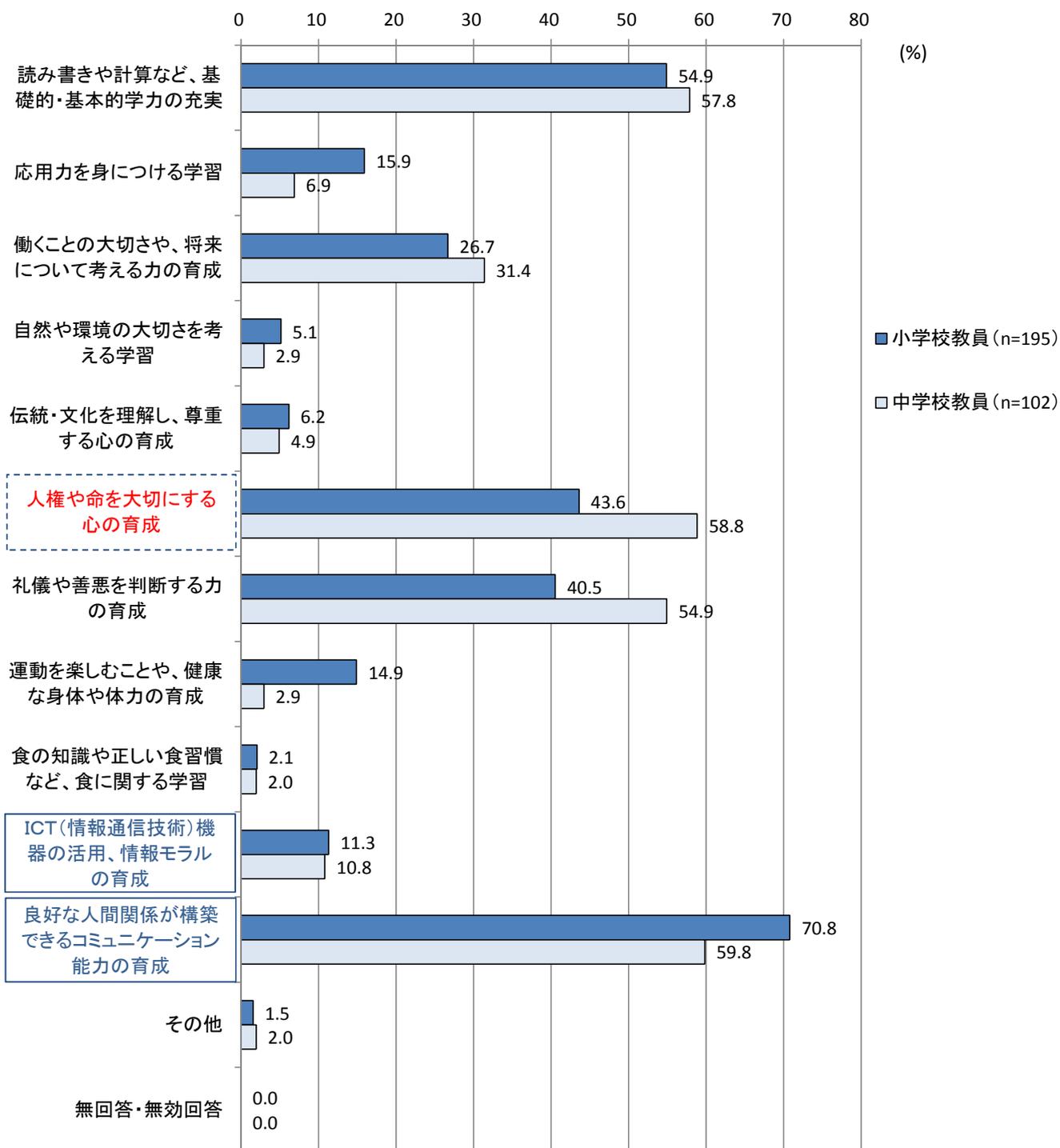
問5 あなたは、今後、どのような教育活動に力を入れる必要があると思いますか。(複数回答3つまで)

新たな選択肢を2つ追加(ICT機器の活用、コミュニケーション能力の育成)しており、「コミュニケーション能力の育成」を選択する教員が小・中学校ともに多かった。その反面「応用力」の選択が半減した。また「運動を楽しむことや体力の育成」も減少し、特に中学校教員では12.4%から2.9%と激減した。人間関係が希薄になる中、コミュニケーション能力の重要性が認識されている。

前回

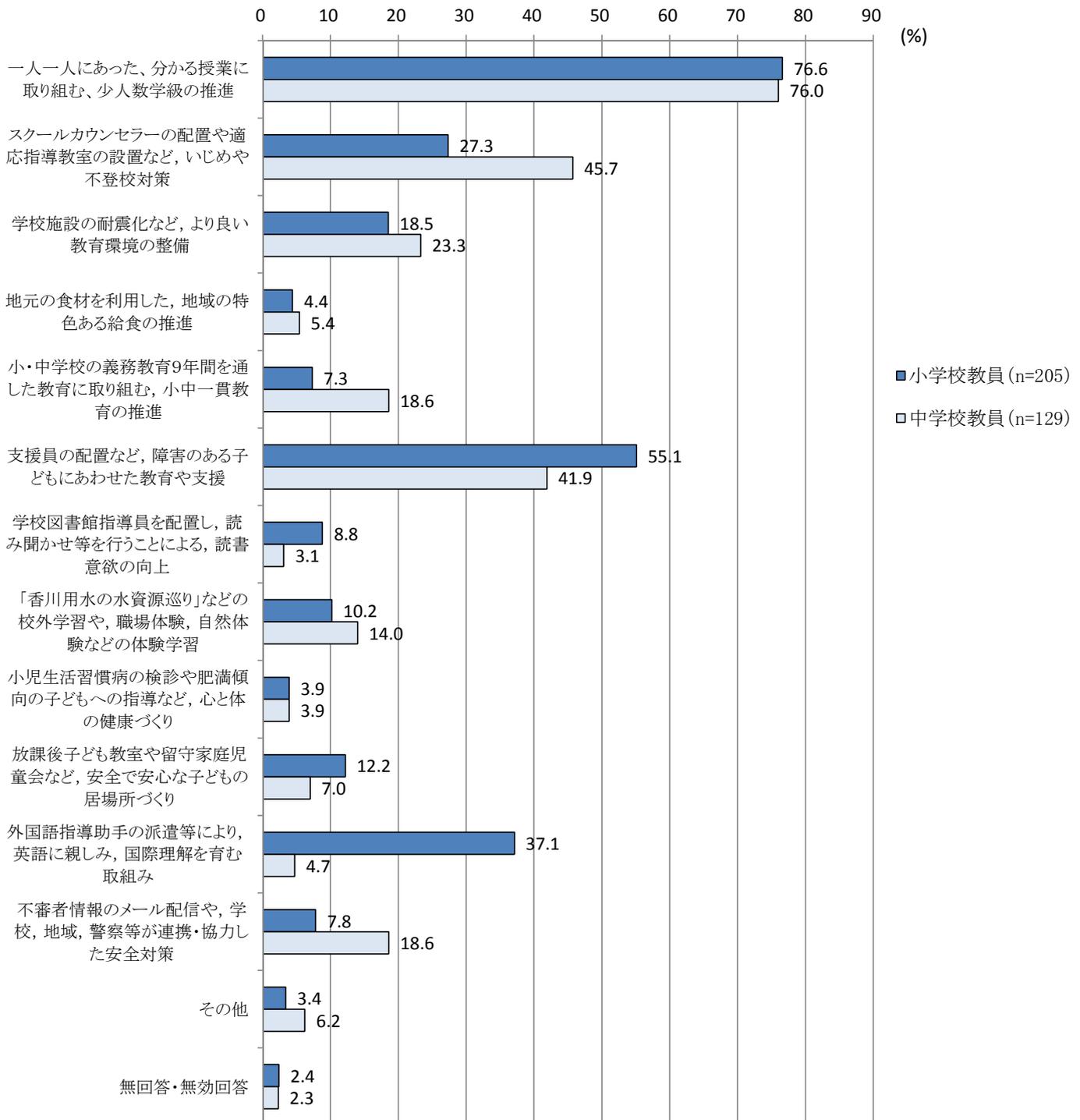


今回



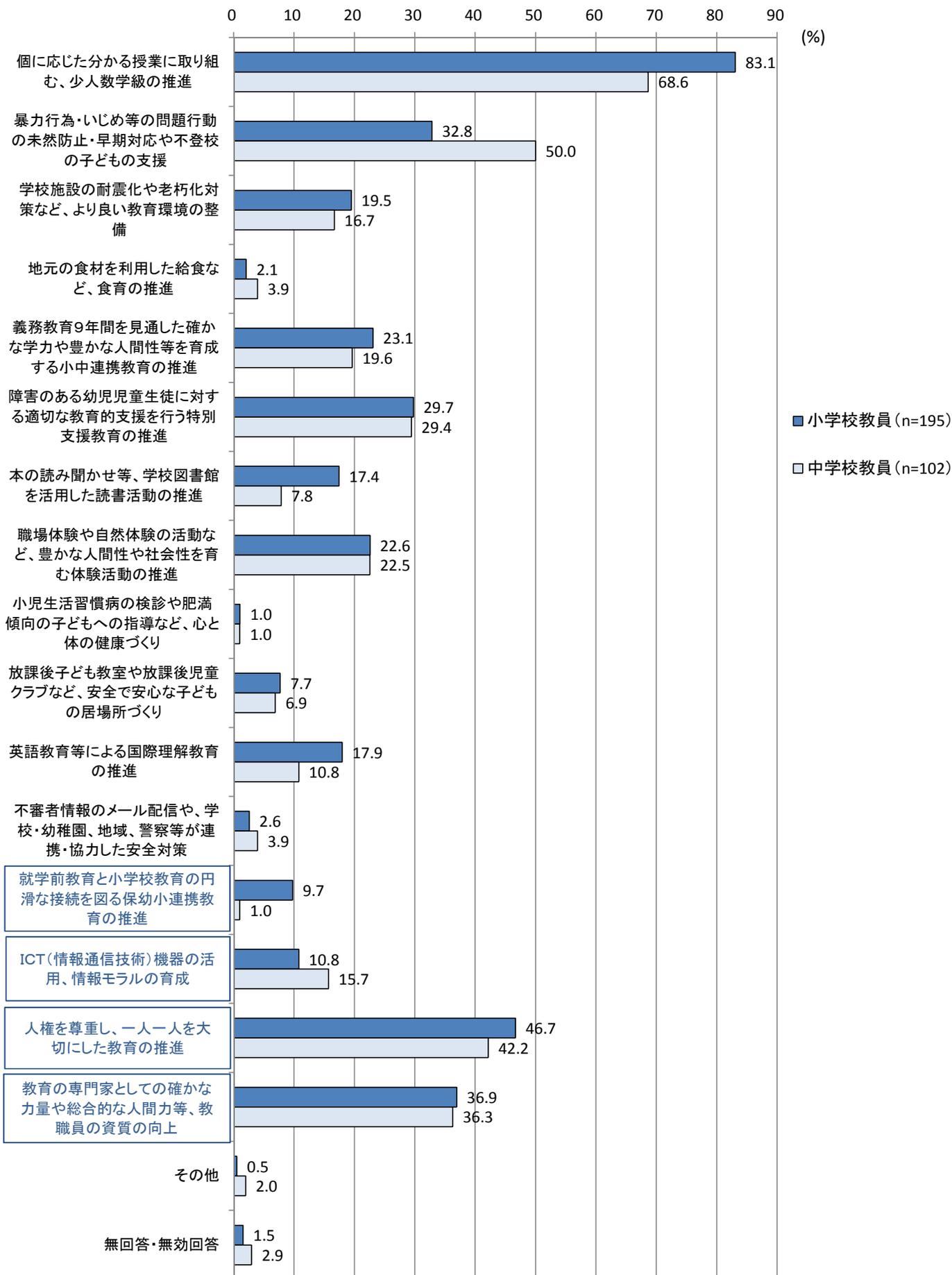
問6 教育に関する主な施策のうち、あなたが特に期待するものはどれですか。(複数回答3つまで)
教育に関する主な施策のうち、あなたが特に期待するものはどれですか。(複数回答4つまで)

前回



前回から選択肢を増やし、合わせて回答数の上限も1つ増やしている。小学校教員では「英語教育・国際理解教育」、小・中学校教員では「障害のある子どもに対する特別支援教育」・「不審者情報等の安全対策」の割合が減少している。これらは施策が既に定着してきているためと思われる。一方、小学校教員では「少人数学級」や「小中連携」、中学校教員では「英語教育・国際理解教育」、小・中学校教員では「暴力・いじめ・不登校対策」や「職場体験等の体験活動」の割合が前回より増えている。追加した項目では「人権を尊重し、一人一人を大切にした教育」と「教職員の資質向上」を選択した教員も多い。

今回



前回調査との比較（一般市民）

一般市民調査 前回比較

※前回と今回で問の文言を変更しているものは、前回の文言は明朝体で、今回の文言はゴシック体で表示しています。

前回と今回が同じ場合は文言をゴシック体で表示しています。

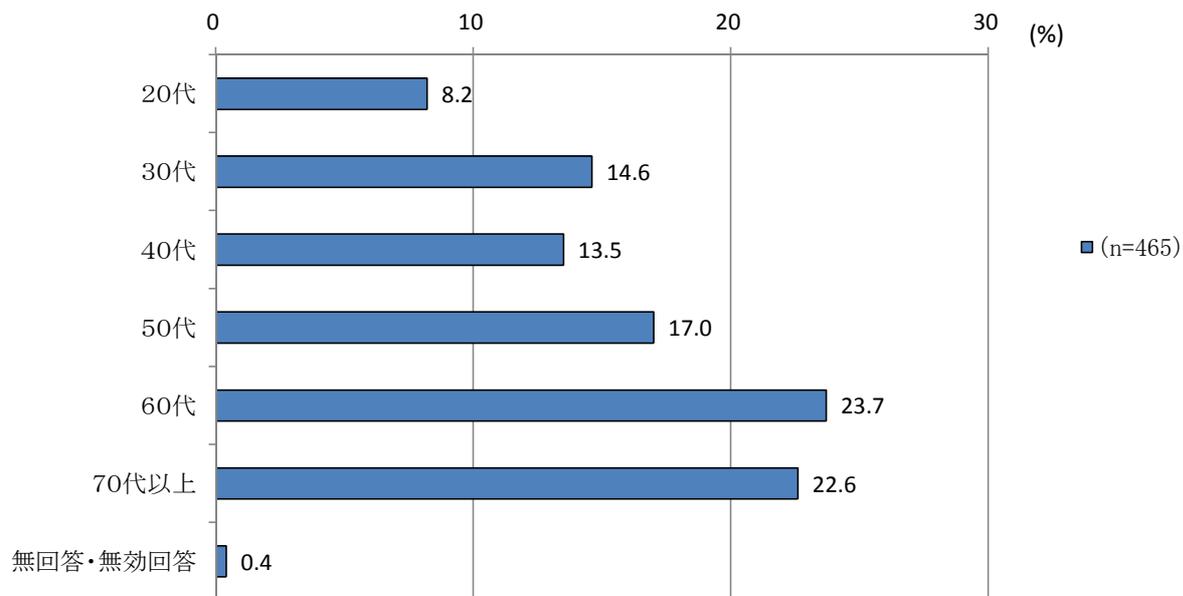
※今回、追加した選択肢は**実線枠**で、修正した選択肢は**点線枠**で示しています。

(ただし問6はすべて修正されています)。

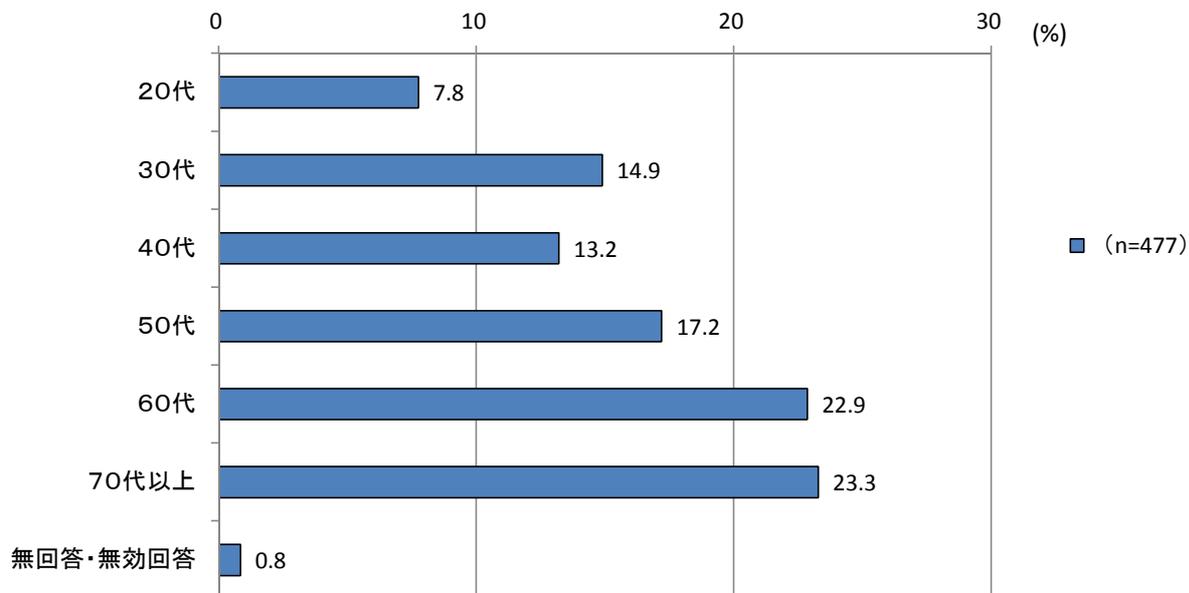
あなたの年齢を教えてください。

ほぼ前回と同様の年齢構成となっている。

前回



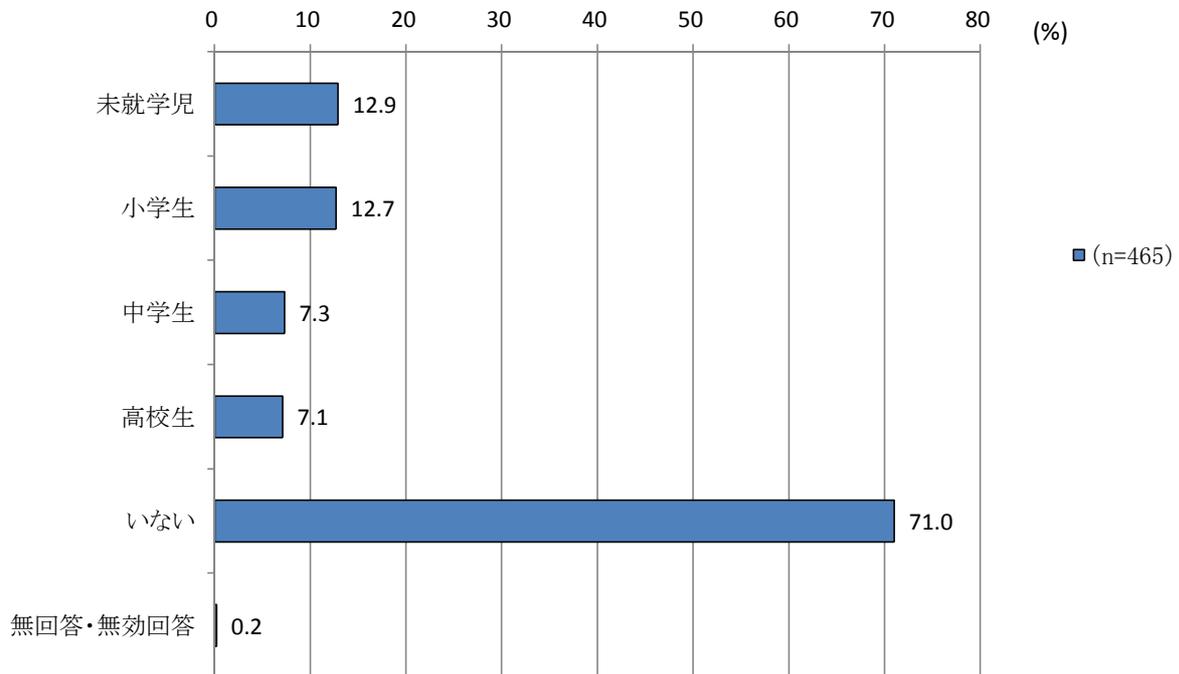
今回



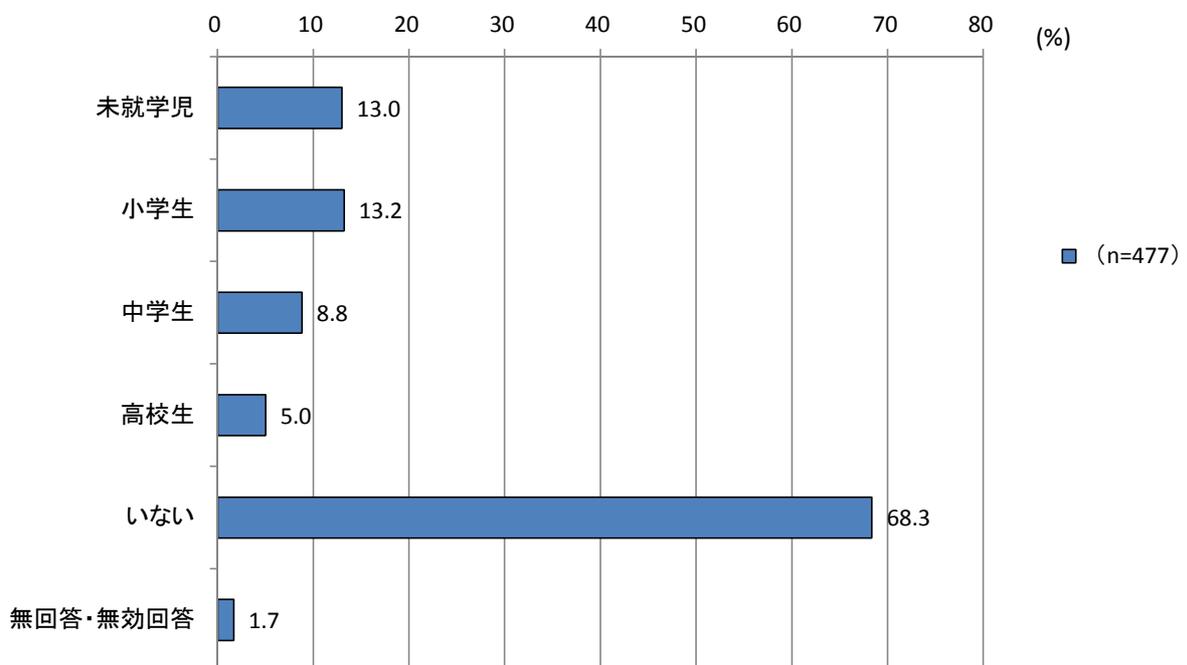
あなたは、同居家族に高校生以下のお子さんはいらっしゃいますか。(複数回答制限なし)

前回からの大きな違いは見受けられない。高校生以下の子どもがいる割合は40%である。

前回



今回

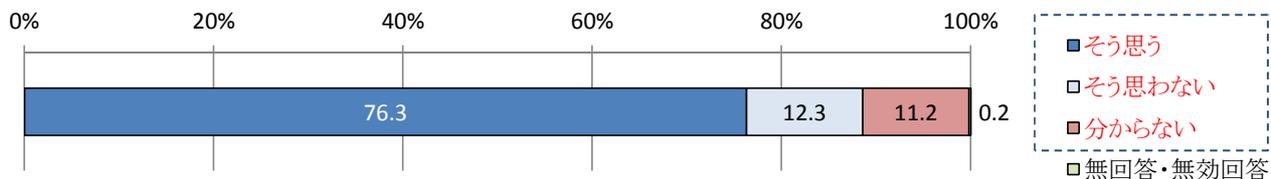


問1 あなたは、マスコミの報道などで、現在の児童生徒は、学校や社会のきまりを守ることなどの道徳心が低下しているといわれていることについて、どう思いますか。
あなたは、今の子どもは道徳心があると思いますか。

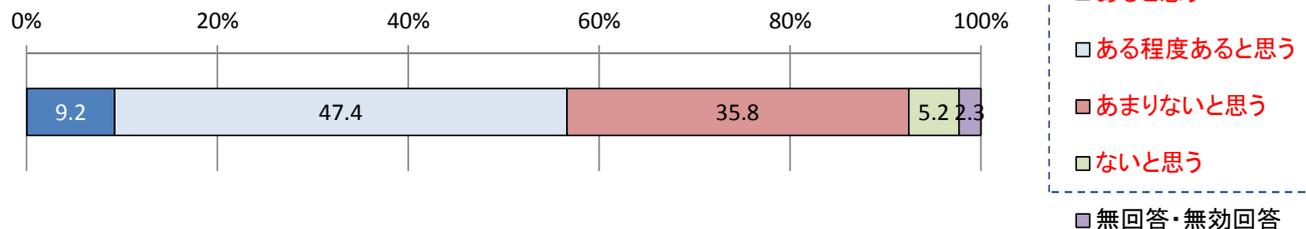
問の文言、選択肢とも変更している。前回で道徳心が低下していると答えた人が 76.3% に対して、今回、道徳心が「あまりないと思う」「ないと思う」の計は 41.0%となっている。

今回は「(道徳心が)あると思う」「ある程度あると思う」合わせて半数を超えており、前回よりも児童生徒のモラルが回復している、と一般市民がとらえているようである。

前回



今回

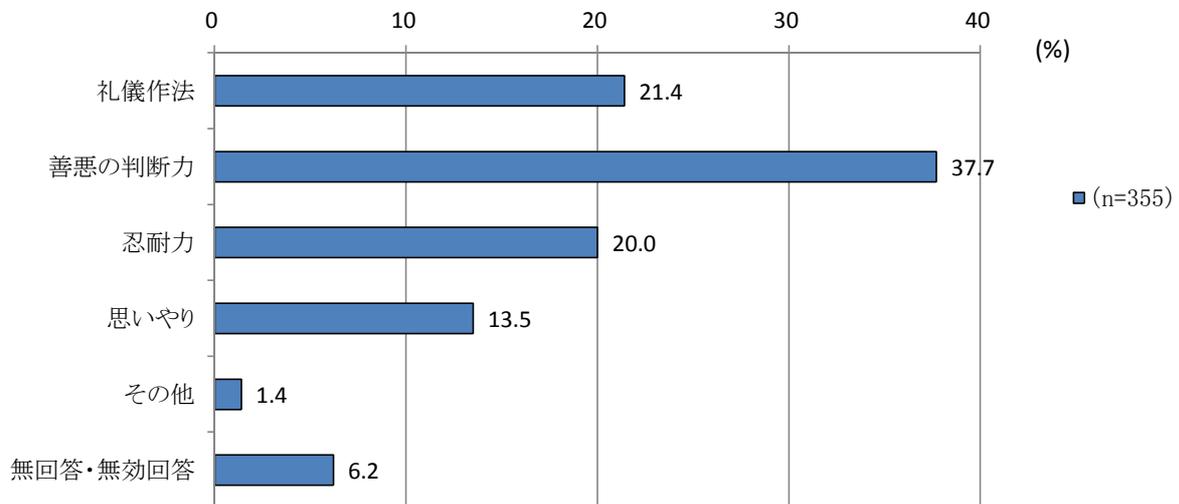


問1-1 問1で「1. そう思う」を選んだ人にお聞きします。どんなところが低下していると思いますか。

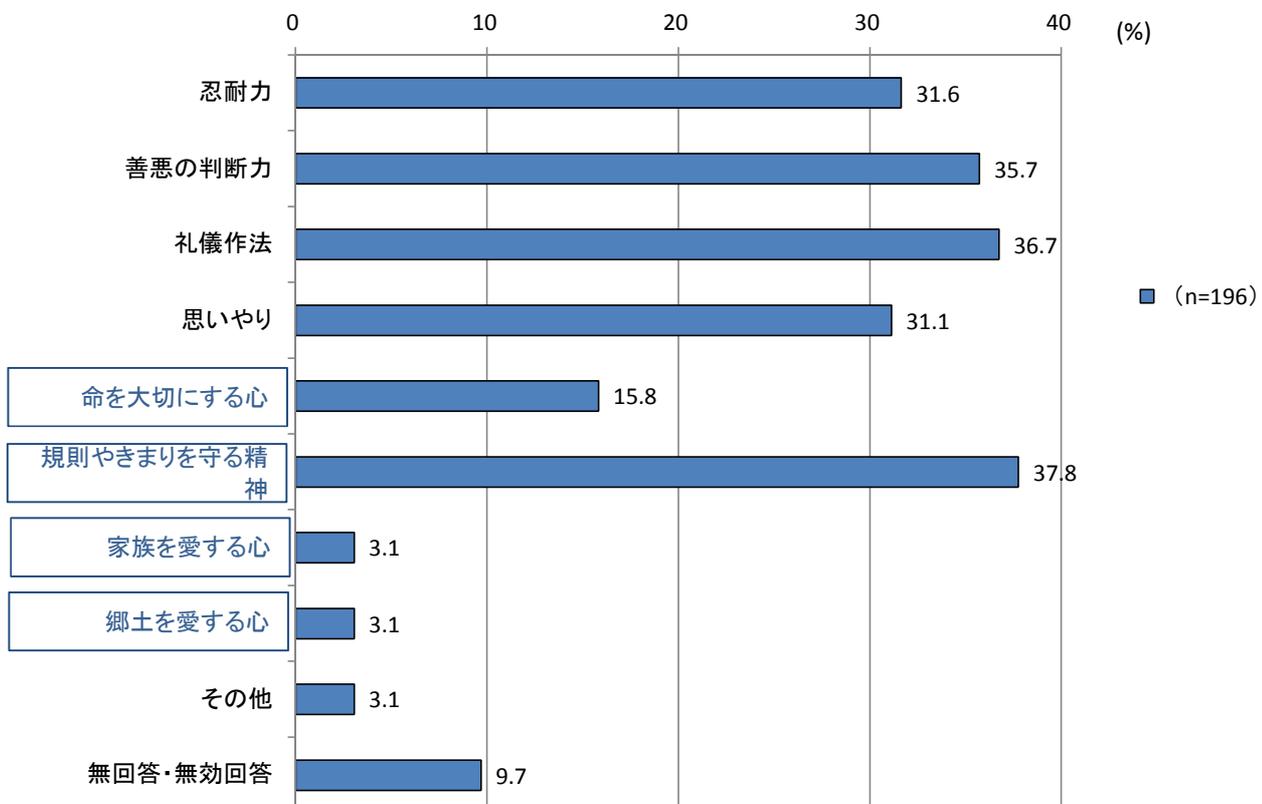
問1で「3. あまりないと思う」「4. ないと思う」を選んだ人にお聞きします。具体的にどんなところがありませんか。(複数回答2つまで)

前回より選択肢を増やして回答数の上限も2つに増やしている。前回との比較では「礼儀作法」、「忍耐力」、「思いやり」が増えている。新規に設けた項目では「規則やきまりを守る精神」が最も多く選択されている。

前回



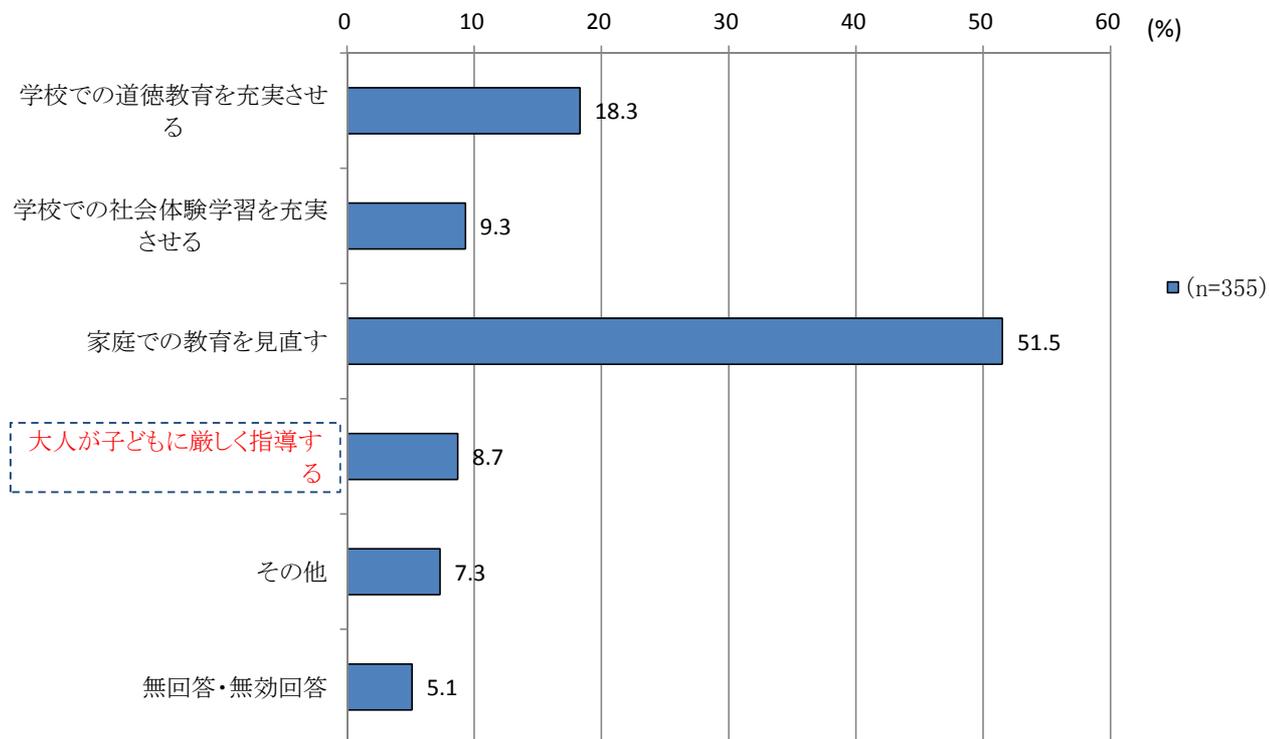
今回



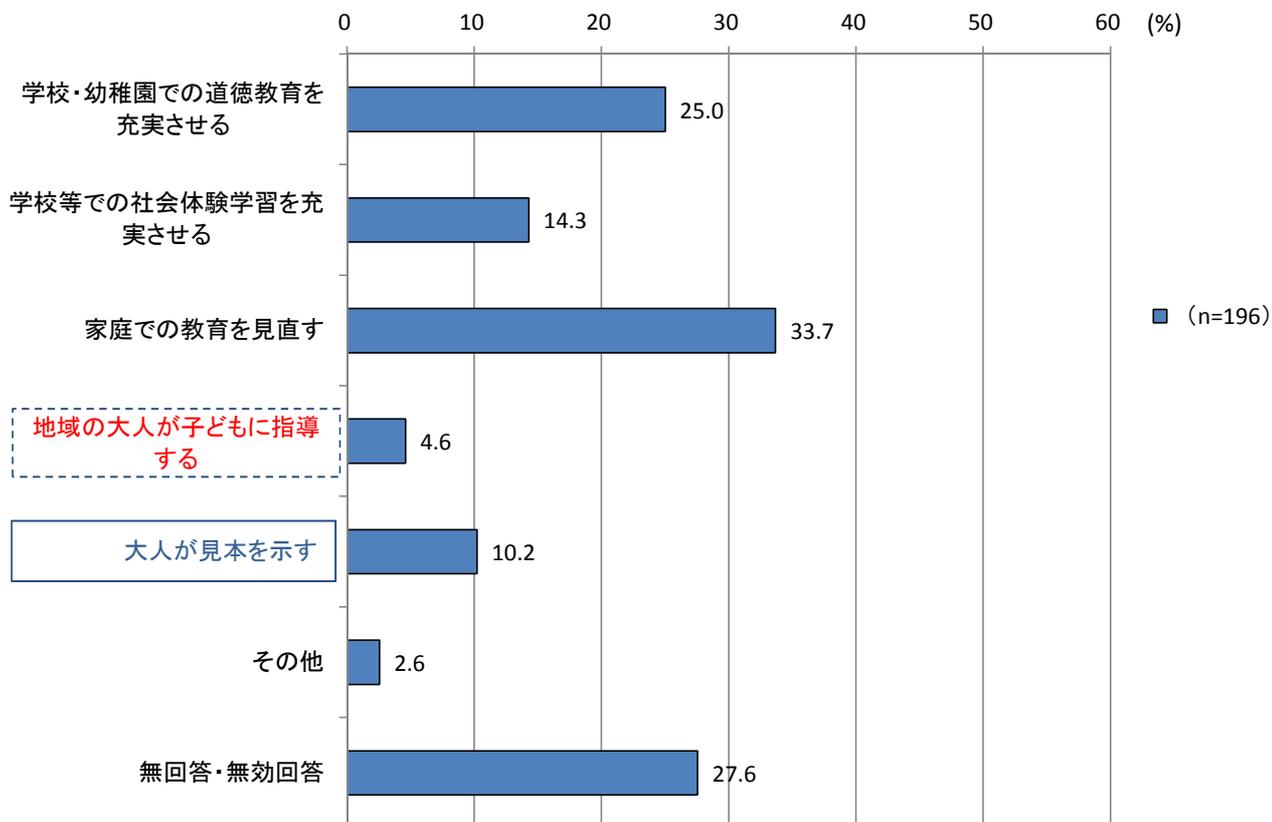
問1-2 それを高めるにはどうしたら良いと思いますか。

前回より「家庭での教育を見直す」が減少(51.5%から33.7%)している。「学校・幼稚園での道徳教育を充実させる」、「学校での社会体験学習を充実させる」が増加している。新規に追加した「大人が見本を示す」は10.2%となっている。家庭の教育力のみに頼るだけではない、と市民は考えており、地域の大人が参加する必要があると考えている。

前回



今回

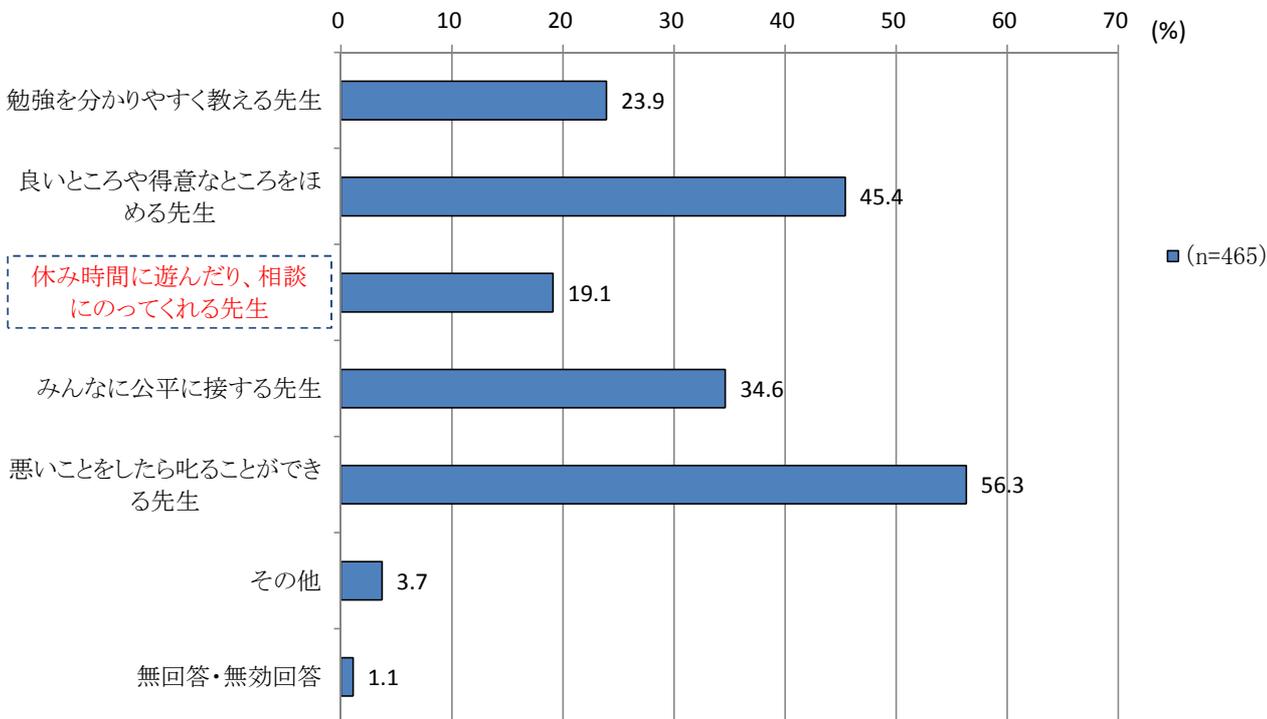


問2 あなたは、どのような先生が求められていると思いますか。(複数回答2つまで)

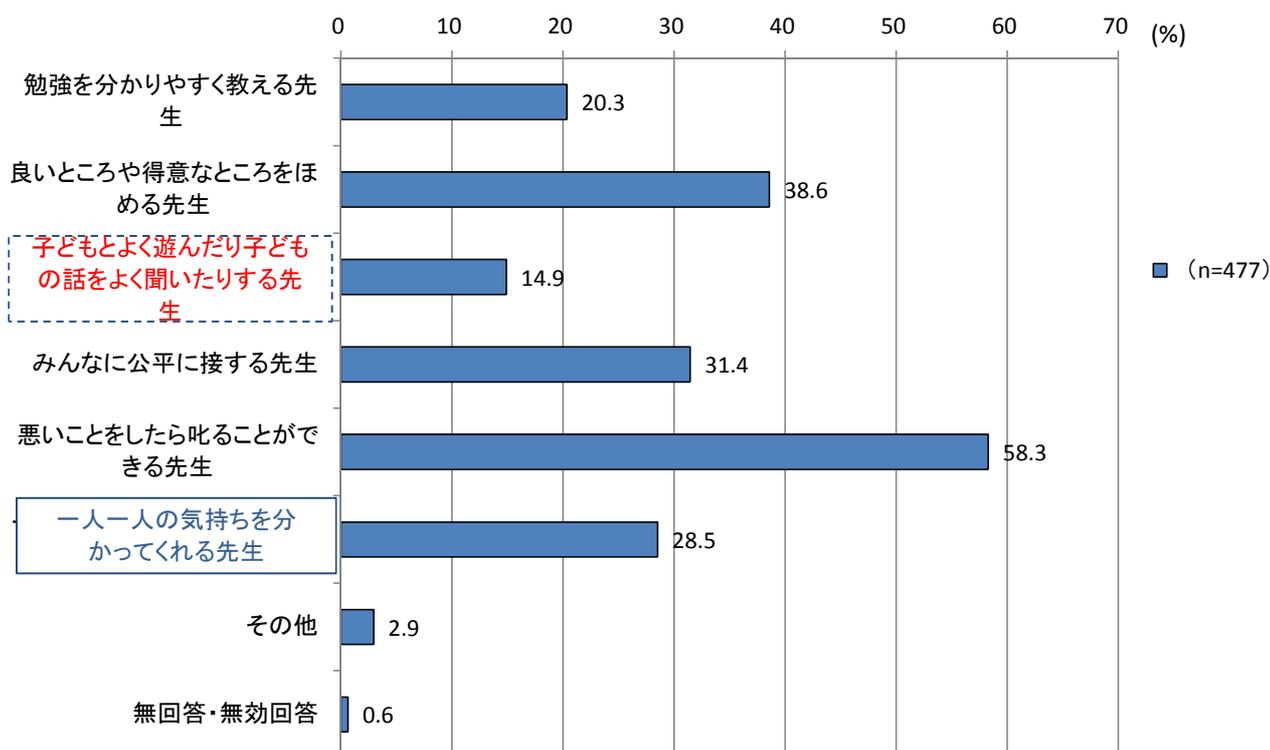
新たに選択肢として「一人一人の気持ちを分かってくれる先生」を追加した。この選択肢を選んだ人は28.5%と「叱ることができる先生」「良いところや得意なところをほめる先生」「みんなに公平に接する先生」に次いで多い。他の選択肢を選んだものは、前回より若干減少しているが、項目の選択傾向に変わりはない。

教師に、授業などの学習面だけでない役割を期待する市民が多いようである。

前回



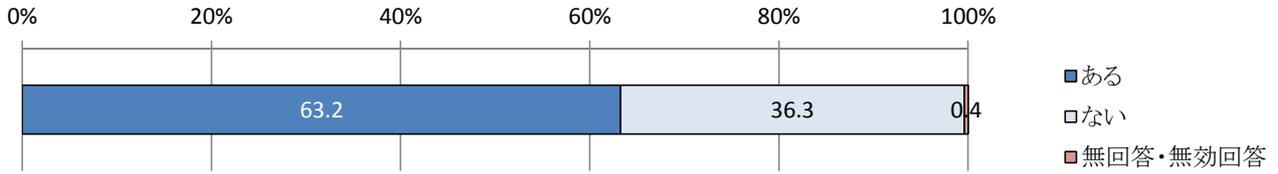
今回



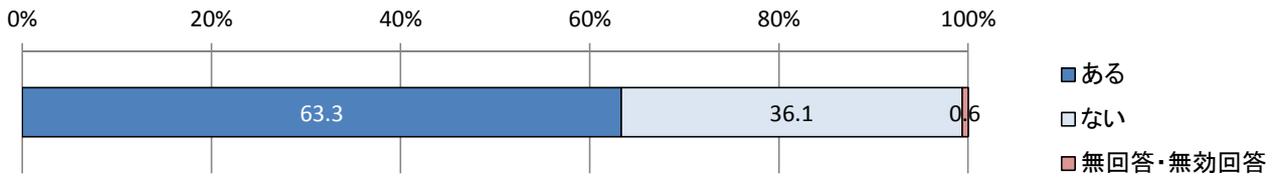
問3 あなたは、学校・幼稚園・地域などの活動に参加したことがありますか。

ほぼ前回と同様な回答傾向である。

前回



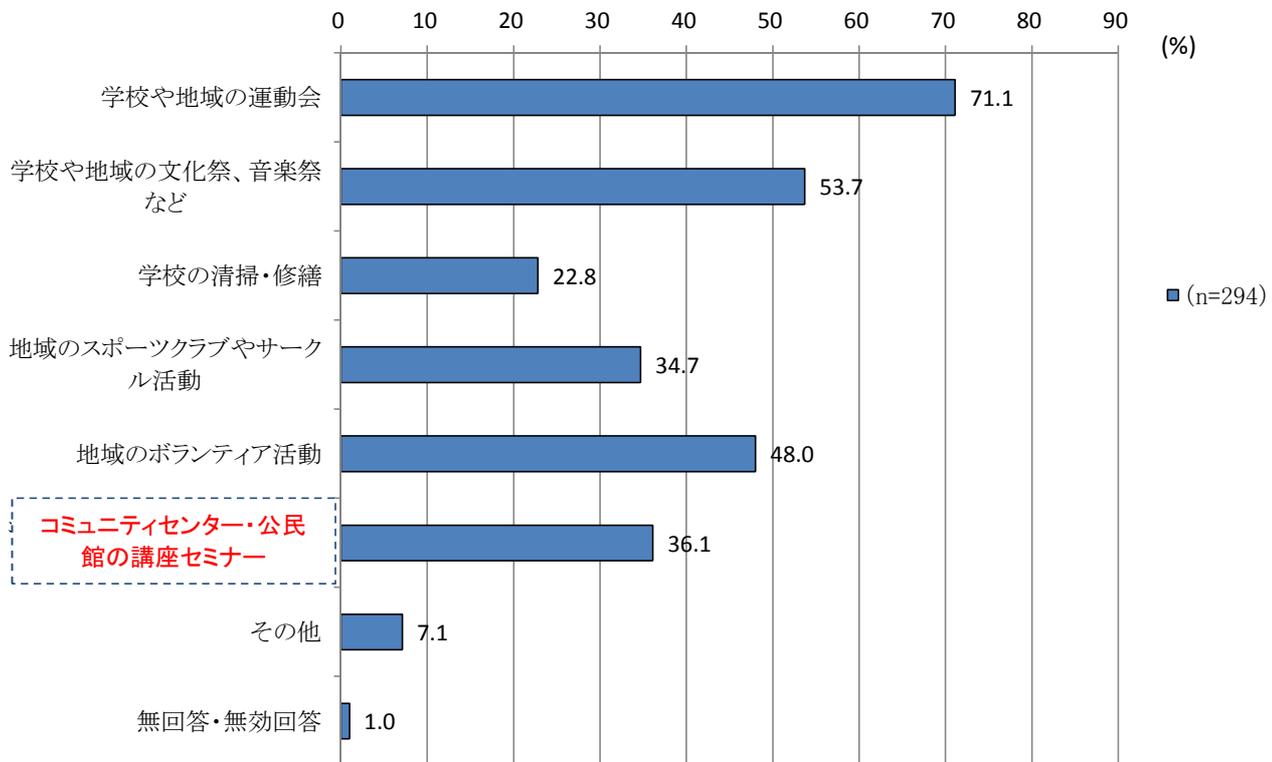
今回



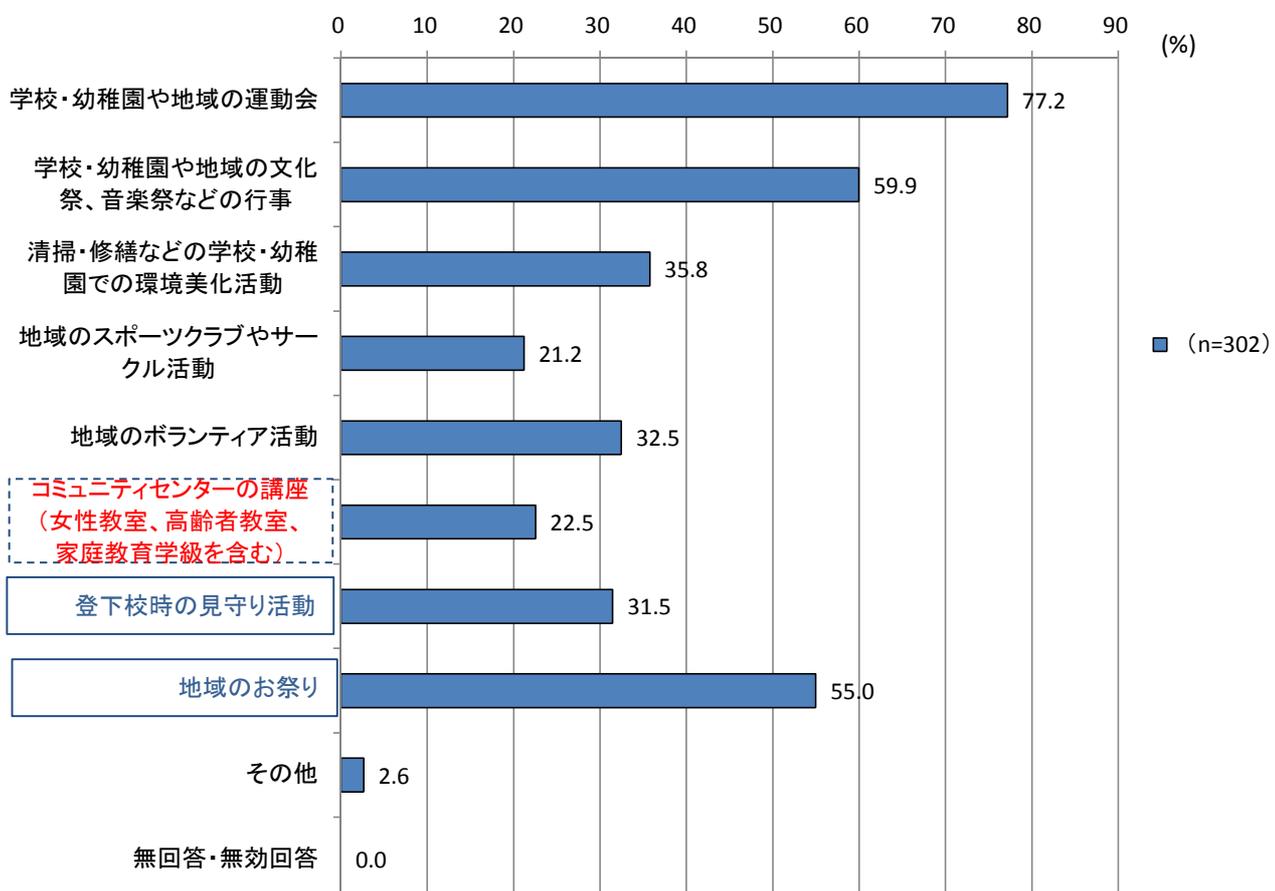
問3-1 問3で「1. ある」を選んだ人にお聞きします。参加した活動は何ですか。(複数回答制限なし)

前回から「登下校の見守り」と「地域のお祭り」の2項目を追加した。この2項目も 31.5%、55.0%と多くの人に参加している。一方、「地域のスポーツクラブやサークル活動」、「地域のボランティア活動」、「コミュニティセンターの講座」はそれぞれ 34.7% から 21.2%、48.0% から 32.5%、36.1% から 22.5%と減少している。登下校の見守りは市民に定着した風景となっている。

前回



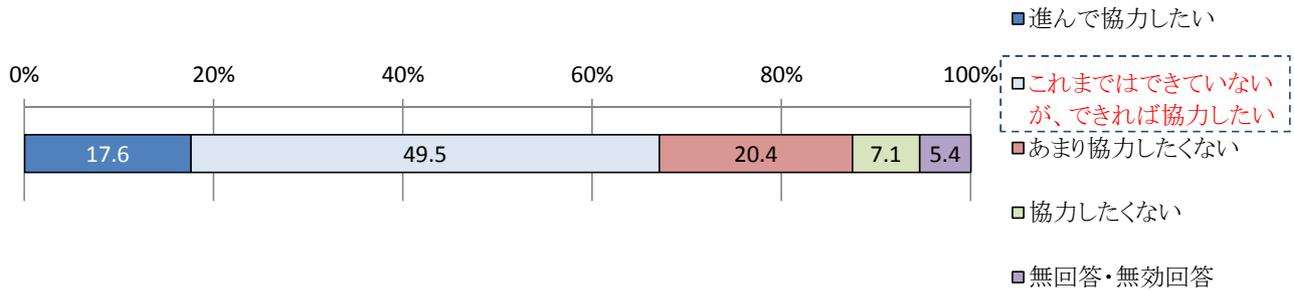
今回



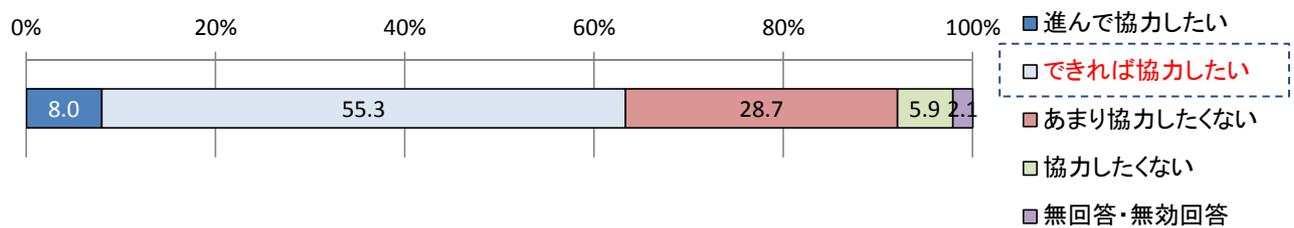
問4 あなたは、学校・幼稚園における清掃・修繕等の環境美化や体験活動のお手伝い、図書の読み聞かせなどボランティアの参加依頼があったらどうしますか。

前回と比べて「進んで協力したい」が 17.6% から 8.0% と減少し、「あまり協力したくない」が 20.4% から 28.7% と増加している。

前回



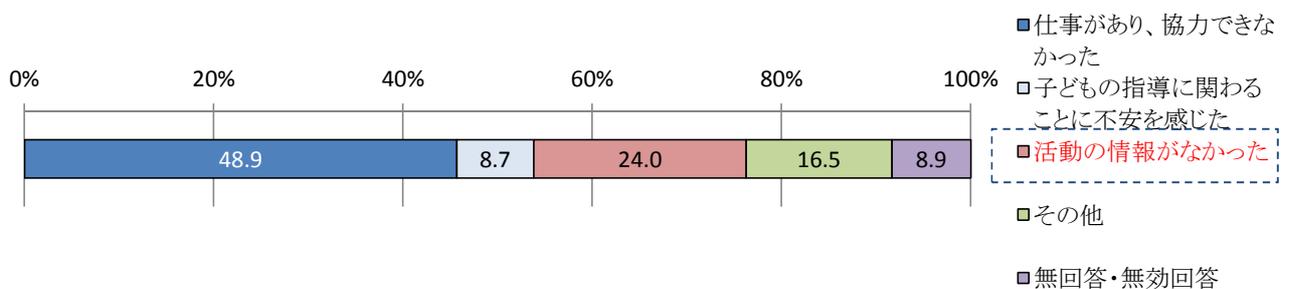
今回



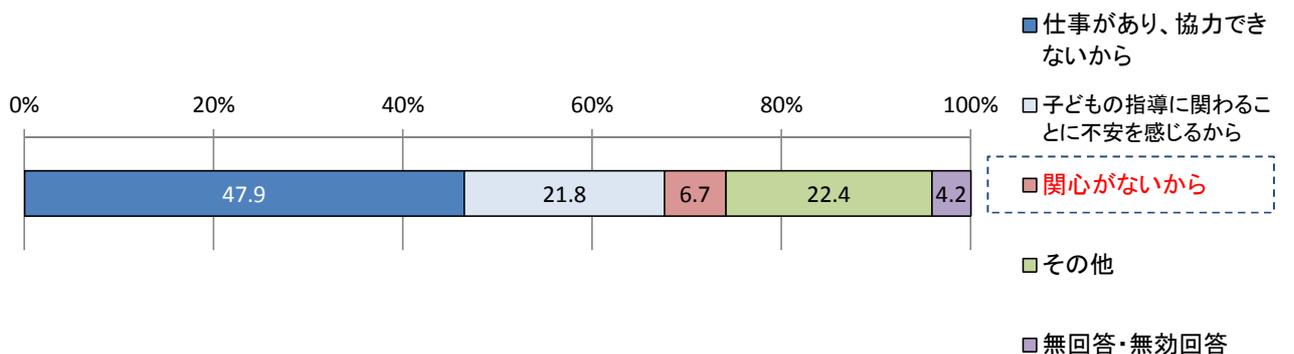
問4-1 問4で「3. あまり協力したくない」「4. 協力したくない」を選んだ人にお聞きします。その大きな理由は何ですか。

前回の選択肢「活動の情報がなかった」を「関心がないから」に変更した。「仕事があり協力できないから」はほぼ前回と同じであった。「子どもの指導に関わることに不安を感じるから」が 8.7% から 21.8% と増加しており、子どもの教育について関わりの困難さを感じる人が増えてきていると思われる。

前回



今回



問5 あなたは、今後、どのような教育活動に力を入れる必要があると思いますか。(複数回答3つまで)

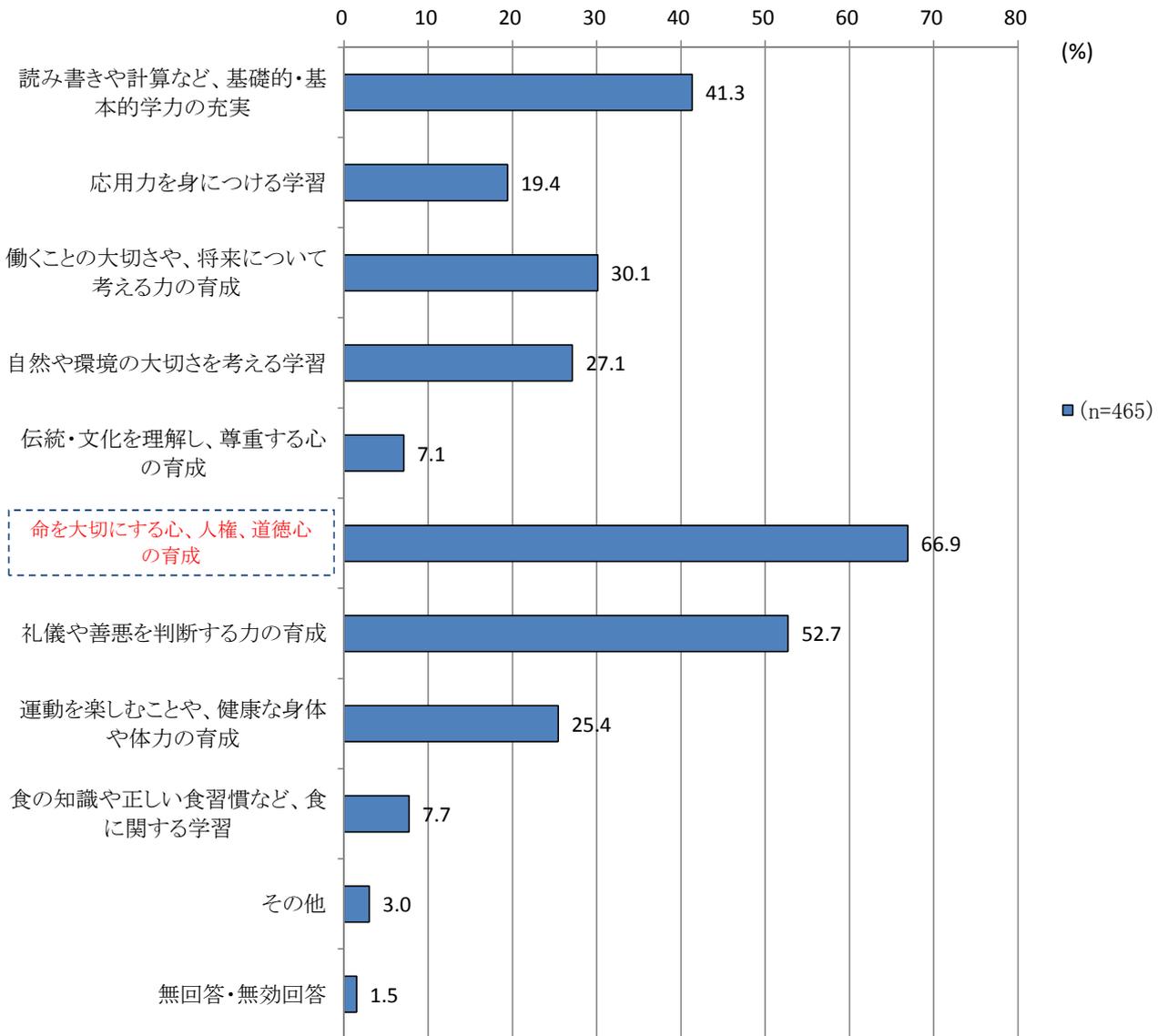
新たな選択肢を2つ追加(ICT機器の活用、コミュニケーション能力の育成)しており、その中では「コミュニケーション能力の育成」を選択する人が多い。

また、「基礎的学力」、「運動を楽しむことや体力の育成」がそれぞれ 41.3% から 28.7%、25.4% から 15.7%と減少している。

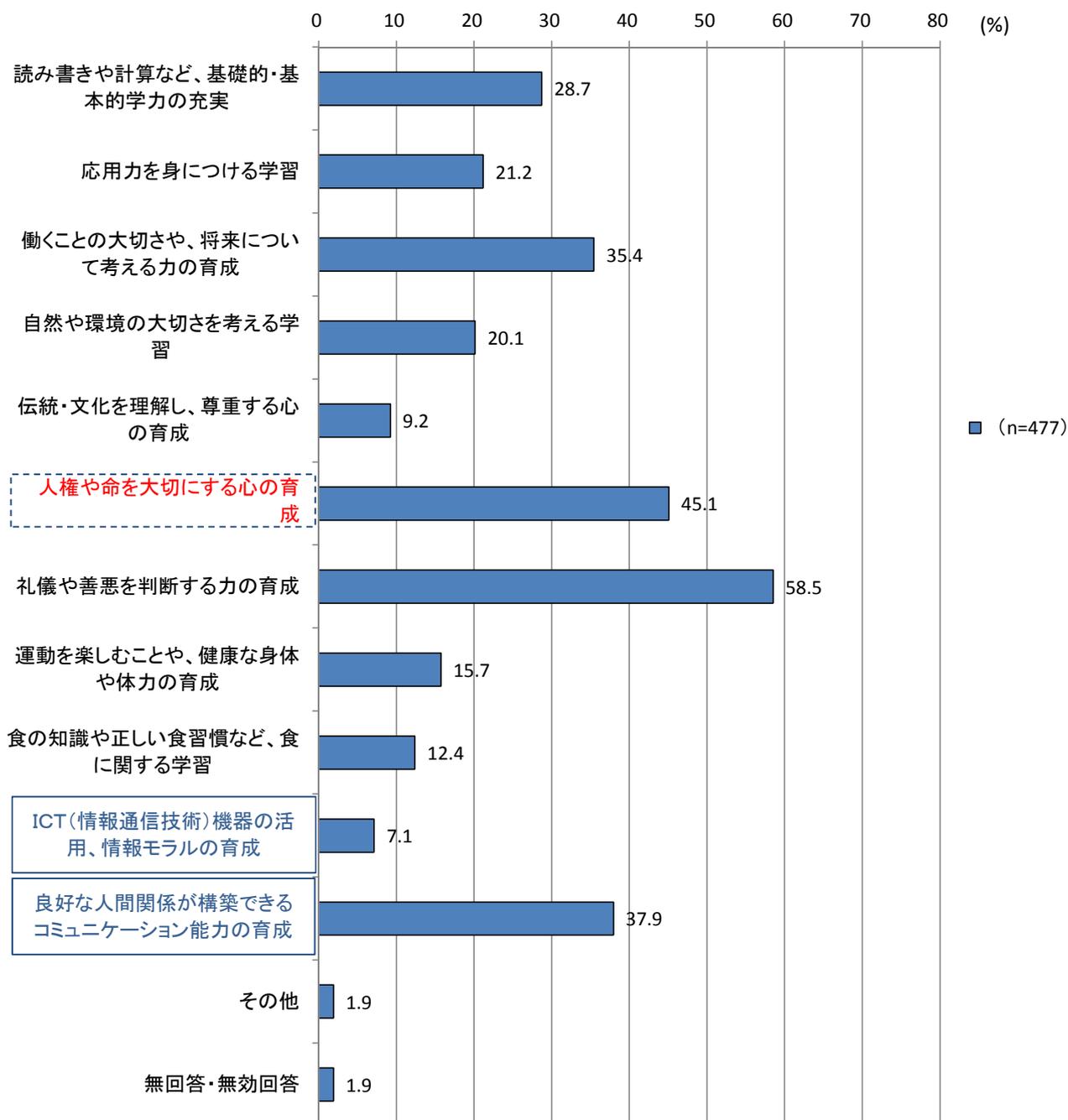
「人権等を大切にすること」が66.9% から 45.1%、と減少し、「礼儀や善悪を判断する力」が最も多くなっている。

「コミュニケーション能力の育成」が増えているのはIT機器が発達することによるデメリット(人間関係の希薄化)を感じる人がいることも要因と思われる。

前回

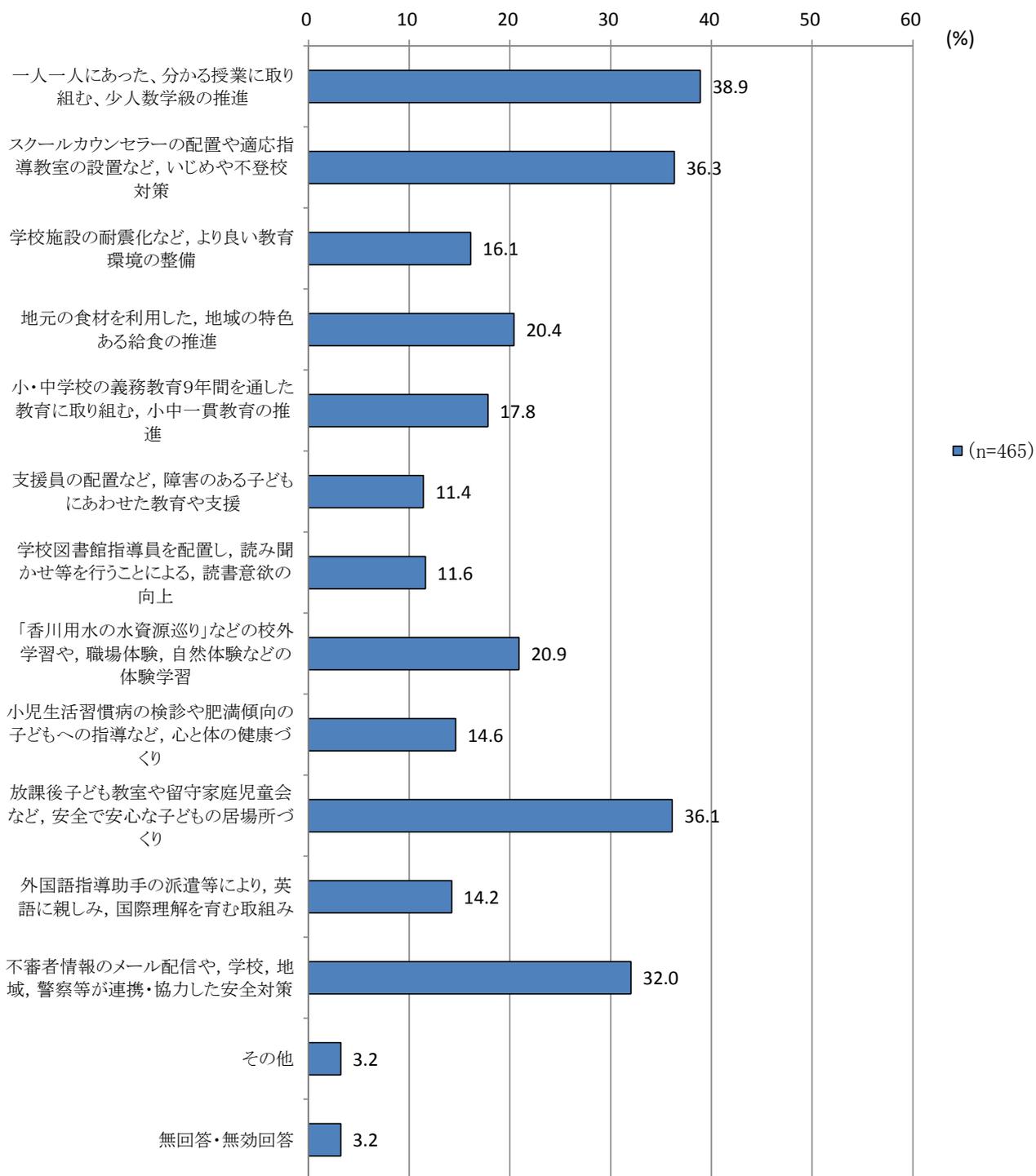


今回



問6 教育に関する主な施策のうち、あなたが特に期待するものはどれですか。(複数回答3つまで)
教育に関する主な施策のうち、あなたが特に期待するものはどれですか。(複数回答4つまで)

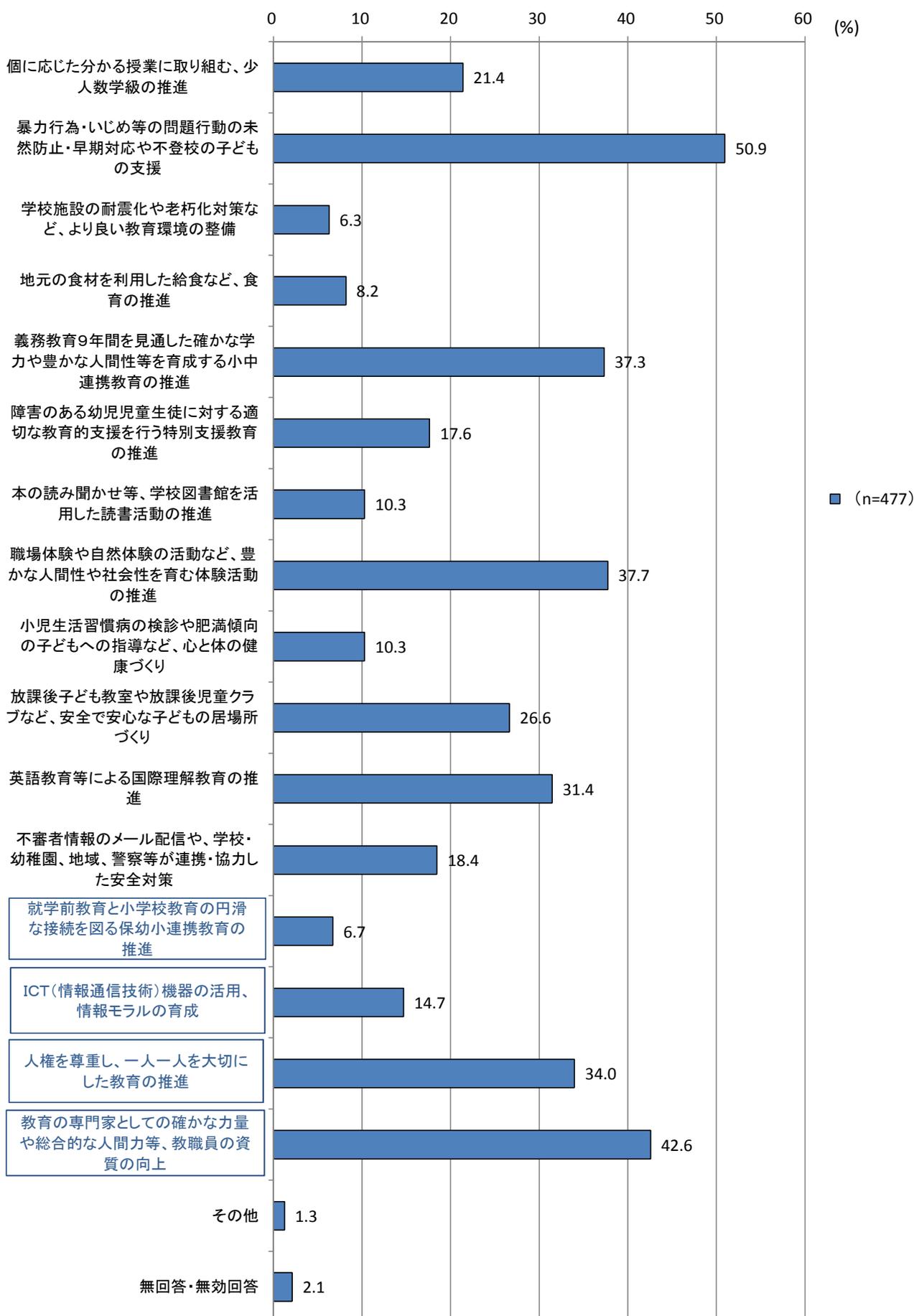
前回



前回から選択肢を増やし、合わせて回答可能数を1つ増やしている。特に「暴力行為・いじめ・不登校対策」、「職場体験等の体験活動」、「小中連携」、「英語教育・国際理解教育」の割合が前回より増えているが、「少人数学級」、「不審者情報等の安全対策」は減っている。これらは施策の取り組みが定着してきていることも要因と思われる。

追加した項目では「教職員の資質向上」と「人権を尊重し一人一人を大切にした教育」とを選択した人が多い。

今回



対象者比較（児童生徒・保護者）

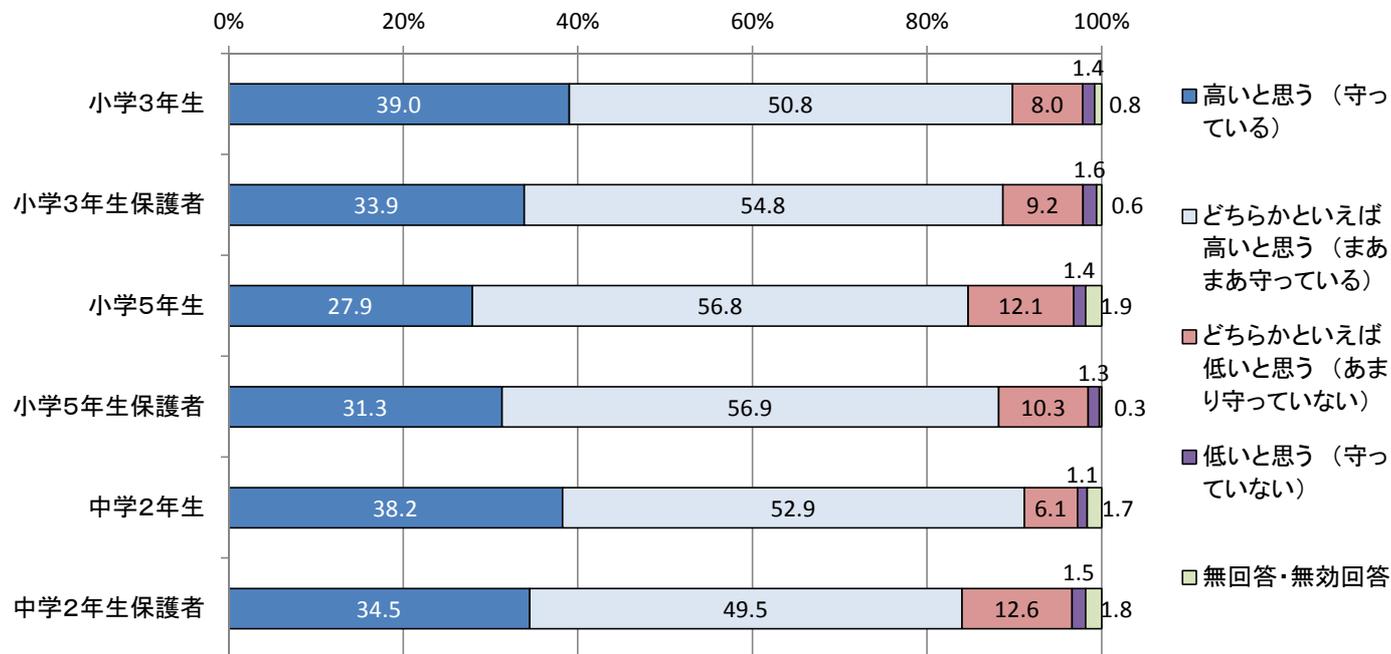
児童生徒・保護者のアンケート結果

設問

児童生徒 あなたは、学校の規則(きまり)や先生に言われたことを守っていますか。

保護者 あなたのお子さんは、規範意識(学校のきまりを守る、モラルを持つなど)が高いと思いますか。

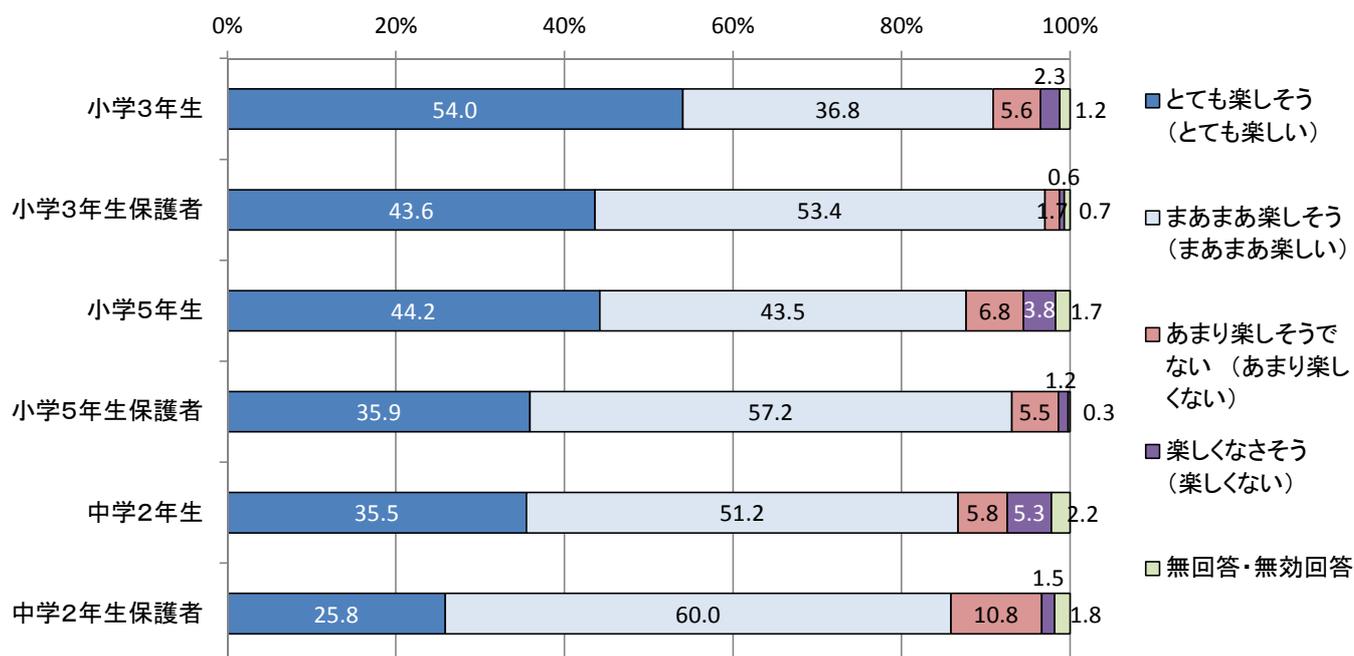
子どもと保護者の回答率は全般に差が無く、ほぼ同様の傾向を示している。



児童生徒 あなたは、学校が楽しいですか。

保護者 あなたのお子さんは、学校に楽しく通っていますか。

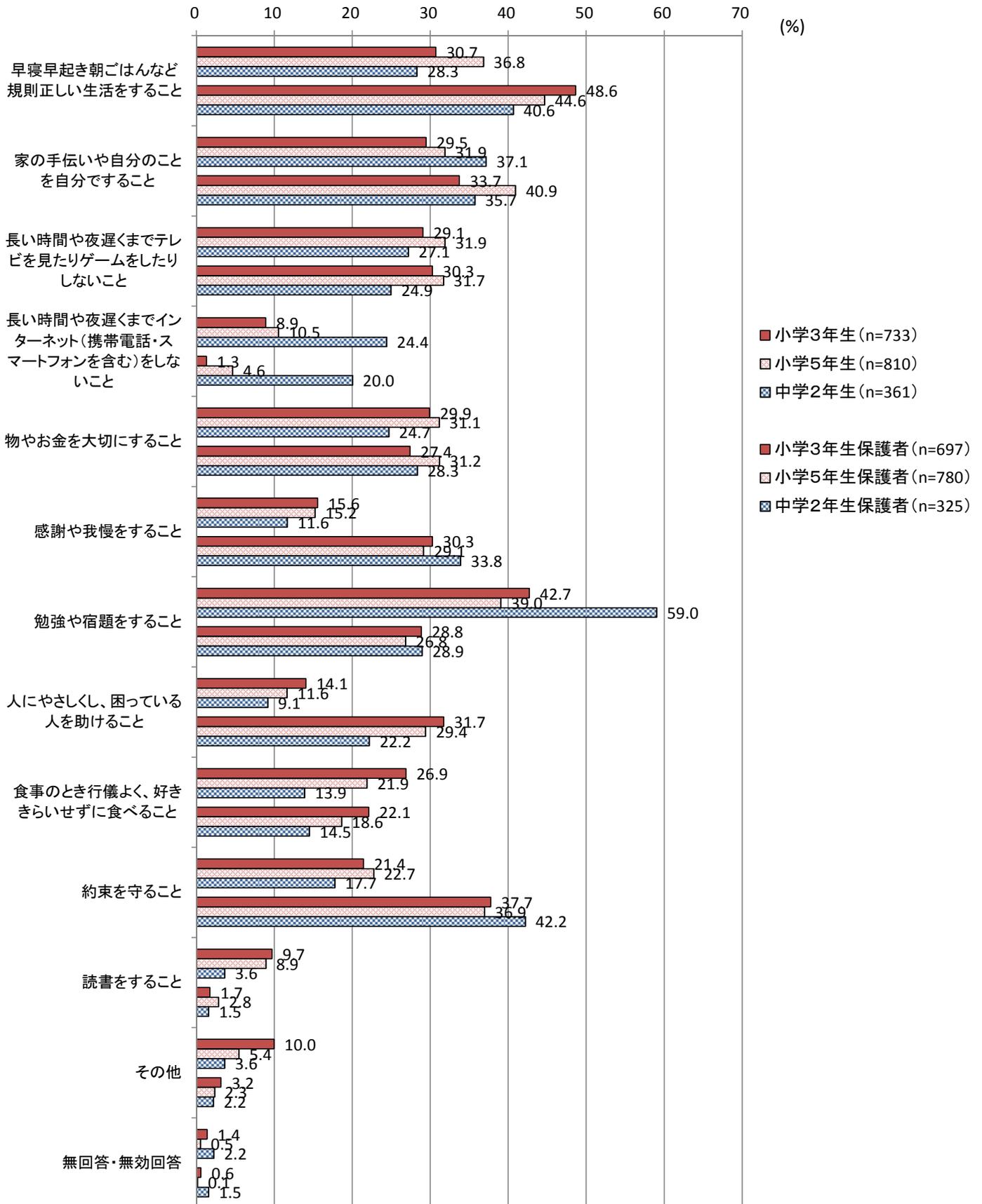
「とても楽しそう(とても楽しい)」については子どもの回答率が、保護者の回答率を上回っている。「楽しくなさそう(楽しくない)」は全学年で子どもの回答率が、保護者の回答率を上回っている。「楽しくなさそう(楽しくない)」の親子のギャップを埋めていくよう、親子のコミュニケーションを大事にしていかなければならない。



児童生徒 あなたが、最近、おうちの人によく言われることは何ですか。(複数回答)
 保護者 あなたが、家庭でお子さんによく指導することは何ですか。(複数回答)

「早寝早起き朝ごはんなど規則正しい生活をする事」「感謝や我慢をする事」「人にやさしくし、困っている人を助ける事」「約束を守る事」はいずれも保護者で回答率が高く、児童生徒では回答率が低い。道徳的な指導については親の思いが十分、子どもに伝わっていないようである。

反面、「インターネットの制限」、「勉強や宿題をする事」については、子どもの回答率が保護者のそれを大きく上回り、親が思うよりも子どもは勉強の指導を負担に感じているようだ。



対象者比較（児童生徒・保護者・教員・一般市民）

児童生徒・保護者・教員・一般市民のアンケート結果

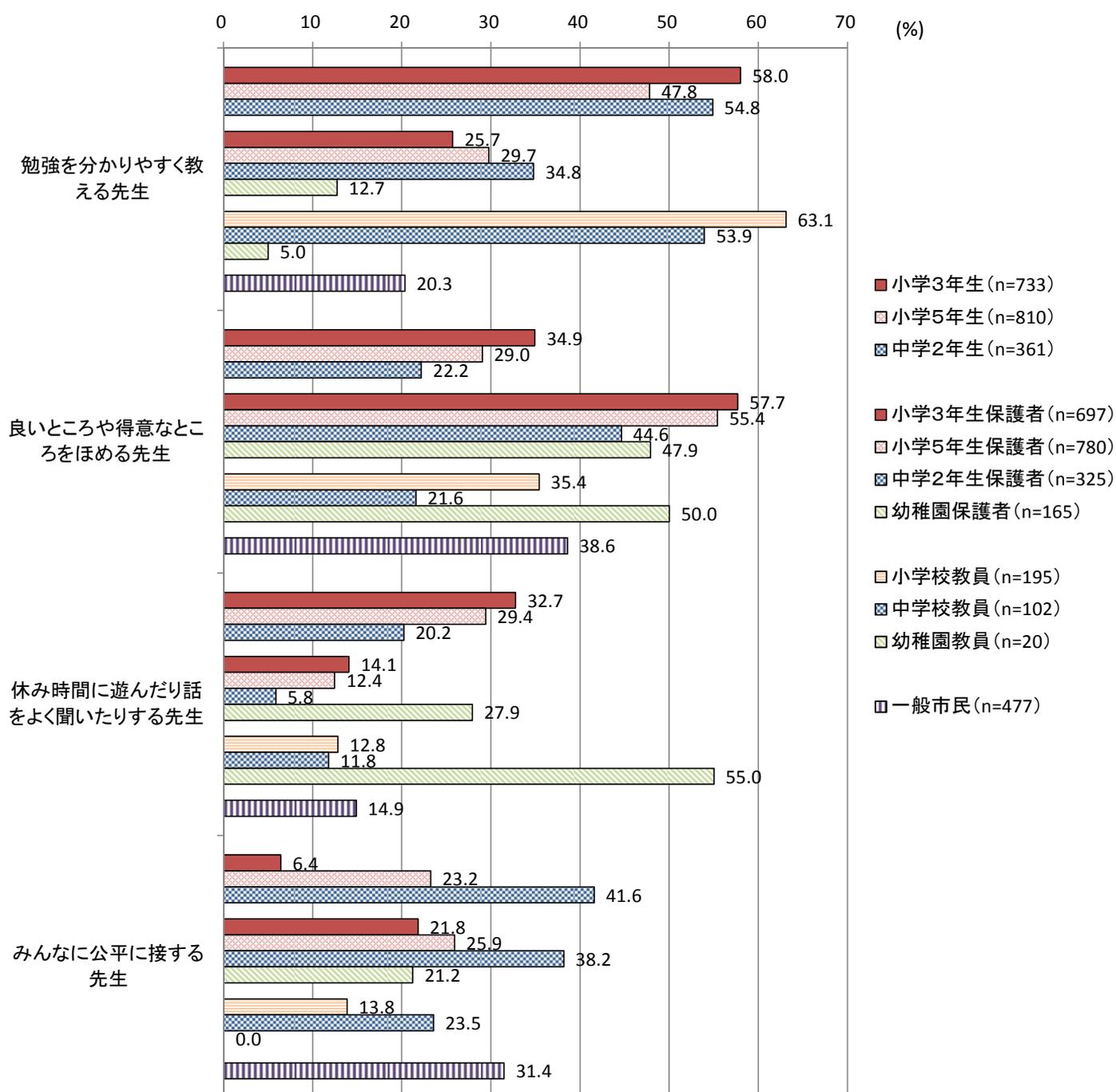
設問

児童生徒 あなたは、どんな先生が好きですか。(複数回答)

保護者 あなたは、どのような先生が望ましいと思いますか。(複数回答)

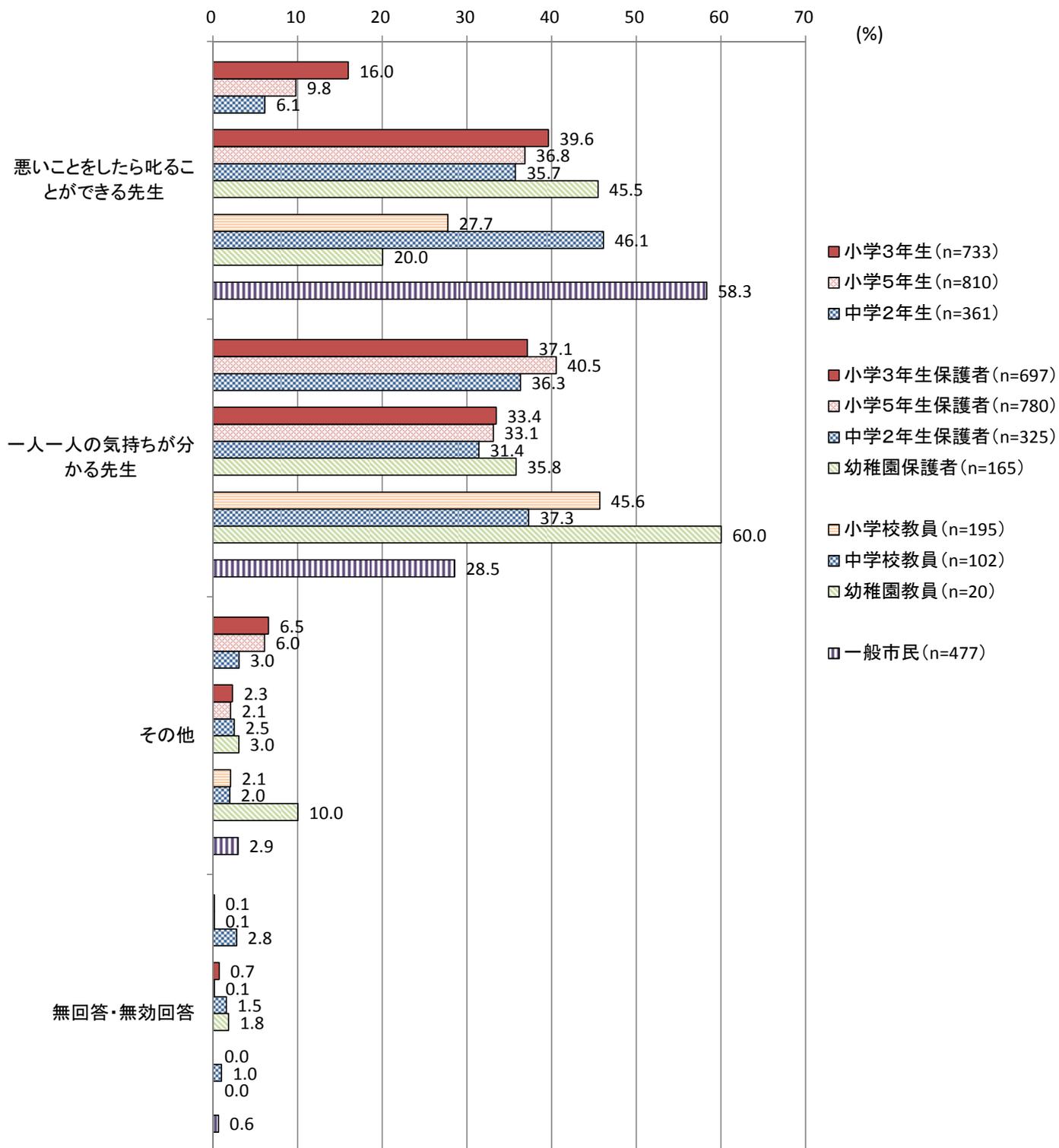
教員・一般市民 あなたは、どのような先生が求められていると思いますか。(複数回答)

勉強を分かりやすく教える先生	児童生徒と小・中学校教員での回答率が高い。それに比べて一般市民・保護者・幼稚園教員の回答率は低い。学校の外の社会人は、学力も大事だが、もっと重要なものもあると考えている。
良いところや得意なところをほめる先生	保護者と幼稚園教員で回答率が高い。比較して児童生徒、小・中学校教員では低い。特に中学2年生、中学校教員では顕著である。
休み時間に遊んだり話をよく聞いたりする先生	児童生徒と幼稚園教員で回答率が高い。一般市民・保護者・小中学校教員では回答率が低い。
みんなに公平に接する先生	一般市民・児童生徒・小・中学校保護者に比べて小・中学校教員では回答率が低い。意図しない不公平について教員は気を配ることが望まれる。



続き

悪いことをしたら叱ることができる先生	児童生徒では回答率が低い。一般市民・保護者・中学校教員が高い。
一人一人の気持ちが分かる先生	一般市民の回答率が若干低く、幼稚園教員が高いが、全体的に回答率は高く、大きな差異は見られない。



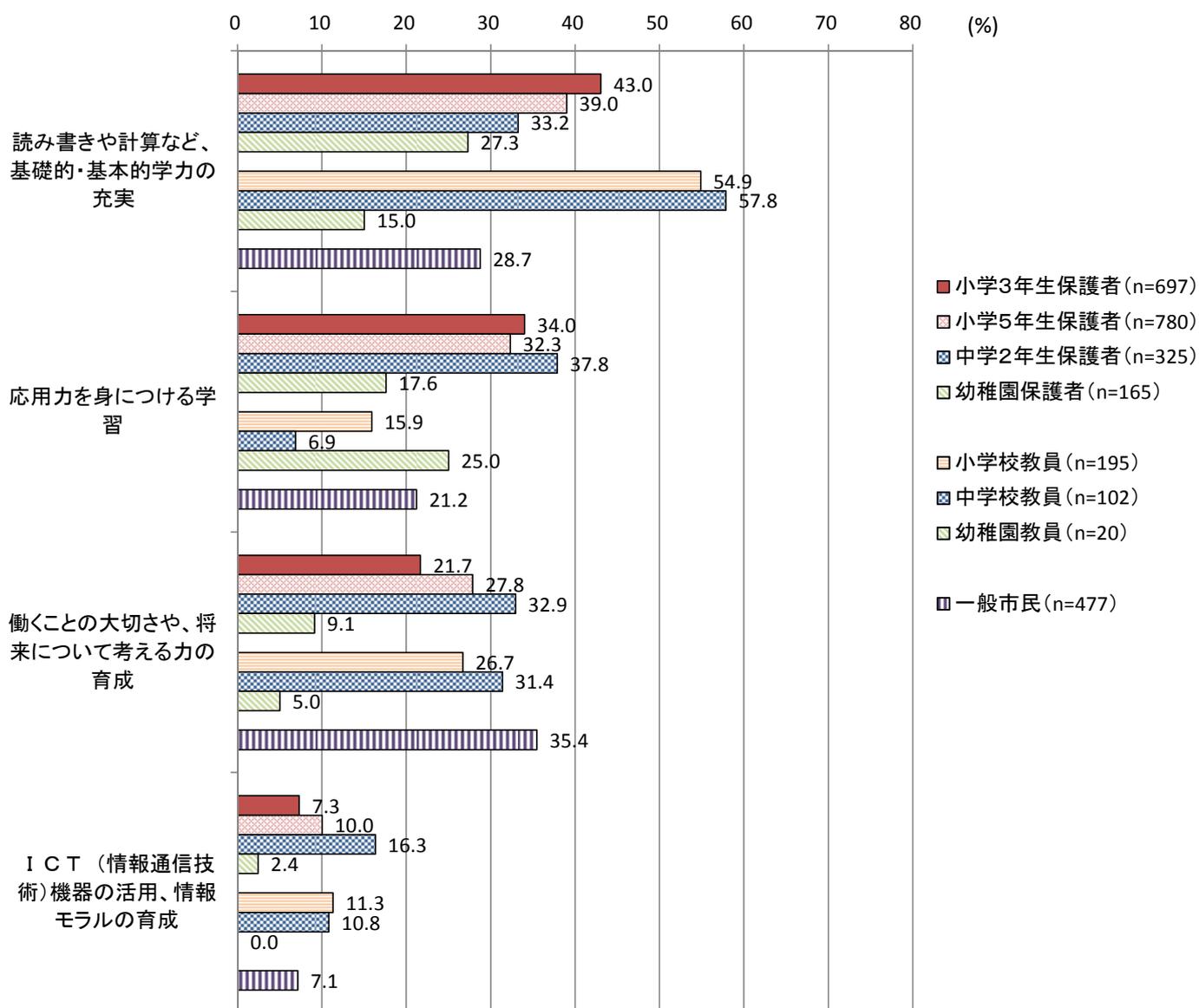
対象者比較（保護者・教員・一般市民）

保護者・教員・一般市民のアンケート結果

設問

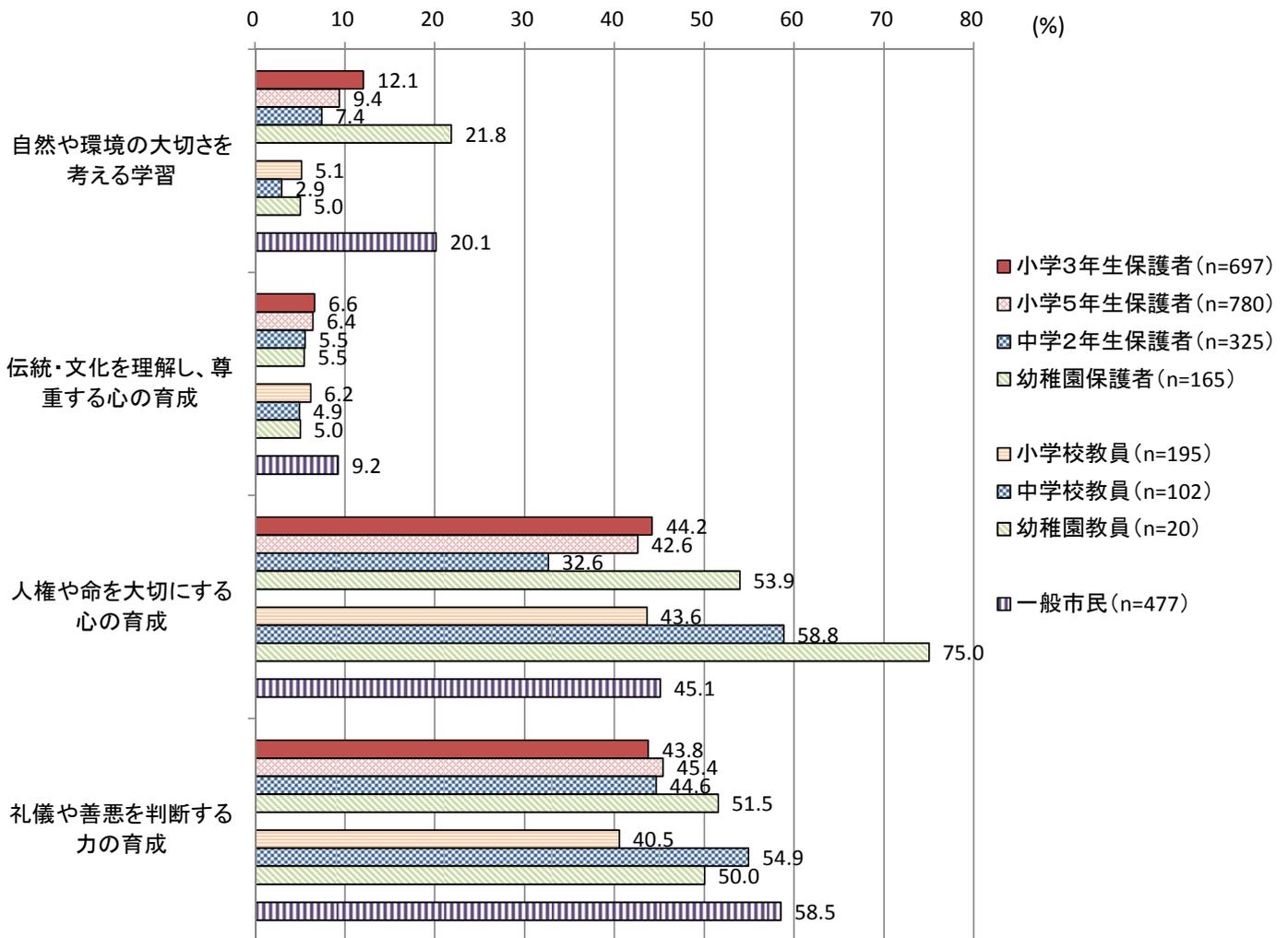
あなたは、今後、どのような教育活動に力を入れる必要があると思いますか。(複数回答)

読み書きや計算など、基礎的・基本的学力の充実	小・中学校教員の回答率が高く、一般市民・幼稚園保護者・幼稚園教員の回答率は低い。 小・中学校教員は児童生徒の基本的学力が不足していると感じている。
応用力を身につける学習	基本的学力とは逆に小・中学校教員の回答率が低い。 小・中学校教員は児童生徒の応用力以前に基本的学力不足が問題であると感じている。
働くことの大切さや、将来について考える力の育成	一般市民の回答率が最も高く、幼稚園～小学校～中学校と子どもの学年が上がるにつれて保護者・教員の回答率が上がっている。
ICT(情報通信技術)機器の活用、情報モラルの育成	幼稚園～小学校～中学校と子どもの学年が上がるにつれて保護者・教員の回答率が上がっている。一般市民がそれほど高くないのは回答者の年齢層が高いせいと思われる。



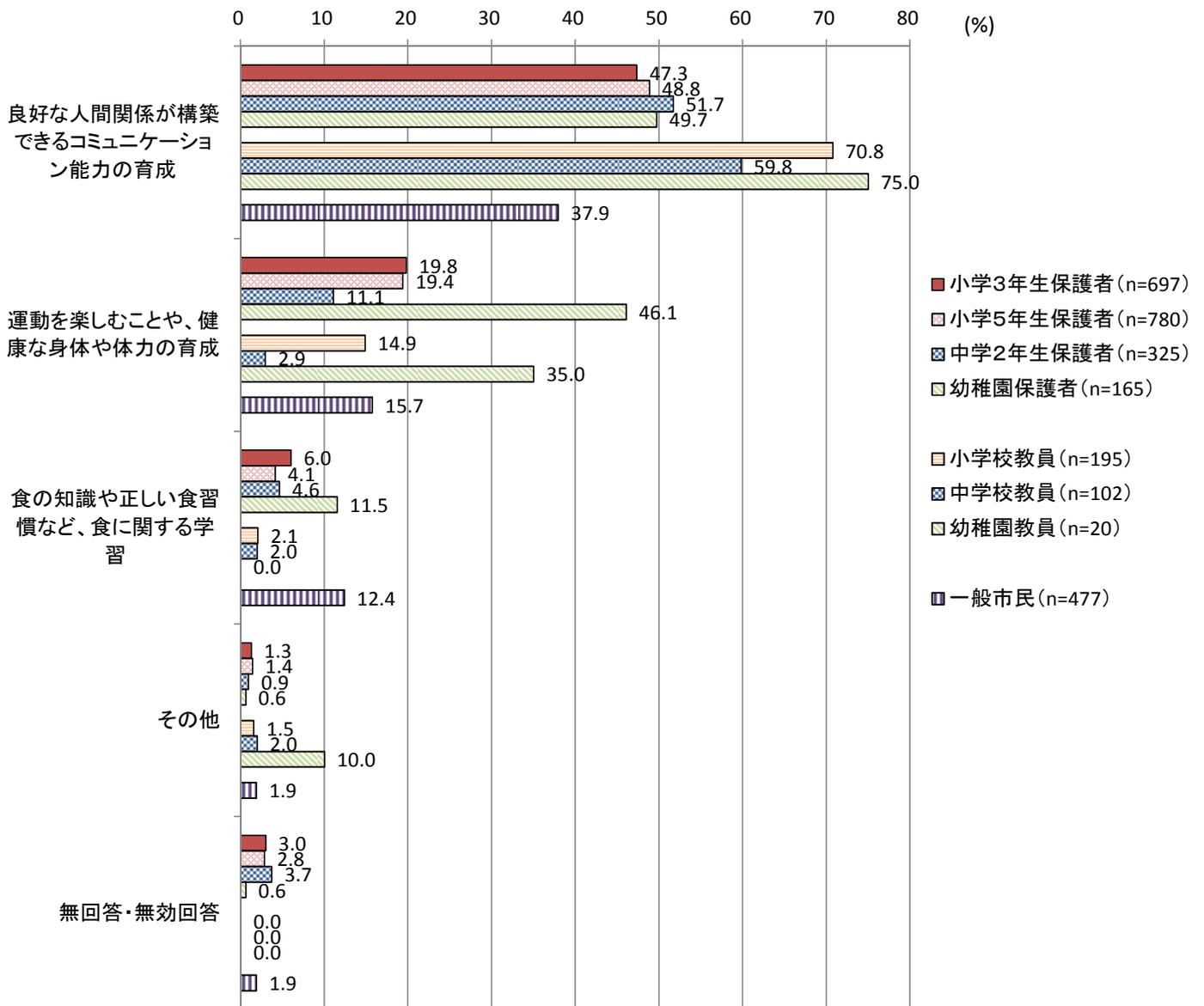
続き

自然や環境の大切さを考える学習	一般市民と幼稚園教員で回答率が高い。
伝統・文化を理解し、尊重する心の育成	全体的に回答率は低く、差もあまりない。
人権や命を大切にする心の育成	幼稚園保護者・幼稚園教員がともに高い。中学校教員の回答率が高い(58.8%)が中学2年生保護者は低く(32.6%)、回答率に差がある。中学校での教員・保護者の相互理解が不足しているのではと危惧される。
礼儀や善悪を判断する力の育成	一般市民の回答率が最も高い(58.5%)。各立場での回答率は総じて高く、顕著な差異は見られない。



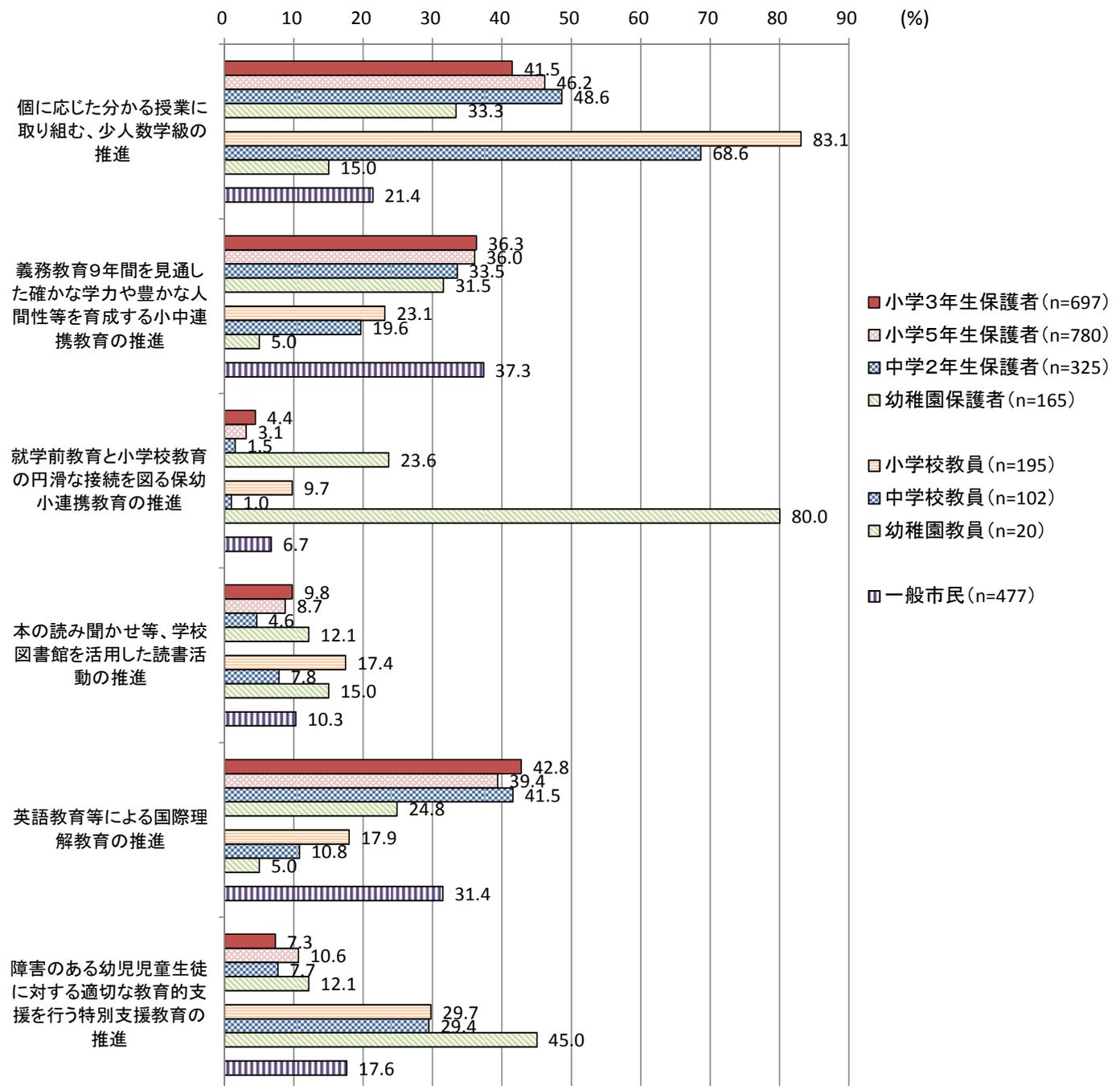
続き

良好な人間関係が構築できるコミュニケーション能力の育成	幼稚園・小・中学校教員で回答率が高い。一般市民での回答率は低い。
運動を楽しむことや、健康な身体や体力の育成	幼稚園保護者・幼稚園教員での回答率が高い。幼児期での体づくり、運動する習慣をつけることの大切さを感じていると思われる。
食の知識や正しい食習慣など、食に関する学習	一般市民・幼稚園教員で回答率が高い。小・中学校教員では低い。



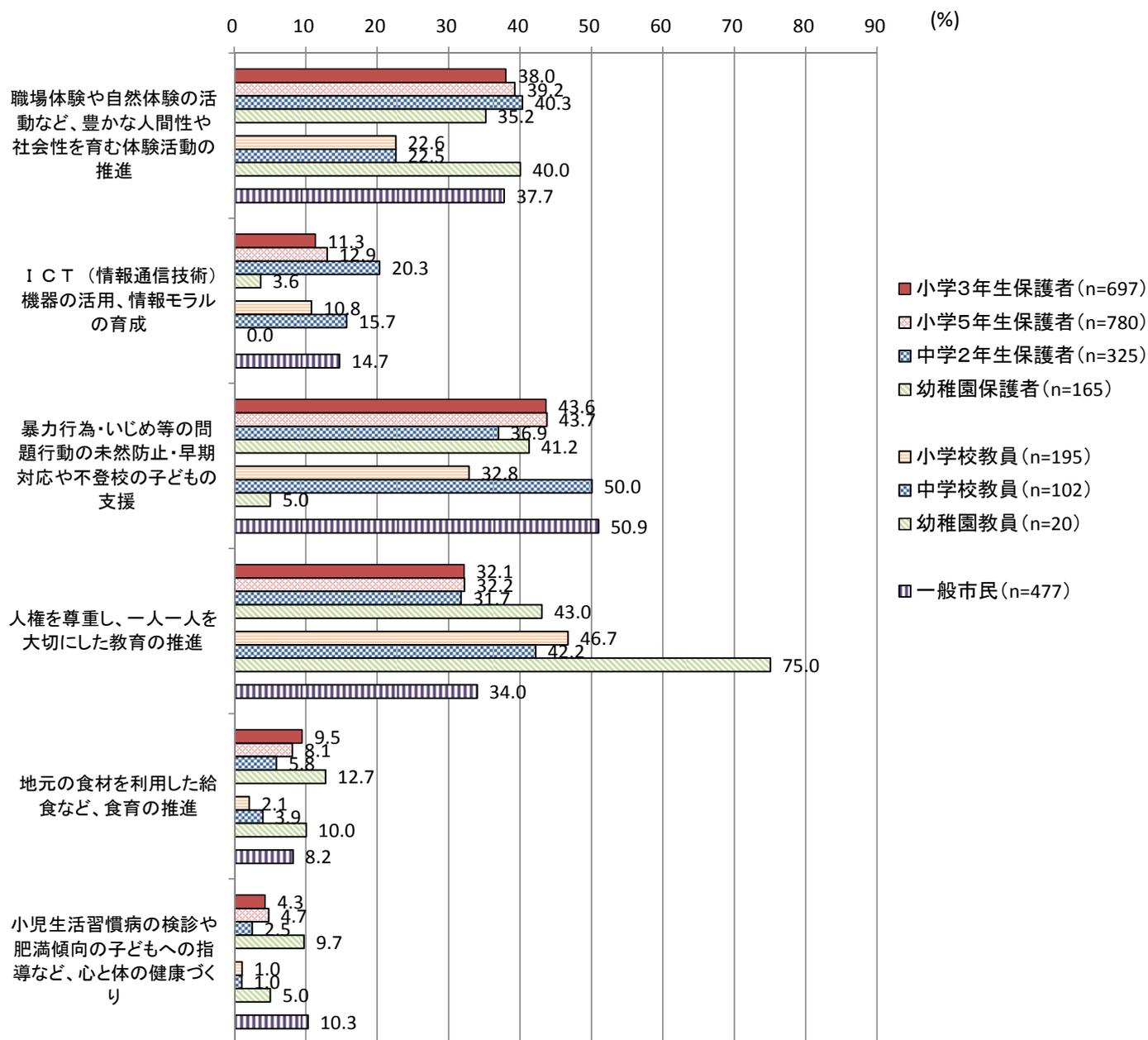
教育に関する主な施策のうち、あなたが特に期待するものはどれですか。(複数回答)

個に応じた分かる授業に取り組む、少人数学級の推進	小・中学校教員の回答率が高い。一般市民と幼稚園教員の回答率が低い。
義務教育9年間を見通した確かな学力や豊かな人間性等を育成する小中連携教育の推進	教員の回答率が低く、保護者と一般市民の回答率が高い。
就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図る保幼小連携教育の推進	小学校教員と小学生保護者、幼稚園教員と幼稚園保護者の回答に差がある。
本の読み聞かせ等、学校図書館を活用した読書活動の推進	幼稚園教員と幼稚園保護者、小学校教員の回答率が高い。
英語教育等による国際理解教育の推進	保護者と一般市民の回答率が高い反面、教員の回答率は低い。
障害のある幼児児童生徒に対する適切な教育的支援を行う特別支援教育の推進	保護者の回答率は低く、教員の回答率は幼小中全てで高い。



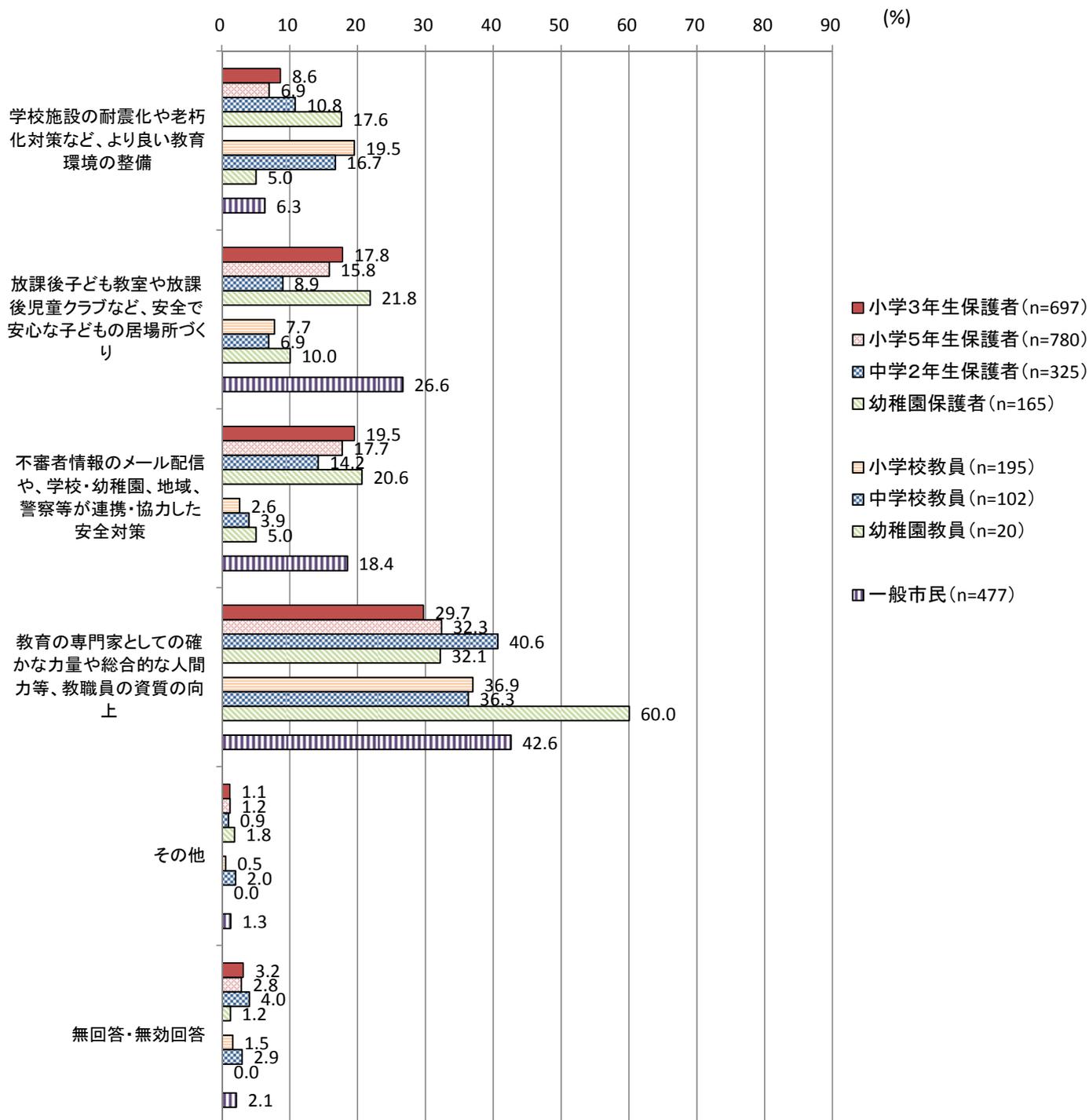
続き

職場体験や自然体験の活動など、豊かな人間性や社会性を育む体験活動の推進	小・中学校教員の回答率が低い。職場体験・自然体験学習などは、すでに取組みが進んでいるからと思われる。
ICT(情報通信技術)機器の活用、情報モラルの育成	中学校保護者と中学校教員の回答率が高い。中学生徒にICT機器が普及してきているからと思われる。
暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応や不登校の子どもの支援	幼稚園保護者は高く(41.2%)幼稚園教員の回答率が低い(5%)
人権を尊重し、一人一人を大切にされた教育の推進	幼稚園教員の回答率が最も高く、小中学校教員も高い。幼稚園保護者も高いが、幼稚園教員と比べると差がある。
地元の食材を利用した給食など、食育の推進	幼稚園の教員・保護者ともに回答率が高い。小中学校教員は低い。
小児生活習慣病の検診や肥満傾向の子どもへの指導など、心と体の健康づくり	一般市民と幼稚園保護者で比較的、回答率が高い。



続き

学校施設の耐震化や老朽化対策など、より良い教育環境の整備	小・中学校では教員の回答率が高い。幼稚園では保護者の回答率が高い(17.6%)が、幼稚園教員では回答率が低い(5%)。小・中学校と幼稚園とで、保護者と教員の認識の差が、逆になっている。
放課後子ども教室や放課後児童クラブなど、安全で安心な子どもの居場所づくり	一般市民・幼稚園小学校保護者で回答率が高い。共働き家庭など、様々な事情を抱える保護者の支援が望まれていることがうかがえる。
不審者情報のメール配信や、学校・幼稚園、地域、警察等が連携・協力した安全対策	幼稚園・小・中学校教員の回答率が低い。既に定着してきているとの認識ではないかと思われる。
教育の専門家としての確かな力量や総合的な人間力等、教職員の資質の向上	幼稚園教員の回答率が最も高いが、その他の保護者・教員・一般市民ともに回答率が高く、現在抱えている教育問題を解決するための必須要素であると思う。



參考資料

◎小学3年生・小学5年生

問1 あなたは、学校が楽しいですか。(1つ○をつける)

1. とても楽しい 2. まあまあ楽しい
3. あまり楽しくない 4. 楽しくない

問2 あなたは、学校生活についてどのように感じていますか。(1つずつ○をつける)

	そう思う	まあまあそう思う	あまり思わない	思わない
1. 勉強がおもしろい	1	2	3	4
2. 友達と遊ぶのが楽しい	1	2	3	4
3. 良い先生がいる	1	2	3	4

問3 あなたは、自分に良いところがあると思いますか。(1つ○をつける)

1. あると思う
2. どちらかといえばあると思う
3. どちらかといえばないと思う
4. ないと思う

問4 あなたは、次の科目の授業(活動)はわかりますか。(1つずつ○をつける)

	よく分かる	だいたい分かる	あまり分からない	分からない
1. 国語	1	2	3	4
2. 社会	1	2	3	4
3. 算数	1	2	3	4
4. 理科	1	2	3	4
5. 英語活動	1	2	3	4

問5 あなたは、将来したいと思っている仕事がありますか。(1つ○をつける)

1. ある 2. 分からない 3. ない

問5-1 「1. ある」を選んだ人にお聞きします。その仕事のことは、どこで知りましたか。(1つ○をつける)

1. テレビや本
2. 学校の授業
3. 家族の仕事を見て
4. 近所の人の仕事を見て
5. その他()

問6 あなたは、学校の規則(きまり)や先生に言われたことを守っていますか。(1つ○をつける)

1. 守っている 2. まあまあ守っている 3. あまり守っていない 4. 守っていない

問7 あなたが、最近、おうちの人によく言われることは何ですか。(3つまで○をつける)

1. 早寝早起き朝ごはんなど規則正しい生活をする事
2. 家の手伝いや自分のことを自分ですること
3. 長い時間や夜遅くまでテレビを見たりゲームをしたりしないこと
4. 長い時間や夜遅くまでインターネット(携帯電話・スマートフォンを含む)をしないこと
5. 物やお金を大切にすること
6. 感謝や我慢をすること
7. 勉強や宿題をすること
8. 人にやさしくし、困っている人を助けること
9. 食事のとき行儀よく、好ききらいせずに食べる事
10. 約束を守ること
11. 読書をする事
12. その他()

問8 あなたは、大人にあいさつをしますか。(1つ○をつける)

1. よくする
2. ときどきする
3. あまりしない
4. しない

問8-1 「3. あまりしない、4. しない」を選んだ人にお聞きします。あいさつをしない理由は何ですか。(1つ○をつける)

1. 本当はあいさつしたいが、恥ずかしくてできない
2. あいさつをしても返事をしてくれないので、しなくなった
3. あいさつはしたくない
4. その他()

問9 あなたは、どんな先生が好きですか。(2つまで○をつける)

1. 勉強を分かりやすく教えてくれる先生
2. 良いところや得意なところをほめてくれる先生
3. 休み時間に遊んでくれたり話をよく聞いてくれたりする先生
4. みんなに公平に接してくれる先生
5. 悪いことをしたら叱ってくれる先生
6. 一人一人の気持ちを分かってくれる先生
7. その他()

問10 あなたは、今の学年になって、地域の行事に参加したことがありますか。

1. はい
2. いいえ

問10-1 「1. はい」を選んだ人にお聞きします。どんなことがありましたか。
(あてはまるものすべてに○をつける)

1. 子ども会の行事
2. 地域の運動会
3. 地域のお祭り
4. 地域の清掃・掃除
5. 学校以外で、地域の人から、昔の遊び・料理・地域の歴史を教えてもらった
6. その他()

問10-2 「2. いいえ」を選んだ人にお聞きします。地域の行事に参加しないのはなぜですか。
(1つ○をつける)

1. 塾や習い事など自分の予定があるから
2. 参加する方法が分からないから
3. 知らない人がたくさんいて恥ずかしいから
4. めんどうだから
5. その他()

問11 あなたは、学校から帰ったら、どういうことに使う時間が多いですか。(3つまで○をつける)

1. 家で宿題・勉強をする
2. 習い事や塾に行く
3. 家の手伝いをする
4. テレビやマンガを見たり、ゲームをしたりする
5. インターネット(携帯電話・スマートフォンを含む)をする
6. 友達と携帯電話で話をしたり、メール等のやり取りをしたりする
7. 友達と外で遊ぶ
8. スポーツをする
9. 読書をする
10. その他()

問12 あなたは、土曜日や日曜日など学校の休みの日には、どういうことに使う時間が多いですか。
(3つまで○をつける)

1. 家で宿題・勉強をする
2. 習い事や塾に行く
3. 家の手伝いをする
4. テレビやマンガを見たり、ゲームをしたりする
5. インターネット(携帯電話・スマートフォンを含む)をする
6. 友達と携帯電話で話をしたり、メール等のやり取りをしたりする
7. 友達と外で遊ぶ
8. スポーツをする
9. 読書をする
10. 家族で旅行やレジャーを楽しむ
11. その他()

問13 あなたは、夏休みなどの長期休業期間中は、計画を立てて過ごすことができますか。
(1つ○をつける)

1. できている
2. まあまあできている
3. あまりできていない
4. できていない

◎中学2年生

問1 あなたは、学校が楽しいですか。(1つ○をつける)

1. とても楽しい 2. まあまあ楽しい
3. あまり楽しくない 4. 楽しくない

問2 あなたは、学校生活についてどのように感じていますか。(1つずつ○をつける)

	そう思う	まあまあそう思う	あまり思わない	思わない
1. 勉強がおもしろい	1	2	3	4
2. 友達と遊ぶのが楽しい	1	2	3	4
3. 良い先生がいる	1	2	3	4
4. 部活動が楽しい	1	2	3	4

問3 あなたは、自分に良いところがあると思いますか。(1つ○をつける)

1. あると思う
2. どちらかといえばあると思う
3. どちらかといえばないと思う
4. ないと思う

問4 あなたは、次の科目の授業は分かりますか。(1つずつ○をつける)

	よく分かる	だいたい分かる	あまり分からない	分からない
1. 国語	1	2	3	4
2. 社会	1	2	3	4
3. 数学	1	2	3	4
4. 理科	1	2	3	4
5. 英語	1	2	3	4

問5 あなたは、将来したいと思っている仕事がありますか。(1つ○をつける)

1. ある 2. 分からない 3. ない

問5-1 「1. ある」を選んだ人にお聞きします。その仕事のことは、どこで知りましたか。(1つ○をつける)

1. テレビや本
2. 学校の授業
3. 家族の仕事を見て
4. 近所の人の仕事を見て
5. その他()

問6 あなたは、学校の規則(きまり)や先生に言われたことを守っていますか。(1つ○をつける)

1. 守っている 2. まあまあ守っている 3. あまり守っていない 4. 守っていない

問7 あなたが、最近、おうちの人によく言われることは何ですか。(3つまで○をつける)

1. 早寝早起き朝ごはんなど規則正しい生活をする事
2. 家の手伝いや自分のことを自分ですること
3. 長い時間や夜遅くまでテレビを見たりゲームをしたりしないこと
4. 長い時間や夜遅くまでインターネット(携帯電話・スマートフォンを含む)をしないこと
5. 物やお金を大切にすること
6. 感謝や我慢をすること
7. 勉強や宿題をすること
8. 人にやさしくし、困っている人を助けること
9. 食事のとき行儀よく、好ききらいせずに食べる事
10. 約束を守ること
11. 読書をする事
12. その他()

問8 あなたは、大人にあいさつをしますか。(1つ○をつける)

1. よくする
2. ときどきする
3. あまりしない
4. しない

問8-1 「3. あまりしない、4. しない」を選んだ人にお聞きします。あいさつをしない理由は何ですか。(1つ○をつける)

1. 本当はあいさつしたいが、恥ずかしくてできない
2. あいさつをしても返事をしてくれないので、しなくなった
3. あいさつはしたくない
4. その他()

問9 あなたは、どんな先生が好きですか。(2つまで○をつける)

1. 勉強を分かりやすく教えてくれる先生
2. 良いところや得意なところをほめてくれる先生
3. 休み時間に遊んでくれたり話をよく聞いてくれたりする先生
4. みんなに公平に接してくれる先生
5. 悪いことをしたら叱ってくれる先生
6. 一人一人の気持ちを分かってくれる先生
7. その他()

問10 あなたは、今の学年になって、地域の行事に参加したことがありますか。

1. はい
2. いいえ

問10-1 「1. はい」を選んだ人にお聞きします。どんなことがありましたか。
(あてはまるものすべてに○をつける)

1. 子ども会の行事
2. 地域の運動会
3. 地域のお祭り
4. 地域の清掃・掃除
5. 学校以外で、地域の人から、昔の遊び・料理・地域の歴史を教えてもらった
6. その他()

問10-2 「2. いいえ」を選んだ人にお聞きします。地域の行事に参加しないのはなぜですか。
(1つ○をつける)

1. 塾や習い事など自分の予定があるから
2. 参加する方法が分からないから
3. 知らない人がたくさんいて恥ずかしいから
4. めんどうだから
5. その他()

問11 あなたは、学校から帰ったら、どういうことに使う時間が多いですか。(3つまで○をつける)

1. 家で宿題・勉強をする
2. 習い事や塾に行く
3. 家の手伝いをする
4. テレビやマンガを見たり、ゲームをしたりする
5. インターネット(携帯電話・スマートフォンを含む)をする
6. 友達と携帯電話で話をしたり、メール等のやり取りをしたりする
7. 友達と外で遊ぶ
8. スポーツをする
9. 読書をする
10. その他()

問12 あなたは、土曜日や日曜日など学校の休みの日には、どういうことに使う時間が多いですか。
(3つまで○をつける)

1. 家で宿題・勉強をする
2. 習い事や塾に行く
3. 家の手伝いをする
4. テレビやマンガを見たり、ゲームをしたりする
5. インターネット(携帯電話・スマートフォンを含む。)をする
6. 友達と携帯電話で話をしたり、メール等のやり取りをしたりする
7. 友達と外で遊ぶ
8. スポーツをする
9. 読書をする
10. 家族で旅行やレジャーを楽しむ
11. その他()

問13 あなたは、夏休みなどの長期休業期間中は、計画を立てて過ごすことができますか。
(1つ○をつける)

1. できている
2. まあまあできている
3. あまりできていない
4. できていない

◎小・中学生の保護者（該当学年の特別支援学級の児童生徒も含む）

問1 あなたのお子さんは、学校に楽しく通っていますか。（1つ○をつける）

1. とても楽しそう
2. まあまあ楽しそう
3. あまり楽しそうでない
4. 楽しくなさそう

問1-1 その理由は、何だと思えますか。（1つ○をつける）

1. 勉強のこと
2. 友だちのこと
3. 先生のこと
4. その他（ ）

問2 あなたのお子さんは、学習内容をどのくらい理解していると思えますか。（1つ○をつける）

1. 大部分を理解している
2. だいたい理解している
3. あまり理解できていない
4. ほとんど理解できていない

問2-1 理解が十分でない理由は何だと思えますか。（1つ○をつける）

1. 学習意欲があまりない
2. 学ばなければならない量が多すぎる
3. 学習内容がむずかしい
4. 授業がよく分からない
5. 今までの学習が定着していない
6. 学習に対する時間が十分でない
7. 理由は分からない
8. その他（ ）

問3 あなたは、お子さんが、将来の職業について考えていると思えますか。（1つ○をつける）

1. よく考えている
2. ある程度は考えている
3. あまり考えていない
4. 考えていない

問4 あなたのお子さんは、規範意識（学校のきまりを守る、モラルを持つなど）が高いと思えますか。（1つ○をつける）

1. 高いと思う
2. どちらかといえば高いと思う
3. どちらかといえば低いと思う
4. 低いと思う

問5 あなたが、家庭でお子さんによく指導することは何ですか。（3つまで○をつける）

1. 早寝早起き朝ごはんなど規則正しい生活をする
2. 家の手伝いや自分のことを自分ですること
3. 長い時間や夜遅くまでテレビを見たりゲームをしたりしないこと
4. 長い時間や夜遅くまでインターネット（携帯電話・スマートフォンを含む）をしないこと
5. 物やお金を大切にすること
6. 感謝や我慢をすること
7. 勉強や宿題をすること
8. 人にやさしくし、困っている人を助けること
9. 食事のとき行儀よく、好ききらいせずに食べる
10. 約束を守る
11. 読書をする
12. その他（ ）

問6 あなたは、お子さんと家庭であいさつをしますか。（1つ○をつける）

1. よくする
2. ときどきする
3. あまりしない
4. しない

問7 あなたは、どのような先生が望ましいと思えますか。（2つ○をつける）

1. 勉強を分かりやすく教えてくれる先生
2. 良いところや得意なところをほめてくれる先生
3. 休み時間に遊んでくれたり話をよく聞いてくれたりする先生
4. みんなに公平に接してくれる先生
5. 悪いことをしたら叱ってくれる先生
6. 一人一人の気持ちを分かってくれる先生
7. その他（ ）

問 8 あなたは、あなたのお子さんが今の学年になって、学校の行事などに参加したことがありますか。

1. ある 2. ない

問 8-1 「1. ある」を選んだ人にお聞きします。それはどんなことですか。

(参加又は協力したものをすべてに○をつける)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 授業参観 | 2. 校外学習や体験学習 |
| 3. 登下校時のあいさつ運動 | 4. 子育てや教育の講座・セミナー |
| 5. 運動会や文化祭などの学校行事 | 6. 学校や学校周辺の美化・清掃活動 |
| 7. クラブ活動・部活動・スポーツ少年団 | 8. 学校との情報交換や話し合い |
| 9. その他 () | |

問 8-2 「2. ない」を選んだ人にお聞きします。理由は何ですか。(1つ○をつける)

1. 仕事など予定があるから 2. 参加する方法が分からないから
3. 知らない人がたくさんいて恥ずかしいから
4. 面倒だから 5. その他 ()

問 9 あなたは、学校の運営方針などの情報提供が、積極的に行われていると思いますか。(1つ○をつける)

1. 行われている 2. まあまあ、行われている
3. あまり行われていない 4. 行われていない

問 10 あなたは、学校からの情報を、主にどのような方法で得ていますか。(1つ○をつける)

1. 学校日より 2. 学校のホームページ
3. P T A 総会や学級懇談会 4. その他 ()

問 11 あなたは、今後、どのような教育活動に力を入れる必要があると思いますか。(3つまで○をつける)

1. 読み書きや計算など、基礎的・基本的学力の充実
2. 応用力を身につける学習
3. 働くことの大切さや、将来について考える力の育成
4. I C T (情報通信技術) 機器の活用、情報モラルの育成
5. 自然や環境の大切さを考える学習
6. 伝統・文化を理解し、尊重する心の育成
7. 人権や命を大切に作る心の育成
8. 礼儀や善悪を判断する力の育成
9. 良好な人間関係が構築できるコミュニケーション能力の育成
10. 運動を楽しむことや、健康な身体や体力の育成
11. 食の知識や正しい食習慣など、食に関する学習
12. その他 ()

問 12 教育に関する主な施策のうち、あなたが特に期待するものはどれですか。(4つまで○をつける)

1. 個に応じた分かる授業に取り組む、少人数学級の推進
2. 義務教育9年間を見通した確かな学力や豊かな人間性等を育成する小中連携教育の推進
3. 就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図る保幼小連携教育の推進
4. 本の読み聞かせ等、学校図書館を活用した読書活動の推進
5. 英語教育等による国際理解教育の推進
6. 障害のある幼児児童生徒に対する適切な教育的支援を行う特別支援教育の推進
7. 職場体験や自然体験の活動など、豊かな人間性や社会性を育む体験活動の推進
8. I C T (情報通信技術) 機器の活用、情報モラルの育成
9. 暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応や不登校の子どもの支援
10. 人権を尊重し、一人一人を大切に教育の推進
11. 地元の食材を利用した給食など、食育の推進
12. 小児生活習慣病の検診や肥満傾向の子どもへの指導など、心と体の健康づくり
13. 学校施設の耐震化や老朽化対策など、より良い教育環境の整備
14. 放課後子ども教室や放課後児童クラブなど、安全で安心な子どもの居場所づくり
15. 不審者情報のメール配信や、学校・幼稚園、地域、警察等が連携・協力した安全対策
16. 教育の専門家としての確かな力量や総合的な人間力等、教職員の資質の向上
17. その他 ()

問 13 最後に、日ごろ学校教育や家庭・地域の教育力等について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

◎幼稚園年長（５歳児）の保護者

問 1 あなたのお子さんは、幼稚園に楽しく通っていますか。（１つ○をつける）

1. とても楽しそう
2. まあまあ楽しそう
3. あまり楽しそうでない
4. 楽しくなさそう

問 1-1 その理由は、何だと思えますか。（１つ○をつける）

1. 幼稚園での活動のこと
2. 友だちのこと
3. 先生のこと
4. その他（ ）

問 2 あなたのお子さんは、規範意識（幼稚園のきまりを守る、モラルを持つなど）が高いと思えますか。（１つ○をつける）

1. 高いと思う
2. どちらかといえば高いと思う
3. どちらかといえば低いと思う
4. 低いと思う

問 3 あなたが、家庭でお子さんによく指導することは何ですか。（３つまで○をつける）

1. 早寝早起き朝ごはんなど規則正しい生活をする
2. 家の手伝いや自分のことを自分ですること
3. 長い時間や夜遅くまでテレビを見たりゲームをしたりしないこと
4. 長い時間や夜遅くまでインターネット（携帯電話・スマートフォンを含む）をしないこと
5. 物やお金を大切にすること
6. 感謝や我慢をすること
7. 勉強や宿題をすること
8. 人にやさしくし、困っている人を助けること
9. 食事のとき行儀よく、好ききらいせず食べる
10. 約束を守る
11. 本を読む
12. その他（ ）

問 4 あなたは、お子さんと家庭であいさつをしますか。（１つ○をつける）

1. よくする
2. ときどきする
3. あまりしない
4. しない

問 5 あなたは、どのような先生が望ましいと思えますか。（２つ○をつける）

1. 色々なことを分かりやすく教えてくれる先生
2. 良いところや得意なところをほめてくれる先生
3. よく遊んでくれたり話をよく聞いてくれたりする先生
4. みんなに公平に接してくれる先生
5. 悪いことをしたら叱ってくれる先生
6. 一人一人の気持ちを分かってくれる先生
7. その他（ ）

問 6 あなたは、あなたのお子さんが今の学年になって、幼稚園の行事などに参加したことがありますか。

1. ある
2. ない

問 6-1 「1. ある」を選んだ人にお聞きします。それはどんなことですか。

（参加又は協力したものすべてに○をつける）

1. 保育参観
2. 園外保育や体験活動
3. 登降園時のあいさつ運動
4. 子育てや教育の講座・セミナー
5. 運動会や発表会などの幼稚園行事
6. 幼稚園や幼稚園周辺の美化・清掃活動
7. 幼稚園との情報交換や話し合い
8. その他（ ）

問 6-2 「2. ない」を選んだ人にお聞きします。理由は何ですか。（１つ○をつける）

1. 仕事など予定があるから
2. 参加する方法が分からないから
3. 知らない人がたくさんいて恥ずかしいから
4. 面倒だから
5. その他（ ）

問 7 あなたは、幼稚園の運営方針などの情報提供が、積極的に行われていると思えますか。

（１つ○をつける）

1. 行われている
2. まあまあ、行われている
3. あまり行われていない
4. 行われていない

問8 あなたは、幼稚園からの情報を、主にどのような方法で得ていますか。(1つ○をつける)

1. 幼稚園だより
2. 幼稚園のホームページ
3. P T A総会や学級懇談会
4. その他 ()

問9 あなたは、今後、どのような教育活動に力を入れる必要があると思いますか。(3つまで○をつける)

1. 読み書きや計算など、基礎的・基本的学力の充実
2. 応用力を身につける活動
3. 働くことの大切さや、将来について考える力の育成
4. I C T (情報通信技術) 機器の活用、情報モラルの育成
5. 自然や環境の大切さを考える活動
6. 伝統・文化を理解し、尊重する心の育成
7. 人権や命を大切に作る心の育成
8. 礼儀や善悪を判断する力の育成
9. 良好な人間関係が構築できるコミュニケーション能力の育成
10. 運動を楽しむことや、健康な身体や体力の育成
11. 食の知識や正しい食習慣など、食に関する学習
12. その他 ()

問10 教育に関する主な施策のうち、あなたが特に期待するものはどれですか。(4つまで○をつける)

1. 個に応じた分かる授業に取り組む、少人数学級の推進
2. 義務教育9年間を見通した確かな学力や豊かな人間性等を育成する小中連携教育の推進
3. 就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図る保幼小連携教育の推進
4. 本の読み聞かせ等、学校図書館を活用した読書活動の推進
5. 英語教育等による国際理解教育の推進
6. 障害のある幼児児童生徒に対する適切な教育的支援を行う特別支援教育の推進
7. 職場体験や自然体験の活動など、豊かな人間性や社会性を育む体験活動の推進
8. I C T (情報通信技術) 機器の活用、情報モラルの育成
9. 暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応や不登校の子どもの支援
10. 人権を尊重し、一人一人を大切に教育の推進
11. 地元の食材を利用した給食など、食育の推進
12. 小児生活習慣病の検診や肥満傾向の子どもへの指導など、心と体の健康づくり
13. 学校施設の耐震化や老朽化対策など、より良い教育環境の整備
14. 放課後子ども教室や放課後児童クラブなど、安全で安心な子どもの居場所づくり
15. 不審者情報のメール配信や、学校・幼稚園、地域、警察等が連携・協力した安全対策
16. 教育の専門家としての確かな力量や総合的な人間力等、教職員の資質の向上
17. その他 ()

問11 最後に、日ごろ幼稚園教育や家庭・地域の教育力等について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

◎小・中学校教員（校長・副校長・教頭含む）

1. あなたの年齢を教えてください。（1つ○をつける）

1. 20代
2. 30代
3. 40代
4. 50代以上

2. あなたの学校での立場を教えてください。（1つ○をつける）

1. 教頭以上の管理職
2. 学級担任
3. 左記以外

問1 あなたの学校を、「楽しい」と感じている児童生徒の割合はどの程度だと思いますか。（1つ○をつける）

1. ほとんどである（85%以上）
2. かなりの割合である（70%程度）
3. 半数程度（50%程度）
4. あまりいない

問2 あなたが、あなたの学校の課題と感ずることは何ですか。（2つまで○をつける）

1. 個に応じた学習指導の充実
2. 教員の生徒指導力の向上
3. 児童生徒の道徳性の向上
4. 学級経営力の向上
5. 保護者や地域住民への対応
6. 地域との積極的な連携協力
7. その他（ ）

問3 あなたは、児童生徒のモラルや規範意識を高めるにはどうしたら良いと思いますか。（2つまで○をつける）

1. 道徳教育を充実させる
2. 社会体験学習を充実させる
3. 家庭との連携を図り、家庭における教育力を充実させる
4. 地域との連携を図り、地域における教育力を充実させる
5. 生徒指導を充実させる
6. その他（ ）

問4 あなたは、どのような先生が求められていると思いますか。（2つ○をつける）

1. 勉強を分かりやすく教える先生
2. 良いところや得意なところをほめる先生
3. 休み時間に遊んだり話をよく聞いたりする先生
4. みんなに公平に接する先生
5. 悪いことをしたら叱ることができる先生
6. 一人一人の気持ちが分かる先生
7. その他（ ）

問5 あなたは、学校と家庭、地域社会が連携協力するのに必要なことは何だと思いますか。（2つまで○をつける）

1. 運動会等の学校行事に、保護者や地域住民の協力を得る
2. 教職員が地域社会の行事等に積極的に参加する
3. 学校と保護者や地域住民が日頃から話し合う機会をさらに増やす
4. 地域の方を体験学習等の講師として学校に招く
5. 学校の施設を地域に開放する
6. 学校からの情報提供を充実する
7. その他（ ）

問6 あなたは、生活習慣や礼儀などについて、家庭において期待される教育が行われていると思いますか。

（1つ○をつける）

1. 行われている
2. ほぼ行われている
3. あまり行われていない
4. 行われていない

問7 教育指針に掲げている「子どもの成長を願う6つの活動」のうち、教育的効果を上げていると思うものはどれですか。

1. マイ・スタディ
2. スマイルあいさつ運動
3. 掃除教育「ぴかぴかデー」
4. マイ・ランチの日
5. 寛学
6. 「強めよう絆」月間

問8 学校に配置している市費人材のうち、教育的効果を上げていると思うものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○をつける)

1. 特別支援教育支援員
2. 特別支援教育サポーター
3. ハートアドバイザー
4. スクールソーシャルワーカー
5. 学校図書館指導員
6. 外国語指導助手(ALT)
7. 英語指導補助員
8. その他()

問9 あなたは、今後、どのような教育活動に力を入れる必要があると思いますか。(3つまで○をつける)

1. 読み書きや計算など、基礎的・基本的学力の充実
2. 応用力を身につける学習
3. 働くことの大切さや、将来について考える力の育成
4. ICT(情報通信技術)機器の活用、情報モラルの育成
5. 自然や環境の大切さを考える学習
6. 伝統・文化を理解し、尊重する心の育成
7. 人権や命を大切にすることの育成
8. 礼儀や善悪を判断する力の育成
9. 良好な人間関係が構築できるコミュニケーション能力の育成
10. 運動を楽しむことや、健康な身体や体力の育成
11. 食の知識や正しい食習慣など、食に関する学習
12. その他()

問10 教育に関する主な施策のうち、あなたが特に期待するものはどれですか。(4つまで○をつける)

1. 個に応じた分かる授業に取り組む、少人数学級の推進
2. 義務教育9年間を見通した確かな学力や豊かな人間性等を育成する小中連携教育の推進
3. 就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図る保幼小連携教育の推進
4. 本の読み聞かせ等、学校図書館を活用した読書活動の推進
5. 英語教育等による国際理解教育の推進
6. 障害のある幼児児童生徒に対する適切な教育的支援を行う特別支援教育の推進
7. 職場体験や自然体験の活動など、豊かな人間性や社会性を育む体験活動の推進
8. ICT(情報通信技術)機器の活用、情報モラルの育成
9. 暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応や不登校の子どもの支援
10. 人権を尊重し、一人一人を大切にされた教育の推進
11. 地元の食材を利用した給食など、食育の推進
12. 小児生活習慣病の検診や肥満傾向の子どもへの指導など、心と体の健康づくり
13. 学校施設の耐震化や老朽化対策など、より良い教育環境の整備
14. 放課後子ども教室や放課後児童クラブなど、安全で安心な子どもの居場所づくり
15. 不審者情報のメール配信や、学校・幼稚園、地域、警察等が連携・協力した安全対策
16. 教育の専門家としての確かな力量や総合的な人間力等、教職員の資質の向上
17. その他()

問11 最後に、日ごろ学校教育や家庭・地域の教育力等について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

◎幼稚園教員（園長含む）

1. あなたの年齢を教えてください。（1つ○をつける）

1. 20代 2. 30代
3. 40代 4. 50代以上

2. あなたの幼稚園での立場を教えてください。（1つ○をつける）

1. 園長 2. 学級担任

問1 あなたが、あなたの幼稚園の課題と感ずることは何ですか。（2つまで○をつける）

1. 個に応じた指導の充実
2. 教員の指導力の向上
3. 園児の道徳性の向上
4. 学級経営力の向上
5. 保護者や地域住民への対応
6. 地域との積極的な連携協力
7. その他（ ）

問2 あなたは、園児のモラルや規範意識を高めるにはどうしたら良いと思いますか。
（2つまで○をつける）

1. 道徳教育を充実させる
2. 社会体験活動を充実させる
3. 家庭との連携を図り、家庭における教育力を充実させる
4. 地域との連携を図り、地域における教育力を充実させる
5. 指導を充実させる
6. その他（ ）

問3 あなたは、どのような先生が求められていると思いますか。（2つ○をつける）

1. 色々なことを分かりやすく教える先生
2. 良いところや得意なところをほめる先生
3. 子どもとよく遊んだり子どもの話をよく聞いたりする先生
4. みんなに公平に接する先生
5. 悪いことをしたら叱ることができる先生
6. 一人一人の気持ちが分かる先生
7. その他（ ）

問4 あなたは、幼稚園と家庭、地域社会が連携協力するのに必要なことは何だと思いますか。
（2つまで○をつける）

1. 運動会等の幼稚園行事に、保護者や地域住民の協力を得る
2. 教職員が地域社会の行事等に積極的に参加する
3. 幼稚園と保護者や地域住民が日頃から話し合う機会をさらに増やす
4. 地域の方を体験活動等の講師として幼稚園に招く
5. 幼稚園の施設を地域に開放する
6. 幼稚園からの情報提供を充実する
7. その他（ ）

問5 あなたは、生活習慣や礼儀などについて、家庭において期待される教育が行われていると思いますか。
（1つ○をつける）

1. 行われている
2. ほぼ行われている
3. あまり行われていない
4. 行われていない

問6 教育指針に掲げている「子どもの成長を願う6つの活動」のうち、教育的効果を上げていると思うものはどれですか。

1. マイ・スタディ
2. スマイルあいさつ運動
3. 掃除教育「ぴかぴかデー」
4. マイ・ランチの日
5. 寛学
6. 「強めよう絆」月間

問7 あなたは、今後、どのような教育活動に力を入れる必要があると思いますか。
(3つまで○をつける)

1. 読み書きや計算など、基礎的・基本的学力の充実
2. 応用力を身につける活動
3. 働くことの大切さや、将来について考える力の育成
4. ICT（情報通信技術）機器の活用、情報モラルの育成
5. 自然や環境の大切さを考える活動
6. 伝統・文化を理解し、尊重する心の育成
7. 人権や命を大切にすることの育成
8. 礼儀や善悪を判断する力の育成
9. 良好な人間関係が構築できるコミュニケーション能力の育成
10. 運動を楽しむことや、健康な身体や体力の育成
11. 食の知識や正しい食習慣など、食に関する学習
12. その他（ ）

問8 教育に関する主な施策のうち、あなたが特に期待するものはどれですか。(4つまで○をつける)

1. 個に応じた分かる授業に取り組む、少人数学級の推進
2. 義務教育9年間を見通した確かな学力や豊かな人間性等を育成する小中連携教育の推進
3. 就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図る保幼小連携教育の推進
4. 本の読み聞かせ等、学校図書館を活用した読書活動の推進
5. 英語教育等による国際理解教育の推進
6. 障害のある幼児児童生徒に対する適切な教育的支援を行う特別支援教育の推進
7. 職場体験や自然体験の活動など、豊かな人間性や社会性を育む体験活動の推進
8. ICT（情報通信技術）機器の活用、情報モラルの育成
9. 暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応や不登校の子どもの支援
10. 人権を尊重し、一人一人を大切にされた教育の推進
11. 地元の食材を利用した給食など、食育の推進
12. 小児生活習慣病の検診や肥満傾向の子どもへの指導など、心と体の健康づくり
13. 学校施設の耐震化や老朽化対策など、より良い教育環境の整備
14. 放課後子ども教室や放課後児童クラブなど、安全で安心な子どもの居場所づくり
15. 不審者情報のメール配信や、学校・幼稚園、地域、警察等が連携・協力した安全対策
16. 教育の専門家としての確かな力量や総合的な人間力等、教職員の資質の向上
17. その他（ ）

問9 最後に、日ごろ幼稚園教育や家庭・地域の教育力等について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

◎一般市民

1. あなたの年齢を教えてください。(1つ○をつける)

1. 20代 2. 30代 3. 40代
4. 50代 5. 60代 6. 70代以上

2. あなたは、同居家族に高校生以下のお子さんはいらっしゃいますか。(複数選択可)

1. 未就学児 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生 5. いない

問1 あなたは、今の子どもは道徳心があると思いますか。(1つ○をつける)

1. あると思う
2. ある程度あると思う
3. あまりないと思う
4. ないと思う

問1-1 問1で「3. あまりないと思う」「4. ないと思う」を選んだ人にお聞きします。具体的にどんなところがないと思いますか。(2つ○をつける)

1. 忍耐力 2. 善悪の判断力
3. 礼儀作法 4. 思いやり
5. 命を大切にすること 6. 規則やきまりを守る精神
7. 家族を愛する心 8. 郷土を愛する心
9. その他()

問1-2 それを高めるにはどうしたら良いと思いますか。(1つ○をつける)

1. 学校・幼稚園での道徳教育を充実させる
2. 学校等での社会体験学習を充実させる
3. 家庭での教育を見直す
4. 地域の大人が子どもに指導する
5. 大人が見本を示す
6. その他()

問2 あなたは、どのような先生が望ましいと思いますか。(2つまで○をつける)

1. 勉強を分かりやすく教える先生
2. 良いところや得意なところをほめる先生
3. 休み時間に子どもと遊んだり子どもの話をよく聞いたりする先生
4. みんなに公平に接する先生
5. 悪いことをしたら叱る先生
6. 一人一人の気持ちを分かってくれる先生
7. その他()

問3 あなたは、学校・幼稚園・地域などの活動に参加したことがありますか。

1. ある 2. ない

問3-1 問3で「1. ある」を選んだ人にお聞きします。参加した活動は何ですか。(参加したものすべてに○をつける)

1. 学校・幼稚園や地域の運動会
2. 学校・幼稚園や地域の文化祭、音楽祭などの行事
3. 清掃・修繕などの学校・幼稚園での環境美化活動
4. 登下校時の見守り活動
5. 地域のお祭り
6. 地域のスポーツクラブやサークル活動
7. 地域のボランティア活動
8. コミュニティセンターの講座(女性教室、高齢者教室、家庭教育学級を含む)
9. その他()

問4 あなたは、学校・幼稚園における清掃・修繕等の環境美化や体験活動のお手伝い、図書の読み聞かせなどボランティアの参加依頼があったらどうしますか。(1つ○をつける)

1. 進んで協力したい
2. できれば協力したい
3. あまり協力したくない
4. 協力したくない

問4-1 問4で「3. あまり協力したくない」「4. 協力したくない」を選んだ人にお聞きします。その大きな理由は何ですか。(1つ○をつける)

1. 仕事があり、協力できないから
2. 子どもの指導に関わることに不安を感じるから
3. 関心がないから
4. その他()

問5 地域の学校・幼稚園の様子を十分知っていますか。

1. 知っている
2. まあまあ知っている
3. あまり知らない
4. 知らない

問5-1 「1. 知っている」「2. まあまあ知っている」を選んだ人にお聞きします。具体的にどのような方法で知ることができていますか。(あてはまるものすべてに○をつける)

1. 学校・幼稚園からの便り
2. 学校・幼稚園のホームページ
3. 知人等からの伝聞
4. その他()

問6 あなたは、今後、どのような教育活動に力を入れる必要があると思いますか。(3つまで○をつける)

1. 読み書きや計算など、基礎的・基本的学力の充実
2. 応用力を身につける学習
3. 働くことの大切さや、将来について考える力の育成
4. ICT(情報通信技術)機器の活用、情報モラルの育成
5. 自然や環境の大切さを考える学習
6. 伝統・文化を理解し、尊重する心の育成
7. 人権や命を大切にすることを学ぶ力の育成
8. 礼儀や善悪を判断する力の育成
9. 良好な人間関係が構築できるコミュニケーション能力の育成
10. 運動を楽しむことや、健康な身体や体力の育成
11. 食の知識や正しい食習慣など、食に関する学習
12. その他()

問7 教育に関する主な施策のうち、あなたが特に期待するものはどれですか。(4つまで○をつける)

1. 個に応じた分かる授業に取り組む、少人数学級の推進
2. 義務教育9年間を見通した確かな学力や豊かな人間性等を育成する小中連携教育の推進
3. 就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図る保幼小連携教育の推進
4. 本の読み聞かせ等、学校図書館を活用した読書活動の推進
5. 英語教育等による国際理解教育の推進
6. 障害のある幼児児童生徒に対する適切な教育的支援を行う特別支援教育の推進
7. 職場体験や自然体験の活動など、豊かな人間性や社会性を育む体験活動の推進
8. ICT(情報通信技術)機器の活用、情報モラルの育成
9. 暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応や不登校の子どもの支援
10. 人権を尊重し、一人一人を大切にされた教育の推進
11. 地元の食材を利用した給食など、食育の推進
12. 小児生活習慣病の検診や肥満傾向の子どもへの指導など、心と体の健康づくり
13. 学校施設の耐震化や老朽化対策など、より良い教育環境の整備
14. 放課後子ども教室や放課後児童クラブなど、安全で安心な子どもの居場所づくり
15. 不審者情報のメール配信や、学校・幼稚園、地域、警察等が連携・協力した安全対策
16. 教育の専門家としての確かな力量や総合的な人間力等、教職員の資質の向上
17. その他()

問8 最後に、日ごろ学校・幼稚園教育や家庭・地域の教育力等について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。